
病院年報 - 20


令和 6 年度



川崎市立多摩病院



指定管理者 学校法人 聖マリアナ医科大学

- ① 目次の項目の上にカーソルを合わせ、カーソルが  に変わったら1クリック。そのページに移動します。
- ② 項目の最後のページにある **目次へ戻る** をクリックすると、再び目次のページに戻ります。

目 次

刊行のことば	2
理念・病院の基本方針・患者さんの権利と責務	5
病院の沿革	6
歴代病院長	15

施設の概要と病院機構

施設の概要

敷地配置図	18
建物各階配置図	19
所在地・交通案内	20
建物の概要	21

病院機構

組織図	22
会議・各種委員会等	23
職員部門別総括表	24
医師科別内訳	24
診療協力部門他内訳	25
看護部内訳	25
業務委託実績	26
主要医療機器・備品	27

許認可事項

諸届・諸願一覧表	36
地方厚生局届出必要項目一覧	41
身体障害者指定医師	46
障害者指定自立支援医療機関	46

診療の概要

診療科目と特殊専門機能	48
病棟別科別状況	48
患者統計	
入院患者数	49
外来患者数	51
リハビリテーション科の状況	54
救急災害医療センターの状況	56
腎センターの状況	63
内視鏡センターの状況	64
健康診断部の状況	66
臨床検査部の状況	68
病理診断科の状況	75
画像診断部の状況	83
手術部の状況	86
医療相談センターの状況	90
クリニカルエンジニア部の状況	99
薬剤部の状況	101
看護部の状況	108
栄養部の状況	157
入院患者疾病統計	159
治験管理室の状況	203
医療安全管理室の状況	204

図書室の状況	215
視察及び見学	215
研修・講演会等	216
病院実習受入先一覧	227
経 理 概 要	232
患者満足度調査結果	234
撮 影 関 係	236

業 績 集

病 院 長 室	238
総合診療内科	239
循環器内科	243
呼吸器内科	246
消化器内科	246
腎臓・高血圧内科	247
代謝・内分泌内科	250
脳神経内科	250
血液内科	251
腫瘍内科	252
緩和ケア内科	253
神経精神科	254
小 児 科	254
消化器・一般外科	255
脳神経外科	258
整形外科	260
形成外科	261
泌尿器科	261
眼 科	262
耳鼻咽喉科	265
放射線科	265
歯科口腔外科	266
リハビリテーション科	267
病理診断科	268
救急災害医療センター	270
腎 セ ン タ ー	271
内視鏡センター	272
臨床検査部	272
画像診断部	273
薬 剤 部	274
クリニカルエンジニア部	277
栄 養 部	278
医 療 情 報 部	278
医療相談センター	278
看 護 部	279
臨床研修センター	282
総 務 課	283
医 事 課	283
医療安全管理室	283

令和 6 年度の 川崎市多摩病院年報が完成しました

2024 年度の川崎市立多摩病院年報が完成しました。

この 1 年は、新型コロナウイルスによるパンデミックが収束し、6 月の診療報酬改定とともに、すべての医療機関が厳しい環境にさらされた 1 年でした。特に建設資材の高騰、円安に伴う物価高騰、電気・ガス料金の値上げ、人件費の値上げ等は、支出超過の大きな要因となりました。2023 年度一杯で閉院した東横病院の処理に伴う支出負担も少なからず経営に影響しました。

そんな中、7：1 看護体制を堅持し、急性期医療機関としての機能を維持すべく、全身麻酔件数や緊急手術の拡充に力を注ぎ、長期入院患者の早期退院を図り、病院機能の体質改善を積極的に進めてきました。その結果、入院単価は 67,000 円台とこれまでにない高い水準で推移し、収入面では 116 億円と開院以来の最高額をたたき出し、2020 年度と比較した医療収入の伸び率もこれまでにない実績を上げることができました。これもひとえに、様々なアドバイスやご支援を頂いた法人、稼働改善にご協力いただいた登録紹介医の先生方、地域に住まわれている市民の方々の力強い応援だけでなく、懸命に働いていただいた教職員のお蔭と感謝しています。2024 年 10 月から本格始動した医師の働き方改革も、皆様のご協力のお蔭で何とか乗り切れる形となり、2025 年度も順調に滑り出すことができています。2024

病 院 長

長 島 悟 郎



年 4 月に立ち上げた広報戦略室を通して、かわさき FM を通じた市民への啓発活動、区民祭やタウンニュース等を通じた広報、様々なドラマや映画のロケなども積極的に実施してまいりました。

当院には医療機能評価機構の病院機能評価サーベイヤーが 5 名（診療・リーダー 1 名、診療 1 名、看護 2 名、事務 1 名）在籍しています。ここまで医療の質に精通した人員を配している医療機関は、川崎市内にはありません。こうした層の厚い体制に基づいて、私たちは様々な質改善活動に取り組んできました。指定管理者であるが故の様々な足かせ、経営的な課題は多々ありますが、2025 年度も、私たち多摩病院は安心・安全な医療をお届けする、地域に根ざした市立病院として、全職員で努力してまいります。

この年報には、こうした厳しい社会環境の中で、教育、研究、診療のすべてにおいて私たちが築き上げてきた様々な業績が記録されており、私たち川崎市立多摩病院の全職員のプライドそのものであると考えています。是非、ご一読いただき、これからの多摩病院のさらなる飛躍にご期待いただければと思います。

[目次へ戻る](#)



理 念

私たちは、市民がいつでも、安心して満足できる、
愛ある医療を提供します。

病院の基本方針

医療スタッフ連携のもとに最適な医療を提供します。
24時間、365日、救急・災害時医療を提供します。
地域の医療・保健・福祉と密接に連携します。
市民の健康保持増進と疾病予防に努めます。
良質な医療を行う医療人を育てます。
環境に優しい医療を提供します。
医療資源を大切に、効率的に運営します。
安全で安心な医療を提供できる職場環境を作ります。

患者さんの権利と責務

I. 権利

どなたも平等に、適切な医療サービスを受けられます。
病気と治療について、十分な情報と説明を受けたいと、治療方針を、ご自分の意思で決められます。
医療者の教育や実習・研究的治療への協力を求められても断れます。
意思に反する医療の提供及び教育・研究への協力を拒否しても、何ら不利益を被ることはありません。
診療情報が保護されプライバシーは尊重されます。
診療に関する記録の開示を受けることができます。
セカンドオピニオンを求めることができます。

II. 責務

ご自分の体調等の情報を正確に医療者に伝える責務があります。
治療方針の決定について、ご自分の意思を明らかにする責務があります。
治療に必要な診療上の指示を守る責務があります。
病院の快適な療養環境を維持する責務があります。

患者さんへのお願い

※院内での暴言・暴力や迷惑行為、および器物破損行為を禁止します。
※診療を阻害するような迷惑行為などがあった場合、ご自分やご家族の意思に関わらず診療をお断りし、退去していただくことがあります。

病院の安全を守り、診療を円滑に行うと共に、最善の医療を提供するために、ご協力をお願いいたします。

病院の沿革

	病院の沿革	聖マリアンナ医科大学における開設までの経緯
平成 3 年		
3 月	市立三田病院（60 床、救急実施）の廃止	
平成 6 年		
1 月	稲田登戸病院が救急告示の辞退（多摩区には救急告示医療機関がない状況となる）	
8 月	川崎市が「北部地域医療施設整備構想策定委員会」を発足	
平成 7 年		
9 月	川崎市が「北部地域医療施設市民意識アンケート調査」を実施	
平成 8 年		
3 月	策定委員会から市長に「北部地域医療施設整備構想中間答申」を提出	
11 月	川崎市が「北部地域医療施設市民シンポジウム」を開催	
平成 9 年		
5 月	建設予定地が決定	
9 月	策定委員会から市長に「北部地域医療施設整備構想最終答申」を提出	
12 月	川崎市が運営形態を「管理運営委託方式」に決定	
平成 10 年		
2 月 23 日	川崎市が聖マリアンナ医科大学（以下、本学）を含む 17 団体に「北部医療施設管理運営に係る受託意向アンケート調査」を依頼	
6 月 24 日	川崎市が候補 17 団体に「管理運営に係る委託条件書」を提示	
8 月 11 日	川崎市が「北部医療施設整備計画検討協議会」を発足	
10 月 23 日	かわさき市民シンポジウム「新時代の医療と市民病院像」の開催	
11 月 18 日	川崎市に事業計画書及び団体調書を提出	
平成 11 年		
3 月 1 日	川崎市が「北部医療施設整備基本構想」を策定	
4 月 2 日	川崎市が管理運営委託に係る受託団体を本学に内定	
4 月 8 日	川崎市が北部医療施設開設準備室を発足	
5 月 1 日		北部病院開設準備室を難病治療研究センター 2 階に設置
6 月 21 日		「北部病院基本構想プロジェクトチーム」を設置
8 月 12 日		川崎市に「基本計画に関する骨子」を提出
平成 12 年		
2 月 1 日	川崎市が「北部医療施設整備基本計画書」を策定	
3 月 24 日	川崎市が基本設計候補業者に(株)久米設計を選定	
4 月 24 日		「北部医療施設構築体制に関する専門部会（建築部会、情報システム部会）」を発足
6 月 14 日		総合医療情報システムに関する部門別業務運用調査を開始 [学内の情報システム部会と川崎市契約コンサルタント業者（(株) 楨コンサルタントオフィス）が担当]
平成 13 年		
2 月 23 日	川崎市が「北部医療施設開設準備連絡協議会」を発足	
3 月	川崎市が「川崎市北部医療施設医療情報システム基本設計報告書」を策定	
7 月 23 日		「北部病院医療機器機種選定委員会」を設置
9 月 25 日		「北部病院物流業者選定委員会」を設置

	病院の沿革	聖マリアンナ医科大学における開設までの経緯
10月24日		川崎市に「川崎市北部医療施設医療機器整備調査表」を提出
平成14年		
3月31日	基本設計および実施設計が完了	
6月1日		「北部病院診療体制検討部会」を発足
10月9日	川崎市が建築工事（本体、空調設備、衛生その他の設備）の一般競争入札を行い、清水・戸田・鉄建・大山共同企業体が落札	
10月15日	建築工事着工	
10月24日	川崎市が「北部医療施設新築工事総合定例会議」を発足、以降、平成17年9月まで毎月開催	
12月18日		「北部病院診療体制検討部会第1回中間報告書」を作成
平成15年		
4月23日		「北部病院診療体制検討部会第2回中間報告書」を作成
5月27日		「北部医療施設建築工事詳細設計ヒアリング」を開始〔川崎市まちづくり局と建築工事受注業者が学内の各部門と協議〕
6月1日		北部病院診療科と看護部の責任者、情報システムに関するモデレーターを委嘱・発令
6月2日		「北部医療施設医療機器選定のためのヒアリング」を開始〔川崎市契約の医療機器コンサルタント業者（三菱商事株）が学内の各部門と協議〕
6月6日	地方自治法の一部改正に伴い「管理委託制度」が「指定管理者制度」に改められる	
6月30日		「北部病院診療科等責任者会議」を発足、第1回会議開催
7月1日		「北部病院医療機器選定委員会」を設置
11月25日		「北部病院の診療体制に関するヒアリング」を開始
11月28日	川崎市が総合医療情報システム開発業務委託の一般競争入札を行い、日本電気(株)が落札	
12月1日		「第2回北部病院診療科等責任者会議」を開催
平成16年		
1月19日		「第3回北部病院診療科等責任者会議」を開催
1月26日		「医療機器に関する再ヒアリング」を開始
1月30日		「北部病院総合医療情報システム導入委員会」を設置
2月23日	建築現場内にモデルルームを開設（～4月13日）	
3月29日		「第4回北部病院診療科等責任者会議」を開催
4月1日	川崎市が本学内（大学病院4階）に「総合医療情報システム開発室」を設置	
4月21日		「情報システム概要設計検討会」を発足
5月1日	川崎市が名称公募を開始（～6月30日）	
5月19日		「総合医療情報システム概要設計ヒアリング」を開始
6月1日		「北部病院委託業務に関する委員会」を設置
6月1日		「各部門の業務内容等に関するヒアリング」を開始
6月17日		「医療機器に関する再々ヒアリング」を開始
6月24日		北部病院開設準備室が大学病院4階に移転
7月29日		「診療体制検討専門部会」で内科診療、外科診療、救急災害医療センター、入院外来診療の各小委員会による検討を開始
8月1日		亀谷病院長予定者を発令
8月18日		「総合医療情報システム詳細設計ヒアリング」を開始
10月6日		「総合相談室（仮称）に関する専門部会」による検討開始
10月8日		「北部病院における各科の診療体制に関するヒアリング」を実施
10月25日	川崎市長が病院名称として「川崎市立多摩病院」を公表	

	病院の沿革	聖マリアンナ医科大学における開設までの経緯
11月22日		「診療協力部門検討専門部会」で生理検査、画像診断、手術室、内視鏡等の各小委員会による検討を開始 サイン計画の検討開始 「第5回北部病院診療科等責任者会議」を開催
11月29日		
12月20日		
平成17年		
3月2日	川崎市より本学に、指定管理者の指定に係る事業計画書の作成依頼	「医療機器に関する最終ヒアリング」を開始
3月11日		
3月24日	川崎市病院事業の設置等に関する条例の一部改正（市立多摩病院の設置及び指定管理者による管理）	
4月1日	川崎市が病院局を設置、市立病院を統括する病院事業管理者に武弘道氏が就任	事務組織規定改正により「北部病院開設準備室」を「川崎市立多摩病院開設準備室」に呼称変更 「第6回北部病院診療科等責任者会議」を開催、以降平成17年10月まで毎月開催 川崎市に「事業計画書」を提出
4月18日		
4月28日		
6月24日	川崎市議会で指定管理者指定議決案可決、本学へ指定管理者指定通知（指定期間 平成18年2月1日から平成48年3月31日）	川崎市立多摩病院開設準備室が多摩病院内に移転 亀谷学病院長ほか事務部長・看護部長・役職者等の発令
7月29日	川崎市と本学が「川崎市立多摩病院の管理運営に関する基本協定」を締結	
9月20日	病院建物本体竣工、川崎市より本学へ建物引渡し	
10月1日		総合医療情報システム操作研修を開始 第1回総合医療情報システム全体リハーサル
10月1日	「川崎市立多摩病院市民見学会」を開催（見学者約2,800名）	
11月24日		
12月22日		全職員対象のオリエンテーションを開催
平成18年		
1月12日	第2回総合医療情報システム全体リハーサル	
1月17日	第3回総合医療情報システム全体リハーサル	
1月18・19日		
1月21日	開院式および本学職員対象の内覧会	
1月23日	川崎市と本学が「川崎市立多摩病院の管理運営に関する細目協定」を締結	

	病院の沿革
平成18年	
2月1日	開院、全館9病棟総病床数376床のうち集中治療室（10床）を含む6病棟合計232床を開棟
3月24日	登戸駅寄りに病院入口から正面玄関まで屋根付き歩廊が完成し、全建設工事が完了
6月1日	5階東病棟開棟 280床となる
8月21日	第1回多摩病院運営協議会開催
11月20日	6階西病棟開棟 305床となる
平成19年	
2月10日	第1回市民健康講座 「救急医療の最先端」
3月1日	6階東病棟開棟 317床となる
3月16日	第2回多摩病院運営協議会開催
4月1日	全病棟開棟 376床
4月1日	治験管理室設置

	病院の沿革
4月1日	初期臨床研修開始（聖マリアンナ医科大学病院臨床研修プログラム協力型臨床研修病院）
7月1日	DPC 準備病院開始
8月22日	第3回多摩病院運営協議会開催
9月29日	第2回市民健康講座 「C型肝炎ってどんな病気？」
10月18日	全国自治体病院協議会施設見学
11月16日	東京交響楽団市内巡回公演
平成20年	
3月8日	第3回市民健康講座 「救急医療の最前線人が倒れています、119番通報する前に…」
3月21日	第4回多摩病院運営協議会開催
4月1日	病院事業管理者に秋月哲史氏が就任
7月28日	第29回アジア医学生会議病院見学
10月22日	第5回多摩病院運営協議会開催

	病院の沿革
11月22日	第4回市民健康講座「認知症の医療とケアについて知って頂きたいこと」
平成21年	
2月3日	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（審査体制区分3、Ver.5.0）
2月28日	第5回市民健康講座「人が倒れています、119番通報する前に…」
4月1日	DPC対象病院開始
4月1日	医療コンシェルジュの導入
4月1日	聖マリアンナ医科大学病院群管理型研修プログラムにおける川崎市立多摩病院臨床研修プログラムの開始
5月21日 ～7月30日	新型インフルエンザ発熱外来設置
6月5日	財団法人日本医療機能評価機構より病院機能評価（審査体制区分3 Ver.5.0）認定
7月9日	第1回川崎市立多摩病院指定管理検討委員会
7月22日	第2回川崎市立多摩病院指定管理検討委員会
8月31日	第3回川崎市立多摩病院指定管理検討委員会
9月3日	第6回多摩病院運営協議会開催
10月7日	第4回川崎市立多摩病院指定管理検討委員会
10月28日	第5回川崎市立多摩病院指定管理検討委員会
10月31日	第6回市民健康講座「メタボ対策～あなたはスポーツしますか？～」
11月18日	第6回川崎市立多摩病院指定管理検討委員会
12月6日	第7回川崎市立多摩病院指定管理検討委員会
平成22年	
2月5日	開院記念コンサート（演奏：ピアニスト小川典子）
2月27日	第7回市民健康講座「人が倒れています、119番通報する前に…」以降、毎年7～11回市民健康講座を開催
4月1日	歯科医師協力型臨床研修医受入れ開始
6月30日	第7回多摩病院運営協議会開催
7月7日	地域医療支援病院準備運営委員会開催
9月9日	川崎市消防局より「救急の日」を記念し、救急車受け入れ等の救急業務への貢献に対して感謝状を贈呈された。
11月2日	第8回多摩病院運営協議会開催
12月9日	川崎市へ地域医療支援病院申請書提出
平成23年	
2月16日	神奈川県医療審議会にて地域医療支援病院承認
3月1日	地域医療支援病院として運用開始

	病院の沿革
3月11日	東北地方太平洋沖地震発生に伴う災害対策本部立ち上げ 東京電力計画停電の対応 災害支援活動として県依頼の医療チームに医師2名・看護師1名を派遣
4月1日	医療相談センターにMC（メディカルコーディネーター部門）を開設 医療通訳派遣システム事業協力開始
5月12日	健康診断部をレストラン跡地に移設
7月6日	第1回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
8月29日	第9回多摩病院運営協議会開催
9月13日	臨床研修に関する評価指導担当者養成講習会（1回目）開催 （2回目10月11日、3回目11月9日開催）
9月28日	第1回川崎市立多摩病院登録紹介医懇親会を開催
10月11日	売店リニューアルオープン
11月1日	4階にハイケアユニット（HCU）病棟を新設し8床加算申請
11月2日	第2回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
平成24年	
1月11日	ドトールコーヒーショップオープン
2月1日	第3回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催 6周年記念ジャズコンサート（ボーカル：maaayo（マアヨ）ピアノ：清野雄翔）
2月9日	日本私立医科大学協会医療安全感染対策相互ラウンド（日本医科大学武蔵小杉病院で実施）
2月16日	日本私立医科大学協会医療安全感染対策相互ラウンド（当院で実施） 病院敷地内放射線量測定
3月23日	第10回多摩病院運営協議会開催
4月1日	上野聰樹病院長就任（第2代目）
5月1日	標榜診療科の追加 （呼吸器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科） 名称変更（総合診療内科、循環器内科、耳鼻咽喉科）
5月1日	診療部長会議を再編成し、管理運営会議に名称を改める
5月21日	院内での携帯電話など電子機器の使用エリアの緩和
6月1日	3階東病棟小児科用個室3床を成人用個室に変更（小児科病床計29床）
6月6日	第4回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催

病院の沿革	
6月26日	「理念・病院の基本方針・患者さまの権利と責務」の改訂
8月1日	4階ハイケアユニット（HCU）病棟に4床追加（計12床）加算申請
9月12日	第5回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
10月31日	第11回多摩病院運営協議会開催
11月20日	日本私立医科大学協会医療安全感染対策相互ラウンド（当院で実施）
12月11日	日本私立医科大学協会医療安全感染対策相互ラウンド（北里大学東病院で実施）
12月12日	第6回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
平成 25 年	
3月4日	第2回川崎市立多摩病院登録紹介医懇親会を開催
3月13日	第12回多摩病院運営協議会開催
3月19日	第7回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
6月12日	第8回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
9月1日～	救急隊用ホットラインを登録紹介医に開放
9月4日	第9回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
9月20日	臨床研修に関する評価指導担当者養成講習会（1回目）開催 （2回目10月18日、3回目11月15日開催）
10月5日	外来休診日に1F外来エリアを使用した大規模な総合防災訓練を実施
11月11日	日本私立医科大学協会医療安全感染対策相互ラウンド（当院で実施）
11月19日	病院開設者に福田紀彦氏（川崎市市長）が就任
12月4日	第10回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
12月9日	日本私立医科大学協会医療安全感染対策相互ラウンド（昭和大学藤が丘病院で実施）
平成 26 年	
1月17日	新市長（災害対策本部長）が緊急登庁訓練（当院ヘリポート使用）
2月1日	管理運営組織を一部改正 1 看護及び事務組織の部門化 2 「医療安全管理対策室」を「医療安全管理室」に名称変更 3 医療相談センターを医療技術部門から医療支援管理部門へ部門変更
2月26日～27日	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（一般病院2、3rdG:Ver.1.0）
3月5日	第3回川崎市立多摩病院登録紹介医交流会を開催

病院の沿革	
3月12日	第11回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
3月17日	救急災害医療センター受付に夜間、登録紹介医からの直通電話回線を開設
3月25日	第14回川崎市立多摩病院運営協議会開催
3月27日	災害医療拠点病院の要件としてDMATチームを設置
4月1日	鈴木通博病院長就任（第3代目） 標榜診療科の追加（病理診断科）
6月5日	財団法人日本医療機能評価機構より病院機能評価（一般病院2、3rdG:Ver.1.0）認定（認定期間2014年6月5日～2019年6月4日）
6月11日	第12回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
7月17日	第14回川崎市立多摩病院運営協議会開催
8月1日	近隣薬局の24時間営業開始を受けて、外来処方（夜間休日を含む）をすべて院外処方に変更
9月5日	厚生労働省より基幹型臨床研修病院に指定される
9月10日	第13回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
10月1日	病棟改編に伴いHCU病棟閉鎖
10月18日	外来休診日に1F外来エリアを使用した大規模な総合防災訓練を実施
11月12日	第15回川崎市立多摩病院運営協議会を開催
12月24日	第14回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
12月29日	17時より医療情報システム更新作業開始
平成 27 年	
1月1日	8時30分より新システム稼働開始
2月3日	平成26年度日本私立医科大学協会医療安全感染対策相互ラウンド（東海大学大磯病院で実施）
2月10日	平成26年度日本私立医科大学協会医療安全感染対策相互ラウンド（当院で実施）
2月17日	第16回川崎市立多摩病院運営協議会を開催
3月25日	第15回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会開催
4月1日	基幹型臨床研修病院として研修医（2名）の受け入れを開始 5S運営委員会、5Sリーダー会を立ち上げ、5S活動を開始
6月24日	第16回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
8月1日	「かわさき KIDS かんせんセミナー」を昨年に引き続き開催
9月5日	厚生労働省より独立型臨床研修病院（歯科）に指定される

病院の沿革	
9月12日	9月10日の鬼怒川氾濫時、DMAT ロジ1名（事務職）を派遣
9月30日	第17回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
10月3日	外来休診日の1F外来エリアを使用した大規模な総合災害訓練を実施
10月29日	第17回川崎市立多摩病院運営協議会を開催
12月2日	第18回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
12月14日	私大協相互ラウンドとして順天堂浦安病院を訪問
平成28年	
2月25日	多摩病院 開院10周年を祝う会を開催 第18回川崎市立多摩病院運営協議会を開催
3月1日	緊急招集『スタットコール』を『コードブルー』へ呼称変更（3月1日より実施） Human bridge 運用開始
3月2日	「川崎市立多摩病院登録紹介医交流会」を開催
3月9日	第19回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
4月1日	歯科独立型臨床研修指定病院として歯科口腔外科臨床研修医（1名）に受け入れを開始
6月29日	第20回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
7月30日	かわさき KIDS 感染セミナー
8月29日	第19回川崎市立多摩病院運営協議会を開催
8月31日	神奈川県医師会 第3回産業医研修会を実施
9月15日	患者満足度調査を（株）メディネット委託にて実施
9月28日	第21回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
10月15日	外来休診日の1F外来エリアを使用した大規模な総合災害訓練を実施
11月25日	日本私立医科大学医療安全感染対策相互ラウンド 獨協医科大学越谷病院を受入れ
12月8日	関東信越厚生局による 施設基準等適時調査を受ける
14日	第22回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
19日	『振込詐欺』を未然に防止したとして多摩警察署より感謝状を授与される
平成29年	
1月5日	CT 撮影装置更新
9日	講演会サテライト会場用ネットワークシステム導入検討に伴い、トライアルを実施
30日	日本私立医科大学医療安全感染対策相互ラウンド 獨協医科大学越谷病院を訪問

病院の沿革	
2月15日	患者満足度および職員満足度調査を実施
3月7日	川崎市立多摩病院登録紹介医交流会を開催
22日	第23回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
24日	第20回川崎市立多摩病院運営協議会を開催
4月1日	腫瘍内科の標榜を開始 基幹型初期臨床研修医を6名受入れ（H28年度より2名増員）
5月1日	外来化学療法室ベッド増設（7床→10床）
6月1日	教育研修管理部門に新たに総合診療センターを設置
28日	第24回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
7月20日	血管撮影装置更新
8月4日	川崎市立多摩病院運営協議会を開催
8月7日	血管撮影装置1台更新（血管撮影室14-5）
11日	川崎市と共催し、ジュニアドクター体験セミナーを開催
9月27日	第25回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
10月7日	多摩病院災害訓練を実施
12月5日	私大協相互ラウンド 日本医科大学多摩永山病院を受入れ
13日	第26回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
平成30年	
2月15日	多摩消防署との合同消防訓練
3月23日	川崎市立多摩病院運営協議会を開催
28日	第27回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
4月1日	後期研修医（総合診療専門医研修プログラム）2名を受入れ
1日	基幹型初期臨床研修医を8名（医科7名・歯科1名）受入れ（H29年度より2名増）
1日	腫瘍内科セカンドオピニオン外来スタート
6月6日	第28回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
9月1日	九都県市合同防災訓練にてヘリポート訓練に参加
27日	第29回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
30日	骨密度測定装置設置（新規）
10月6日	多摩病院災害訓練を実施
12月12日	第30回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催

	病院の沿革
平成 31 年	
1 月 10 日	MRI 機器更新
16 日	LifeMark コンシェルジュの導入
31 日～	財団法人日本医療機能評価機構による病院
2 月 1 日	機能評価受審（3rdG:Ver.2.0）
3 月 13 日	第 31 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
19 日	ESWL（体外式結石破碎装置）更新
4 月 1 日	後期研修医 6 名（総合診療専門医プログラム 3 名・内科専門医プログラム 3 名）を受入れ 基幹型初期臨床研修医を 11 名（医科 10 名・歯科 1 名）受入れ
令和 元年	
5 月 28 日	登戸殺傷事件において、救急医応援・被害者受入れ・記者会見等対応を行う
6 月 5 日	第 32 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
8 月 31 日	ビッグレスキューかながわ（神奈川県・伊勢原市合同総合防災訓練）参加
9 月 4 日	第 33 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
7 日	大規模地震時医療活動訓練（政府訓練）に参加
18 日	患者満足度調査実施
10 月 5 日	多摩病院災害訓練を実施
7 日	麻酔科外来スタート
11 月 20 日	第 34 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
令和 2 年	
1 月 24 日	院内サーベイヤーによる病院機能評価を実施
2 月 5 日	私大協相互ラウンド（東京医科大学茨城医療センター）受入れ
12 日	新型コロナウイルス対策本部設置
17 日	ダイヤモンドプリンセス号（COVID-19）へ DMAT 派遣
21 日	新型コロナウイルス感染症患者の受入れ
3 月 17 日	患者満足度調査実施
24 日	発熱患者受診のための「発熱フロー」運用を開始
4 月 1 日	長島悟郎病院長就任（第 4 代目）
6 日	5 階東病棟空気感染隔離ユニットミニティ設置
5 月 7 日	5 東病棟腎センター分室を設置
8 日	神奈川モデル医療機関の認定 認定区分：重点医療機関

	病院の沿革
6 月 1 日	血液内科常勤医師の配置 新型コロナウイルス感染症により 3 東病棟（一般病棟）19 床、5 東病棟 28 床休床届出 329 床となる
7 月 1 日	5 階東病棟をコロナ専用病床の運用開始 登録紹介医向けの動画コンテンツ（各診療科案内）を開始 3 東病棟（一般病棟）19 床、5 東病棟 28 床の休床を取下げ 376 床となる
8 月 1 日	新型コロナウイルス感染症により 3 東病棟（一般）19 床院内休床
18 日	AI モニターの設置
9 月 2 日	第 36 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
10 月 3 日	多摩病院災害訓練を実施
8 日	市民公開講座を動画コンテンツにて配信を開始
30 日	発熱診療等医療機関指定
11 月 1 日	脳ドッグを開始
4 日	新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業に係る医療機関の認定
16 日	新型コロナウイルス感染に関する来院者問診開始
12 月 9 日	第 37 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
11 日	患者満足度調査実施
21 日	医療従事者慰労のイルミネーション点灯式を開催
令和 3 年	
1 月 22 日	院内サーベイヤーによる病院機能評価を実施
2 月 26 日	教職員感謝の集い『星空を見上げて』を開催
3 月 1 日	5 階西病棟 48 床、3 東病棟（一般病棟）19 床休床の届出 309 床となる
15 日	医療従事者（教職員）向けワクチン接種を開始
27 日	手術支援ロボット『da Vinci Xi』搬入
31 日	第 38 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
4 月 1 日	後期研修医 7 名（総合診療専門医プログラム 5 名・内科専門医プログラム 2 名）を受入れ 基幹型初期臨床研修医を 11 名（医科 10 名・歯科 1 名）受入れ
6 月 1 日	MR、医療機器メーカー担当者の病院訪問 スマートチェックインシステム「MONITARO」を導入
6 月 2 日	第 39 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催

病院の沿革	
8月24日	患者満足度調査実施
9月1日	第40回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催 「登録紹介医の会」を開催
10月2日	多摩病院災害訓練を実施 新型コロナウイルスワクチンの個別接種を開始
26日	ホームページをリニューアル
11月1日	デジタルサイネージの設置
19日	手術支援ロボット『ダビンチ』にて初の症例を実施
28日	川崎市歯科医師会向けのワクチン接種実技講習を実施
12月1日	患者向けにFREE Wi-Fiの利用開始 第41回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
令和4年	
1月1日	外科用イメージ透視診断用CT撮影装置の更新
2月9日	患者満足度調査実施
21日	コンビニ「LAWSON」オープン
3月1日	診断用CT撮影装置の更新
2日	第42回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
4日	多摩病院教職員 慰労と感謝の集い『ジャンガジャンガな表彰式』開催
25日	院内サーベイヤーによる病院機能評価を実施予定
4月1日	後期研修医7名（総合診療専門医プログラム6名・内科専門医プログラム1名）を受入れ 基幹型初期臨床研修医を12名（医科10名・歯科2名）受入れ 標榜診療科の名称変更（消化器・肝臓内科⇒消化器内科、神経内科⇒脳神経内科）
5月1日	標榜診療科の追加（緩和ケア内科） 一般病棟12床開棟（234床）（緩和ケア病棟準備）（全体273床）
6月1日	第43回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
8日	「登録紹介医の会」を開催
7月29日	患者満足度調査実施
9月1日	緩和ケア病棟12床届出（運用開始）（全体273床）
7日	第44回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
27日	川崎FMゲスト出演

病院の沿革	
10月1日	一般病棟20床開棟（242床）（全体293床） 多摩病院災害訓練を実施
25日	川崎FM定期出演開始
11月30日	第45回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
令和5年	
1月27日	院内サーベイヤーによる病院機能評価を実施
2月2日	患者満足度調査実施
3月1日	血管撮影室IVR-CTの更新 第46回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
17日	多摩病院教職員 慰労と感謝の集い『未来ある医療に向けて』開催
4月3日	入職式（WEB） 後期研修医7名（総合診療専門医プログラム6名・内科専門医プログラム1名）を受入れ 基幹型初期臨床研修医を12名（医科10名・歯科2名）受入れ
5月9日	神奈川県のア南英明・医療危機対策統括官来院
6月7日	第47回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
7月5日	患者満足度調査実施
9月6日	第48回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催
10月7日	多摩病院災害訓練を実施
21日	多摩区民祭に参加
11月9日	川崎市血液対策事業推進功労者表彰を受ける
16日	関東信越厚生局による施設基準等適時調査を受ける
19日	川崎市病院連携北部訓練の実施
20日	川崎市上下水道局との応急給水訓練の実施
29日	「地域連携の会」を開催
12月5日	カリタス学園高校生によるスタンドグラスの設置
6日	第49回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会の開催
10日	川崎市立3病院合同ヘリコプター搬送訓練の実施
令和6年	
2月1日	公益財団法人日本医療機能評価機構による
～2日	病院機能評価受審（一般病院2:3rdG:Ver3.0）
8日	患者満足度調査実施
3月6日	第50回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催

4月 1日 入職式（WEB） 新入職者：72名
 ・後期研修医8名（総合診療専門医プログラム7名・内科専門医プログラム1名）
 ・基幹型初期臨床研修医を12名（医科10名・歯科2名）
 ・看護師、コメディカル計52名

5月13日 春の看護のイベント

6月 3日 初診受付時間変更（一部診療科）
 5日 第51回地域医療支援病院運営委員会
 20日 救急隊との症例検討会
 29日 第1回多摩病院塾

7月16日 患者満足度調査（1回目）

8月 1日 入院患者との面会を再開
 6日 川崎市立病院運営委員会（第1回）
 24日 KAWASAKI 感染制御協議会主催川崎北部医療圏感染症訓練

9月 4日 第52回地域医療支援病院運営委員会
 24日 秋の看護のイベント
 28日 第2回多摩病院塾

10月 5日 多摩病院災害訓練
 7日 ISO 15189 更新認定（臨床検査部）

11月 5日 川崎市立病院運営委員会（第2回）
 地域連携の会

19日 多摩区民祭に参加
 21日 川崎市消防局から譲受の救急車運行開始

12月 2日 職員満足度調査（2日～9日）
 4日 第53回地域医療支援病院運営委員会
 14日 第3回多摩病院塾
 15日 川崎市病院連携訓練（北部）
 20日 クリスマスコンサートを開催
 25日 LINE 公式アカウント開設

令和7年

1月10日 川西市議会行政視察
 21日 患者満足度調査（2回目 外来：21日～23日）
 24日 院内サーベイヤーによる病院機能評価を実施

2月10日 救急隊との症例検討会

3月 5日 第54回地域医療支援病院運営委員会
 8日 第4回多摩病院塾
 25日 病院長表彰・職員表彰

[目次へ戻る](#)

歴代病院長

◆初代病院長 亀谷 学

平成 17 年（2005 年）10 月 1 日～平成 24 年（2012 年）3 月 31 日

◆2 代目病院長 上野 聰樹

平成 24 年（2012 年）4 月 1 日～平成 26 年（2014 年）3 月 31 日

◆3 代目病院長 鈴木 通博

平成 26 年（2014 年）4 月 1 日～令和 2 年（2020 年）3 月 31 日

◆4 代目病院長 長島 悟郎

令和 2 年（2020 年）4 月 1 日～

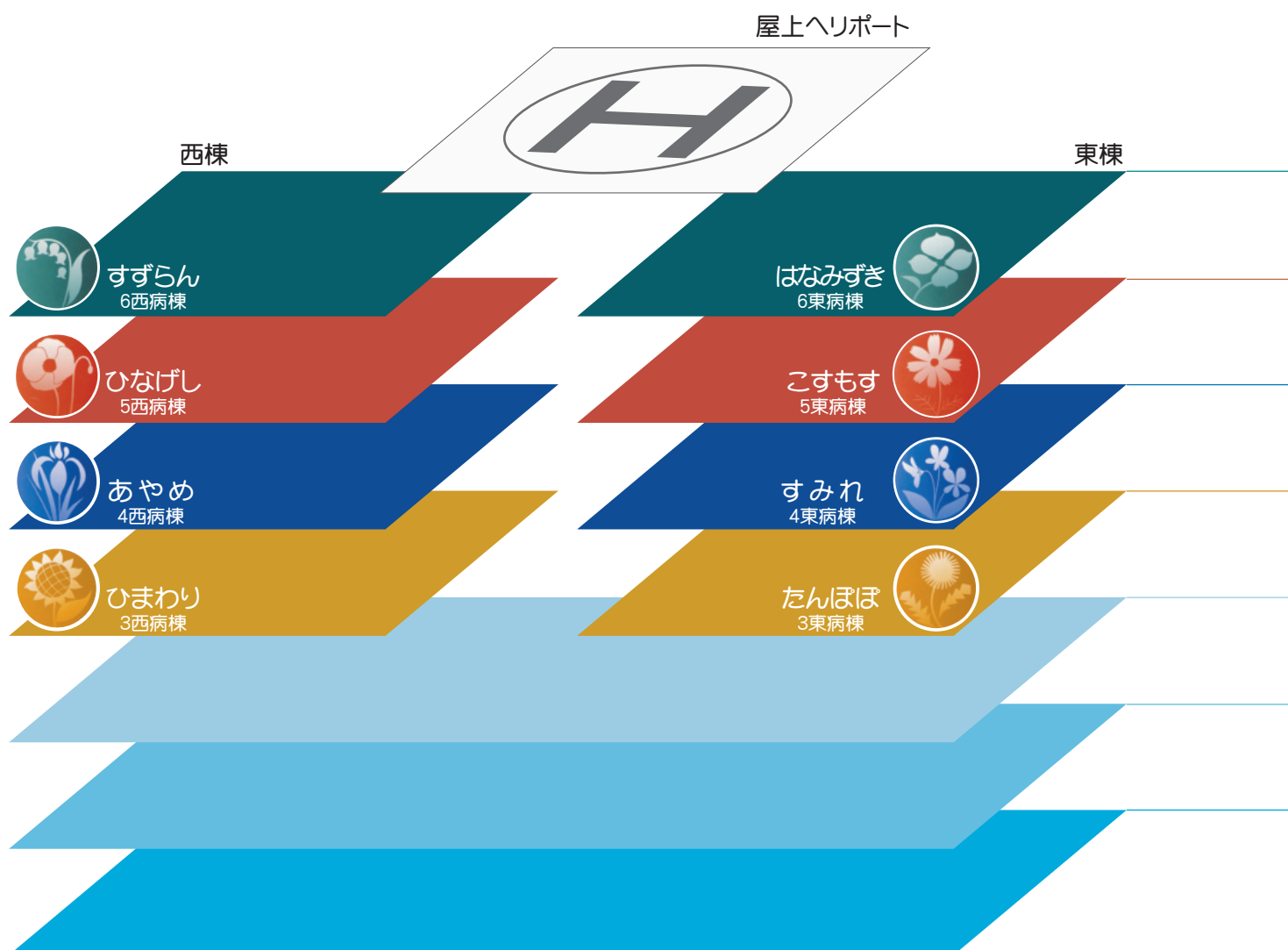
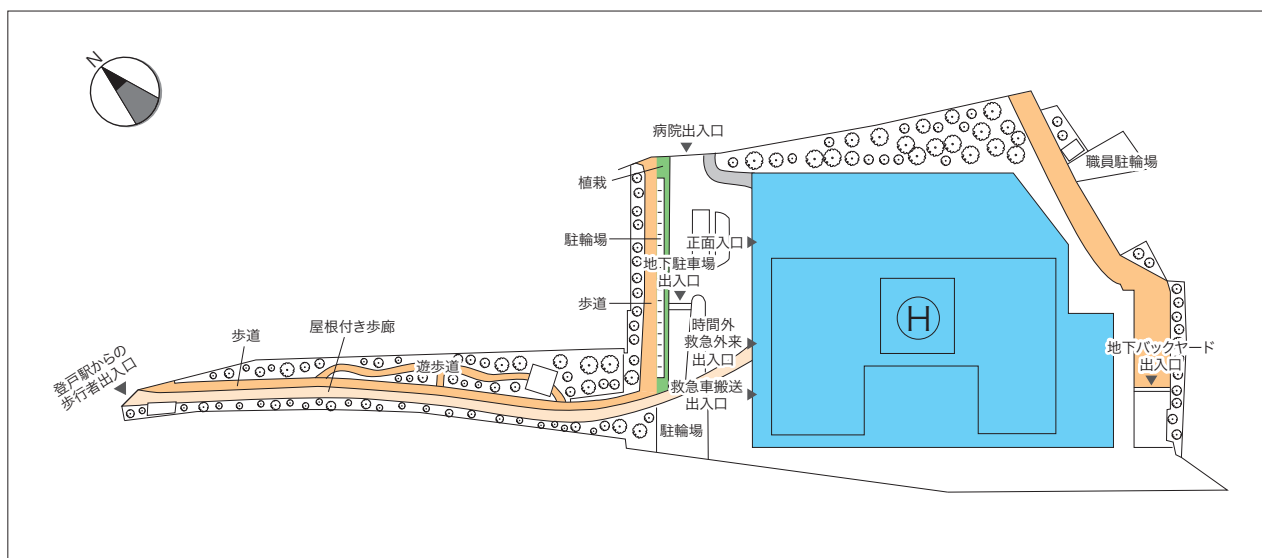
[目次へ戻る](#)

施設の概要と病院機構



施設の概要

◆敷地配置図



◇建物各階配置図

6F



すずらん (48)
6西病棟

- 整形外科 ●眼科
- 耳鼻咽喉科 ●歯科口腔外科



はなみずき (48)
6東病棟

- 消化器・一般外科 ●眼科
- 泌尿器科 ●乳腺・内分泌外科
- 形成外科 ●皮膚科

5F



ひなげし (48)
5西病棟

- 脳神経内科 ●脳神経外科
- 呼吸器内科



こすもす (48)
5東病棟

- 総合診療内科 ●代謝・内分泌内科
- (医療措置協定に伴う確保病床)

4F



あやめ (48)
4西病棟

- 消化器内科 ●総合診療内科
- 血液内科 ●呼吸器内科



すみれ (48)
4東病棟

- 循環器内科 ●腎臓・高血圧内科
- 脳神経内科

3F



ひまわり (30)
3西病棟

- 産婦人科
- NCU (未熟児)



たんぽぽ (48 院内休床 7床)
3東病棟

- 小児科 (29床) (ちびっこガーデン)
- 緩和ケア内科 (12床)

- セントラルガーデン
- さわやかガーデン

2F

リハビリテーション科・腎センター・手術部・病理診断科・検体検査室・医療情報部

管理部門 病院長室・副院長室・診療科部長室・准教授室・講師室・総合医局・研修医室・研究室・登録医室
看護部長室・看護部管理室・事務部長室・総務課・図書室・講堂・会議室

1F

総合案内ホール・医療相談センター・総合受付・各科外来診察室／処置室・赤ちゃん休憩コーナー・
救急災害医療センター・集中治療室 (10床) ・
画像診断部・臨床検査部・医事課・防災管理室 コンビニ (売店)

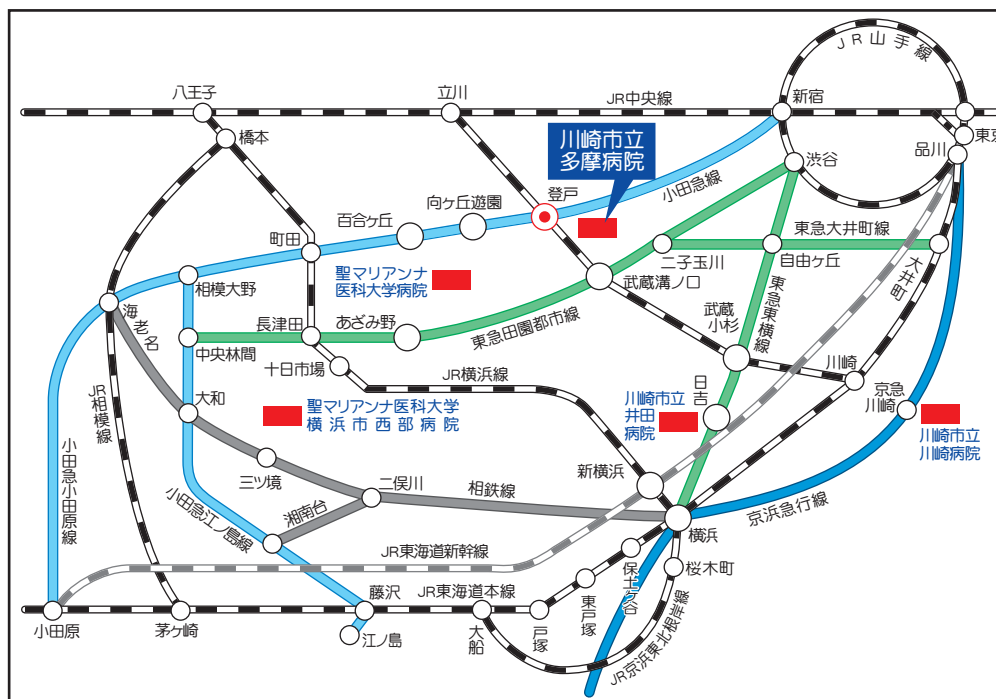
B1F

内視鏡センター・薬剤部・栄養部・クリニカルエンジニア部・医療安全管理室・健康診断部・
MC室・物流センター・中央滅菌室・中央監視室

◇所在地

神奈川県川崎市多摩区宿河原 1-30-37 電話：044-933-8111（代表）

◇交通案内



● 電車／小田急線・JR 南武線登戸駅徒歩 3 分

● バス／※営生車庫、神木本町方面から

登 05 系統 登戸行き「登戸」下車（登戸駅南北自由通路を渡ってください）

登 06 系統 カリタス学園行き「多摩病院前」下車

※カリタス学園方面から

登 06 系統 営生車庫行き、又は鷺ヶ峰営業所前行き「多摩病院前」下車

登 21 系統 新船島橋行き「多摩病院前」下車

※西菅団地、城下方面から

登 14 系統 登戸駅行き、又は向ヶ丘遊園駅入口行き「登戸駅」下車

（登戸駅南北自由通路を渡ってください）

● 車／市道小杉菅線を宿河原方面から左折していただき地下駐車場をご利用ください（178 台収容 有料）

◇建物の概要

病 床 数	376 床
規 模	病院棟 SRC (免震構造) 地下 2 階 地上 6 階 塔屋 1 階
	駐車場棟 RC 造 地下 3 階
面 積	敷地面積 14,260.73m ²
	建築面積 6,826.20m ²
	延べ面積 35,620.15m ²
駐車台数	178 台

★電気設備概要

高圧受変電設備	6.6kV	2 回線引込方式	
非常用発電設備	ガスタービン発電装置	1,000kVA	
燃料電池設備	200kw	→ 使用停止中	
C G S 設備	400kw	2 台	
蓄電池設備			
太陽光発電設備	20kw		
CVCF 設備	150kVA	情報系	50kVA
避雷設備			
ヘリポート照明設備			
電話交換設備			
中央監視設備			
防災管理設備			
その他	動力、電灯、コンセント、非常照明、誘導灯、防犯カメラ、入退出管理システム、 全館放送、人感センサー、ナースコール、インターホーン		

★空調換気設備概要

空調設備	
○熱源機器設備	
炉筒煙管ボイラ (都市ガス、灯油切替燃焼、3,000kg/h)	2 基
小型貫流ボイラ (都市ガス燃焼、1,200kg/h)	1 基
排ガスボイラ (CGS 排熱、325kg/h)	2 基
排熱投入型吸収冷温水機 (都市ガス、灯油切替燃焼、1,582kg/h)	2 基
蒸気吸収冷凍機 (844kw)	1 基
クリーン蒸気発生器 (200kg/h × 10 基)	10 基
ブラインチラー (冷凍能力 41.4 トン)	1 基
水冷チラー (冷凍能力 22.19 トン)	1 基
○冷却塔	
吸収冷温水機用	2 台
蒸気吸収冷凍機用	1 台
ブラインチラー用	1 台
水冷チラー用	1 台
燃料電池用	1 台 (使用停止中)
CGS 用	2 台
○空気調和機	
エアーハンドリングユニット	
ファンコイルユニット	
クリーンファンユニット	
○ビル用マルチエアコン	
換気設備	
排煙設備	
自動制御設備	
中央監視設備	

★給排水衛生設備概要

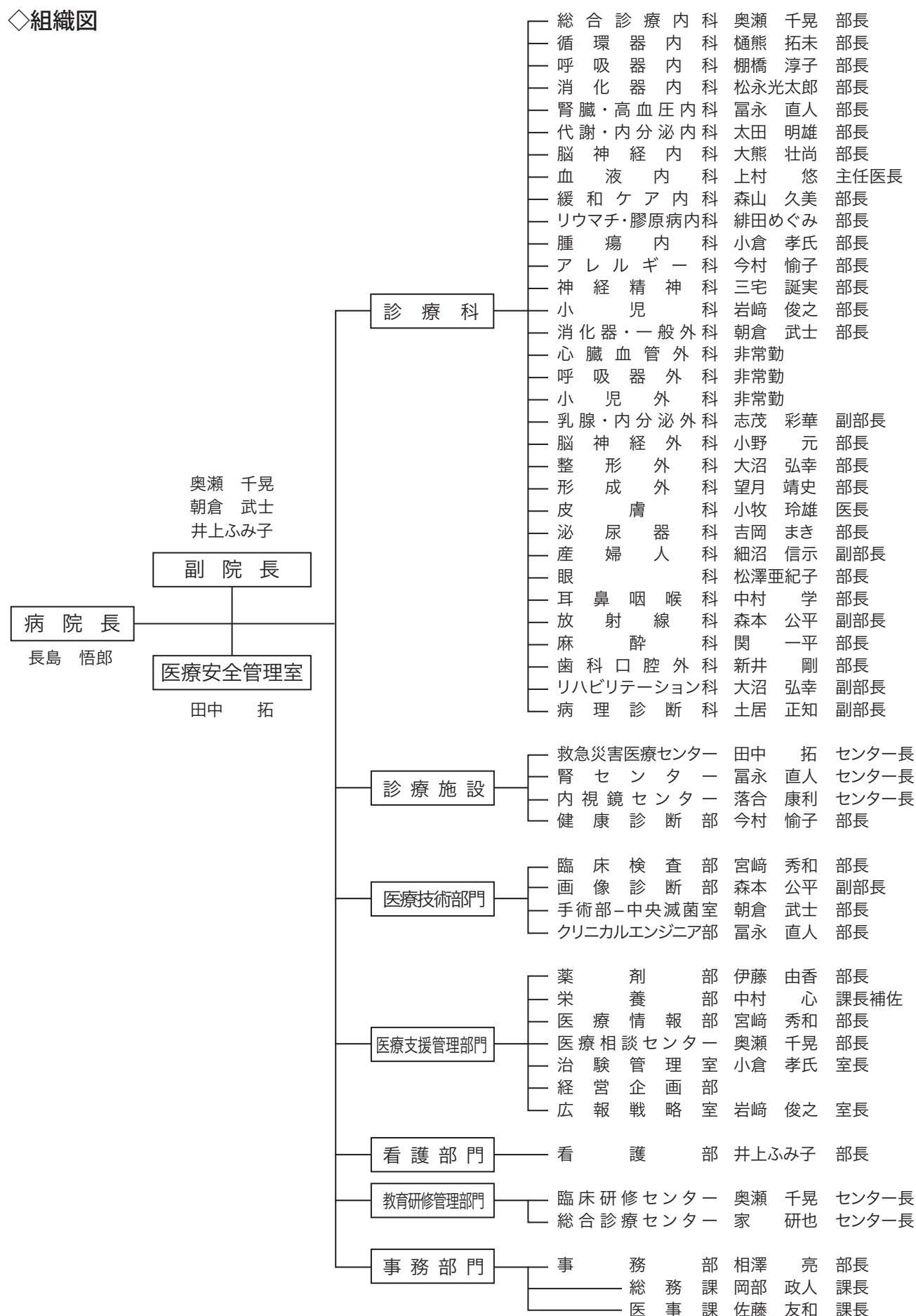
給水設備	
上水受水槽 (SUS 製 63m ³)	2 基
雑用水受水槽 (地下ピット内 800m ³)	1 基
冷却水受水槽 (地下ピット内 (上水) 140m ³)	1 基
給湯設備	
貯湯槽 (3,000 ℓ)	2 基
予熱槽 (6,000 ℓ)	2 基
排水設備	
排水貯留槽 (免震ピット下部 840m ³)	
衛生器具設備、電気設備、ガス設備 (中圧・低圧)、消火設備	
厨房器具設備、医療ガス設備、医療水設備、中水処理設備	
洗濯設備、廃棄物処理設備、特殊沐浴設備、自動灌水設備	
脱臭設備、各種配管設備、搬送設備	

★昇降機設備概要

乗 用 (15 人乗)	3 台
搬送用 (寝台用 15 人乗)	3 台
〃 (滅菌機器用 9 人乗)	1 台
乗 用 (駐車場棟 15 人乗)	1 台
人荷用 (給食用 30 人乗 2,000kg)	1 台
搬送用 (屋上ヘリポート用リフト 11 人乗)	1 台
小荷物専用	3 台

病院機構

◇組織図



◇会議・各種委員会等

	会議・委員会等の名称				
会 議	病院長補佐会議				
	病院長会議				
	管理運営会議				
	経営企画会議				
ク リ ニ カ ル ・ マ ネ ー ジ メ ン ト 委 員 会	外来運営委員会				
	病棟運営委員会 (ベッドコントロール+ICU)				
	クリニカルパス委員会				
	医療情報システム運営委員会				
	DPC 管理・診療情報委員会				
	重障児短期入所委員会	重障児短期入所運営推進部会			
	化学療法運営委員会				
	救急災害医療センター運営委員会				
	手術部運営委員会	術後疼痛管理チーム			
	輸血・臨床検査委員会				
	薬事委員会(薬剤管理委員会)				
	医療器材委員会 (物流センター運営部会)				
	NST・栄養管理委員会	NST チーム (栄養サポートチーム)			
	褥瘡対策委員会	褥瘡対策チーム			
	緩和ケア委員会	緩和ケア病棟運営部会	緩和ケアチーム		
	リハビリテーション運営委員会	二次性骨折予防チーム			
セ ー フ テ ィ ・ コ ン ト ロ ー ル 委 員 会	呼吸管理委員会				
	レセプト審査委員会				
	医療安全管理委員会	医療安全推進部会	病理・画像レポート未読 チーム	転倒転落予防チーム	CV チーム
	セーフティマネジメント委員会				
	医療機器安全管理委員会 (透析機器安全管理委員会)				
	放射線安全管理委員会				
	院内感染対策委員会 (医療廃棄物処理対策委員会)	感染対策チーム (ICT)	抗菌薬適正使用支援 チーム (AST)		
	災害・防火管理委員会	DMAT 部会			
	医療ガス安全対策委員会				
	安全衛生委員会				
	個人情報・研究倫理委員会(研究・ 文書審査部会、カルテ開示部会・臓器移植部会、 治験運営委員会、高難度新規医療技術)				
ク オ リ テ ィ ・ イ ン プ ル ー ブ メ ン ト 委 員 会	臨床倫理委員会(臨床倫・認知 症ケア・身体拘束)	倫理コンサルテーションチーム	認知症ケアチーム (DST)	身体拘束チーム	
	MCAP 委員会				
	地域医療支援病院管理運営委員会 (地域連携研修会)				
	職員環境向上委員会(負担軽減+ レクリエーション+職員研修)				
	医療従事者業務負担軽減検討委員会				
	臨床研修センター運営委員会	診療看護師・特定看護 師小委員会(部会)			
	図書・広報委員会(院内報・ニュースレター)				
	ボランティア・サービス向上委員会				
	TQM 委員会	5S 推進部会	病院機能評価部会	SDGs 部会	
	病院実習管理委員会				
	省エネルギー委員会				

◇職員部門別総括表

令和6年4月1日現在（人）

部 門	職 種 ・ 所 属	人 員
診 療 部	病院長	1
	兼務医師	132
	診療助手	7
	研修医	22
	小 計	162
診 療 協 力 部	医療安全管理室	3
	医療技術部門	55
	診療科	36
	診療施設	4
	医療支援管理部門 薬剤部	24
	栄養部	5
	事務部等	71
	小 計	198
看 護 部	助産師	20
	看護師等	465
	看護助手	6
	保育士等	3
	小 計	494
合 計		854

目次へ戻る

◇医師科別内訳

令和6年4月1日現在（人）

区 分 科 別	教 員						職 員			合 計
	教 授	准教授	講 師	助 教	任期付助教	計	診療助手	研修医	計	
総合診療内科	1	1		8	22	32	1	2	3	35
循環器内科		1	2	3	2	8			0	8
呼吸器内科			1	2		3		1	1	4
消化器内科	1	2		3	1	7		1	1	8
腎臓・高血圧内科	1			2	3	6		1	1	7
代謝・内分泌内科	1			2	1	4		1	1	5
脳神経内科	1			2	1	4	1	2	3	7
血液内科	1			1		2			0	2
リウマチ・膠原病内科		1				1			0	1
アレルギー科			1			1			0	1
腫瘍内科			1			1			0	1
緩和ケア内科		1				1			0	1
神経精神科		1			1	2			0	2
小児科	1			4	1	6		2	2	8
消化器・一般外科	1	2	2	3		8		1	1	9
乳腺・内分泌外科			1			1			0	1
脳神経外科	1	1	1		1	4	1		1	5
整形外科			1	2	1	4	2		2	6
形成外科				2	1	3			0	3
皮膚科				1	1	2			0	2
泌尿器外科			1	1		2	1		1	3
産婦人科				3	2	5	1	1	2	7
眼科			2	2	1	5			0	5
耳鼻咽喉科			1		2	3			0	3
放射線科			1	3	1	5		1	1	6
麻酔科	1			4	1	6		1	1	7
歯科口腔外科	1	1		1		3		2	2	5
救急災害医療センター		1		3	1	5		3	3	8
他院								3		
臨 床 計	11	12	15	52	44	134	7	22	29	163
病理診断科			1	1		2			0	2
合 計	11	12	16	53	44	136	7	22	29	165

目次へ戻る

◇診療協力部門他内訳

令和6年4月1日現在（人）

職 種 部門別		看護師	薬剤師	臨床検査技師	診療放射線技師	管理栄養士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床工学技士	ソーシャルワーカー	臨床心理士	視能訓練士	歯科衛生士	事務員	医師事務 作業補助者	電話交換手	計
医療安全管理室		2													1			3
医療技術部門	臨床検査部			21														21
	画像診断部				22													22
	クリニカルエンジニア部									12								12
診療科	神経精神科											1						1
	眼 科												4					4
	歯科口腔外科													3				3
	リハビリテーション科						16	5	2									23
	病理診断科			5														5
診療施設	健康診断部														4			4
	腎センター																	0
医療支援管理部門	薬剤部		24															24
	栄養部					5												5
	医療情報部														10			10
	医療相談センター										6				6			12
	治験管理室																	0
	広報戦略室														1			1
	事務部	事務部													3			3
		総務課													18	4	3	25
		医事課													20			20
合 計		2	24	26	22	5	16	5	2	12	6	1	4	3	63	4	3	198

目次へ戻る

◇看護部内訳

令和6年4月1日現在（人）

職 種 所 属		助産師	看護師等	計	保育士等	看護助手	事務等	合 計	看護助手		クラーク	
									パート	派遣	パート	派遣
看 護 部（休職含）		1	43	44			2	46				
3階東病棟（一般）			18	18				18	2			
3階東病棟（小児）		1	17	18	1			19	1	1	1	
3階西病棟		17	10	27				27	1	1		1
4階東病棟			36	36		1		37	1	4	1	
4階西病棟			36	36				36	1	5		1
5階東病棟			37	37		1		38	1	4		1
5階西病棟			33	33		1		34	3	4		1
6階東病棟			36	36		2		38		5		1
6階西病棟			36	36				36	1	4		1
ICU			31	31				31	1			1
救急災害医療センター			20	20				20		1		1
腎センター			19	19				19		1		
外 来		1	35	36				36	4	12		
医療相談センター			14	14				14				
画像診断部・内視鏡センター			15	15				15	1	1		
手 術 部			29	29		1		30	1			
合 計		20	465	485	1	6	2	494	18	43	2	8

目次へ戻る

◇業務委託実績

委託業務名	委 託 内 容
医事業務	公費受付、電算入力 等
診療報酬請求業務	歯科・口腔外科分診療報酬請求（一部）
クラーク業務	歯科・口腔外科、救急災害医療センター受付
搬送業務	院内物品・機器・器材類・薬剤等搬送
物流管理業務	SPD（院内物品管理）
医薬品等管理業務	SPD（医薬品等在庫管理等）
滅菌業務	医療器械及び医療材料の洗浄・滅菌 等
警備業務	敷地内の保安警備、防災センター監視、電話交換（時間外）、面会受付等
駐車場管理業務	入出庫管理、精算機・売上管理、駐車場管制機器管理
患者給食業務	調理、盛り付け、配膳、下膳、食器洗浄 等
検査業務	一般・血液・生化学・血清・細菌・便検査 等
施設設備保守管理業務	機械設備管理・運転監視・記録・報告、非常用自家発電、空調換気、医療ガス、冷却塔水処理、排水処理、昇降機、自動扉、消防、合成空気供給、ナースコール、構内交換機 等設備保守
医療機器保守管理業務	超電導磁気共鳴診断装置 等
清掃業務	院内（病棟区域・外来区域・清潔区域）、構内、受水槽等清掃
廃棄物処理業務	一般・産業・感染性廃棄物、ミックスペーパー収集運搬処理
リネン類管理業務	入院患者寝具・洗濯・病棟配布、患者用検査着・タオル・職員用作業着・手術着等洗濯管理業務、当直用寝具貸出・ベッドメイキング、カーテン洗濯、コ・メディカル白衣洗濯 等
その他	院内緑地管理、排水分析、廃液処理、解剖臓器・胎盤処理、害虫駆除、歯科技工、煤煙測定、作業環境測定 等

[目次へ戻る](#)

◇主要医療機器・備品（取得価格 160 万円以上）

品 名	規 格	数量	所属別
保育器（小児科用）	Caleo H	1	3 階西病棟
分娩室用無影灯	X10SFDUO 型	1	3 階西病棟
保育器（新生児室用）	Caleo Basic	1	3 階西病棟
検診台メグジョイ EX フルフラット / 回転タイプ	1146150 他	1	3 階西病棟
分娩監視装置アバロン	FM-20	1	3 階西病棟
分娩監視装置	FM-20 一式	1	3 階西病棟
分娩台マミージョイ LDR	14320 他	2	3 階西病棟
搬送用保育器	TI-500	1	3 階西病棟
分娩監視装置	FM-20	1	3 階西病棟
分娩台マミージョイ LDR	14320/14362/14363/14375	1	3 階西病棟
医用テレメーター式	WEP-1400-Z02 他	1	3 階西病棟
分部監視装置	FM-20 他	1	3 階西病棟
分娩監視装置	FM-20 他	5	3 階西病棟
患者監視カメラシステム	ドーム型カメラ カメラコントロールユニット他	1	3 階東病棟
脳波計ニューロファックス	EEG-1200 他	1	3 階東病棟
医用テレメータ（8 人用）	WEP-5268/PVM-2703-Q21 他	2	3 階東病棟
セントラルモニタ（16 人用）	CNS-6101/PU611R/VL612P 他	1	4 階西病棟
血液成分分析装置	9008021	1	4 階西病棟
ユニットバス型施設向け入浴装置（ユニットバス浴槽）	UCB-100	1	4 階西病棟
ユニットバス型施設向け入浴装置（入浴用車椅子）	UCB-110C	1	4 階西病棟
セントラルモニタ	CNS-9601 他一式	1	4 階東病棟
超音波画像診断装置（画像診断部）	Viamo SSA-640A/J1	1	4 階東病棟
セントラルモニタ	CNS-9601	1	4 階東病棟
超音波診断装置	CX50	1	4 階東病棟
超音波画像診断装置	Aplio a450	1	4 階東病棟
セントラルモニター式	CNS-6201	2	4 階東病棟
生体情報モニタリングシステム CNS-6201	PU-621R 他	1	5 階東病棟
空気感染隔離ユニット ミンティ ECU ハンドルセット	ECU4B1000 他	2	5 階東病棟
超音波画像診断装置	CX-50	1	5 階東病棟
筋電図誘発電位検査装置 ニューロパック S1	MEB-94002MB 他	1	5 階西病棟
セントラルモニター式	PU-621R 等	1	5 階西病棟
セントラルモニタ（12 人仕様）	WEP-1400 他	1	6 階西病棟
セントラルモニタ（12 人仕様）	WEP-5208 他	1	6 階東病棟
器具除染用洗浄器 ウォッシャーディスインフェクター	AW-150	1	6 階東病棟
汎用超音波画像診断装置 SonoSite iViz	タブレット型超音波診断装置 iViz	1	ICU
遠隔 ICU システム一式	ネットワークカメラ一式	1	ICU
会計案内表示システム	CTP1100* 2/DPCT* 2 他	1	医事課
自動精算機	TH-X	2	医事課
医療安全管理システム	セーフティアシスタント	1	医療安全管理室
超音波画像診断装置	SonoSite S II	3	医療機器安全管理
地域医療システム Human Bridge システム専用サーバ	Human Bridge システム専用サーバ	1	医療情報部
経営支援システム（Medical Code）一式	DELL PowerEdge T330 他	1	医療情報部
電子カルテ参照システム	-	1	医療情報部
生理検査システム	-	1	医療情報部
内視鏡システム	-	1	医療情報部
電子カルテ参照システム	-	1	医療情報部
画像検査参照システム	-	1	医療情報部
コンビオープン	FSCCWE201	1	栄養部
厨芥処理機（脱水機 粉碎機）	YS-1000T SS-156GLL	1	栄養部
サーパス自動洗浄機	SRA	1	栄養部

品 名	規 格	数量	所属別
フードスライサー	MK-202	1	栄養部
冷温蔵配膳車	FCRWDN48NA	15	栄養部
食缶洗浄機	FV250.2 (H)	1	栄養部
メディネットシステム一式	50 インター 5 組一式	1	外来通路
超電導磁気共鳴断層撮影システム (MRI) (循環器用)	1.5TAchivaNOVA	1	画像診断部
超電導磁気共鳴断層撮影システム (MRI) (脳神経用外科)	1.5TAchivaNOVA	1	画像診断部
大動脈バルーンポンプ	CS100 他	1	画像診断部
面積線量計	DIAMENTOR システム一式	1	画像診断部
EIZO ディスプレイ及び検像システム	RadiForce GS521-CLG	1	画像診断部
超音波診断装置 Aplio400	TUS-A400/W1	1	画像診断部
大動脈バルーンポンプ	CS300	1	画像診断部
非目視下非鏡視下処置用電気手術器 RF-Generator	RFP-100-115	1	画像診断部
超音波画像診断装置	ACUSON X300PE	1	画像診断部
循環器部門情報統合システム (動画ネットワークサーバ)	Cardio AgentPro	1	画像診断部
X 線骨密度測定装置	Horizen	1	画像診断部
臨床用ポリグラフ	RMC-5000M	1	画像診断部
超音波診断装置	EPIQ7G 他	1	画像診断部
X 線ポータブル・FFD 撮影システム一式	MobileArtEvolution CALNEO Smart/Console	1	画像診断部
超音波画像診断装置	Aplio a450	1	画像診断部
CD パブリッシャー	PP-100 III 他	1	画像診断部
超音波画像診断装置	CX50 Xper	1	画像診断部
超音波画像診断装置	ARIETTA850	1	画像診断部
デジタル X 線透視撮影システム	CUREVISTA Open 他	1	画像診断部
回診用 X 線撮影装置	CALNEO Go PLUS	1	画像診断部
一般 X 線撮影 間接変換 FPD 装置	CALNEO smart	1	画像診断部
診断用 X 線装置	DR BENEEO eX 他	1	画像診断部
診断用 X 線装置	DR BENEEO Fx 他	2	画像診断部
80 列 C T システム	Aquilion PRIME Focus Edition	1	画像診断部
320 列エリアディテクタ CT システム	Aquilion-ONE NATURE	1	画像診断部
画像サーバー NAS	SNAS01W-32 他	1	画像診断部
据置型デジタル式循環器用 X 線透視診断装置 (IVR-CT システム)	Alphenix INFX-8000C	1	画像診断部
デジタル式乳房 X 線撮影装置	SELENIA Dimensions	1	画像診断部
超音波診断装置	EPIQ7	1	画像診断部
デジタル X 線透視撮影システム	CUREVISTA Open	1	画像診断部
移動型 X 線撮影装置 (ポータブル撮影装置)	SIRIUS FPD-P 他	1	画像診断部
マルチカラーレーザー光凝固装置	0642-000-00S	1	眼科
眼底カメラ + 画像ファイリングセット	VX-10 KOS-KX VK-2	1	眼科
電気眼振計	PEG-2000	1	眼科
レーザーフレアメーター	FM-500	1	眼科
スリットランプ	SL130 AT020 他	2	眼科
網膜電位測定装置	LE-2000	1	眼科
デジタルペリメーター	デジタルエクシジョンペリメーター MT-325UD 他	1	眼科
ハンディオートレフケラトメーター	レチノマックス K プラス 2	1	眼科
角膜形状屈折力解析装置	ウェーブフロントアナライザー KR-1W	1	眼科
光学式眼軸長測定装置	OA-2000	1	眼科
スペキュラーマイクロスコープ	EM-4000	1	眼科
オートレフケラトメーター式	ARK-1 s	1	眼科
シラス HD-OCT premium	モデル 6000	1	眼科
超音波計測・診断システム	UD-8000AB セット	1	眼科
ハンフリーフィールドアナライザー	HFA850 他	1	眼科
全眼部 3 次元光干渉断層計 (OCT)	CASIA2	1	眼科

品 名	規 格	数量	所属別
タンゴオフサルミックレーザー	TANGO_N-TW	1	眼科
経皮の心肺補助装置	キャピオックス EBS	1	救急災害医療センター
ビーム式シーリングペンダント	Ponta E/S	7	救急災害医療センター
連続心肺出量測定装置	CEDV モニター VGSVSVSIG2	3	救急災害医療センター
アーム式シーリングペンダント（CCU 用）	movita Warm + Warm	3	救急災害医療センター
デジタルペリメーター体重計付 ICU ベッド	KA-8530A KE-803	1	救急災害医療センター
無侵襲混合血酸素飽和度監視システム	INVOS5100C	1	救急災害医療センター
ビジレオモニター	MHM1	1	救急災害医療センター
超音波画像診断装置 Viamo	SSA-640A/J1	1	救急災害医療センター
超音波画像診断装置 Aplio300	TUS-A300/W1 他	1	救急災害医療センター
中心静脈留置型経皮的体温調節装置システム	8700-0650-03	1	救急災害医療センター
生体情報管理システム（重症患者システム）	CAP-2100・BSM-6501・CNS-6201	1	救急災害医療センター
ベッドサイドモニタ BSM-6701	MU-671R-Q20 他	1	救急災害医療センター
陽圧式人工呼吸器	1076709 他	1	救急災害医療センター
汎用超音波画像診断装置	Venue R2 他	1	救急災害医療センター
ブランケットロールⅢ	本体セット	1	救急災害医療センター
無侵襲混合血飽和度測定装置一式	INVOS 5100C 他一式	1	救急災害医療センター
セントラルモニタ	CNS-2101/WS-140P 他	1	救急災害医療センター
ビジランスヘモダイナミックモニター Vigilance II	VIG2	2	救急災害医療センター
ME 機器管理システム	HOSMA Standard	1	クリニカルエンジニア部
除細動器	TEC-7731	1	クリニカルエンジニア部
フローアナライザ（測定機器）	PF-300	1	クリニカルエンジニア部
人工呼吸器ベンチレータ 840	PB840-JP3T	1	クリニカルエンジニア部
輸液ポンプテスト	IDA-5	1	クリニカルエンジニア部
陽圧式人工呼吸器	TrilogyO2(MR850 加温加湿器仕様)	1	クリニカルエンジニア部
麻酔器 Fabius Plus	Fabius GS Premium 他	1	クリニカルエンジニア部
人工呼吸器	PB980-S	1	クリニカルエンジニア部
除細動器	TEC-5631 他	1	クリニカルエンジニア部
ベッドサイドモニタ	CSM-1502	1	クリニカルエンジニア部
人工呼吸器	V60 ベンチレータ AT+	2	クリニカルエンジニア部
キャピオックス経皮的な心肺補助装置	SP-200 他	1	クリニカルエンジニア部
人工呼吸器	PB980 typeU	1	クリニカルエンジニア部
人工呼吸器	トリロジー O2plus	1	クリニカルエンジニア部
ベッドサイドモニタ	CSM-1502	3	クリニカルエンジニア部
セントラルモニタ（8 人仕様）	WEP-1450 他	1	クリニカルエンジニア部
人工呼吸器	PB980 typeU	8	クリニカルエンジニア部
搬送用人工呼吸器	MONNAL T-60	4	クリニカルエンジニア部
8 人仕様医用テレメーター式	WEP-1450-Z04 他	2	クリニカルエンジニア部
人工呼吸器	NKV-330	3	クリニカルエンジニア部
人工呼吸器	HAMILTON-MR1	2	クリニカルエンジニア部
小児用ネーザルハイフロー式	FP-OA2030EP 他	1	クリニカルエンジニア部
Prucka 心臓カテーテルモニタリングシステム一式	Combolab XT128ch6.9.5	1	血管撮影室
血管撮影装置	Artis zee BA Twin PURE	1	血管撮影室
超音波画像診断装置	Xario100G	1	血管撮影室
血管治療器具 ロータブレーター PRO	H74939309060	1	血管撮影室
ペースメーカー電極アナライザカーディアックスティムレータ	SEC-5104	1	血管撮影室
ノンコンタクトトノメーター	FT-1000	1	健康診断部
無散瞳眼底カメラ	CR-Dgi	1	健康診断部
経皮血液ガスモニタ	TCM5 他	1	呼吸器内科
全自動遺伝子解析装置	GENECUBE	1	細菌検査室
BD マックス	441916	1	細菌検査室

品 名	規 格	数量	所属別
畜尿管理システム ウロミニククライアントサーバプレイス	URO-PC-SERVER	1	サブサーバ室
超音波診断装置（外来）	LOGIQ BOOK XP	1	産婦人科
超音波診断装置（産婦人科外来）	本体 SSD-3500 UST-9123 UST-9124	1	産婦人科
電子内視鏡システム（ヒステロスコープ）	HYF-V HYF-XP OTV-S7V-F 他	1	産婦人科
コルポスコープシステム	OCS-500D 他	1	産婦人科
超音波診断装置 Xario	SSA-600 A/LG	1	産婦人科
超音波画像診断装置 Xario200	TUS-X200 他	1	産婦人科
超音波画像診断装置	Xario200 Tuus-x200 一式	1	産婦人科
汎用超音波画像診断装置	Voluson P8	1	産婦人科
解放型保育器	23586 他	2	産婦人科
検診台メグジョイ EX フルフラット / 回転タイプ	1147675 他	1	産婦人科
超音波画像診断装置	Voluson P8	1	産婦人科
検診台メグジョイナチュラル	11476	1	産婦人科
超音波画像診断装置	Xario200Platinum	1	産婦人科
産婦人科検診台	DG-7300 ES19	1	産婦人科
歯科用ハンドピース一式	タービンハンドピース OFJ-TZL 他	1	歯科口腔外科
パノラマ・セファロ X 線撮影装置	AZ-3000CMR	1	歯科口腔外科
歯科用治療用装置（治療台）	N-L253LL	2	歯科口腔外科
歯科用治療用装置（治療台）	N-ML253LL	1	歯科口腔外科
歯科医療配管設備及びキャビネット		1	歯科口腔外科
デジタル画像管理システム	DDX-S3 一式	1	歯科口腔外科
耳鼻科診療ユニット	エクセレンス他	2	耳鼻咽喉科
下甲介焼却装置	バイポーラ電源装置 celonlabENT	1	耳鼻咽喉科
耳鼻科用全自動式電動治療椅子	EMC- II PS 型	2	耳鼻咽喉科
重心動揺計グラビコーダ	GW-31 他	1	耳鼻咽喉科
内視鏡ビデオシステム	OTV-SI2 他	1	耳鼻咽喉科
高解像硬性鼻咽喉鏡一式	WA4KS400 他	1	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉ビデオスコープ	ENF-VH	1	耳鼻咽喉科
内視鏡ビデオ画像プロセッサ ビデオシステムセンター	OTV-S190 他	1	耳鼻咽喉科
体外衝撃波結石破碎装置	Lithotripter D	1	手術室
IMAGE IHD ビデオカメラシステム	KNDS90X0515 他	1	手術室
クランク型脳神経外科内視鏡	A 81000 A	1	手術室
ファイバー尿管鏡	K11278A1	1	手術室
カミノアドバンスモニタ	CAM01	1	手術室
ヘッドフレームセット II 型	07-980-06 他	1	手術室
ビジレオモニター	MHM1	1	手術室
眼底観察システム	Resight700	1	手術室
超音波診断装置 Prosound α	プロサウンド α 6	1	手術室
手術用顕微鏡システム（眼科）	OPMI PENTERO 900	1	手術室
ラジオ波焼灼装置	Cool-TipRF ジェネレーター	1	手術室
リトクラストシステム	845-500	1	手術室
VISERA 膀胱腎盂ビデオスコープ	CYF-VA2	1	手術室
システム 7 ヘビーデューティパワーツール	7205-000-000 他	1	手術室
手術用顕微鏡用 HD カメラシステム	フルハイビジョンシステム	1	手術室
ヘッドライトシステム	MLH	1	手術室
オリンパス腹腔・胸腔鏡用 TV システム	VISERA ERITE	1	手術室
超音波破碎吸引装置	CUSA Excel Plus 一式	1	手術室
手術支援システム Prime Gaia	PRM-7500	1	手術室
STORZ カメラシステム	STORZ 手術室カメラシステム	1	手術室
ハイスピードドリル Anspach EG1	EG1A 他	1	手術室
ベッドサイドモニタ BSM-6701	MU-671R-Q20 他	1	手術室

品 名	規 格	数量	所属別
光学視管	7229AA 他	1	手術室
手術顕微鏡用スリットランプ	VISULUX	1	手術室
コア電動マイクロドリルシステム一式	6400-099-000 他	1	手術室
全身麻酔器	Fabius GS Premium	1	手術室
手術顕微鏡	OPMI Lumera700	1	手術室
SP モータードリルセット	SPD01	1	手術室
ダイオキスパワーIIコントロールシステム	72201030 他	1	手術室
AEX ジェネレーター	40-405-1	1	手術室
超音波画像診断装置	ARIETTA65	1	手術室
超音波画像診断装置	Xario100G	1	手術室
ミニCアーム	TAU15X15	1	手術室
手術用照明器一式	POWERLED II 75DF 他	1	手術室
手術映像システム一式	特型	1	手術室
エアシール インテリジェントフローシステム一式	AS-iFS1 他	1	手術室
テーブルモーション手術台	1841049 TruSystem TS7000 d v 他	1	手術室
液晶モニター一式	LMD-X3200MD 4K32 型モニター一式	1	手術室
液晶モニター及びビデオレコーダー一式	KLMD-X310MT 4K1/3D モニタ 他	1	手術室
シンクシステム（恒温・超音波槽付）一式	SS-2150Z 3 槽	1	手術室
シンクシステム一式	SS-1200Z 1 槽	1	手術室
全身麻酔器	Atlan A350XL Fi02	1	手術室
放射線検出装置ネオプローブ	NPCU4	1	手術室
電動式パワードリルシステム	基本セット 500-050-000-S1 他	1	手術室
光学視管セット	ホプキンスIIテレスコプ 他	1	手術室
鏡視下手術システム シーリングタイプ	IMAGE1 コントロールユニット K2220011U14 他	2	手術室
手術台	アルファマックス 1133	3	手術室
内視鏡下椎間板切除システム	METR x	1	手術室
バッテリードライバースystem	システム5コードレスバッテリーパワーシステム	1	手術室
ヒステロレゼクトスコープセット	IMAGE1 P1 1CCD カメラヘッド 他	1	手術室
手術用膀胱尿道鏡セット	ホプキンスIIテレスコプ 他	1	手術室
レゼクトスコープセット	ホプキンスIIテレスコプ 他	1	手術室
鏡視下手術システム トロリータイプ	IMAGE1 コントロールユニット K2220011U14 他	1	手術室
ヒステロスコープセット	IMAGE1 P1 1CCD カメラヘッド 他	1	手術室
鏡視下鉗子婦人科セット	IMAGE1 P1 1CCD カメラヘッド 他	1	手術室
アーム式シーリングペンダント（手術室用）	スレーブ モニターアーム	2	手術室
高規格全身麻酔器	ファビウス GS	3	手術室
手術用无影灯	6401 ACS/DF/VZ PRVZOOM NTSC	3	手術室
頭部固定装置	メイフィールド 型頭部固定装置	1	手術室
XPS ドリルシステム	XPS ドリルシステム モデル 3000 他	1	手術室
眼科・口腔外科手術台	アルファスター 1132 型	1	手術室
万能手術台	アルファスター 1132 型	1	手術室
硬性尿管鏡セット	尿管鏡 他	1	手術室
手術用无影灯	4401SAD/DF/VZ PAVZOOM NTSC	2	手術室
ミニプレートシステム	頭蓋顎顔面用骨接合用プレートスクリューシステム	1	手術室
耳鼻科内視鏡セット	IMAGE1 3S 3CCD カメラヘッド 他	1	手術室
腎盂鏡セット	IMAGE1 3S 3CCD カメラヘッド 他	1	手術室
バイポーラ凝固止血器	マリパ 体 ー凝固切開装置 CMC III 80-1170 他	1	手術室
気道式開創器システム	エントラックレトレーションシステム	1	手術室
電動モーターシステム	エラン EC イレグレーション付 GA835 他	1	手術室
手・足関節鏡システム	短身関節鏡 他	1	手術室
鏡視下鉗子呼吸器 VATS セット	CLICLINE 把持鉗子 他	1	手術室
鏡視下鉗子マーゲンセット	IMAGE1 3S 3CCD カメラヘッド 他	1	手術室

品 名	規 格	数量	所属別
高出力半導体レーザー手術装置	オダライトサージ 3000 OSL-3000-3TC	1	手術室
モジュラーハンドシステム	MHS 共通器械セット他	1	手術室
開腹用拡張型開創器	オムニクランプ 他	1	手術室
電動油圧式椅子	マイクロチア MC-860	1	手術室
定位脳手術装置	駒井式 CT 定位脳手術装置	1	手術室
脳べら固定器システム	グリーンバークレタクタープレート 他	1	手術室
電気メス	フォース FX-C	4	手術室
鏡視下鉗子コロンセット	CLICLINE CROCE-OLMI 無傷性把持鉗子 他	1	手術室
眼科用冷凍手術装置	AU-CR4000 AU-CR4010 他	1	手術室
外来用膀胱尿道鏡セット	ホプキンスIIテレスコープ 他	1	手術室
創外固定システム	テックサー創外固定システム	1	手術室
顎関節鏡システム	TMJ ミニスコープセット他	1	手術室
ラジオ波焼灼装置	RF3000	1	手術室
ラジオ波焼灼装置	Cool-TipRF ジェネレーター	1	手術室
乳児・小児用泌尿器科内視鏡セット	光学視管 膀胱鏡用ソース他	1	手術室
タニケットシステム	ATS2000	1	手術室
VISERA 膀胱腎盂ビデオスコープ	CYF-VA2	1	手術室
バーサカットシステム	840-890	1	手術室
サージトロン S	IEC5-S30	1	手術室
外科用 X 線装置 Clearsx	SXT-1000A/29 pe1000	1	手術室
VISERA 腹腔・胸腔ビデオスコープ	LTF-VP 他	1	手術室
エネルギープラットフォーム	FORCETRIAD	2	手術室
コンステレーション	ビジョンシステム LXT	1	手術室
超音波手術システム	SonoSurg-G2	1	手術室
OES Pro レゼクトスコープシステム	K4630A セット	1	手術室
外科用 X 線装置	Clearscope1000 SXT-1000A/29	1	手術室
STORZ カメラセット・光源装置・モニタ付	KCT200EN/KTC300/KTC301 他	1	手術室
セントラルモニタ	CNS-6101/PU-611R 他	1	手術室
ENDOEYE FLEX 先端湾曲ビデオスコープ	LTF-S190-5	1	手術室
頭部固定器 DORO ヘッドレストシステム	3036-00 他	1	手術室
麻酔器 Fabius Plus	Fabius Plus	1	手術室
マルチデブリッターシステム DIEGO ELITE	MDCONS100 他	1	手術室
白内障手術装置	セフクリオン ビジョンシステム	1	手術室
対外衝撃波結石破碎装置	ソノリスアイムーブ	1	手術室
結石破碎レーザー	Qanta Litho レーザ	1	手術室
物質併用電気手術器 エルベ VIO3	TUR/TCR モデル VIO3 (E125003) 他	1	手術室
IMAGE チップフル HD ペンデュラムタイプカメラヘッド	KTH113	2	手術室
万能手術台	1133.22B4 他	1	手術室
Da Vinci サージカルシステム	da Vinci Xi	1	手術室
神経機能検査装置	MEE-2000 Smart	1	手術室
内視鏡ビデオカメラ(超軽量 HD 対応カメラヘッド)	CH-S190-08-LB 他	1	手術室
電気双装置 Force Triad	エネルギープラットフォーム III	1	手術室
手術用顕微鏡一式(脳神経外科用)	OME-9000	1	手術室
鏡視下手術システム一式	OTV-S7 他	1	手術室
脳動脈血流モニタシステム	コンパニオン III	1	手術室
脳波計ニューロファックス一式	EEG-9200 等	1	手術室
VISERA 脳室ビデオスコープ一式	VEF-V 等	1	手術室
カメラシステム一式	1588	1	手術室
エアシールインテリジェントフローシステム	AS-iFS1 他	1	手術室
全身麻酔器	Atlan A300XL	1	手術室
多目的ヘッドフレーム II	07-983-00	1	手術室

品 名	規 格	数量	所属別
ケラク型脳神経外科内視鏡セット	A81010A 他	1	手術室
腹腔鏡ビデオスコープシステムレキシアスコープ一式	LTF-VP 他	1	手術室
ストレングスエルゴ 8	BK-ERG-121	1	循環器内科
超音波画像診断装置	CX50 Xper	1	循環器内科
物質併用電気手術器 エンドカットモデル	E120700	1	消化器内科
搬送用保育器	TI-500	1	小児科
新生児用 AABR 聴力検査装置ネイタスアルゴ 5	25095	1	小児科
HONDA セーフティナビ	3 画面仕様	1	脳神経内科
透析部門中央監視システム	Future Net LX	1	腎センター
アフエーシス装置	Plasauto EZ	1	腎センター
血液浄化装置	TR-525	2	腎センター
高精度体成分分析装置	InBody720	1	腎センター
人工腎臓装置	DCS-100NX 他	1	腎センター
透析装置通信システム一式	DCS-100NX 他	1	腎センター
血液浄化用装置	ACH- Σ	1	腎センター
超音波診断装置	TUS-X100S/MX	2	腎センター
電解質分析装置	EX-G	1	腎センター
個人多用途透析装置	DBB-200Si	2	腎センター
多用途透析用監視装置	DCS-200Si	1	腎センター
皮膚灌流 (SPP) 測定装置	PAD4000	1	腎臓・高血圧内科
血液浄化用装置	TR 55X- II	2	腎臓・高血圧内科
超音波画像診断装置	Aplio a450	1	腎臓・高血圧内科
洗浄・滅菌装置	WUS-3400	1	中央滅菌室
自動運搬装置	リターンコンベア WD-OR/UR	1	中央滅菌室
酸化エチレングス滅菌装置	NSES-G12	1	中央滅菌室
自動式ジェット洗浄装置	WUS-3100H	1	中央滅菌室
酸化エチレングス滅菌装置	NSEV-M09	1	中央滅菌室
洗浄用ラック等一式	WUS-R WUS-MR WUS-IB WUS-D	1	中央滅菌室
高圧蒸気滅菌装置	NSCS-G12	3	中央滅菌室
滅菌コンテナセット		1	中央滅菌室
超音波洗浄装置付システム流し台 (二次洗浄室)		1	中央滅菌室
カートパスボックスシステム (3 列)	MCP-3	1	中央滅菌室
カートパスボックスシステム (2 列)	MCP-2	1	中央滅菌室
超音波洗浄装置付システム流し台 (一次洗浄室)		1	中央滅菌室
システム乾燥機		3	中央滅菌室
汚物流し付システム流し台		1	中央滅菌室
プラズマガス滅菌器	ステラッド 100NX	1	中央滅菌室
全自動ジェット式超音波洗浄装置一式	WUS-2100	1	中央滅菌室
高周波手術装置 (APC 付)	VIO300D APC2 他	1	内視鏡センター
高周波手術装置 (エンドカット機能付)	VIO300D インダクト IQ APC2 他	1	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	CF-H260AZI	4	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	CF-Q260AI	1	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	PCF-Q260AI	1	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	CF-Q240ZI	2	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	GIF-2TQ260M	1	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	GIF-H260	6	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム (十二指腸ビデオスコープ)	JF-260V	2	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	GIF-Q240Z	1	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム (十二指腸ビデオスコープ)	TJF-240	1	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	GIF-Q260J	1	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム (気管支ビデオスコープ)	BF-1T260	1	内視鏡センター

品 名	規 格	数量	所属別
透視下電子内視鏡システム（気管支ビデオスコープ）	BF-260	2	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	GIF-XP260	1	内視鏡センター
低温フリーザ	MDF-U32V	1	内視鏡センター
EVIS LUCERA 上部消化管汎用ビデオスコープ	GIF-H260Z	1	内視鏡センター
EVIS LUCERA 大腸ビデオスコープ	PCF-Q260AZI	1	内視鏡センター
高周波手術装置	VIO300 D	1	内視鏡センター
EVIS LUSERA 大腸ビデオスコープ	PCF-Q260AL/I	1	内視鏡センター
OLYMPUS 製内視鏡システム一式	CV-290 型等	2	内視鏡センター
内視鏡用超音波観測装置	EU-ME2 PREMIER PLUS 他	1	内視鏡センター
小腸ビデオスコープ	SIF-H290S	1	内視鏡センター
EVIS LUSERA ERITE 気管支鏡ビデオスコープ	BF-XP290	1	内視鏡センター
十二指腸ビデオスコープ	TJF-Q290V 他	1	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ 高周波焼灼電源装置セット	ESD スコープ ESG300 セット一式	2	内視鏡センター
EVIS LUCERA 上部消化管汎用ビデオスコープ一式	GIF-2TQ260M 等	1	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ一式	PCF-H290ZI 等	1	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	PCF-H290TI	1	内視鏡センター
高周波手術装置	VIO3	1	内視鏡センター
鏡視下システム 泌尿器外来用	エンドビジョンカメラ SL II /IPM 他	1	泌尿器科
ウロダイナミクス検査装置	ウロダイナミクス検査装置ジョイス	1	泌尿器科
腎盂尿管ビデオスコープ	URF-V	1	泌尿器科
尿流量測定装置フロースカイ	CES445SMEN#NS1 他	1	泌尿器科
超音波画像診断装置	Xario100G CUS-X100G/JA 一式	1	泌尿器科
泌尿器科検診台	UR-7300	1	泌尿器科
ツリウムレーザー手術装置	Quanta Cyber TM 200W レーザ	1	泌尿器科
VISERA ELITE II ビデオシステム	OTV-S300 他	1	泌尿器科
画像ワークステーション KOELIS トリニティー式	K071300 他	1	泌尿器科
膀胱腎盂ビデオスコープ	CYF-VHA	1	泌尿器科
皮膚良性色素性疾患治療用レーザー装置		1	皮膚科
炭酸ガスレーザー装置	ルミナスレーザー-30C+ サージック他	1	皮膚科
医療用紫外線照射装置	デルマレイ-200 (タイプ A・NB)	1	皮膚科
集中型畜尿装置	ウロエース 5130 データサーバ含む	2	病棟
ウォールケアユニット	IC-5502 (2 床用)	1	病棟
ベットパンウォッシャー		7	病棟
ウォールケアユニット	IC-5502	7	病棟
病理診断支援システム	WebPath Enterprise	1	病理診断科
埋込型遺体冷蔵庫	MRS-2HP MRS-2HPST	1	病理診断科
自動免疫染色装置	AutostainerPlus 他	1	病理診断科
昇降式解剖台	KA-SDIV 他	1	病理診断科
生物顕微鏡デジタルカメラシステム	BX53/DP73	1	病理診断科
バーチャルスライド作成システム	LINCE	1	病理診断科
蛍光顕微鏡デジタルカメラシステム一式	BX53FL/DP74	1	病理診断科
5 人用ディスカッション用顕微鏡	BX53F2 他	1	病理診断科
凍結組織切片作製装置	PORAR-DM	1	病理診断科
密閉式自動固定包埋装置 ヒストテック VP1	VIP1-J0	1	病理診断科
ミーレ全自動洗浄機	PG8583 他	1	病理診断科
自動ガラス封入装置一式	Glas g2-J0 等	1	病理診断科
自動染色装置 ティッシュ・テックプリズマプラス	DRS-Prisma-P-JD 他	1	病理診断科
遺伝子増幅検出装置一式	RD-200 他	1	病理診断科
読影ワークステーション	Senoadvantage	1	放射線科
超音波画像診断装置	SonoSite S II	1	麻酔科
薬剤部門システム機器（注射薬自動払出システム）	YA-APR 一式 他	1	薬剤部

品 名	規 格	数量	所属別
ピックアップサポートシステム	HP-PORIMS	1	薬剤部
全自動錠剤分包機	YS-TR-332FDS II -VC 他	1	薬剤部
医薬品在庫管理システム	ENIFwin Nex-Sus	1	薬剤部
リカンベンド型運動療法システム	ストロング スイッチ 240	1	リハビリテーション科
トイレユニットシステム	IP-A1400	1	リハビリテーション科
自動間欠牽引装置	スーパートラック ST-1LA	1	リハビリテーション科
リハビリ用トレッドミル	AR-1001	1	リハビリテーション科
医用テレメータ（8人用）	WEP-5218 他	1	リハビリテーション科
医用テレメータ（8人仕様）	WEP-5218 他	1	リハビリテーション科
血管内皮機能測定装置（エンドパット 2000）一式	EP-2000 他	1	リハビリテーション科
水平レグプレス パネル付	COP-903F	1	リハビリテーション科
肺運動負荷モニタリングシステム	AE310S	1	リハビリテーション科
パワープレート一式	Pro6 Plus 等	1	リハビリテーション科
医療用体成分分析装置 InBody 一式	InBody 770 等	1	リハビリテーション科
検査データ管理システム（生理検査システム）	Hi-MEDION サーバ クライアント他	1	臨床検査部
脳波システム（生理検査システム）	コメット MXL-E コメット CMP-E HP DC5100 他	1	臨床検査部
心電図データファイリングシステム（生理検査システム）	EFS-8000 サーバ クライアント他	1	臨床検査部
トレッドミル心電計（血圧付）（生理検査システム）	ML-9000 MAT-2700 FB-300	1	臨床検査部
発声機能検査装置	PS-77E 他	1	臨床検査部
自動心電計（生理検査システム）	FDX-6530	1	臨床検査部
総合呼吸機能自動解析装置	FUDAC-77	1	臨床検査部
血圧脈波検査装置 VaSera	VS-3000TN	1	臨床検査部
脳波計判読パソコン	HP ProDesk600 G1 SFF	1	臨床検査部
解析付心電計（心電図検査装置）	FCP-8800	1	臨床検査部
解析付心電計	FCP-8800	1	臨床検査部
解析付心電計	FCP-8800	1	臨床検査部
ホルター心電計解析装置	SCM-8000system	1	臨床検査部
聴力検査管理システム	リオンシステム	1	臨床検査部
筋電図・誘発電位検査装置	MEB-2312	1	臨床検査部
無散瞳眼底カメラ	TRC-NW400	1	臨床検査部
輸血管理システム	バイオラッド輸血システム BRBTS II	1	臨床検査部
カード用全自動輸血検査装置	IH-500	1	臨床検査部
Verify Now System 一式	MH-85065	1	臨床検査部
脳波計	EEG-1218	1	臨床検査部
睡眠評価装置 ソムノ HD	HDEco-plus-BTR 他	1	臨床検査部

[目次へ戻る](#)

許認可事項

◇諸届・諸願一覧表

番号	件 名	申請先	関係法規	申請年月日	許認可年月日	備 考
1	病院開設許可申請書	川崎市市長	医療法第7条第1項	平成17年10月19日	平成17年10月28日	川崎市指令健医第187号
2	救急病院新規申出書	神奈川県知事	救急病院等を定める省令第1条	平成17年11月14日	平成18年1月25日	医第688号
3	構造設備使用許可申請書	川崎市市長	医療法第27条	平成17年12月21日	平成18年1月13日	川崎市指令健医第251号
4	病院開設届	川崎市市長	医療法施行令第4条の2、同法施行規則第3条	平成18年1月16日		川崎市証明多地保第65号
5	麻薬管理者免許証申請書	神奈川県知事	麻薬及び向精神薬取締法第3条第1項	平成17年12月21日	平成18年1月1日	第9438103号(変更後)
6	給食施設報告済書	川崎市多摩保健所長	川崎市食品衛生法施行細則	平成17年12月21日	平成18年1月16日	8000242 第5号
7	生活保護法指定医療機関申請書	川崎市市長	生活保護法第49条	平成17年12月26日	平成18年3月6日	指定番号第1035、2804号
8	結核指定医療機関申請書	川崎市市長	感染症の予防等の法律第38条第2項	平成17年12月26日	平成18年2月1日	川崎市指令健疾第216号(新)
9	更生医療機関指定申請書	川崎市市長	身体障害者福祉法第19条の2第1項	平成17年12月26日	平成18年2月1日	川崎市指令健障福第93号
10	保険医療機関指定申請書	神奈川県社会保険事務局長	健康保険法第43条の3	平成18年1月17日	平成18年1月31日	記号番号多医256
11	基本健康診査委託料振込指定金融機関口座登録連絡表(川崎市65歳以上の基本健康診査)	川崎市健康福祉局	老人保健法	平成18年1月25日		
12	災害医療拠点病院の指定	神奈川県知事	第451号厚生労働省健康政策局長通知		平成18年1月26日	保福総第392号
13	労働保険指定医療機関指定申請書	神奈川県労働局長	労働者災害補償保険法第13条第1項	平成18年1月26日	平成18年3月1日	指定病院番号1410431
14	エックス線装置設置届	川崎市市長	医療法施行規則第24条	平成18年2月8日		
15	MRI装置設置届	川崎市市長	医療法施行規則第24条	平成18年2月8日		
16	保険医療機関届	神奈川県社会保険診療報酬支払基金		平成18年2月16日	平成18年2月1日	
17	国民健康保険団体連合会診療報酬振込み先及び請求書印鑑届	国保連合会		平成18年2月16日		
18	特定給食施設開始届	川崎市多摩保健所長	健康増進法及び川崎市健康増進法施行細則	平成18年2月23日		
19	妊婦健康審査指定医療機関	川崎市産科婦人科医会		平成18年2月23日	平成18年3月8日	川崎市医師会経由
20	川崎市子宮がん(一般)検診登録医療機関登録申請書	川崎市市長	老人保健法	平成18年3月3日	平成18年3月31日	川崎市医師会経由
21	不在者投票施設の指定の承諾	神奈川県選挙管理委員会	公職選挙法施行令第55条第2項	平成18年3月7日	平成18年3月13日	選管第428号
22	感染症発生動向調査事業の指定届出機関の指定(性感染症)	神奈川県知事	感染症の予防等法律第14条		平成18年3月31日	健第50265号
23	児童福祉施設(助産施設)の設置認可	川崎市市長	児童福祉法第35条第4項	平成18年4月19日	平成18年6月1日	川崎市指令健こ家第8号

番号	件 名	申請先	関係法規	申請年月日	許認可年月日	備 考
24	川崎市乳がん検診登録医療機関登録申請書	川崎市市長	川崎市乳がん検診(一般検診)実施要綱第3条第4項	平成18年5月30日	平成18年6月27日	川崎市医師会経由
25	乳幼児健康診査事業の新規協力医療機関の承認	川崎市医師会		平成18年7月6日	平成18年7月11日	川崎市からの委託事業
26	予防接種事業の新規協力医療機関の承認	川崎市医師会		平成18年7月6日	平成18年7月11日	川崎市からの委託事業
27	無線通信機の設置等に関する協定書	神奈川県知事		平成18年9月25日	平成18年3月30日	
28	臨床研修病院指定証(医師)	厚生労働大臣	医師法第16条の2第1項	平成18年11月24日	平成18年9月11日	厚生労働省発医政第1124002号
29	指定自立支援医療機関(精神通院医療)の指定書	川崎市市長	障害者総合支援法第60条	平成19年1月17日	平成19年2月1日	川崎市指令健精保第68号
30	かわさきエコドライブ宣言登録証	川崎市市長		平成19年5月1日	平成19年5月2日	
31	指定障害福祉サービス事業者(短期入所)の指定書	神奈川県知事	障害者自立支援法第29条第1項	平成19年6月5日	平成19年7月1日	事業所番号1415400447
32	登録紹介医(医師)に関する基本協定書	川崎市医師会		平成19年3月1日	平成19年4月1日	
33	登録紹介医(歯科医師)に関する基本協定書	川崎市歯科医師会		平成19年3月1日	平成19年4月1日	
34	川崎市節目健診登録医療機関登録書	川崎市市長	川崎市総合健康診査実施要綱第4条第3項の規定	平成19年6月21日	平成19年7月18日	
35	東京都肝臓専門医療機関指定通知書	東京都知事	東京都肝臓専門医療機関指定要領第3の規定	平成19年9月22日	平成19年10月16日	指定番号TK1413501
36	特定健診・特定保健指導機関届	神奈川県社会保険診療報酬支払基金		平成20年3月25日		
37	感染症発生動向調査事業の疑似症定点届出機関の指定	神奈川県知事	感染症の予防等法律第14条第1項		平成20年4月1日	健第60027号
38	緊急自動車使用届出確認書	神奈川県公安委員会		平成20年9月24日	平成20年10月3日	第7113号
39	川崎市個人情報ファイル届出書	川崎市市長	川崎市個人情報保護条例第8条第1項の規定	平成21年5月7日		
40	臨床研修施設指定証(歯科医師)	厚生労働大臣	医師法第16条の2第1項		平成21年10月22日	研修施設番号090121
41	地域医療支援病院名称承認書	川崎市市長	医師法第4条第1項	平成22年12月9日	平成23年2月16日	川崎市指令健医第226号
42	特定給食施設指定通知書	川崎市市長			平成23年3月23日	川崎市指令健健第16号
43	医療通訳派遣システム事業確認書	かながわ医療通訳派遣システム協議会			平成23年4月1日	
44	基幹型臨床研修病院指定証(医師)	厚生労働大臣	医師法第16条の2第1項		平成26年9月5日	研修施設番号060045
45	デジタル式乳房エックス線装置設置届	川崎市市長	医療法施行規則第24条	平成28年5月17日		
46	CT装置設置届	川崎市市長	医療法施行規則第24条	平成28年12月27日		
47	外来化学療法室ベッド増設(7床→10床)許可	川崎市市長	医療法施行規則第27条	平成29年6月13日	平成29年6月26日	川崎市指令健医第93号

番号	件 名	申請先	関係法規	申請年月日	許認可年月日	備 考
48	血管撮影装置更新 (14-5)	川崎市長	医療法施行規則 第 24 条		平成 29 年 8 月 7 日	川崎市指令健医 第 121 号
49	骨密度測定装置 (Horizon w I 型) 設置許可	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	平成 30 年 8 月 29 日	平成 30 年 9 月 30 日	川崎市指令健医 第 162 号
50	対外式結石破碎装置 更新許可	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	平成 31 年 3 月 6 日	平成 31 年 3 月 19 日	川崎市指令健医 第 349 号
51	外科用 X 線 TV 装置フ ラットディテクター型 ミニ C アーム	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 3 年 4 月 15 日	令和 3 年 4 月 22 日	川崎市指令健医薬 第 27 号
52	回診用 X 線撮影装置	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 3 年 4 月 15 日	令和 3 年 4 月 22 日	川崎市指令健医薬 第 27 号
53	救急災害医療センター (集中治療室 6・7) Covid-19 対応	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 3 年 9 月 7 日	令和 3 年 9 月 16 日	川崎市指令健医薬 第 181 号
54	X 線 透 視 撮 影 装 置 (Curevista Open)	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 3 年 9 月 22 日	令和 3 年 9 月 30 日	川崎市指令健医薬 第 193 号
55	一般撮影室 14-6 エッ クス線装置更新、移 動型エックス線装置更 新	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 3 年 11 月 15 日	令和 3 年 11 月 22 日	川崎市指令健医薬 第 273 号
56	一般撮影室 14-8 エッ クス線装置更新	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 3 年 12 月 6 日	令和 3 年 12 月 14 日	川崎市指令健医薬 第 299 号
57	一般撮影室 14-7 エッ クス線装置更新	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 3 年 12 月 15 日	令和 3 年 12 月 23 日	川崎市指令健医薬 第 308 号
58	移動型デジタル式汎 用一体型 X 線透視診 断装置の増設	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 4 年 1 月 13 日	令和 4 年 1 月 18 日	川崎市指令健医薬 第 323 号
59	CT 搭載車 (CT 装置入替工事期 間中) Covid-19 対応	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 4 年 2 月 22 日	令和 4 年 2 月 28 日	川崎市指令健医薬 第 359 号
60	CT 撮影室 14-3 エッ クス線装置更新	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 4 年 2 月 22 日	令和 4 年 2 月 28 日	川崎市指令健医薬 第 361 号
61	5階東病棟に扉を設置 (新型インフルエンザ 対応)	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 4 年 12 月 8 日	令和 4 年 12 月 16 日	川崎市指令健医薬 第 183 号
62	ANGIO (1) の X 線装 置及び IVR-CT 装置の 更新	川崎市長	医療法施行規則 第 27 条	令和 5 年 2 月 10 日	令和 5 年 2 月 28 日	川崎市指令健医薬 第 231 号
A	特定疾患医療給付委 託契約書(神奈川県)	神奈川県知事	神奈川県特定疾患医 療給付実施要綱	平成 18 年 2 月 4 日	平成 18 年 2 月 1 日	
B	東京都医療費助成制 度の契約書	東京都知事	東京都大気汚染条例 等	平成 18 年 2 月 10 日	平成 18 年 2 月 28 日	17 福保保助 第 995 号
C	川崎市小児慢性特定 疾患医療給付委託契 約書	川崎市長	川崎市小児慢性特定 疾患医療給付事務取 扱細則	平成 18 年 2 月 15 日	平成 18 年 2 月 1 日	
D	神奈川県小児慢性特 定疾患医療給付委託 契約書	神奈川県知事	神奈川県小児慢性特 定疾患研究事業実施 要綱	平成 18 年 2 月 16 日	平成 18 年 2 月 1 日	
E	静岡県特定疾患治療 研究事業委託契約書	静岡県知事	静岡県特定疾患治療 研究事業実施要綱	平成 18 年 3 月 3 日	平成 17 年 10 月 1 日	特定疾患契約医療 機関番号 18-1-23
F	川崎市職員の公務上 の災害、通勤災害等 の指定医療機関契約 書	地方公務員 災害補償基金	地方公務員災害補償 基金業務規程第 6 条	平成 18 年 5 月 2 日	平成 18 年 5 月 10 日	
G	横浜市妊婦健康診査 委託契約書	横浜市こども 青少年局長	横浜市妊婦健康診査 委託事務取扱要領	平成 18 年 7 月 4 日	平成 18 年 4 月 1 日	
H	山梨県特定疾患治療 研究事業委託契約書	山梨県知事	山梨県特定疾患治療 研究事業実施要領	平成 18 年 11 月 17 日	平成 18 年 11 月 1 日	

番号	件 名	申請先	関係法規	申請年月日	許認可年月日	備 考
I	川崎市メディカルコントロール体制に関する業務委託契約書	川崎市長	川崎市委託契約約款	平成 18 年 9 月 29 日	平成 18 年 9 月 29 日	
J	群馬県特定疾患医療給付等に関する契約書	群馬県知事	群馬県特定疾患医療給付実施要領	平成 19 年 4 月 18 日	平成 19 年 4 月 18 日	
K	福島県特定疾患治療研究事業委託契約書	福島県知事	福島県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 19 年 5 月 31 日	平成 19 年 6 月 1 日	
L	川崎市障害児者短期入所ベッド確保事業委託契約書	川崎市長	障害者自立支援法第 5 条第 8 項	平成 19 年 6 月 25 日	平成 19 年 7 月 1 日	
N	相模原市国民健康保険高額療養費受領委任払いに関する協定書	相模原市長	相模原市国民健康保険高額療養費受領委任払い実施要綱	平成 19 年 8 月 24 日	平成 19 年 8 月 24 日	
M	市川市「医療機関に委託して行う妊婦・乳児一般健康診査」事業委託契約書	市川市長	母子保健法第 13 条	平成 19 年 8 月 28 日	平成 19 年 4 月 1 日	
O	福岡県特定疾患治療研究事業委託契約書	福岡県知事	福岡県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 19 年 10 月 16 日	平成 19 年 10 月 31 日	
P	千葉県特定疾患治療研究事業委託契約書	千葉県知事	千葉県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 20 年 4 月 30 日	平成 20 年 5 月 1 日	
Q	秋田県特定疾患治療研究事業委託契約書	秋田県知事	秋田県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 20 年 11 月 21 日	平成 20 年 11 月 21 日	
R	産科医療補償制度	(財) 日本医療機能評価機構		平成 20 年 10 月 1 日	平成 21 年 1 月 1 日	
S	藤沢市妊婦健康診査業務委託単価契約書	藤沢市長	藤沢市契約規則第 46 号	平成 21 年 5 月 22 日	平成 21 年 5 月 1 日	
T	福岡県特定疾患治療研究事業委託契約書	福岡県知事	福岡県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 21 年 12 月 15 日	平成 21 年 12 月 28 日	
U	岐阜県特定疾患治療研究委託契約書	岐阜県知事	岐阜県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 22 年 1 月 13 日	平成 22 年 1 月 13 日	
V	大阪府特定疾患医療援助事業契約書	大阪府知事	大阪府特定疾患医療費援助事業実施要綱	平成 22 年 9 月 3 日	平成 22 年 9 月 1 日	
W	埼玉県肝炎治療特別促進事業に係る委託契約書	埼玉県知事	埼玉県肝炎治療特別促進事業実施要綱	平成 22 年 10 月 15 日	平成 22 年 6 月 1 日	
X	山形県特定疾患治療研究委託契約書	山形県知事	山形県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 23 年 4 月 18 日	平成 23 年 4 月 12 日	
Y	茨城県一般特定疾患治療研究事業委託契約書	茨城県知事	茨城県一般特定疾患治療研究事業実施要項	平成 23 年 5 月 10 日	平成 23 年 5 月 1 日	
Z	埼玉県特定疾患等医療給付事業委託契約書	埼玉県知事	埼玉県特定疾患等医療給付事業実施要綱	平成 23 年 4 月 5 日	平成 23 年 4 月 1 日	
A1	兵庫県特定疾患治療研究事業委託契約書	兵庫県知事	兵庫県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 23 年 7 月 21 日	平成 23 年 7 月 7 日	
B1	石川県特定疾患治療研究事業を担当する医療機関の指定書	石川県知事	石川県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 24 年 10 月 1 日	平成 24 年 10 月 1 日	
C1	宮城県特定疾患治療研究事業の実施に関する覚書	宮城県知事	宮城県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 24 年 11 月 14 日	平成 24 年 12 月 28 日	
D1	千葉県肝炎治療特別促進事業委託契約書	千葉県知事	千葉県肝炎治療特別促進事業実施要綱	平成 26 年 1 月 7 日	平成 26 年 1 月 7 日	
E1	和歌山県特定疾患治療研究事業委託契約書	和歌山県知事	青森県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 26 年 2 月 12 日	平成 25 年 12 月 1 日	
F1	青森県特定疾患治療研究事業委託契約書	青森県知事	和歌山県特定疾患治療研究事業実施要綱	平成 26 年 5 月 1 日	平成 26 年 4 月 1 日	

番号	件 名		申請先	関係法規	申請年月日	許認可年月日	備 考
G1	東京都心身障害医療 費助成制度（マル障） に係る契約書		東京都知事	東京都条例第 20 号	平成 26 年 8 月 19 日	平成 26 年 9 月 1 日	
H1	新潟県肝炎治療促進 事業委託契約書		新潟県知事	新潟県肝炎治療促進 事業実施要綱	平成 30 年 3 月 1 日	平成 30 年 3 月 1 日	
番号	番号	件 名			申請先	許認可年月日	備 考
1	1	日本内科学会 認定医制度教育病院			日本内科学会	平成 20 年 1 月 16 日	第 32 号
	2	日本病院総合診療医学会認定施設			日本病院総合診療医 学会	平成 30 年 4 月 1 日	関東 63-191 号
	3	日本専門医機構 総合診療専門研修プログラム認定施設			総合診療専門医検討 委員会・日本専門医 機構		
	4	日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療後期研修プログラム認定証			日本プライマリ・ケア 連合学会	平成 26 年 4 月 2 日	第 107-060 号
2	1	日本循環器学会 認定循環器専門医研修施設			日本循環器学会	平成 20 年 4 月 1 日	施設番号 第 1261 号
	2	日本循環器学会 大規模臨床試験参加施設認定証			日本循環器学会	平成 21 年 4 月 1 日	
	3	循環器疾患診療実態調査参加施設			日本循環器学会		
	4	日本心血管インターベンション治療学会 研修関連施設認定証			日本心血管インター ベンション治療学会	平成 22 年 4 月 1 日	Y0143
	5	日本不整脈心電学会 不整脈専門医研修施設			日本不整脈心電学会		
3	1	日本呼吸器学会 認定施設認定書			日本呼吸器学会	平成 30 年 12 月 14 日	第 305 号
	2	日本呼吸器内視鏡学会 専門医制度関連認定施設認定証			日本呼吸器内視鏡学 会	平成 23 年 11 月 24 日	第 411005 号
	3	日本アレルギー学会 アレルギー専門医教育研修施設認定証			日本アレルギー学会	平成 27 年 10 月 1 日	第 953 号
4	1	日本消化器病学会 専門医制度認定施設証			日本消化器病学会	平成 23 年 12 月 2 日	第 14079 号
	2	日本肝臓学会 認定施設証			日本肝臓学会	平成 22 年 4 月 1 日	第 465 号
	3	日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導施設			日本消化器内視鏡学 会	平成 19 年 12 月 1 日	20070043 号
5	1	日本腎臓学会 研修施設認定証			日本腎臓学会	平成 20 年 4 月 1 日	140305484 号
	2	日本透析医学会 専門医教育関連施設認定証			日本透析医学会	平成 20 年 4 月 1 日	第 865 号
	3	多発性嚢胞腎協会施設会員			多発性嚢胞腎協会	令和 4 年 4 月 7 日	会員番号 002
6	1	日本糖尿病学会 認定教育施設Ⅰ			日本糖尿病学会	平成 30 年 7 月 1 日	第 980 号
7	1	日本神経学会 専門医制度教育施設認定証			日本神経学会	平成 22 年 4 月 1 日	第 20210988 号
	2	日本認知症学会 教育施設認定			日本認知症学会	令和 4 年 4 月 1 日	施設第 405 号
8	1	日本血液学会 専門研修教育施設			日本血液学会		第 626911
9	1	日本臨床腫瘍学会 研修施設（連携施設）			日本臨床腫瘍学会		第 14-21001 号
10	1	日本小児科専門医研修施設認定証			日本小児科学会	令和元年 5 月 26 日	第 3217 号
	2	日本てんかん学会 専門医研修施設認定証			日本てんかん学会	令和元年 10 月 1 日	
	3	日本小児神経学会 小児神経専門医制度 研修施設認定証			日本小児神経学会	平成 27 年 11 月 1 日	第 11001 号
11	1	日本外科学会 外科専門医制度修練施設			日本外科学会	平成 18 年 12 月 1 日	認定番号 第 140130 号
	2	日本消化器外科学会 専門医修練施設証			日本消化器外科学会	平成 24 年 12 月 4 日	第 14060 号
	3	日本がん治療認定医機構認定研修施設			日本がん治療認定医 機構	平成 19 年 11 月 1 日	第 20624 号
	4	日本大腸肛門病学会 認定関連施設			日本大腸肛門病学会		
	5	NationalClinicalDatabase 施設会員（外科領域）			NationalClinical Database	令和 4 年 3 月 14 日	第 000268859354
	6	日本胃癌学会 認定施設（B）			日本胃癌学会		2022.8.29 新規申請原議
12	1	日本乳癌学会 認定医・専門医制度関連施設認定証			日本乳癌学会	平成 25 年 1 月 1 日	第 3044-01
13	1	日本脳神経外科学会 専門医認定制度研修プログラム認定証			日本脳神経外科学会	平成 23 年 8 月 3 日	
	2	日本脳卒中学会 研修教育施設			日本脳卒中学会	平成 25 年 1 月 1 日	第 862 号
	3	日本脳卒中学会 一次脳卒中センター（PSC）			日本脳卒中学会	令和元年 10 月	

番号	番号	件 名	申請先	許認可年月日	備 考
13	4	日本感染症学会 連携研修施設認定証	日本感染症学会	平成 25 年 3 月 1 日	第 135 号
	5	外科周術期感染管理教育施設認定証	日本外科感染症学会		C000111
14	1	日本整形外科学会 専門医制度研修施設	日本整形外科学会	平成 19 年 9 月 20 日	認定番号 第 0150 号
15	1	日本形成外科学会 教育関連施設認定証	日本形成外科学会	平成 23 年 4 月 1 日	11-3021-007
16	1	日本皮膚科学会 認定専門医研修施設	日本皮膚科学会	平成 18 年 2 月 1 日	指定番号 第 1180 号
17	1	日本泌尿器科学会 専門医教育施設認定	日本泌尿器科学会	平成 20 年 4 月 1 日	認定番号 第 2008003731 号
18	1	羊膜移植実施施設認定書	日本角膜学会	平成 29 年 1 月 4 日	
	2	日本眼科学会専門医制度 研修施設認定証	日本眼科学会	平成 30 年 4 月 1 日	第 2681 号
19	1	日本耳鼻咽喉科学会 専門医研修施設認可	日本耳鼻咽喉科学会	平成 21 年 4 月 1 日	認可番号 14066 号
20	1	日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関認定	日本医学放射線学会	平成 19 年 7 月 1 日	認定番号 修 103
21	1	日本麻酔科学会 麻酔科認定病院認定	日本麻酔科学会	平成 18 年 7 月 1 日	認定第 1254 号
22	1	日本口腔外科学会 専門医制度認定研修施設認定証	日本口腔外科学会	平成 22 年 10 月 1 日	第 2076 号
	2	日本有病者歯科医療学会 認定医研修施設認定証	日本有病者歯科医療学会	平成 23 年 6 月 26 日	第 0013 号
23	1	日本臨床細胞学会 施設認定	日本臨床細胞学会	平成 19 年 4 月 27 日	施設認定 第 0836 号
24	1	聖マリアンナ医科大学総合救急医研修プログラム	日本救急医学会・日本専門医機構	平成 20 年 1 月 1 日	2617140001
25	1	日本輸血・細胞治療学会 輸血機能評価認定制度 (I&A 制度) 認証施設	日本輸血・細胞治療学会		
26	1	マンモグラフィ検診施設・画像認定証	日本乳がん検診精度 管理中央機構	令和 3 年 11 月 1 日	施設認定証発行番 号 第 8902 号
	2	オートプシー・イメージング学会 Ai 撮影参加施設認定証	オートプシー・イメージング学会	平成 24 年	
	3	日本医学放射線学会 画像診断管理認証施設 (MRI 安全管理に関する事項)	日本医学放射線学会	令和 4 年 6 月 23 日	22-0312-01
27	1	日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修施設	日本臨床腫瘍薬学会	令和 3 年 3 月 1 日	
	2	緩和医療専門薬剤師研修施設	日本緩和医療薬学会	令和 2 年 3 月 1 日	T20104
28	1	日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設認定証	日本静脈経腸栄養学会	平成 21 年 4 月 1 日	認可番号 01-000040
	2	日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設認定証	日本栄養療法推進協議会	平成 21 年 9 月 1 日	00400012 号

◇地方厚生局届出必要項目一覧

[目次へ戻る](#)

◆基本診療料

インデックス	受理番号	項目名	届出先	算定開始年月日	備考
1 (歯)	(病初診) 33	地域歯科診療支援病院歯科初診料	関東信越厚生局	平成 30 年 4 月 1 日	
2 (歯)	(外安全 2) 114	歯科外来診療医療安全対策加算 2	関東信越厚生局	令和 6 年 6 月 1 日	
2 (歯)	(外感染 3) 114	歯科外来診療感染対策加算 3	関東信越厚生局	令和 6 年 6 月 1 日	
3	(一般入院) 1556	急性期一般入院基本料 1	関東信越厚生局	令和 4 年 5 月 1 日	
4	(救急医療) 146	救急医療管理加算	関東信越厚生局	令和 2 年 4 月 1 日	
5	(臨床研修) 87	臨床研修病院入院診療加算 (1 基幹型)	関東信越厚生局	平成 19 年 5 月 1 日	
6	(超急性期) 60	超急性期脳卒中加算	関東信越厚生局	平成 23 年 7 月 1 日	
7	(診療録 2) 69	診療録管理体制加算 2	関東信越厚生局	平成 28 年 6 月 1 日	
8	(事補 1) 126	医師事務作業補助体制加算 1 (15 対 1)	関東信越厚生局	令和 7 年 2 月 1 日	
9	(急性看補) 44	急性期看護補助体制加算 1	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
		夜間急性期看護補助体制加算 100 対 1	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
10	(看夜配) 41	看護職員夜間配置加算 12 対 1 1 のイ	関東信越厚生局	平成 28 年 4 月 1 日	
		夜間看護体制加算	関東信越厚生局	平成 28 年 4 月 1 日	
11	(療) 90	療養環境加算	関東信越厚生局	平成 18 年 2 月 1 日	
12	(重) 173	重症者等療養環境特別加算 (個室)	関東信越厚生局	平成 29 年 4 月 1 日	
13	(無菌 2) 35	無菌治療室管理加算 2	関東信越厚生局	令和 3 年 9 月 1 日	

インデックス	受理番号	項目名	届出先	算定開始年月日	備考
14	(栄養チ) 157	栄養サポートチーム加算	関東信越厚生局	令和4年8月1日	
15	(医療安全1) 122	医療安全対策加算1	関東信越厚生局	平成30年4月1日	
		医療安全対策地域連携加算1	関東信越厚生局	平成30年4月1日	
16	(感染対策1) 20	感染対策向上加算1	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
		指導強化加算	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
17	(患サポ) 40	患者サポート体制充実加算	関東信越厚生局	平成24年4月1日	
18	(重症初期) 16	重症患者初期支援充実加算	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
19	(報告管理) 13	報告書管理体制加算	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
20	(褥瘡ケア) 71	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	関東信越厚生局	平成21年8月1日	
21	(ハイ妊娠) 59	ハイリスク妊婦管理加算	関東信越厚生局	平成21年4月1日	
22	(ハイ分娩) 45	ハイリスク分娩管理加算	関東信越厚生局	平成21年4月1日	
23	(後発使1) 268	後発医薬品使用体制加算1	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
24	(病棟薬1) 43	病棟薬剤業務実施加算1	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
25	(病棟薬2) 41	病棟薬剤業務実施加算2	関東信越厚生局	令和2年4月1日	
26	(データ提) 29	データ提出加算2	関東信越厚生局	平成24年10月1日	
27	(入退支) 83	入退院支援加算1	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
		地域連携診療計画加算	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
		入院時支援加算	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
		総合評価加算	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
28	(認知ケア) 147	認知症ケア加算1	関東信越厚生局	令和2年7月1日	
29	(せん妄ケア) 84	せん妄ハイリスク患者ケア加算	関東信越厚生局	令和2年4月1日	
30	(地医確保) 63	地域医療体制確保加算	関東信越厚生局	令和4年10月1日	
31	(ハイケア1) 39	ハイケアユニット入院医療管理料1	関東信越厚生局	平成29年7月1日	
32	(小入2) 14	小児入院医療管理料2	関東信越厚生局	令和5年4月1日	
32	(小入3) 62	小児入院医療管理料3	関東信越厚生局	令和5年5月1日	
33	(緩和1) 19	緩和ケア入院料1	関東信越厚生局	令和6年11月1日	
34	(緩和診) 62	緩和ケア診療加算	関東信越厚生局	令和4年10月1日	
35	(看処遇74) 1	看護職員処遇改善評価料74	関東信越厚生局	令和5年10月1日	
36	(食) 592	入院時食事療養(Ⅰ)	関東信越厚生局	平成18年4月1日	
37	(情報通信) 627	情報通信機器を用いた診療に係る基準	関東信越厚生局	令和4年12月1日	
38	(総合3) 40	総合入院体制加算3	関東信越厚生局	令和5年5月1日	
39	(術後疼痛) 13	術後疼痛管理チーム加算	関東信越厚生局	令和5年1月1日	
40	(医療DX) 1206	医療DX推進体制加算整備加算	関東信越厚生局	令和6年6月1日	

◆特掲診療料

インデックス	受理番号	項目名	届出先	算定開始年月日	備考
1	(遠隔ペ) 77	遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	関東信越厚生局	令和3年1月1日	
2	(糖管) 155	糖尿病合併症管理料	関東信越厚生局	平成24年4月1日	
3	(がん疼) 51	がん性疼痛緩和指導管理料	関東信越厚生局	平成22年4月1日	
4	(がん指イ) 52	がん患者指導管理料イ	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
5	(がん指ロ) 7	がん患者指導管理料ロ	関東信越厚生局	平成26年4月1日	
6	(がん指ハ) 9	がん患者指導管理料ハ	関東信越厚生局	平成26年4月1日	
7	(乳腺ケア) 38	乳腺炎重症化予防ケア・指導料	関東信越厚生局	平成30年4月1日	
8	(婦特管) 193	婦人科特定疾患治療管理料	関東信越厚生局	令和2年4月1日	
9	(腎代替管) 17	腎代替療法指導管理料	関東信越厚生局	令和2年4月1日	
10	(二骨管1) 65	二次性骨折予防継続管理料1	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
11	(二骨継3) 111	二次性骨折予防継続管理料3	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
12	(トリ) 59	院内トリアージ実施料	関東信越厚生局	平成25年2月1日	
13	(救搬看体) 54	救急搬送看護体制加算	関東信越厚生局	令和2年4月1日	
14	(外化診1) 48	外来腫瘍化学療法診療料1	関東信越厚生局	令和4年4月1日	
	(外化薬) 34	外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	関東信越厚生局	令和6年9月1日	

インデックス	受理番号	項目名	届出先	算定開始年月日	備考
15	(外化連) 92	連携充実加算 (外来腫瘍化学療法診療料)	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
16	(ニコ) 917	ニコチン依存症管理料	関東信越厚生局	平成 29 年 7 月 1 日	
17	(両立支援) 19	療養・就労両立支援指導料の注 3 に掲げる相談支援加算	関東信越厚生局	令和 2 年 12 月 1 日	
18	(開) 55	開放型病院共同指導料 (I)	関東信越厚生局	平成 24 年 3 月 1 日	
19	(肝炎) 48	肝炎インターフェロン治療計画料	関東信越厚生局	平成 22 年 4 月 1 日	
20	(薬) 267	薬剤管理指導料	関東信越厚生局	平成 22 年 4 月 1 日	
21	(機安 1) 100	医療機器安全管理料1	関東信越厚生局	平成 20 年 4 月 1 日	
22(歯)	(医管) 445	歯科治療総合医療管理料	関東信越厚生局	平成 18 年 4 月 1 日	
23	(在看) 62	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2	関東信越厚生局	令和 3 年 10 月 1 日	
24	(持血測 1) 70	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	関東信越厚生局	平成 31 年 3 月 1 日	
25	(遺伝検) 44	遺伝学的検査	関東信越厚生局	令和 3 年 12 月 1 日	
26	(BRCA) 60	BRCA1/2 遺伝子検査	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
27	(先代異) 24	先天性代謝異常症検査	関東信越厚生局	令和 3 年 11 月 1 日	
28	(AAV9) 3	抗アデノ随伴ウイルス 9 型 (AAV9) 抗体	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
29	(HPV) 315	HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	関東信越厚生局	平成 24 年 1 月 1 日	
30	(検II) 96	検体検査管理加算 (II)	関東信越厚生局	平成 22 年 4 月 1 日	
30-①	(国標) 13	国際標準検査管理加算	関東信越厚生局	令和 5 年 11 月 1 日	
31	(血内) 35	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	関東信越厚生局	平成 24 年 4 月 1 日	
32	(ヘッド) 58	ヘッドアップティルト試験	関東信越厚生局	令和 1 年 12 月 1 日	
33	(脳判) 4	脳波検査判断料 1	関東信越厚生局	平成 29 年 4 月 1 日	
34	(神経) 119	神経学的検査	関東信越厚生局	平成 20 年 8 月 1 日	
35	(ロー検) 53	ロービジョン検査判断料	関東信越厚生局	平成 30 年 9 月 1 日	
36	(小検) 52	小児食物アレルギー負荷検査	関東信越厚生局	平成 21 年 12 月 1 日	
37	(前立腺) 4	前立腺針生検法 (MRI 撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
38	(C気鏡) 4	CT 透視下気管支鏡検査加算	関東信越厚生局	平成 24 年 4 月 1 日	
39	(画 2) 63	画像診断管理加算 2	関東信越厚生局	平成 20 年 4 月 1 日	
40	(C・M) 528	コンピューター断層撮影 (CT 撮影及び MRI 撮影)	関東信越厚生局	平成 29 年 2 月 1 日	
		磁気共鳴コンピューター断層撮影 (CT 撮影及び MRI 撮影)	関東信越厚生局	平成 29 年 2 月 1 日	
41	(冠動C) 15	冠動脈 CT 撮影加算	関東信越厚生局	平成 20 年 4 月 1 日	
42	(心臓M) 24	心臓 MRI 撮影加算	関東信越厚生局	平成 20 年 4 月 1 日	
43	(抗悪処方) 30	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	関東信越厚生局	平成 22 年 4 月 1 日	
44	(外化 1) 80	外来化学療法加算 1	関東信越厚生局	平成 20 年 4 月 1 日	
45	(菌) 89	無菌製剤処理料	関東信越厚生局	平成 20 年 4 月 1 日	
46	(心I) 62	心大血管疾患リハビリテーション料 (I)	関東信越厚生局	平成 29 年 1 月 1 日	
47	(脳I) 76	脳血管疾患リハビリテーション料 (I)	関東信越厚生局	平成 24 年 4 月 1 日	
48	(運I) 83	運動器リハビリテーション料 (I)	関東信越厚生局	平成 24 年 4 月 1 日	
49	(呼I) 90	呼吸器リハビリテーション料 (I)	関東信越厚生局	平成 24 年 4 月 1 日	
50(歯)	(歯リハ2) 146	歯科口腔リハビリテーション料 2	関東信越厚生局	平成 26 年 4 月 1 日	
51	(人工腎臓) 199	人工腎臓 (慢性維持透析をこなかった場合 1)	関東信越厚生局	平成 30 年 7 月 1 日	
52	(導入 2) 28	人工腎臓の注 2 (導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算)	関東信越厚生局	平成 30 年 4 月 1 日	
53	(透析水) 245	人工腎臓の注 9、13 (透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算)	関東信越厚生局	平成 22 年 9 月 1 日	
54	(肢梢) 55	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	関東信越厚生局	平成 28 年 4 月 1 日	
55	(難重尿) 8	難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対する LDL アフェレシス療法	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	

インデックス	受理番号	項目名	届出先	算定開始年月日	備考
56(歯)	(口腔粘膜) 493	口腔粘膜処置	関東信越厚生局	平成 30 年 7 月 1 日	
57	(内移) 5	角膜移植術 (内皮移植加算)	関東信越厚生局	令和 2 年 4 月 1 日	
58	(羊膜移) 3	羊膜移植術	関東信越厚生局	平成 29 年 2 月 1 日	
59(歯)	(歯顎移) 11	上下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)	関東信越厚生局	平成 24 年 4 月 1 日	
60	(乳セ1) 55	乳がんセンチネルリンパ節加算1	関東信越厚生局	平成 24 年 5 月 1 日	
61	(乳セ2) 55	乳がんセンチネルリンパ節加算2	関東信越厚生局	平成 24 年 5 月 1 日	
62	(乳腫) 23	乳腺悪性腫瘍手術 (乳頭乳輪温存乳房切除術)	関東信越厚生局	平成 28 年 9 月 1 日	
63	(穿瘻閉) 23	食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの) 他	関東信越厚生局	平成 30 年 4 月 1 日	
64	(経特) 89	経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	関東信越厚生局	令和 3 年 5 月 1 日	
65	(ペ) 147	ペースメーカー移植術・交換術	関東信越厚生局	平成 18 年 2 月 1 日	
65-①	(ペリ) 56	ペースメーカー移植術・交換術 (リードレスペースメーカー)	関東信越厚生局	令和 5 年 11 月 1 日	
66	(大) 84	大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)	関東信越厚生局	平成 18 年 2 月 1 日	
67	(腹り傍側) 18	腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (側方)	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
68	(腹胃縮) 7	腹腔鏡下胃縮小術 (スリーブ状切除によるもの)	関東信越厚生局	令和 4 年 9 月 1 日	
69	(胆) 31	体外衝撃波胆石破碎術	関東信越厚生局	平成 24 年 6 月 1 日	
70	(腹肝) 39	腹腔鏡下肝切除術 (部分切除)	関東信越厚生局	平成 29 年 2 月 1 日	
71	(腹臍腫瘍) 3	腹腔鏡下臍腫瘍摘出術	関東信越厚生局	平成 30 年 4 月 1 日	
72	(腹臍切) 4	腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術	関東信越厚生局	平成 24 年 4 月 1 日	
73	(早大腸) 8	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	関東信越厚生局	平成 24 年 4 月 1 日	
74	(内小ポ) 17	内視鏡的小腸ポリープ切除術	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
75	(腎) 55	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	関東信越厚生局	平成 18 年 11 月 1 日	
76	(膀胱ハ間) 36	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術 (経尿道)	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
77	(膀胱埋嚢) 14	埋没陰茎手術	関東信越厚生局	令和 4 年 4 月 1 日	
78	(腹前支器) 30	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	関東信越厚生局	令和 4 年 8 月 1 日	
79	(胃瘻造) 50	胃瘻造設術 (内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	関東信越厚生局	平成 26 年 4 月 1 日	
80	(輸血II) 96	輸血管理料II	関東信越厚生局	平成 24 年 6 月 1 日	
	(輸適) 164	輸血適正使用加算	関東信越厚生局	令和 5 年 4 月 1 日	
81	(造設前) 16	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	関東信越厚生局	平成 24 年 4 月 1 日	
82	(胃瘻造嚥) 36	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	関東信越厚生局	平成 26 年 4 月 1 日	
83(歯)	(人工歯根) 17	広範囲顎骨支持型装置埋入手術	関東信越厚生局	平成 24 年 10 月 1 日	
84	(手光機) 486	レーザー機器加算	関東信越厚生局	平成 30 年 7 月 1 日	
85	(麻管I) 136	麻酔管理料I	関東信越厚生局	平成 18 年 2 月 1 日	
86	(麻管II) 67	麻酔管理料II	関東信越厚生局	令和 6 年 10 月 1 日	
87	(周葉管) 20	周術期薬剤管理加算	関東信越厚生局	令和 4 年 7 月 1 日	
88	(病理診2) 55	病理診断管理加算 2	関東信越厚生局	令和 6 年 4 月 1 日	
89	(悪病組) 3	悪性腫瘍病理組織標本加算	関東信越厚生局	平成 30 年 4 月 1 日	
90(歯)	(口病診2) 13	口腔病理診断管理加算 2	関東信越厚生局	令和 6 年 6 月 1 日	
91(歯)	(補管) 5427	クラウン・ブリッジ維持管理料 (補綴物維持管理料)	関東信越厚生局	平成 18 年 2 月 1 日	
92	(外緩) 50	外来緩和ケア管理料	関東信越厚生局	令和 4 年 10 月 1 日	
93	(酸単) 52572	酸素購入単価	関東信越厚生局	平成 28 年 4 月 1 日	
94	(バ経静脈) 36	バルーン閉塞下逆行性経静脈の塞栓術	関東信越厚生局	令和 5 年 4 月 1 日	
95	(周栄養管) 21	周術期栄養管理実施加算	関東信越厚生局	令和 5 年 11 月 1 日	
96	(腹結悪支) 13	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	関東信越厚生局	令和 6 年 1 月 1 日	

インデックス	受理番号	項目名	届出先	算定開始年月日	備考
97	(遠隔持陽) 577	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	関東信越厚生局	令和6年4月1日	
98	(外在べい) 1571	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	関東信越厚生局	令和6年6月1日	
	(歯外在べい) 980	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	関東信越厚生局	令和6年6月1日	
	(入べ81) 2	入院ベースアップ評価料 81	関東信越厚生局	令和6年6月1日	
99	(腎防管) 31	慢性腎臓病透析予防指導管理料	関東信越厚生局	令和6年6月1日	
100	(肝生検) 12	経頸静脈的肝生検	関東信越厚生局	令和6年6月1日	
101	(スト合) 37	ストーマ合併症加算	関東信越厚生局	令和6年6月1日	
102	(緊急穿除) 24	緊急穿頭血種除去術	関東信越厚生局	令和6年6月1日	
103	(骨残測) 25	骨髄微小残存病変量測定	関東信越厚生局	令和6年9月1日	
104	(内脳腫) 11	内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	関東信越厚生局	令和6年9月1日	
105	(糖防管) 133	糖尿病透析予防指導管理料	関東信越厚生局	令和6年9月1日	
106	(腹腔子内支) 26	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	関東信越厚生局	令和7年2月1日	

[目次へ戻る](#)

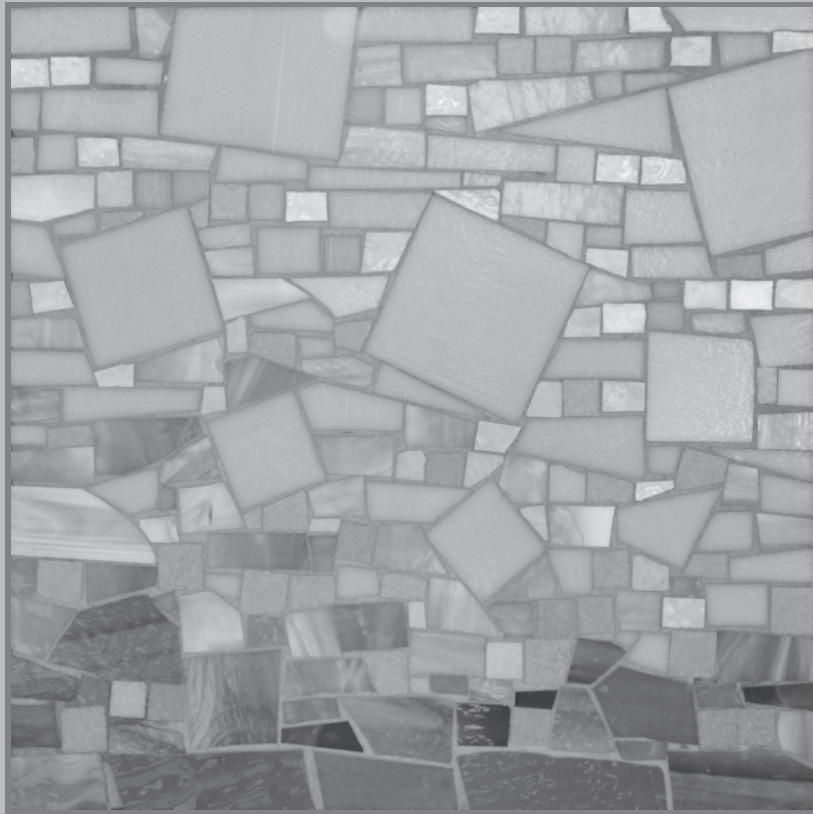
◇身体障害者福祉法第 15 条に基づく指定医師

	内 科	小児科	外 科	脳神経外科	整形外科	形成外科	泌尿器科	眼 科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科
視覚障害								松澤亜紀子 林 泰博 海老原紘子 上杉 康雄		
聴覚障害									中村 学	
平衡機能障害									中村 学	
音声・言語 機能障害	篠原 健介 堀内正浩 (非)			小野 元					中村 学	石井 宏昭
そしゃく 機能障害	篠原 健介 堀内正浩 (非)			小野 元					中村 学	石井 宏昭
肢体 不自由	今村 愉子 緋田めぐみ 家 研也 酒井 翼 太田 明雄 篠原 健介 大熊 壮尚 松本 博文 西迫 尚 (非) 黒須絵莉 (非) 堀内正浩 (非) 加茂 力 (非)	岩崎俊之		森嶋 啓之 長島 悟郎 小野 元	大沼 弘幸 浅野 孝太 小泉 英樹 松下和彦 (非)	田邊 雅祥				
心臓 機能障害	樋熊 拓未 宮崎 秀和 小徳のぞみ 鈴木 知美 中山 由衣									
じん臓 機能障害	富永 直人 角 浩史 丑丸 秀 松下(藤島)理恵(非)						吉岡 まき			
呼吸器 機能障害	棚橋 淳子 松澤 慎 西田 皓平 平間 千絵									
ぼうこう又は 直腸機能障害			朝倉 武士 石井 将光 片山 真史				吉岡 まき 栗原 毅			
小腸 機能障害	奥瀬 千晃 中嶋 孝司 末谷敬吾 (非)		石井 将光 片山 真史							
ヒト免疫ウイルスに よる免疫機能障害	國島広之 (非)									
肝臓 機能障害	奥瀬 千晃 松永光太郎 中村紗里香 末谷敬吾 (非) 長瀬良彦 (非) 鈴木通博 (非)		朝倉 武士 片山 真史							

◇障害者自立支援法第 59 条の規定による指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）

診療科	主な担当医師	担当医療
整形外科	大沼 弘幸	整形外科に関する医療
眼科	松澤亜紀子	眼科に関する医療
耳鼻咽喉科	中村 学	耳鼻咽喉科に関する医療
消化器・一般外科	朝倉 武士	小腸に関する医療
形成外科	田邊 雅祥 望月 靖史	形成外科に関する医療
歯科口腔外科	新井 剛	口腔に関する医療
腎臓・高血圧内科	富永 直人	腎臓に関する医療

診療の概要



◇診療科目と特殊専門機能

診 療 科 目		
01 総合診療内科	15 神経精神科	29 泌尿器科
02 循環器内科	16 小児科	30 産婦人科
03 呼吸器内科	17 消化器・一般外科	31 眼科
05 消化器内科	19 心臓血管外科	32 耳鼻咽喉科
06 腎臓・高血圧内科	20 呼吸器外科	33 放射線科
08 代謝・内分泌内科	21 小児外科	34 麻酔科
10 脳神経内科	22 乳腺・内分泌外科	35 歯科口腔外科
11 血液内科	25 脳神経外科	36 リハビリテーション科
12 リウマチ・膠原病内科	26 整形外科	53 健康診断部
13 腫瘍内科	27 形成外科	63 病理診断科
14 アレルギー科	28 皮膚科	64 緩和ケア内科

特殊専門機能
<p>●救急災害医療センター</p> <p>ICU（集中治療室）</p> <p>CCU（心臓疾患集中治療室）</p>

◇病棟別科別状況

[目次へ戻る](#)

6 階	<p>西病棟：すずらん 定 床：48</p> <p>整形外科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科口腔外科</p>	<p>東病棟：はなみずき 定 床：48</p> <p>消化器・一般外科 眼科 泌尿器科 乳腺・内分泌外科 形成外科 皮膚科</p>
5 階	<p>西病棟：ひなげし 定 床：48</p> <p>脳神経内科 脳神経外科 呼吸器内科</p>	<p>東病棟：こすもす 定 床：48</p> <p>総合診療内科 代謝・内分泌内科 (医療措置協定に伴う確保病床)</p>
4 階	<p>西病棟：あやめ 定 床：48</p> <p>消化器内科 総合診療内科 血液内科 呼吸器内科</p>	<p>東病棟：すみれ 定 床：48</p> <p>循環器内科 腎臓・高血圧内科 脳神経内科</p>
3 階	<p>西病棟：ひまわり 定 床：30</p> <p>産婦人科 NCU（未熟児）</p>	<p>東病棟：たんぽぽ 定 床：48（院内休床7床）</p> <p>小児科（ちびっこガーデン） 緩和ケア内科</p>
1 階	<p>救急災害医療センター 定 床：10</p> <p>ICU CCU</p>	

[目次へ戻る](#)

患者統計

－入院患者数－

◇科別入院患者取扱数

診療科目	入院患者延数	新入院患者数	移動		退院患者数	一日平均			平均在院日数	科別構成比率
			転入	転出		入院患者延数	新入院患者数	退院患者数		
総合診療内科	24,398	1,545	25	469	1,097	66.8	4.2	3.0	14.9	22.4%
循環器内科	8,048	881	25	21	880	22.0	2.4	2.4	7.9	7.4%
呼吸器内科	4,731	181	97	14	262	13.0	0.5	0.7	16.1	4.3%
消化器内科	7,205	709	138	41	807	19.7	1.9	2.2	7.5	6.6%
腎臓・高血圧内科	4,491	363	52	8	401	12.3	1.0	1.1	9.9	4.1%
代謝・内分泌内科	3,196	176	33	6	199	8.8	0.5	0.5	14.5	2.9%
脳神経内科	5,726	253	51	11	294	15.7	0.7	0.8	17.8	5.3%
血液内科	3,158	103	20	1	122	8.7	0.3	0.3	24.7	2.9%
リウマチ・膠原病内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
アレルギー科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
神経精神科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
小児科	7,209	1,213	-	-	1,214	19.8	3.3	3.3	4.9	6.6%
消化器・一般外科	10,014	712	80	17	779	27.4	2.0	2.1	11.6	9.2%
心臓血管外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
呼吸器外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
小児外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
乳腺・内分泌外科	443	80	-	-	80	1.2	0.2	0.2	4.5	0.4%
脳神経外科	8,824	413	31	16	417	24.2	1.1	1.1	19.2	8.1%
整形外科	7,725	511	22	27	515	21.2	1.4	1.4	13.4	7.1%
形成外科	285	59	-	1	56	0.8	0.2	0.2	3.9	0.3%
皮膚科	10	-	-	-	1	-	-	-	18.0	0.0%
泌尿器科	2,792	586	25	14	594	7.6	1.6	1.6	3.6	2.6%
産婦人科	4,753	745	2	-	748	13.0	2.0	2.0	5.4	4.4%
眼科	1,116	420	-	1	418	3.1	1.2	1.1	1.7	1.0%
耳鼻咽喉科	1,659	231	3	2	233	4.5	0.6	0.6	6.1	1.5%
放射線科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
麻酔科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
腫瘍内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
歯科口腔外科	614	139	-	-	137	1.7	0.4	0.4	3.5	0.6%
リハビリテーション科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
緩和ケア内科	2,393	127	45	-	170	6.6	0.3	0.5	13.0	2.2%
健康診断部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
合 計	108,790	9,447	649	649	9,424	298.1	25.9	25.8	10.5	100.0%

◇月別出生数

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
出生数	35	48	39	73	50	46	60	52	43	41	42	32	561

◇月別手術件数

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
手術件数	293	315	277	305	288	248	309	265	252	276	278	297	3,403

◇科別入院患者数

診療科目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
総合診療内科	1,848	1,982	2,098	2,038	2,197	2,068	2,213	1,854	1,992	2,205	1,776	2,127	24,398
循環器内科	725	884	668	638	504	579	485	569	703	699	735	859	8,048
呼吸器内科	346	441	409	446	398	326	351	465	422	476	279	372	4,731
消化器内科	472	699	753	654	583	523	574	417	520	639	727	644	7,205
腎臓・高血圧内科	251	301	410	416	374	296	381	312	333	559	431	427	4,491
代謝・内分泌内科	266	397	297	258	227	245	224	194	276	341	267	204	3,196
脳神経内科	557	542	444	506	408	476	509	527	495	469	363	430	5,726
血液内科	202	259	191	291	239	206	231	294	286	334	316	309	3,158
リウマチ・膠原病内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
アレルギー科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
神経精神科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
小児科	588	732	574	695	642	572	570	634	605	455	623	519	7,209
消化器・一般外科	735	816	918	915	1,062	766	891	888	697	747	883	696	10,014
心臓血管外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
呼吸器外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
小児外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
乳腺・内分泌外科	46	36	32	54	40	31	56	26	33	57	24	8	443
脳神経外科	673	674	739	648	635	651	658	854	919	787	722	864	8,824
整形外科	718	728	586	597	714	672	623	623	569	426	769	700	7,725
形成外科	11	35	26	22	26	20	11	19	36	3	23	53	285
皮膚科	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
泌尿器科	278	290	242	188	230	147	213	197	288	252	246	221	2,792
産婦人科	304	439	300	545	402	380	465	410	425	407	400	276	4,753
眼科	95	119	125	124	52	56	92	77	71	86	99	120	1,116
耳鼻咽喉科	207	157	117	137	232	157	130	84	108	127	100	103	1,659
放射線科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
麻酔科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
腫瘍内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
歯科口腔外科	32	41	37	66	66	65	41	53	48	47	42	76	614
リハビリテーション科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
緩和ケア内科	154	119	161	235	176	198	226	143	271	208	236	266	2,393
健康診断部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
合 計	8,518	9,691	9,127	9,473	9,207	8,434	8,944	8,640	9,097	9,324	9,061	9,274	108,790

◇月別入院患者数

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
患者延数（人）	8,518	9,691	9,127	9,473	9,207	8,434	8,944	8,640	9,097	9,324	9,061	9,274	108,790
1日平均患者数（人）	283.9	312.6	304.2	305.6	297.0	281.1	288.5	288.0	293.5	300.8	323.6	299.2	298.1
病床稼働率（%）	76.9%	84.7%	82.4%	82.8%	80.5%	76.2%	78.2%	78.0%	79.5%	81.5%	87.7%	81.1%	80.8%
平均在院日数（日）	10.2	10.9	10.4	10.0	10.3	10.3	9.9	10.6	10.4	11.6	11.4	10.6	10.5

（月平均値）

◇死亡退院患者剖検率

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
死亡退院数	33	34	29	32	35	29	30	35	31	44	29	36	397
剖検数	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3
剖検率	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%

患者統計

－外来患者数－

◇科別外来患者取扱数

診療科目	外来患者 延数	初診 患者数	再診 患者数	一日平均			初診対 再診比率	科別 構成比率
				外来患者 延数	初診 患者数	再診 患者数		
総合診療内科	17,236	5,787	11,449	64.1	21.5	42.6	2.0	8.1%
循環器内科	12,391	1,233	11,158	46.1	4.6	41.5	9.0	5.8%
呼吸器内科	6,485	670	5,815	24.1	2.5	21.6	8.7	3.1%
消化器内科	17,955	2,759	15,196	66.7	10.3	56.5	5.5	8.4%
腎臓・高血圧内科	16,028	324	15,704	59.6	1.2	58.4	48.5	7.5%
代謝・内分泌内科	8,884	597	8,287	33.0	2.2	30.8	13.9	4.2%
脳神経内科	8,174	763	7,411	30.4	2.8	27.6	9.7	3.8%
血液内科	2,645	140	2,505	9.8	0.5	9.3	17.9	1.2%
リウマチ・膠原病内科	2,648	185	2,463	9.8	0.7	9.2	13.3	1.2%
アレルギー科	700	22	678	2.6	0.1	2.5	30.8	0.3%
神経精神科	3,822	157	3,665	14.2	0.6	13.6	23.3	1.8%
小児科	6,540	1,233	5,307	24.3	4.6	19.7	4.3	3.1%
消化器・一般外科	9,154	771	8,383	34.0	2.9	31.2	10.9	4.3%
心臓血管外科	427	56	371	1.6	0.2	1.4	6.6	0.2%
呼吸器外科	53	31	22	0.2	0.1	0.1	0.7	0.0%
小児外科	119	30	89	0.4	0.1	0.3	3.0	0.1%
乳腺・内分泌外科	1,684	300	1,384	6.3	1.1	5.1	4.6	0.8%
脳神経外科	5,307	551	4,756	19.7	2.0	17.7	8.6	2.5%
整形外科	9,078	1,248	7,830	33.7	4.6	29.1	6.3	4.3%
形成外科	3,609	894	2,715	13.4	3.3	10.1	3.0	1.7%
皮膚科	4,968	785	4,183	18.5	2.9	15.6	5.3	2.3%
泌尿器科	12,920	875	12,045	48.0	3.3	44.8	13.8	6.1%
産婦人科	15,174	1,121	14,053	56.4	4.2	52.2	12.5	7.1%
眼科	9,920	1,037	8,883	36.9	3.9	33.0	8.6	4.7%
耳鼻咽喉科	7,509	1,169	6,340	27.9	4.3	23.6	5.4	3.5%
放射線科	3,072	2,805	267	11.4	10.4	1.0	0.1	1.4%
麻酔科	1,651	1,458	193	6.1	5.4	0.7	0.1	0.8%
腫瘍内科	2,942	99	2,843	10.9	0.4	10.6	28.7	1.4%
歯科口腔外科	13,730	3,779	9,951	51.0	14.0	37.0	2.6	6.5%
リハビリテーション科	2,150	376	1,774	8.0	1.4	6.6	4.7	1.0%
緩和ケア内科	230	216	14	0.9	0.8	0.1	0.1	0.1%
健康診断部	5,400	1,273	4,127	20.1	4.7	15.3	3.2	2.5%
合 計	212,605	32,744	179,861	790.4	121.7	668.6	5.5	100.0%

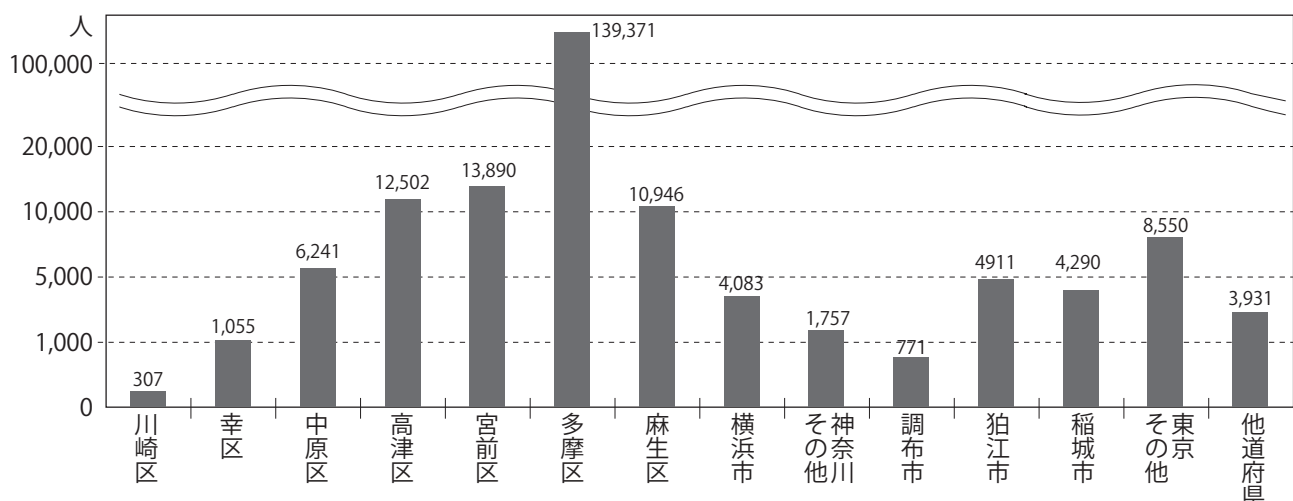
◇初診・再診月別外来患者数

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
患者総数（人）	17,086	17,765	17,379	18,933	17,341	17,483	19,223	17,476	18,548	17,501	16,290	17,580	212,605
初診患者数（人）	2,811	2,879	2,766	3,004	2,621	2,467	2,868	2,763	2,825	2,737	2,436	2,567	32,744
再診患者数（人）	14,275	14,886	14,613	15,929	14,720	15,016	16,355	14,713	15,723	14,764	13,854	15,013	179,861
1日平均患者数（人）	742.9	772.4	755.6	788.9	722.5	832.5	835.8	794.4	843.1	833.4	814.5	764.3	790.4
平均通院回数（回）	6.1	6.2	6.3	6.3	6.6	7.1	6.7	6.3	6.6	6.4	6.7	6.8	6.5

◇科別外来患者数

診 療 科 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
総合診療内科	1,330	1,493	1,303	1,632	1,483	1,368	1,476	1,379	1,606	1,516	1,295	1,355	17,236
循環器内科	1,017	999	962	1,079	956	980	1,085	1,028	1,127	1,089	1,007	1,062	12,391
呼吸器内科	552	554	539	561	481	500	606	509	561	545	525	552	6,485
消化器内科	1,420	1,416	1,541	1,571	1,470	1,558	1,714	1,471	1,558	1,389	1,402	1,445	17,955
腎臓・高血圧内科	1,342	1,347	1,242	1,356	1,343	1,306	1,387	1,319	1,365	1,402	1,257	1,362	16,028
代謝・内分泌内科	734	700	752	785	701	725	775	664	821	748	701	778	8,884
脳神経内科	664	671	733	701	590	680	754	655	717	707	649	653	8,174
血液内科	199	228	197	250	228	231	239	197	212	235	190	239	2,645
リウマチ・膠原病内科	173	210	230	241	222	223	233	193	240	229	197	257	2,648
アレルギー科	53	70	50	68	47	60	67	48	69	56	49	63	700
神経精神科	265	304	274	316	330	319	361	344	351	316	321	321	3,822
小児科	496	524	512	606	590	587	570	568	555	498	430	604	6,540
消化器・一般外科	822	789	751	852	699	757	885	732	705	771	688	703	9,154
心臓血管外科	32	35	43	47	28	42	36	33	35	25	35	36	427
呼吸器外科	4	3	8	1	3	3	2	5	8	6	6	4	53
小児外科	8	10	10	17	5	12	8	6	10	13	5	15	119
乳腺・内分泌外科	164	144	145	169	104	164	140	137	144	100	118	155	1,684
脳神経外科	395	409	442	427	446	435	525	476	469	432	418	433	5,307
整形外科	716	767	704	778	733	737	792	781	784	754	691	841	9,078
形成外科	244	331	292	295	274	248	293	332	338	311	303	348	3,609
皮膚科	443	513	466	519	469	478	483	404	388	290	260	255	4,968
泌尿器科	1,067	1,067	1,125	1,081	1,088	1,064	1,079	1,060	1,171	1,011	1,047	1,060	12,920
産婦人科	1,368	1,362	1,290	1,437	1,312	1,311	1,387	1,213	1,251	1,121	1,000	1,122	15,174
眼科	858	910	825	849	782	802	879	757	818	825	801	814	9,920
耳鼻咽喉科	596	590	662	678	574	626	658	641	674	622	555	633	7,509
放射線科	300	281	263	280	236	254	250	251	269	217	227	244	3,072
麻酔科	135	140	128	176	140	121	156	136	118	155	130	116	1,651
腫瘍内科	273	272	235	253	235	234	265	218	243	259	206	249	2,942
歯科口腔外科	1,079	1,111	1,091	1,224	1,101	1,040	1,264	1,094	1,191	1,159	1,113	1,263	13,730
リハビリテーション科	144	160	157	191	178	173	207	193	192	186	175	194	2,150
緩和ケア内科	13	13	16	22	27	16	20	15	22	18	27	21	230
健康診断部	180	342	391	471	466	429	627	617	536	496	462	383	5,400
合 計	17,086	17,765	17,379	18,933	17,341	17,483	19,223	17,476	18,548	17,501	16,290	17,580	212,605

◇地域別外来患者数



◇外来地域別来院患者状況

地 域		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計	構成比 (%)
川崎区	初診 男	2	0	5	4	6	2	2	1	3	0	1	0	26	0.1
	初診 女	0	3	2	1	2	2	3	2	1	1	0	0	17	
	再診 男	11	12	9	12	24	5	13	15	7	12	12	4	136	
	再診 女	14	16	8	12	6	7	11	13	13	11	4	13	128	
幸区	初診 男	12	11	4	3	4	5	4	1	8	9	9	5	75	0.5
	初診 女	11	10	7	11	7	8	6	5	7	2	4	5	83	
	再診 男	30	31	39	36	32	34	39	33	32	36	29	40	411	
	再診 女	43	31	31	45	40	40	52	43	38	48	40	35	486	
中原区	初診 男	86	87	52	23	27	21	27	28	29	28	21	19	448	2.9
	初診 女	72	90	53	45	36	44	29	31	35	34	21	26	516	
	再診 男	126	173	202	223	205	207	231	203	225	201	187	229	2,412	
	再診 女	167	243	247	269	233	280	272	242	228	248	228	208	2,865	
高津区	初診 男	93	91	83	65	68	75	71	77	61	59	64	60	867	5.9
	初診 女	114	109	88	78	85	59	85	77	92	94	83	81	1,045	
	再診 男	384	425	394	467	420	420	460	441	402	414	398	406	5,031	
	再診 女	463	494	469	472	458	478	520	453	463	401	433	455	5,559	
宮前区	初診 男	72	83	95	88	94	72	89	90	78	90	68	79	998	6.5
	初診 女	94	115	114	135	96	89	108	112	119	137	91	119	1,329	
	再診 男	480	482	506	488	483	473	491	467	541	465	439	493	5,808	
	再診 女	452	489	469	541	446	450	504	487	506	484	407	520	5,755	
多摩区	初診 男	860	813	870	901	857	776	916	871	836	825	813	847	10,185	65.6
	初診 女	854	907	918	1,071	906	857	1,027	975	1,050	953	832	909	11,259	
	再診 男	4,684	4,809	4,688	5,116	4,786	4,869	5,525	4,724	5,257	4,830	4,566	4,887	58,741	
	再診 女	4,837	4,971	4,847	5,266	4,892	4,936	5,226	4,892	5,119	4,858	4,523	4,819	59,186	
麻生区	初診 男	75	86	64	59	58	56	71	69	55	77	56	49	775	5.1
	初診 女	76	78	65	75	60	78	85	88	97	61	70	67	900	
	再診 男	392	409	436	402	385	431	401	425	430	364	391	382	4,848	
	再診 女	357	366	365	397	360	342	394	364	396	379	334	369	4,423	
(川崎市 合計)	初診 男	1,200	1,171	1,173	1,143	1,114	1,007	1,180	1,137	1,070	1,088	1,032	1,059	13,374	86.5
	初診 女	1,221	1,312	1,247	1,416	1,192	1,137	1,343	1,290	1,401	1,282	1,101	1,207	15,149	
	再診 男	6,107	6,341	6,274	6,744	6,335	6,439	7,160	6,308	6,894	6,322	6,022	6,441	77,387	
	再診 女	6,333	6,610	6,436	7,002	6,435	6,533	6,979	6,494	6,763	6,429	5,969	6,419	78,402	
横浜市	初診 男	39	34	29	29	21	11	24	22	24	27	14	20	294	1.9
	初診 女	45	29	24	32	18	18	24	26	19	27	22	12	296	
	再診 男	126	137	106	146	126	132	130	122	123	130	121	132	1,531	
	再診 女	118	145	151	191	138	190	183	152	178	169	156	191	1,962	
その他 神奈川	初診 男	11	19	10	20	12	9	7	6	12	9	4	7	126	0.8
	初診 女	18	18	11	18	10	4	8	7	12	11	8	8	133	
	再診 男	44	42	51	66	56	47	65	50	59	41	44	48	613	
	再診 女	74	72	70	87	75	60	72	73	74	78	69	81	885	
調布市	初診 男	0	3	5	1	3	2	4	4	3	5	1	4	35	0.4
	初診 女	1	2	6	2	4	2	7	7	3	4	6	2	46	
	再診 男	54	41	40	30	40	35	41	43	38	42	37	36	477	
	再診 女	17	15	12	19	15	15	32	18	23	16	16	15	213	
川崎区 狛江市	初診 男	25	37	15	36	18	37	30	15	24	35	23	21	316	2.3
	初診 女	22	26	22	32	20	31	34	27	28	7	7	26	309	
	再診 男	175	174	179	193	189	195	225	205	194	201	179	179	2,288	
	再診 女	160	161	160	171	150	168	176	163	173	205	145	166	1,998	
稲城市	初診 男	31	26	24	28	17	34	25	24	21	26	32	27	315	2.0
	初診 女	30	28	24	40	21	29	27	25	42	24	23	26	339	
	再診 男	136	135	151	139	130	139	166	121	155	145	121	153	1,691	
	再診 女	142	215	147	176	158	173	168	149	151	151	134	181	1,945	
その他 東京都	初診 男	54	51	51	69	48	48	53	56	54	45	55	55	639	4.0
	初診 女	66	70	66	80	65	49	55	65	55	65	48	44	728	
	再診 男	251	235	227	325	271	289	303	255	279	276	252	306	3,269	
	再診 女	263	320	327	342	319	336	351	305	342	311	317	381	3,914	
(東京都 合計)	初診 男	110	117	95	134	86	121	112	99	102	111	111	107	1,305	8.7
	初診 女	119	126	118	154	110	111	123	131	127	121	84	98	1,422	
	再診 男	616	585	597	687	630	658	735	624	666	664	589	674	7,725	
	再診 女	582	711	646	708	642	692	727	635	689	683	612	743	8,070	
他 道府県	初診 男	24	25	27	27	24	21	29	26	31	29	31	19	313	1.8
	初診 女	24	28	32	31	34	28	18	19	27	32	29	30	332	
	再診 男	131	98	133	135	148	127	141	132	140	127	140	130	1,582	
	再診 女	144	145	149	163	135	138	163	123	137	121	132	154	1,704	
合 計	初診 男	1,384	1,366	1,334	1,353	1,257	1,169	1,352	1,290	1,239	1,264	1,192	1,212	15,412	99.9
	初診 女	1,427	1,513	1,432	1,651	1,364	1,298	1,516	1,473	1,586	1,473	1,244	1,355	17,332	
	再診 男	7,024	7,203	7,161	7,778	7,295	7,403	8,231	7,236	7,882	7,284	6,916	7,425	88,838	
	再診 女	7,251	7,683	7,452	8,151	7,425	7,613	8,124	7,477	7,841	7,480	6,938	7,588	91,023	

リハビリテーション科の状況

◇部門別治療件数（患者数）

◆入院

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
理学療法	脳血管疾患等	668	797	819	756	625	651	669	714	725	666	614	692	8,396
	廃用症候群	813	967	856	868	889	685	997	852	762	768	832	904	10,193
	運動器	318	294	239	273	350	311	185	134	229	169	250	262	3,014
	呼吸器	445	407	426	732	713	661	752	765	643	630	613	698	7,485
	心大血管疾患	357	357	259	310	230	213	188	212	295	337	289	335	3,382
作業療法	脳血管疾患等	645	678	654	640	523	571	614	644	575	608	538	785	7,475
	廃用症候群	107	178	168	209	200	142	187	161	132	118	113	134	1,849
	運動器	62	55	64	46	51	12	29	30	34	24	64	44	515
	呼吸器	75	72	66	128	102	66	67	62	54	89	150	113	1,044
	心大血管疾患	0	1	3	22	0	0	0	14	0	19	7	41	107
言語聴覚療法	脳血管疾患等	277	289	293	252	240	223	239	278	248	196	160	259	2,954
	廃用症候群	158	203	162	101	139	91	183	127	148	181	71	126	1,690
	呼吸器	177	150	156	239	215	172	223	151	129	253	146	206	2,217
	摂食嚥下療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		4,102	4,448	4,165	4,576	4,277	3,798	4,333	4,144	3,974	4,058	3,847	4,599	50,321

◆外来

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
理学療法	脳血管疾患等	4	4	4	0	3	4	3	5	1	2	2	4	36
	廃用症候群	0	1	1	1	0	0	1	1	4	2	1	1	13
	運動器	41	43	49	52	37	48	57	54	41	37	33	52	544
	呼吸器	2	3	1	0	1	2	6	0	6	0	1	5	27
	心大血管疾患	6	4	11	12	18	20	24	21	19	17	10	8	170
作業療法	脳血管疾患等	5	4	7	6	9	10	8	13	9	10	15	25	121
	廃用症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	運動器	88	105	94	121	112	93	116	105	112	113	111	101	1,271
	呼吸器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心大血管疾患	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
言語聴覚療法	脳血管疾患等	2	1	4	4	5	4	5	1	3	4	5	2	40
	廃用症候群	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	呼吸器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	摂食嚥下療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		148	166	171	196	185	182	220	200	195	185	178	198	2,224

◇部門別治療単位数

◆入院

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
理学療法	脳血管疾患等	1,140	1,398	1,463	1,418	1,133	1,071	1,153	1,273	1,272	1,111	1,024	1,252	14,708
	廃用症候群	1,314	1,635	1,475	1,533	1,487	1,089	1,640	1,432	1,280	1,254	1,409	1,552	17,100
	運動器	591	563	550	542	690	626	379	267	463	341	477	483	5,972
	呼吸器	752	641	710	1,271	1,207	1,133	1,300	1,306	1,071	1,126	1,037	1,224	12,778
	心大血管疾患	661	714	504	670	451	433	390	411	557	677	588	638	6,694
作業療法	脳血管疾患等	1,156	1,274	1,186	1,171	890	928	1,064	1,152	1,146	1,054	940	983	12,944
	廃用症候群	176	271	236	302	315	245	329	284	212	196	194	219	2,979
	運動器	80	98	93	46	70	19	35	30	35	27	77	49	659
	呼吸器	130	107	96	128	161	113	85	97	90	138	131	180	1,456
	心大血管疾患	0	2	4	22	0	9	28	22	10	34	10	68	209
言語聴覚療法	脳血管疾患等	479	511	526	453	434	377	392	438	379	297	350	396	5,032
	廃用症候群	223	278	213	144	201	126	280	174	182	240	144	173	2,378
	呼吸器	280	205	231	375	306	256	337	199	296	374	292	292	3,443
	摂食嚥下療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		6,982	7,697	7,287	8,075	7,345	6,425	7,412	7,085	6,993	6,869	6,673	7,509	86,352

◆外来

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
理学療法	脳血管疾患等	4	4	5	0	3	4	3	5	1	2	3	4	38
	廃用症候群	0	1	1	1	0	0	0	1	4	2	1	1	12
	運動器	31	43	49	52	37	48	58	54	41	35	33	52	533
	呼吸器	2	3	1	1	2	2	6	2	6	3	1	5	34
	心大血管疾患	13	7	21	22	29	39	49	46	41	34	21	26	348
作業療法	脳血管疾患等	5	4	19	10	11	6	10	17	17	17	15	24	155
	廃用症候群	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	運動器	88	105	93	122	226	93	116	105	112	114	112	104	1,390
	呼吸器	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	心大血管疾患	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
言語聴覚療法	脳血管疾患等	2	2	8	7	11	8	11	2	5	7	9	4	76
	廃用症候群	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	呼吸器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	摂食嚥下療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		145	170	224	215	319	201	253	232	227	214	195	220	2,615

[目次へ戻る](#)

救急災害医療センターの状況

◇患者取扱状況

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
救急患者取扱数		669	780	691	872	772	691	735	792	967	893	724	750	9,336
(1日平均)		22.30	25.16	23.03	28.13	24.90	23.03	23.71	26.40	31.19	28.81	25.86	24.19	25.58
入院患者数		270	280	258	292	260	234	257	262	286	261	237	262	3,159
(1日平均)		9.00	9.03	8.60	9.42	8.39	7.80	8.29	8.73	9.23	8.42	8.46	8.45	8.65
内 訳	センター入院	52	57	56	52	52	50	43	47	44	56	41	57	607
	(1日平均)	1.73	1.84	1.87	1.68	1.68	1.67	1.39	1.57	1.42	1.81	1.46	1.84	1.66
	一般病棟入院	218	223	202	240	209	184	214	215	242	205	196	205	2,553
	(1日平均)	7.27	7.19	6.73	7.74	6.74	6.13	6.90	7.17	7.81	6.61	7.00	6.61	6.99
外来		399	500	433	580	511	456	478	530	682	633	487	488	6,177
(1日平均)		13.30	16.13	14.43	18.71	16.48	15.20	15.42	17.67	22.00	20.42	17.39	15.74	16.73
救急車での患者数		353	396	340	460	422	359	338	396	478	447	413	411	4,813
(1日平均)		11.77	12.77	11.33	14.84	13.61	11.97	10.90	13.20	15.42	14.42	14.75	13.26	13.02
内 訳	センター入院	34	41	34	37	35	36	25	26	30	46	31	45	419
	一般病棟入院	106	108	97	110	100	95	97	101	128	110	96	105	1,253
	外来	203	245	209	310	281	224	216	262	313	286	280	254	3,083
一・二次施設からの紹介患者数		165	178	169	170	187	157	164	176	205	141	147	157	2,016
(1日平均)		5.50	5.74	5.63	5.48	6.03	5.23	5.29	5.87	6.61	4.55	5.25	5.06	5.20
内 訳	センター入院	26	30	26	23	23	20	20	19	22	26	14	15	264
	一般病棟入院	87	95	84	87	90	75	81	84	106	66	82	89	1,026
	外来	52	53	58	60	74	63	63	73	77	49	51	53	726

◇時間帯別患者数

時間帯 (時)	0～1	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11	11～12
患者数	189	197	175	154	148	145	187	237	386	485	615	703
時間帯 (時)	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24
患者数	705	602	564	492	554	484	490	447	437	343	311	286

◇曜日別患者数

曜 日	日	月	火	水	木	金	土	計
患者数	1,448	1,507	1,309	1,258	1,188	1,338	1,288	9,336

◇年齢別・男女別患者数

性別／年齢	0～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81以上
男	576	199	377	278	304	421	449	745	1,068
女	466	189	751	552	310	376	304	579	1,392

◇地域・入院・外来・搬送方法・要請者別患者数

項 目		総 数			医療施設									情報センター			その他			
					総 数			病 院			診療所									
		総数	救急車	他	総数	救急車	他	総数	救急車	他	総数	救急車	他	総数	救急車	他	総数	救急車	他	
総 数	総 数	9,336	4,813	4,523	2,018	871	1,147	285	134	151	1,733	737	996	0	0	0	7,318	3,942	3,376	
	入 院	総 数	3,160	1,674	1,486	1,292	632	660	246	109	137	1,046	523	523	0	0	0	1,868	1,042	826
		センター入院	607	420	187	265	165	100	81	30	51	184	135	49	0			342	255	87
		一般病棟入院	2,553	1,254	1,299	1,027	467	560	165	79	86	862	388	474	0			1,526	787	739
	外 来	6,176	3,139	3,037	726	239	487	39	25	14	687	214	473	0			5,450	2,900	2,550	
総 数	総 数	8,673	4,451	4,222	1,744	679	1,065	229	89	140	1,515	590	925	0	0	0	6,929	3,772	3,157	
	入 院	総 数	2,873	1,483	1,390	1,107	494	613	202	75	127	905	419	486	0	0	0	1,766	989	777
		センター入院	553	374	179	227	133	94	72	20	52	155	113	42	0			326	241	85
		一般病棟入院	2,320	1,109	1,211	880	361	519	130	55	75	750	306	444	0			1,440	748	692
	外 来	5,800	2,968	2,832	637	185	452	27	14	13	610	171	439	0			5,163	2,783	2,380	
総 数	総 数	593	301	292	257	177	80	64	46	18	193	131	62	0	0	0	336	124	212	
	入 院	総 数	286	186	100	182	135	47	51	37	14	131	98	33	0	0	0	104	51	53
		センター入院	54	45	9	37	31	6	13	12	1	24	19	5	0			17	14	3
		一般病棟入院	232	141	91	145	104	41	38	25	13	107	79	28	0			87	37	50
	外 来	307	115	192	75	42	33	13	9	4	62	33	29	0			232	73	159	

◇ICU 入院・外来死亡患者取扱状況

項 目	R6年 4月	5月	6月	第1 四半期計	7月	8月	9月	第2 四半期計	10月	11月	12月	第3 四半期計	R7年 1月	2月	3月	第4 四半期計	合計
前期末在院患者	5	5	8	18	5	6	4	15	5	3	6	14	5	4	7	16	63
新入院患者	52	57	56	165	52	52	50	154	43	47	44	134	56	41	57	154	607
退院患者	2	4	7	13	5	4	5	14	3	4	4	11	4	5	4	13	51
延患者数	240	184	235	659	180	258	255	693	174	171	169	514	260	204	287	751	2,617
外来死亡患者数	2	1	1	4	2	2	1	5		1	1	2	4	2		6	17

◇ICU 入院・外来死亡患者月別内訳

項 目		R6年 4月	5月	6月	第1 四半期計	7月	8月	9月	第2 四半期計	10月	11月	12月	第3 四半期計	R7年 1月	2月	3月	第4 四半期計	合計
患者実数		52	57	56	165	52	52	50	154	43	47	44	134	56	41	57	154	607
外来死亡数		2	1	1	4	2	2	1	5		1	1	2	4	2		6	17
ICU 入院数		52	57	56	165	52	52	50	154	43	47	44	134	56	41	57	154	51
医療機関	診療所	23	22	14	59	13	14	15	42	14	10	14	38	21	12	10	43	2,617
	病院	3	9	13	25	10	10	5	25	6	9	8	23	5	2	5	12	85
	消防機関	17	25	19	61	24	23	26	73	14	18	19	51	30	25	31	86	271
	その他	11	2	11	24	7	7	5	19	9	11	4	24	4	4	11	19	86
延患者数	入院	240	184	235	659	180	258	255	693	174	181	169	524	260	204	287	751	2,627
	外来	2	1	1	4	2	2	1	5		1	1	2	4	2		6	17
	合計	242	185	236	663	182	260	256	698	174	182	170	526	264	206	287	757	2,644
	平均在院日数	4.65	3.25	4.21	12.11	3.50	5.00	5.12	13.62	4.05	3.87	3.86	11.78	4.71	5.02	5.04	14.77	13.07
死亡実数	入院後		4	4	8	3	2	2	7	1	2	2	5	1	2	2	5	25
	外来	2	1	1	4	2	2	1	5		1	1	2	4	2		6	85
	合計	2	5	5	12	5	4	3	12	1	3	3	7	5	4	2	11	42
	死亡率	3.85	8.77	8.93	21.55	9.62	7.69	6.00	23.31	2.33	6.38	6.82	15.53	8.93	9.76	3.51	22.19	20.64

◇診療科別、入院・外来別患者数

項 目	入 院	(センター入院)	外 来	計	死 亡
総合診療科	1,453	(212)	4,632	6,085	16
循環器内科	238	(153)	276	514	1
呼吸器内科	31	(15)	1	32	
消化器内科	33		55	88	
腎臓・高血圧内科	26	(9)	8	34	
代謝・内分泌内科	10	(5)	9	19	
脳神経内科	118	(82)	99	217	
血液内科	3	(1)		3	
リウマチ・膠原病内科				0	
アレルギー科				0	
神経精神科				0	
小児科	457		564	1,021	
消化器・一般外科	103	(16)	14	117	
心臓血管外科				0	
呼吸器外科				0	
小児外科				0	
乳腺・内分泌外科				0	
脳神経外科	186	(107)	131	317	
整形外科	86	(1)	162	248	
形成外科			5	5	
皮膚科			1	1	
泌尿器科	15	(4)	15	30	
産婦人科	386	(2)	166	552	
眼科			2	2	
耳鼻咽喉科	3		9	12	
放射線科				0	
歯科口腔外科	1		10	11	
緩和ケア内科	11			11	
合 計	3,160	607	6,159	9,319	17

◇来院方法別死亡患者内訳

項 目		外来死亡	入院後死亡	計
一次救急施設からの紹介	救急車	3	4	7
	その他		1	1
	計	3	5	8
二次救急施設からの紹介	救急車		2	2
	その他		1	1
	計	0	3	3
その他	救急車	14	17	31
	その他		7	7
	計	14	24	38
合 計	救急車	17	23	40
	その他	0	9	9
	計	17	32	49

◇地域別外来患者月別取扱状況

地 域	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
川崎区	1	1	2		2		3	1	1			1	12
幸区	1	3	3		4	1	1	3	10	2	2	4	34
中原区	15	15	8	17	15	5	11	17	20	17	12	17	169
高津区	51	58	48	54	48	63	61	70	74	66	61	56	710
多摩区	480	548	472	641	548	480	512	548	649	594	491	504	6,467
宮前区	48	57	79	80	75	69	77	80	113	100	85	87	950
麻生区	28	27	27	30	35	35	32	25	55	39	33	28	394
川崎市内計	624	709	639	822	727	653	697	744	922	818	684	697	8,736
横浜市内	10	9	17	6	7	6	10	9	13	25	8	20	140
相模原区		2		2	1			1	1	1	1	1	10
その他の県内	1	8		2		1		2	1	2		1	18
大田区	3	1	1			1				2		1	9
世田谷区	7	6	3	6	9	3	5	6	5	11	1	5	67
稲城区	7	14	9	10	9	7	4	9	6	11	7	8	101
町田市	2	2	1	3	1	4	1	1	2	4	4	3	28
狛江市	6	11	8	15	5	9	12	8	12	8	6	6	106
調布市		3	3			1	2	2	2	4	2	2	21
その他の東京都	8	12	10	4	10	5	2	7	3	6	11	6	84
その他	1	2	1	2	3	1	2	3		1			16
市外計	45	70	53	50	45	38	38	48	45	75	40	53	600
合 計	669	779	692	872	772	691	735	792	967	893	724	750	9,336

◇地域別患者来院状況

地 域	センター入院	一般病棟入院	外 来	死 亡	合 計
川崎区		4	8		12
幸区	2	22	10		34
中原区	10	70	89		169
高津区	57	216	437		710
多摩区	379	1,581	4,501	6	6,467
宮前区	76	303	569	3	951
麻生区	29	127	236	2	394
川崎市内計	553	2,323	5,850	11	8,737
横浜市内	14	60	64		138
相模原区		4	6		10
その他の県内	1	3	14		18
大田区		4	5		9
世田谷区	5	28	34		67
稲城区	13	32	56		101
町田市	3	12	13		28
狛江市	6	34	64	3	107
調布市	4	6	10	1	21
その他の東京都	8	40	34	2	84
その他		7	9		16
市外計	54	230	309	6	599
合 計	607	2,553	6,159	17	9,336

◇疾病・損傷分類

疾病分類	センター	病 棟	外 来	合 計
1. 感染症及び寄生虫症	28	236	432	696
2. 新生物	1	48	12	61
3. 内分泌・栄養及び代謝疾患ならびに免疫障害	30	73	37	140
4. 血液及び造血器の疾患	4	22	11	37
5. 精神障害	2	2	86	90
6. 神経系及び感覚器の疾患	8	34	245	287
7－1. 循環器の疾患（頭部）	170	101	73	344
7－2. 循環器の疾患（心臓）	175	115	281	571
7－3. 循環器の疾患（その他）	3	7	31	41
8. 呼吸器系の疾患	86	578	609	1,273
9. 消化器系の疾患	24	334	500	858
10. 泌尿生殖系の疾患	18	170	342	530
11. 妊娠・分娩及び産褥の合併症	1	376	126	503
12. 皮膚及び皮下組織の疾患		42	94	136
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1	74	154	229
14. 先天異常				0
15. 周産期に発生した主要病態	1	7	5	13
16. 症状・兆候及び診断名不明確の状態	24	198	2,264	2,486
合 計	576	2,417	5,302	8,295

損傷および中毒分類	センター	病 棟	外 来	合 計
1. 頭蓋及び顔面の骨折		1	4	5
2. 頸部及び体感の骨折			6	6
3. 上肢の骨折	2	9	52	63
4. 下肢の骨折		67	35	102
5. 間接脱臼		1	16	17
6. 間接と隣接筋の挫折		2	17	19
7. 頭蓋内損傷	9	1		10
8. 胸腔の内部損傷				0
9. 腹腔骨盤腔の損傷				0
10. 頭・頸・体幹の解放創・血管損傷			3	3
11. 上肢の解放創・血管損傷				0
12. 下肢の解放創・血管損傷				0
13. 表在損傷・挫傷	19	21	608	648
14. 孔口内への異物			4	4
15. 熱傷			5	5
16. 神経及び脊髄の損傷				0
17. 医薬品による中毒			2	2
18. 薬用を主としない物資による毒作用		1	1	2
19. その他	1	32	116	149
20－1. 重複損傷（2ヶ所）			1	1
20－2. 重複損傷（3ヶ所）			2	2
20－3. 重複損傷（4ヶ所）		1		1
20－4. 重複損傷（5ヶ所以上）			2	2
合 計	31	136	874	1,041

◇ ICU 入院患者月別取扱状況

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
新入院患者数(人)	52	57	56	52	52	50	43	47	44	56	41	57	607
実患者数(人)	57	62	59	57	58	54	48	53	50	61	45	64	668
1日平均(人)	1.7	1.8	1.9	1.7	1.7	1.7	1.4	1.6	1.4	1.8	1.5	1.8	1.7
平均在院日数(日)	4.21	2.97	3.98	3.16	4.45	4.72	3.63	3.23	3.38	4.26	4.53	4.48	3.92
延患者数(人)	240	184	235	180	258	255	174	171	169	260	204	287	2,617
内科	122	130	139	112	177	160	84	111	97	194	135	178	1,639
神経内科	37	19	30	24	47	3	35	28	27	26	5	41	322
外科	4	7	32	3	6	44	4	4	24	2	26		156
脳神経外科	77	28	31	36	28	33	41	20	16	13	38	68	429
整形外科				5									5
形成外科							10	8					18
産婦人科													0
眼科													0
小児科													0
皮膚科													0
泌尿器科			3			15			5	25			48
歯科口腔外科													0
耳鼻咽喉科													0

◇地域別 ICU 入院患者数状況

地 域	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
川崎区				5									5
幸区			3										3
中原区		3	3	11						6		1	24
高津区	33	14	28	28	121	5	13	2	15	18	13	31	321
多摩区	166	137	146	122	73	201	141	102	110	190	160	191	1,739
宮前区	8	6	27	4		24		34	30	34	12	48	227
麻生区	16	1		6	41	23	7	11		2	6		113
川崎市内計	223	161	207	176	235	253	161	149	155	250	191	271	2,432
横浜市内		9	5		4		2	12		2	8		42
調布市			23	2	5		8				5		43
狛江市	8	2		2	4				2	3		5	26
稲城市	7	8				2				3		7	27
世田谷区	2	4			8			2	2	2			20
その他					2		3	8	10			4	27
市外計	17	23	28	4	23	2	13	22	14	10	13	16	185
合 計	240	184	235	180	258	255	174	171	169	260	204	287	2,617

◇ ICU 入院患者疾病分類

No.	主病名	件数	No.	主病名	件数	No.	主病名	件数
1	うつ血性心不全	50	62	橋梗塞・急性期	2	123	高ナトリウム血症	1
2	脳梗塞	50	63	塞栓性脳梗塞・急性期	2	124	高血圧性脳内出血	1
3	ST上昇型急性心筋梗塞	30	64	出血性ショック	2	125	高血糖高浸透圧症候群	1
4	心不全	27	65	心原性肺水腫	2	126	高次脳機能障害	1
5	肺炎	19	66	多発性脳梗塞	2	127	高張性脱水症	1
6	COVID-19	18	67	糖尿病	2	128	塞栓性脳梗塞	1
7	外傷性くも膜下出血	17	68	特発性間質性肺炎	2	129	自然頭位分娩	1
8	誤嚥性肺炎	17	69	脳卒中	2	130	室駆出率の低下した心不全	1
9	急性心筋梗塞	11	70	膿胸	2	131	循環血流量減少性ショック	1
10	脳出血	10	71	閉鎖性急性硬膜下血腫	2	132	徐脈	1
11	非ST上昇型心筋梗塞	10	72	慢性心不全の急性増悪	2	133	徐脈性失神	1
12	アテローム血栓性脳梗塞	9	73	慢性閉塞性肺疾患の急性増悪	2	134	徐脈性心房細動	1
13	アテローム血栓性脳梗塞・急性期	9	74	未破裂椎骨動脈解離	2	135	小腸イレウス	1
14	急性硬膜下血腫	9	75	痙攣発作	2	136	上行結腸憩室穿孔	1
15	敗血症性ショック	9	76	1型糖尿病性ケトアシドーシス	1	137	上部消化管出血	1
16	急性心不全	8	77	S状結腸憩室穿孔	1	138	心室頻拍	1
17	くも膜下出血	7	78	S状結腸穿孔	1	139	心臓性失神	1
18	細菌性肺炎	7	79	アナフィラキシーショック	1	140	正常圧水頭症	1
19	心筋梗塞	7	80	アルコール性ケトアシドーシス	1	141	前大脳動脈塞栓症による脳梗塞	1
20	心原性脳塞栓症	7	81	ウェルニッケ脳症	1	142	側頭部打撲傷	1
21	低ナトリウム血症	7	82	ショック	1	143	続発性気胸	1
22	糖尿病性ケトアシドーシス	7	83	ステント機能不全	1	144	多発性肝膿瘍	1
23	被殻出血	7	84	たこつぼ型心筋症	1	145	大腿筋肉内血腫	1
24	急性下壁心筋梗塞	5	85	たこつぼ型心筋症劇症型心筋炎	1	146	大腸重積症	1
25	急性前壁中隔心筋梗塞	5	86	ヘルペス脳炎	1	147	大動脈解離	1
26	急性肺炎	5	87	ラクナ梗塞	1	148	大動脈原性脳塞栓症	1
27	結石性腎盂腎炎	5	88	リフィーディング症候群	1	149	第7頸椎骨折	1
28	視床出血	5	89	意識障害	1	150	脱水症	1
29	低カリウム血症	5	90	胃癌	1	151	中大脳動脈狭窄による脳梗塞	1
30	肺塞栓症	5	91	下垂体卒中	1	152	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1
31	間質性肺炎の急性増悪	4	92	下腿コンパートメント症候群	1	153	腸穿孔	1
32	小脳梗塞	4	93	下腿筋肉内血腫	1	154	低カリウム血症周期性四肢麻痺	1
33	小脳出血	4	94	下部消化管出血	1	155	低心拍出量症候群	1
34	症候性てんかん	4	95	過長月経	1	156	頭痛	1
35	低酸素血症	4	96	壊疽性胆のう炎	1	157	頭部打撲	1
36	脳皮質下出血	4	97	外傷性頭蓋内出血	1	158	洞不全症候群	1
37	一過性脳虚血発作	3	98	完全房室ブロック	1	159	特発性器質性肺炎	1
38	間質性肺炎	3	99	肝腫瘍	1	160	内頸動脈脳動脈瘤	1
39	気管支肺炎	3	100	気管支喘息	1	161	内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1
40	気管支喘息発作	3	101	急性2型呼吸不全	1	162	尿管結石症	1
41	急性大動脈解離	3	102	急性アルコール性肝炎	1	163	尿路感染症の疑い菌血症	1
42	硬膜下血腫	3	103	急性下後壁心筋梗塞	1	164	脳炎	1
43	絞扼性イレウス	3	104	急性下側壁心筋梗塞	1	165	脳幹梗塞	1
44	尿路感染症	3	105	急性虚血性心疾患	1	166	脳幹梗塞・急性期	1
45	脳梗塞・急性期	3	106	急性硬膜外血腫	1	167	脳室内出血	1
46	慢性硬膜下血腫	3	107	急性腎障害	1	168	脳動静脈奇形破裂によるくも膜	1
47	痙攣重積発作	3	108	急性大動脈解離 StanfordA	1	169	敗血症	1
48	CO2ナルコーシス	2	109	急性大動脈解離 StanfordB	1	170	肺炎球菌肺炎	1
49	COVID-19肺炎	2	110	急性胆のう炎	1	171	肺血栓塞栓症	1
50	アテローム血栓性脳梗塞・慢性期	2	111	急性膵炎	1	172	汎発性带状疱疹	1
51	アルコール離脱状態	2	112	橋出血	1	173	貧血	1
52	インフルエンザ	2	113	胸水貯留	1	174	複雑性尿路感染症	1
53	てんかん	2	114	菌血症	1	175	閉鎖性外傷性くも膜下出血	1
54	亜急性心筋梗塞	2	115	頸椎骨折	1	176	慢性硬膜下水腫	1
55	胃穿孔	2	116	結腸穿孔 S状結腸穿孔	1	177	慢性心不全	1
56	外傷性慢性硬膜下血腫	2	117	血栓性脳梗塞	1	178	慢性閉塞性肺疾患	1
57	間質性肺炎の二次感染	2	118	血尿	1	179	両水腎症	1
58	急性腎不全	2	119	呼吸不全	1	180	両側尿管結石症	1
59	急性胆管炎	2	120	甲状腺クリーゼ	1	181	両側肺炎	1
60	急性汎発性腹膜炎	2	121	絞扼性癒着性腸閉塞症	1	182	両肺炎	1
61	橋梗塞	2	122	高カリウム血症	1		合 計	607

腎センターの状況

◇実績統計

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
血液透析	入院患者数	21	33	40	35	31	38	35	30	37	37	31	32	
	男	14	23	30	25	23	21	26	19	24	23	19	18	
	女	7	10	10	10	8	17	9	11	13	14	12	14	
	入院透析回数	87	118	147	116	106	103	129	146	140	182	138	155	1,567
	HD 導入件数	1	3	7	4	3	1	4	3	3	4	1	3	37
	緊急導入件数	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	5
	退院後通院	7	9	4	5	8	4	6	2	12	5	6	8	76
	紹介	11	17	17	18	11	21	15	11	16	18	12	8	175
	転院	13	16	24	21	17	24	14	15	18	19	9	12	202
	外来患者数	69	66	66	66	67	66	63	65	65	63	66	68	
	男	45	42	42	44	45	44	41	43	43	43	45	47	
	女	24	24	24	22	22	22	22	22	22	20	21	21	
	外来透析回数	809	830	747	839	826	766	792	788	804	848	761	830	9,640
	紹介	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	転院	2	1	3	4	2	1	1	4	3	2	0	0	23
腹膜透析	入院患者数	1	1	2	1	0	2	4	2	1	0	2	2	
	男	1	0	1	1	0	2	4	0	1	0	1	1	
	女	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	1	
	PD 導入件数	0	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	5
	外来患者数	8	9	9	10	10	10	11	12	12	12	12	11	
	男	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5	
	女	3	4	4	4	4	4	5	6	6	6	6	6	
	外来件数	7	8	9	10	10	8	9	10	11	12	12	11	117
血液浄化の種類	G-CAP(直接灌流)	4	3	7	3	0	0	3	9	3	0	0	0	32
	腹水濾過法	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	4
	HDF	684	710	650	725	744	690	700	665	687	712	636	701	8,304
	HD	208	233	237	225	188	173	214	263	251	318	262	283	2,855
	ECUM	48	51	50	41	32	58	52	70	57	68	51	54	632
感染症	COVID 陽性患者数 (入院)	0	0	0	2	1	1	0	0	0	3	0	0	7
	COVID 陽性患者数 (外来)	0	1	1	2	3	2	0	1	1	1	0	0	12
	インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	5
	その他	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
その他	下肢末梢動脈疾患指導管理料	67	65	65	67	66	67	63	65	65	67	66	68	791
	糖尿病足病変指導料	53	57	57	53	55	53	57	50	48	38	44	36	601
	療法選択 (腎代替療法)	2	2	4	7	2	5	4	5	6	11	6	4	58
	慢性腎臓病透析予防指導管理料	0	0	1	2	5	3	6	5	6	6	4	4	42
	糖尿病透析予防加算指導管理料	0	0	0	0	0	0	0	2	5	3	5	5	20
	退院後訪問指導料	0	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	6
	臨時・緊急透析	1	6	2	4	1	2	4	4	3	2	3	6	38
	PTA	11	16	9	12	9	17	11	10	13	13	8	11	140
	ブラッドアクセス OP	2	4	3	6	6	4	5	4	1	4	5	4	48
	腹膜透析関連 OP	0	1	1	1	1	0	3	1	0	0	0	0	8

内視鏡センターの状況

◆検査件数

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
内視鏡総数	外来	413	475	503	553	464	456	522	469	462	479	427	415	5,638
	入院	72	101	105	101	73	65	96	85	60	90	81	81	1,010
気管支鏡	外来	1	0	0	0	0	1	2	1	1	0	1	0	7
	入院	2	2	3	3	1	4	1	3	4	2	1	2	28
TBLB	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	1	2	1	3	0	2	1	2	2	1	0	1	16
上部総数	外来	252	248	281	299	265	267	315	286	267	277	252	271	3,280
	入院	36	52	44	47	29	29	45	35	31	51	43	45	487
食道	外来	0	1	1	1	0	1	0	2	0	1	0	2	9
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
胃	外来	252	247	280	298	265	266	315	284	267	276	252	269	3,271
	入院	36	52	44	47	29	29	45	35	31	50	42	45	485
小腸（上部）	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下部総数	外来	160	227	222	254	199	188	205	182	194	202	174	144	2,351
	入院	34	47	58	51	43	32	50	47	25	37	37	34	495
直腸	外来	2	0	4	3	3	0	2	1	2	0	1	1	19
	入院	7	7	9	4	5	3	3	10	1	5	1	3	58
S状結腸	外来	0	3	1	3	3	0	1	1	4	0	1	1	18
	入院	2	3	7	6	1	3	8	7	3	2	5	3	50
下行・横行	外来	2	2	3	2	2	5	3	2	1	2	0	1	25
	入院	1	6	3	0	4	1	4	3	2	1	0	1	26
上行・盲腸	外来	156	222	214	246	191	183	199	178	187	200	172	141	2,289
	入院	24	31	39	41	33	25	35	27	19	29	31	27	361
小腸（下部）	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経鼻内視鏡	外来	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	5
	入院	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
胆道鏡	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ERCP	外来	4	1	2	1	1	0	0	1	1	3	2	2	18
	入院	13	12	8	11	6	11	13	4	4	12	10	13	117
EUS	外来	3	2	3	8	5	3	4	4	6	6	5	6	55
	入院	3	6	1	4	2	3	7	2	2	5	0	3	38
組織・培養他	外来	125	164	166	176	184	162	177	178	171	168	177	119	1,967
	入院	40	61	65	60	47	56	64	58	47	48	55	50	651
一般細菌培養	外来	3	3	3	6	6	5	6	8	7	3	3	3	56
	入院	3	10	4	5	3	5	4	6	4	5	6	8	63
抗酸菌培養	外来	0	0	0	0	0	2	2	1	3	0	2	0	10
	入院	2	4	2	3	1	3	1	4	3	2	2	1	28
組織診	外来	122	161	163	170	178	155	167	168	159	164	170	116	1,893
	入院	30	43	55	44	41	41	56	44	32	36	44	38	504
細胞診	外来	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	2	0	8
	入院	5	4	4	8	2	7	3	4	8	5	3	3	56
色素内視鏡	外来	120	146	125	159	137	138	135	126	115	112	115	100	1,528
	入院	15	28	21	32	27	21	26	16	13	17	12	11	239
インジゴ	外来	117	143	123	154	134	136	134	124	112	111	107	97	1,492
	入院	15	28	20	31	25	21	26	15	12	17	11	9	230
ルゴール	外来	1	1	2	2	2	1	1	1	2	1	8	3	25
	入院	0	0	1	1	2	0	0	1	1	0	1	2	9
ピオクタニン	外来	2	2	0	3	1	1	0	1	1	0	0	0	11
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NBI	外来	228	254	270	277	247	243	274	232	231	239	223	198	2,916
	入院	25	36	48	46	33	30	44	38	27	36	31	37	431
点墨	外来	2	1	0	1	3	1	1	2	0	2	0	0	13
	入院	2	2	0	1	2	0	1	1	0	0	2	0	11

◆治療件数

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
止血処置	外来	3	5	2	7	6	4	2	4	4	3	1	4	45
	入院	6	5	7	4	2	2	6	6	11	11	6	7	73
ポリペクトミー・EMR	外来	31	79	70	76	67	67	64	68	83	95	84	57	841
	入院	15	23	32	29	26	24	30	25	18	18	25	24	289
上部粘膜切除	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	入院	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	5
下部粘膜切除 2cm 未満	外来	31	79	70	76	67	67	64	68	83	94	84	57	840
	入院	13	21	25	25	24	20	21	23	16	13	19	20	240
2cm 以上	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	2	1	7	4	2	4	8	1	2	5	5	3	44
ESD	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	3	5	5	8	4	6	4	4	6	3	3	51
上部粘膜剥離	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	1	2	2	5	2	4	2	2	4	1	2	27
下部粘膜剥離	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	24
食道静脈瘤治療	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	2	0	6
食道静脈瘤硬化療法 (EIS)	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3
食道静脈瘤結紮術 (EVL)	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3
ERCP	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	17	13	10	12	7	11	13	5	5	16	12	15	136
ステント挿入	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	10	4	5	6	5	5	10	4	5	8	8	9	79
経鼻胆管ドレナージ (ENBD)	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
乳頭切開 (EST)	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	5	5	3	6	4	6	8	1	4	5	6	8	61
EPBD - EPLBD	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	1	2	3	3	0	2	1	1	0	3	1	5	22
経内視鏡的碎石術	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	2	2	9
経内視鏡的採石術	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	8	5	4	6	3	8	4	1	0	6	3	4	52
造影のみ	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
EUS	外来	3	2	3	8	5	3	4	4	4	6	4	5	51
	入院	1	3	1	2	0	1	2	1	2	2	1	1	17
FNA	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	1	3	1	2	0	1	2	1	2	2	1	1	17
瘻孔形成術	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下部 EUS	外来	3	2	3	8	5	3	4	4	4	6	4	5	51
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拡張術	外来	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	6
	入院	1	1	3	3	0	2	2	1	0	3	1	4	21
消化管ステント挿入	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	入院	1	4	1	0	1	0	0	0	0	3	0	0	10
食道	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
胃・十二指腸	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	入院	0	4	1	0	1	0	0	0	0	3	0	0	9
異物除去	外来	0	2	0	2	0	0	1	0	1	2	0	0	8
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
結腸軸捻転解除術	外来	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	6
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃瘻増設・交換	外来	3	5	9	6	6	10	7	4	14	2	4	4	74
	入院	0	4	6	2	3	2	2	5	0	1	2	2	29

健康診断部の状況

◇川崎市特定健診・がん検診等稼働実績

項 目		合計	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	
特定健康診査 (40～74歳)	男性	300	0	0	0	57	25	28	35	36	35	31	30	23	
	女性	492	0	0	0	64	55	38	60	66	51	62	52	44	
後期高齢者健康 診査（75歳以上）	男性	282	10	51	50	13	20	18	22	25	25	18	16	14	
	女性	306	15	62	60	13	23	17	24	25	19	19	17	12	
生活保護健康診査	男性	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	
	女性	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	
35～39歳健康診査	男性	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	女性	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
特定保健指導	初回	37	3	0	0	0	6	3	2	3	5	5	3	7	
	3か月後	15	1	1	1	4	1	0	0	0	1	1	3	2	
肺がん検診	男性	643	11	50	50	75	52	47	67	57	60	68	63	43	
	女性	971	27	67	74	82	95	70	104	122	96	97	78	59	
大腸がん検診	男性	581	12	44	46	73	48	41	63	52	52	60	54	36	
	女性	919	23	61	74	78	89	66	96	111	98	100	73	50	
胃がん 検診	胃部 透視撮影	男性	173	1	9	5	18	12	13	24	19	17	30	10	15
		女性	217	0	6	9	5	22	11	26	42	27	27	15	
	上部消化管 内視鏡	男性	196	9	22	21	27	15	16	12	12	17	19	17	9
		女性	314	14	35	34	31	30	23	33	33	20	20	26	15
子宮がん 検診	頸部のみ		737	21	53	55	65	71	73	81	77	71	63	63	44
	頸部＋体部		99	2	10	7	11	6	12	15	13	7	5	4	7
	頸部＋体部採取不能		9	0	0	2	2	1	1	0	0	1	0	2	0
乳がん検診	マンモグラフィ	1,151	45	83	91	115	105	111	120	119	116	88	94	64	
骨粗しょう症検診		268	5	10	10	23	14	22	35	35	34	36	23	21	
前立腺がん検診（特定健診同日実施）		201	0	0	0	39	18	17	24	28	23	21	19	12	
肝炎ウイルス検査		347	7	34	19	20	40	19	28	21	30	43	34	52	

◇自費がん検診等稼働実績

項 目	合計	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月
子宮がん検診(自費)	21	0	1	2	1	5	1	2	4	2	2	0	1
子宮がん検診自費超音波検査	557	18	38	42	62	50	63	64	60	43	38	47	32
乳がん自費検査(3D)	62	1	4	4	3	6	6	12	8	6	7	5	0
乳がん検診自費超音波検査	688	33	64	61	76	60	65	68	67	63	57	48	26
前立腺がん検診(自費)	88	5	9	15	10	7	5	6	6	4	7	7	7
心電図検査(自費)	287	8	25	21	40	21	17	27	22	28	30	23	25
骨粗鬆症検診(自費)	51	3	5	6	3	8	2	8	4	3	1	4	4
脳ドック	46	2	4	4	6	3	4	5	5	3	3	2	5

◇一般予防接種

項 目		合計	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月
インフルエンザワクチン		191	0	0	0	0	0	0	104	68	9	9	1	0
肺炎球菌ワクチン		9	0	1	0	0	0	1	2	0	0	1	2	2
風疹 (川崎市・ 国保連)	抗体検査	20	0	3	0	1	3	2	5	2	1	0	2	1
	麻疹風疹混合 ワクチン接種	41	0	3	4	0	7	0	3	1	8	4	4	7
新型コロナワクチン		43	0	0	0	0	0	0	17	13	8	3	2	0

◇一般健康診断

項 目	合計	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月
就職時健康診断	62	10	5	2	3	6	3	0	2	4	12	9	6

◇教職員健康診断

項 目	合計	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月
教職員	1,384	0	926	0	0	0	0	0	458	0	0	0	0
委託職員	111	75	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0

◇教職員予防接種

項 目	合計	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月
インフルエンザワクチン	1,029	0	0	0	0	0	0	1,022	0	0	7	0	0
B型肝炎ワクチン 1回目	57	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0
2回目	57	0	0	0	0	56	1	0	0	0	0	0	0
3回目	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	2	0
水痘ワクチン	9	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	6	0
ムンプスワクチン	50	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	33	1
風疹ワクチン	5	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0
麻疹ワクチン	140	0	0	0	140	0	0	0	0	0	0	0	0
麻疹風疹混合ワクチン	4	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0

目次へ戻る

臨床検査部の状況

◇総合検査件数（入院）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
尿・便	1,403	1,626	1,708	1,781	1,680	1,707	1,786	1,678	1,678	1,777	1,437	1,627	19,888
血液	7,045	8,441	7,529	7,840	7,839	7,317	7,841	8,126	8,126	8,334	7,822	7,777	94,037
出血・凝固 包括	1	1	0	0	1	1	2	1	1	1	0	4	13
出血・凝固 包括外	7	16	6	14	5	14	7	7	7	9	0	5	97
生化Ⅰ自動丸め	2,313	2,727	2,573	2,521	2,341	2,186	2,381	2,459	2,459	2,632	2,309	2,430	29,331
生化Ⅰ自動丸め外	966	964	1,096	825	840	715	902	730	730	787	580	653	9,788
生化Ⅰその他	1,614	1,727	1,974	1,606	1,607	1,593	1,623	2,203	2,203	1,966	1,688	2,067	21,871
生化Ⅱ	374	561	388	342	337	232	327	269	269	277	277	280	3,933
生化Ⅱ 包括	27	35	109	24	30	98	44	84	84	28	24	90	677
生化Ⅱ 包括外	688	794	619	606	617	512	612	609	609	687	665	621	7,639
腫瘍マーカー包括	13	14	13	21	16	16	13	12	12	18	13	6	167
腫瘍マーカー包括外	20	11	12	10	9	7	6	8	8	14	2	9	116
免疫	3,159	3,685	3,301	3,190	3,270	3,000	3,182	3,502	3,502	3,522	3,482	3,441	40,236
自己抗体包括	15	15	19	10	11	10	16	20	20	13	25	25	199
自己抗体包括外	2	7	5	2	4	3	4	2	2	3	4	1	39
肝炎ウイルス包括	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
肝炎ウイルス包括外	51	47	62	63	126	54	61	64	64	57	129	69	847
負荷 1	40	50	50	30	65	51	32	20	20	18	20	0	396
負荷 2	3	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	8
薬物	29	50	41	67	59	54	58	68	68	63	35	32	624
細菌	783	1,115	940	897	988	765	886	1,229	1,229	1,138	832	971	11,773
未保点・一般	8	4	2	8	8	2	8	4	4	4	8	6	66
未保点・生化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未保点・血液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未保点・免疫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未保点 自己負担	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	18,561	21,890	20,449	19,857	19,856	18,339	19,792	21,095	21,095	21,348	19,352	20,114	241,748
院内													
採血検査	9	20	16	22	23	23	15	14	18	17	18	27	222
輸血検査	652	928	785	924	791	820	904	992	927	989	906	949	10,567
生理検査	775	947	808	847	751	701	793	755	799	852	737	794	9,559
小 計	1,436	1,895	1,609	1,793	1,565	1,544	1,712	1,761	1,744	1,858	1,661	1,770	20,348
臨床検査総合計	19,997	23,785	22,058	21,650	21,421	19,883	21,504	22,856	22,839	23,206	21,013	21,884	262,096

◇採血検査件数（入院）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
採血	9	20	16	22	23	23	15	14	18	17	17	27	221
呼気ガス（ピロリ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
糖負荷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出血時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	9	20	16	22	23	23	15	14	18	17	18	27	222

◇総合検査件数（外来）

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
委 託	尿・便	5,042	5,505	5,185	5,887	5,517	5,352	5,655	5,309	5,631	5,452	5,014	5,383	64,932
	血液	13,350	13,864	12,905	14,502	13,833	13,111	14,679	13,139	13,916	14,104	12,487	13,321	163,211
	出血・凝固 包括	2	4	0	1	1	2	2	2	0	0	1	0	15
	出血・凝固 包括外	1	4	5	8	6	12	2	6	0	6	5	1	56
	生化Ⅰ自動丸め	4,517	4,749	4,505	5,148	4,686	4,551	5,072	4,574	4,812	4,839	4,363	4,610	56,426
	生化Ⅰ自動丸め外	1,071	1,056	960	1,028	991	964	1,057	958	1,078	942	947	952	12,004
	生化Ⅰその他	2,342	2,421	2,345	2,654	2,543	2,279	2,565	2,406	2,636	2,552	2,374	2,573	29,690
	生化Ⅱ	1,529	1,653	1,569	1,665	1,522	1,559	1,618	1,472	1,651	1,580	1,469	1,732	19,019
	生化Ⅱ 包括	42	62	62	57	61	58	58	40	59	49	58	58	664
	生化Ⅱ 包括外	1,166	1,177	1,073	1,261	1,108	1,088	1,221	1,088	1,207	1,205	1,055	1,164	13,813
	腫瘍マーカー包括	88	72	94	80	77	99	108	74	95	116	87	102	1,092
	腫瘍マーカー包括外	197	150	191	197	171	169	196	154	162	170	166	173	2,096
	免疫	11,241	11,575	10,867	11,945	11,886	11,856	12,493	11,211	12,189	11,707	10,450	10,940	138,360
	自己抗体包括	58	56	63	61	51	41	56	32	52	57	57	48	632
	自己抗体包括外	22	33	37	31	27	29	32	25	18	25	24	31	334
	肝炎ウイルス包括	18	16	22	17	22	17	21	17	22	17	17	16	222
	肝炎ウイルス包括外	295	267	245	264	292	239	262	200	265	248	215	256	3,048
	負荷 1	45	42	38	57	29	51	30	34	33	34	27	14	434
	負荷 2	1	1	2	3	1	3	1	0	2	2	3	1	20
	薬物	53	52	48	100	97	47	48	58	46	43	36	72	700
	細菌	1,551	1,648	1,616	1,793	1,802	1,559	1,646	1,566	1,566	1,643	1,369	1,553	19,312
	未保点・一般	6	2	8	12	4	4	2	6	6	6	4	12	72
	未保点・生化	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	未保点・血液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未保点・免疫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未保点 自己負担	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	42,637	44,409	41,840	46,771	44,727	43,090	46,824	42,371	45,447	44,797	40,228	43,012	526,153
院 内	採血検査	4,276	4,495	4,232	4,742	4,416	4,340	4,801	4,304	4,431	4,495	4,033	4,302	52,867
	輸血検査	1,206	1,245	1,225	1,383	1,315	1,235	1,267	1,233	1,317	1,333	1,159	1,192	15,110
	生理検査	2,898	3,041	3,062	3,320	3,075	2,871	3,178	3,027	3,081	3,093	2,814	2,959	36,419
	小 計	8,380	8,781	8,519	9,445	8,806	8,446	9,246	8,564	8,829	8,921	8,006	8,453	104,396
臨床検査総合計		51,017	53,190	50,359	56,216	53,533	51,536	56,070	50,935	54,276	53,718	48,234	51,465	630,549

◇採血検査件数（外来）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
採血	4,228	4,448	4,196	4,692	4,373	4,292	4,761	4,264	4,385	4,447	3,996	4,261	52,343
呼気ガス（ピロリ）	22	15	11	17	8	16	17	13	16	15	13	20	183
糖負荷	11	10	5	11	9	14	8	8	8	10	3	4	101
出血時間	15	22	20	22	26	18	15	19	22	23	21	17	240
合 計	4,276	4,495	4,232	4,742	4,416	4,340	4,801	4,304	4,431	4,495	4,033	4,302	52,867

◇生理検査件数（入院）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
心電図	367	433	361	375	343	316	354	371	400	415	346	414	4,495
負荷心電図	3	0	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0	8
ホルター心電図	10	17	13	17	22	15	18	23	22	17	15	18	207
24時間血圧計	2	1	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0	8
携帯型心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トレッドミル運動負荷心電図	0	2	1	3	1	2	0	0	1	0	0	1	11
CPX	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
体表面心電図（LP）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
末梢血管検査（CAVI,ABI,TBI）	21	32	27	25	25	18	16	15	19	31	18	29	276
皮膚灌流圧（SPP）	1	1	1	1	1	2	0	0	0	3	1	3	14
呼吸機能（VC・FVC）	11	10	9	9	7	5	11	4	5	6	9	5	91
呼吸機能（FRC・CV・DLCO）	3	2	0	0	0	3	1	1	1	3	3	1	18
気道可逆性試験	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	6
睡眠時無呼吸検査	0	5	4	2	3	1	3	3	3	8	6	0	38
終夜睡眠ポリグラフィー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
脳 波	7	6	5	7	6	11	6	5	8	5	7	5	78
聴性脳幹誘発反応（ABR）	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
針筋電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誘発筋電図（磁気刺激）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
末梢神経伝導速度	3	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	7
反復刺激試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
視覚誘発電位（VEP）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体性感覚誘導電位（SEP）	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
瞬目反射	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨塩定量検査（US法）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
標準純音聴力検査	5	3	4	5	3	3	7	5	4	2	2	2	45
標準聴力検査（気導のみ）	1	1	1	1	3	0	0	1	1	0	0	0	9
内耳機能検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中耳機能検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平衡機能検査・標準検査（一連）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重心動揺計検査	0	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	5
前庭誘発筋電位（VEMP）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
顔面誘発筋電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
味覚検査・電気味覚検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳小骨筋反射検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チンパノメトリー	0	1	0	1	2	0	1	2	0	0	0	0	7
鼻腔通気度検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳管機能検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼底カメラ（健診）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上部内視鏡	22	38	37	35	23	17	30	30	26	37	32	32	359
下部内視鏡	34	47	58	51	43	32	49	46	25	37	38	34	494
ERCP	13	12	8	11	6	11	13	4	4	13	10	13	118
気管支鏡	2	2	3	3	1	4	1	3	4	2	1	2	28
腹部系超音波	46	48	44	41	38	38	48	27	44	40	28	27	469
泌尿器系超音波	8	13	10	13	8	10	11	6	6	8	6	13	112
体表系超音波	14	16	9	12	6	8	10	8	6	10	12	6	117
心臓超音波	201	254	211	232	207	199	211	198	218	212	199	187	2,529
胎児心エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	775	947	808	847	751	701	793	755	799	852	737	794	9,559

◇生理検査件数（外来）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
心電図	1,225	1,267	1,208	1,296	1,269	1,150	1,236	1,202	1,307	1,300	1,178	1,194	14,832
負荷心電図	17	15	13	13	14	14	23	8	10	21	14	19	181
ホルター心電図	28	42	38	47	32	40	47	47	46	52	28	50	497
24時間血圧計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
携帯型心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トレッドミル運動負荷心電図	15	9	12	13	6	16	21	16	15	17	10	20	170
CPX	1	2	3	4	5	3	5	4	2	5	3	1	38
体表面心電図（LP）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
末梢血管検査（CAVI,ABI,TBI）	43	38	37	41	33	25	35	35	25	39	40	38	429
皮膚灌流圧（SPP）	1	3	9	1	4	1	1	2	1	3	2	4	32
呼吸機能（VC・FVC）	138	137	122	166	142	124	156	127	127	160	134	119	1,652
呼吸機能（FRC・CV・DLCO）	18	15	32	25	8	16	12	28	27	24	11	17	233
気道可逆性試験	1	6	7	5	0	4	2	5	6	2	9	8	55
睡眠時無呼吸検査	5	6	8	9	13	4	8	12	9	8	22	10	114
終夜睡眠ポリグラフィー	0	2	1	4	7	6	7	8	10	11	10	10	76
脳 波	40	22	17	61	68	32	31	22	38	30	22	58	441
聴性脳幹誘発反応（ABR）	2	1	0	1	3	1	5	1	3	1	0	3	21
針筋電図	9	3	7	3	7	8	1	7	6	4	6	7	68
誘発筋電図（磁気刺激）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
末梢神経伝導速度	9	10	4	7	8	9	10	5	11	6	13	17	109
反復刺激試験	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
視覚誘発電位（VEP）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体性感覚誘発電位（SEP）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瞬目反射	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨塩定量検査（US法）	2	1	1	0	2	0	0	0	2	2	3	0	13
標準純音聴力検査	107	111	129	111	92	101	126	115	116	108	81	113	1,310
標準聴力検査（気導のみ）	15	13	12	18	17	8	14	5	10	19	16	13	160
内耳機能検査	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
中耳機能検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平衡機能検査・標準検査（一連）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
重心動揺計検査	3	5	2	9	12	3	10	4	4	2	3	2	59
前庭誘発筋電位（VEMP）	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
顔面誘発筋電図	3	3	5	1	4	4	3	6	5	4	5	2	45
味覚検査・電気味覚検査	0	2	0	3	4	3	1	3	1	3	2	3	25
耳小骨筋反射検査	4	2	3	3	5	2	1	4	0	7	0	4	35
チンパノメトリー	9	9	16	16	16	8	14	18	15	20	13	18	172
鼻腔通気度検査	2	1	1	4	3	0	0	4	1	0	0	0	16
耳管機能検査	2	3	2	3	1	2	3	1	0	0	0	0	17
眼底カメラ（健診）	11	48	56	48	50	42	58	66	60	61	54	34	588
上部内視鏡	248	247	280	299	264	267	316	285	267	275	250	269	3,267
下部内視鏡	160	227	222	254	199	188	205	182	194	202	174	144	2,351
ERCP	4	1	2	1	1	0	0	1	1	3	2	2	18
気管支鏡	1	0	0	0	0	1	2	1	1	0	1	0	7
腹部系超音波	234	209	222	217	202	227	238	223	196	200	205	219	2,592
泌尿器系超音波	42	49	49	52	52	42	41	56	54	49	52	53	591
体表系超音波	172	195	193	232	204	203	218	198	195	161	169	158	2,298
心臓超音波	325	336	348	353	326	315	328	326	315	294	280	350	3,896
胎児心エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2,898	3,041	3,062	3,320	3,075	2,871	3,178	3,027	3,081	3,093	2,814	2,959	36,419

◇輸血検査件数

◆入院

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
ABO 式血型	196	278	235	279	240	233	253	261	260	278	270	273	3,056
Rh 式血型	196	278	235	279	240	233	253	261	260	278	270	273	3,056
抗体スクリーニング	140	209	184	219	190	187	213	222	218	233	229	226	2,470
抗体同定	4	0	1	0	4	1	2	2	0	0	0	1	15
直接クームス	6	4	2	6	4	4	6	3	3	9	2	3	52
ABO 亜型													0
転移酵素活性													0
抗血小板抗体													0
Rh 他													0
抗体解離													0
間接クームス	1	1	2	2	3	1	4	1	3	5	2	2	27
その他血液型													0
抗 A・B 抗体価													0
交差試験	50	71	56	59	49	52	79	109	80	81	59	72	817
製剤出庫	59	87	70	80	61	109	94	133	103	105	74	99	1,074
合 計	652	928	785	924	791	820	904	992	927	989	906	949	10,567

◆外来

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
ABO 式血型	528	540	538	600	572	533	553	537	568	580	498	507	6,554
Rh 式血型	528	540	538	600	572	533	553	537	568	580	498	507	6,554
抗体スクリーニング	53	60	57	74	74	72	81	70	65	72	64	81	823
抗体同定	0	0			2		1	0	0	1	0	1	5
直接クームス	9	15	13	14	16	10	11	6	13	9	12	16	144
ABO 亜型													0
転移酵素活性													0
抗血小板抗体													0
Rh 他													0
抗体解離													0
間接クームス	56	54	45	55	36	54	35	43	53	42	42	35	550
その他血液型													0
抗 A・B 抗体価													0
交差試験	16	16	16	19	21	16	16	20	22	21	21	22	226
製剤出庫	16	20	18	21	22	17	17	20	28	28	24	23	254
合 計	1,206	1,245	1,225	1,383	1,315	1,235	1,267	1,233	1,317	1,333	1,159	1,192	15,110

◇日当直時検査件数

◆入院

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
心電図 12 誘導	25	24	27	29	17	18	26	41	45	31	30	39	352
ABO 式血型	14	21	13	18	16	10	17	16	10	8	10	17	170
Rh 式血型	14	21	13	18	16	10	17	16	10	8	10	17	170
抗体スクリーニング	71	137	127	133	115	135	122	134	149	148	151	155	1,577
交差試験	19	21	22	23	15	16	30	32	30	43	20	15	286
製剤出庫	12	30	24	37	25	20	30	54	47	64	35	28	406
合 計	155	254	226	258	204	209	242	293	291	302	256	271	2,961

◆外来

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
心電図 12 誘導	134	170	137	143	156	146	130	159	164	168	151	140	1,798
ABO 式血型	80	92	88	90	89	86	89	90	119	107	87	80	1,097
Rh 式血型	80	92	88	90	89	86	89	90	119	107	87	80	1,097
抗体スクリーニング	13	12	10	12	13	10	18	14	7	12	8	9	138
交差試験	0	1	0	4	1	3	3	4	5	8	3	2	34
製剤出庫	0	2	0	6	1	3	0	2	2	6	4	1	27
合 計	307	369	323	345	349	334	329	359	416	408	340	312	4,191

◇判断料件数

◆入院

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
尿・糞便等検査判断料	26	19	23	36	34	18	23	16	21	13	19	28	276
遺伝子関連・染色体検査判断料	2	0	2	0	2	0	0	1	0	0	0	1	8
血液学の検査判断料	58	58	66	100	82	56	73	49	72	41	62	57	774
生化学の検査（Ⅰ）判断料	59	52	61	83	72	53	60	40	62	41	60	55	698
生化学の検査（Ⅱ）判断料	19	19	22	42	38	18	21	15	18	14	22	23	271
免疫学の検査判断料	65	62	82	117	89	65	76	61	86	30	43	45	821
微生物学の検査判断料	15	10	19	28	23	16	15	10	14	12	18	20	200
検体検査管理加算（Ⅱ）	91	83	93	127	108	82	92	66	100	50	81	69	1,042
呼吸機能検査判断料	0	2	0	0	1	1	1	0	0	0	3	2	10
脳波検査判断料 1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	4
脳波検査判断料 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
神経・筋検査判断料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際標準検査管理加算	92	85	96	129	108	82	96	68	101	65	90	73	1,085
合 計	427	390	464	663	559	391	457	327	474	266	398	374	5,190

◆外来

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
尿・糞便等検査判断料	1,280	1,367	1,295	1,417	1,363	1,328	1,343	1,302	1,419	1,356	1,255	1,359	16,084
遺伝子関連・染色体検査判断料	18	18	27	25	22	19	20	28	26	27	21	23	274
血液学の検査判断料	3,700	3,801	3,636	4,084	3,747	3,696	3,970	3,639	3,862	3,868	3,471	3,729	45,203
生化学の検査（Ⅰ）判断料	3,732	3,827	3,677	4,133	3,804	3,737	4,017	3,680	3,912	3,903	3,509	3,770	45,701
生化学の検査（Ⅱ）判断料	1,524	1,554	1,518	1,712	1,522	1,547	1,663	1,471	1,631	1,632	1,435	1,614	18,823
免疫学の検査判断料	2,781	2,899	2,824	3,192	2,901	2,924	3,105	2,853	3,129	3,160	2,724	2,929	35,421
微生物学の検査判断料	433	412	400	441	422	409	384	398	372	393	372	380	4,816
検体検査管理加算（Ⅰ）	4,108	4,204	4,081	4,531	4,226	4,177	4,385	4,048	4,377	4,336	3,898	4,147	50,518
呼吸機能検査判断料	148	146	152	184	145	132	167	157	147	177	149	136	1,840
脳波検査判断料 1	38	21	16	59	67	32	28	22	35	30	22	58	428
脳波検査判断料 2	7	8	5	9	13	5	9	13	10	9	23	9	120
神経・筋検査判断料	13	14	14	8	20	15	9	16	18	13	20	18	178
国際標準検査管理加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	17,782	18,271	17,645	19,795	18,252	18,021	19,100	17,627	18,938	18,904	16,899	18,172	219,406

[目次へ戻る](#)

病理診断科の状況

◇組織診（外来）診療科別件数

診療科目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
総合診療内科	0	3	1	0	0	0	0	3	1	1	5	1	15
循環器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	2	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	1	7
消化器内科	110	143	150	164	173	148	153	152	148	148	146	109	1,744
腎臓・高血圧内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
代謝・内分泌内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
脳神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液内科	4	6	7	6	3	3	3	6	10	4	5	10	67
リウマチ・膠原内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アレルギー科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器・一般外科	7	6	11	6	4	4	5	3	3	1	8	10	68
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳腺・内分泌外科	16	21	11	19	11	11	16	11	13	11	10	8	158
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
形成外科	30	43	29	40	33	25	30	30	27	38	37	37	399
皮膚科	4	7	2	6	7	6	8	4	4	1	0	1	50
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
産婦人科	44	35	28	34	36	31	47	35	44	39	24	35	432
眼科	0	1	3	0	0	0	2	3	0	0	0	0	9
耳鼻咽喉科	3	10	4	12	2	2	3	2	4	2	3	1	48
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	28	22	15	21	28	21	26	16	20	25	17	26	265
腎センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急災害医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康診断部	0	0	1	0	0	0	1	1	2	0	1	0	6
腫瘍内科	0	1	4	1	2	1	0	1	2	3	2	2	19
合 計	248	298	267	310	301	252	295	268	278	276	260	242	3,295

◇組織診（入院）診療科別件数

診療科目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
総合診療内科	4	2	4	10	2	3	5	3	3	3	2	4	45
循環器内科	0	2	3	1	0	2	0	1	2	1	5	1	18
呼吸器内科	2	2	2	5	1	4	2	4	2	2	0	1	27
消化器内科	29	39	48	42	39	37	50	36	32	41	39	32	464
腎臓・高血圧内科	2	1	1	4	1	0	1	3	1	4	0	2	20
代謝・内分泌内科	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	4
脳神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
血液内科	6	1	5	7	2	4	4	6	6	7	8	10	66
リウマチ・膠原内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アレルギー科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器・一般外科	41	37	35	36	34	25	37	33	22	34	30	22	386
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳腺・内分泌外科	0	2	1	0	0	2	2	0	1	1	0	1	10
脳神経外科	2	2	3	5	3	4	3	2	6	3	5	5	43
整形外科	0	0	0	3	2	0	1	0	1	0	0	0	7
形成外科	2	6	5	7	6	2	3	3	4	0	2	8	48
皮膚科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3
泌尿器科	26	29	22	22	18	15	26	15	23	22	21	26	265
産婦人科	7	10	11	10	9	5	11	11	11	15	19	13	132
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	9	8	4	11	17	9	8	8	4	11	7	8	104
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	3	3	5	5	3	6	6	5	4	4	2	5	51
腎センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急災害医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康診断部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	133	144	149	168	137	119	162	130	123	148	141	140	1,694

◇組織診業務別件数（外来・入院）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
受付件数	381	442	416	478	438	371	457	398	401	424	401	382	4,989
検査臓器数	547	597	585	717	628	513	651	598	568	612	552	537	7,105
借用標本	0	1	3	0	1	1	1	0	1	0	1	2	11
術中迅速	14	11	6	17	10	6	11	8	9	11	8	6	117
遺伝子検査	6	11	7	8	6	3	8	4	6	7	8	5	79
特殊染色	133	116	141	179	91	110	142	131	110	110	103	91	1,457
免疫染色	548	534	533	641	535	445	453	455	697	583	559	529	6,512

◇組織診作成ブロック・標本枚数（外来・入院）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
ブロック数	1,244	1,317	1,076	1,344	1,231	980	1,329	1,237	1,028	1,385	1,109	1,063	14,343
標本枚数	1,782	1,797	1,514	1,986	1,640	1,416	1,830	1,799	1,450	1,984	1,600	1,542	20,340

◇細胞診（外来）診療科別件数

診療科目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
総合診療内科	7	5	5	4	3	3	3	4	1	2	3	0	40
循環器内科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
呼吸器内科	8	2	3	2	4	0	7	2	2	4	3	3	40
消化器内科	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	5
腎臓・高血圧内科	4	5	1	4	7	6	3	10	6	5	3	2	56
代謝・内分泌内科	0	0	0	1	0	0	2	2	1	2	0	1	9
脳神経内科	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
血液内科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
リウマチ・膠原内科	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3
緩和ケア内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アレルギー科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器・一般外科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳腺・内分泌外科	6	9	9	14	6	9	6	7	9	4	4	7	90
脳神経外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	72	75	93	85	81	84	77	75	67	60	85	66	920
産婦人科	208	169	202	197	151	222	199	164	159	150	130	165	2,116
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	3	6	1	4	6	7	5	8	8	4	4	2	58
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
救急災害医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎センター	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
健康診断部	25	73	72	88	85	102	113	104	87	79	73	61	962
腫瘍内科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
未登録	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計	333	348	386	403	346	433	417	379	342	310	306	307	4,310

◇細胞診（入院）診療科別件数

診療科目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
総合診療内科	11	5	10	4	4	2	3	5	0	7	3	3	57
循環器内科	0	0	2	1	0	1	0	2	0	1	1	1	9
呼吸器内科	8	5	1	9	6	9	5	12	4	6	1	4	70
消化器内科	10	8	3	7	4	3	4	4	5	5	4	2	59
腎臓・高血圧内科	1	0	0	1	0	1	0	1	2	3	1	2	12
代謝・内分泌内科	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	6
脳神経内科	0	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	6
血液内科	0	1	1	1	2	2	2	2	5	4	3	1	24
リウマチ・膠原内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア内科	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
アレルギー科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器・一般外科	2	8	2	4	3	6	3	5	1	3	4	5	46
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳腺・内分泌外科	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	7
脳神経外科	3	1	4	4	0	2	2	6	3	2	3	3	33
整形外科	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	4	3	9	3	4	2	3	1	0	4	4	4	41
産婦人科	4	6	6	3	1	1	2	3	7	7	7	2	49
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	5
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急災害医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康診断部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	47	44	41	42	25	29	24	42	29	45	33	30	431

◇細胞診業務別件数（外来・入院）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
受付件数	380	392	427	445	371	462	441	421	371	355	339	337	4,741
術中迅速	4	4	1	5	1	3	3	5	3	3	6	7	45
ROSE : rapid on - site evaluation	1	2	1	2	0	1	2	1	2	2	1	1	16
FNA	11	15	10	21	10	15	10	15	16	7	9	10	149
サイトコレクト処理	2	4	1	7	0	1	0	2	3	0	0	1	21
セルブロック	3	1	0	2	0	1	1	2	0	1	0	1	12
借用標本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3

◇細胞診作成標本枚数（外来・入院）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
PAP 染色（一般染色）	477	490	500	561	419	528	509	524	456	439	415	396	5,714
特殊染色	190	191	190	192	173	155	137	201	139	152	165	130	2,015
合 計	667	681	690	753	592	683	646	725	595	591	580	526	7,729

◇細胞診臓器別件数（外来・入院）

分類	項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
婦人科	外陰部・膣・頸管・断端	190	204	225	236	203	262	243	223	202	199	174	193	2,554
	子宮内膜	42	40	52	51	33	62	69	47	45	31	29	33	534
	卵巣・両側付属器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小計	233	244	277	287	236	324	312	270	247	230	203	226	3,089
呼吸器系	喀痰	5	2	4	1	0	2	6	5	1	3	4	1	34
	気管支・肺・肺胞	3	4	6	8	3	7	4	6	5	6	2	5	59
	小計	8	6	10	9	3	9	10	11	6	9	6	6	93
体腔液	心嚢水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	胸水	12	11	11	14	11	2	2	8	0	9	5	7	92
	腹水	9	12	7	0	5	8	6	12	7	8	10	7	91
	PD 排液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	小計	21	23	18	14	16	10	8	20	7	17	15	15	184
消化器	胆道	7	6	0	3	2	2	2	0	3	2	3	2	32
	脾臓	1	2	1	2	0	0	0	1	2	3	0	0	12
	胃	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	肝臓	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	小計	8	8	1	7	2	2	4	1	5	5	3	2	48
泌尿器	自然尿	40	50	58	63	62	54	45	58	45	37	44	36	592
	膀胱洗浄	43	36	41	38	36	38	42	35	33	36	50	35	463
	カテーテル尿	10	3	9	2	2	4	4	1	3	6	3	3	50
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小計	94	89	108	103	100	96	91	94	81	79	97	74	1,106
乳腺	乳腺	5	11	5	10	3	8	4	4	7	4	5	7	73
	乳腺分泌物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嚢胞内容液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5	11	5	10	3	8	4	4	7	4	5	7	73
甲状腺	甲状腺	6	2	4	7	4	3	3	7	6	0	3	1	46
	嚢胞内容液	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
	小計	6	2	4	7	4	4	4	7	7	0	3	1	49
頭頸部・その他	口腔	0	3	0	0	1	2	3	1	1	2	0	1	14
	唾液腺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リンパ節	0	1	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	6
	髄液	2	3	2	0	2	3	2	5	6	4	3	1	33
	脳	3	1	0	4	0	1	2	1	0	2	3	2	19
	その他	0	1	2	3	2	2	0	7	4	3	1	2	27
	小計	5	9	4	8	7	9	8	14	11	11	7	6	99
合計		380	392	427	445	371	462	441	421	371	355	339	337	4,741
婦人科検体		232	244	277	287	236	324	312	270	247	230	203	226	3,088
一般検体		148	148	150	158	135	138	129	151	124	125	136	111	1,653
婦人科検体率 (%)		61.1%	62.2%	64.9%	64.5%	63.6%	70.1%	70.7%	64.1%	66.6%	64.8%	59.9%	67.1%	65.0%
一般検体率		38.9%	37.8%	35.1%	35.5%	36.4%	29.9%	29.3%	35.9%	33.4%	35.2%	40.1%	32.9%	35.0%
スライド枚数		667	681	690	753	592	683	646	725	595	591	580	526	7,729

◇病理解剖状況

診療科目	R6年 4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		R7年 1月		2月		3月		合計		剖検率 (%)
	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	
総合診療内科	7	0	7	0	7	0	7	0	12	0	7	0	8	0	8	0	10	1	21	0	9	0	11	0	114	1	0.9%
循環器内科	3	0	1	0	3	1	2	0	2	0	1	0	0	0	2	1	0	0	2	0	1	0	1	0	18	2	11.1%
呼吸器内科	6	0	2	0	5	0	2	0	4	0	1	0	2	0	4	0	5	0	3	0	1	0	4	0	39	0	0.0%
消化器内科	1	0	3	0	2	0	3	0	1	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	17	0	0.0%
腎臓・高血圧内科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4	0	1	0	10	0	0.0%
代謝・内分泌内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
脳神経内科	0	0	4	0	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	0	2	0	2	0	0	0	1	0	17	0	0.0%
血液内科	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	7	0	0.0%
リウマチ・膠原病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
緩和ケア内科	8	0	10	0	8	0	9	0	14	0	10	0	16	0	13	0	8	0	13	0	7	0	15	0	131	0	0.0%
アレルギー科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
神経精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
小児科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
消化器・一般外科	2	0	2	0	1	0	4	0	2	0	4	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	19	0	0.0%
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
乳腺・内分泌外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
脳神経外科	3	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1	0	15	0	0.0%
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0.0%
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
泌尿器科	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0.0%
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
健康管理部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
救急災害医療センター	1	0	6	0	3	0	4	0	2	0	4	0	3	0	5	0	5	0	1	0	3	0	2	0	39	0	0.0%
死産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
総合計	34	0	40	0	32	1	36	0	37	0	33	0	33	0	40	1	36	1	45	0	32	0	38	0	436	3	0.7%
院内数合計	33	0	34	0	29	1	32	0	35	0	29	0	30	0	35	1	31	1	44	0	29	0	36	0	397	3	0.8%
内科系以外	6	0	7	0	2	0	6	0	2	0	4	0	2	0	4	0	3	0	0	0	4	0	3	0	43	0	0.0%

[目次へ戻る](#)

画像診断部の状況

◇依頼科別モダリティー件数

◆入院

依頼科目	単純撮影	ポータブル	乳房撮影	骨塩定量	透視	CT	血管	超音波	MRI	スキャナ	術中透視	合計
総合診療内科	1,626	641	0	5	49	797	16	551	174	702	0	4,561
循環器内科	1,300	466	0	0	2	204	623	453	37	108	12	3,205
呼吸器内科	913	181	0	0	27	134	4	69	29	116	0	1,473
消化器内科	503	47	0	1	146	284	34	134	72	80	0	1,301
腎臓・高血圧内科	399	72	1	29	10	130	107	241	23	53	6	1,071
代謝・内分泌内科	490	24	0	9	0	152	3	497	27	33	0	1,235
脳神経内科	225	120	0	7	38	304	6	390	193	202	0	1,485
血液内科	250	74	0	0	0	86	1	69	21	40	0	541
リウマチ・膠原病内科	13	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	14
腫瘍内科	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	5
アレルギー科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	91	122	0	1	0	10	0	175	16	68	0	483
消化器・一般外科	1,835	801	0	0	121	282	21	101	27	52	0	3,240
心臓血管外科	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	4
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児外科	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
乳腺・内分泌外科	0	0	9	0	0	1	0	2	0	10	0	22
脳神経外科	754	69	0	0	9	1,179	128	284	376	190	0	2,989
整形外科	1,460	538	0	111	10	196	3	331	65	262	187	3,163
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	95	77	0	0	48	83	3	14	18	21	194	553
産婦人科	16	138	1	0	0	12	1	15	6	4	0	193
眼科	4	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	9
耳鼻咽喉科	1	0	0	0	3	17	0	8	4	3	0	36
放射線科	0	0	0	0	26	57	169	12	0	0	0	264
麻酔科	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
歯科口腔外科	272	19	0	0	0	26	0	1	2	5	1	326
救急災害医療センター	3	1	0	0	0	0	0	0	0	6	0	10
健康診断部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎センター	14	3	0	1	0	1	24	28	0	0	2	73
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病理診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	10,266	3,395	11	165	489	3,962	1,143	3,377	1,092	1,959	402	26,261

◆外来

依頼科目	単純撮影	ポータブル	乳房撮影	骨塩定量	透視	CT	血管	超音波	MRI	スキャナ	術中透視	合計
総合診療内科	3,979	55	0	58	13	5,211	9	740	538	1,154	0	11,757
循環器内科	3,421	56	0	1	0	820	55	2,034	36	384	0	6,807
呼吸器内科	1,830	0	1	0	0	1,702	0	64	49	486	0	4,132
消化器内科	1,184	1	0	3	18	1,109	1	1,515	908	542	0	5,281
腎臓・高血圧内科	789	0	1	130	1	272	13	365	41	53	0	1,665
代謝・内分泌内科	49	2	0	14	0	287	0	379	94	104	0	929
脳神経内科	195	1	0	1	0	204	0	203	692	364	0	1,660
血液内科	56	0	0	0	0	70	0	26	10	50	0	212
リウマチ・膠原病内科	1,087	0	0	56	0	41	0	32	12	61	0	1,289
腫瘍内科	118	1	0	0	1	438	0	21	13	98	0	690
アレルギー科	8	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	14
神経精神科	0	0	0	0	0	7	0	1	20	10	0	38
小児科	955	7	0	0	1	34	0	358	37	105	0	1,497
消化器・一般外科	1,322	0	4	6	24	1,754	0	392	268	327	0	4,097
心臓血管外科	54	0	0	0	0	94	0	63	1	49	0	261
呼吸器外科	4	0	0	0	0	5	0	1	4	34	0	48
小児外科	4	0	0	0	1	0	0	12	0	0	0	17
乳腺・内分泌外科	90	0	268	43	0	17	0	468	0	177	0	1,063
脳神経外科	426	0	0	0	0	636	1	174	1,388	436	0	3,061
整形外科	5,417	39	0	397	1	494	0	65	277	1,185	34	7,909
形成外科	127	0	0	0	0	23	0	19	71	55	0	295
皮膚科	81	0	0	0	0	41	0	102	21	18	0	263
泌尿器科	1,094	0	0	1	144	1,460	0	460	322	416	22	3,919
産婦人科	281	0	18	22	4	91	0	67	245	95	0	823
眼科	498	0	0	0	0	16	0	6	34	10	0	564
耳鼻咽喉科	258	0	0	0	2	475	0	507	118	102	0	1,462
放射線科	3	0	0	74	5	1,189	8	496	1,341	21	0	3,137
麻酔科	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3
歯科口腔外科	2,699	0	0	0	0	1,100	0	5	47	146	0	3,997
救急災害医療センター	111	2	0	0	0	179	0	0	1	24	0	317
健康診断部	2,662	0	1,213	320	391	4	0	766	47	6	0	5,409
腎センター	658	0	0	92	0	54	1	85	11	6	0	907
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病理診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	29,460	164	1,505	1,222	606	17,831	88	9,426	6,646	6,519	56	73,523

◇月別モダリティー件数

◆入院

検査種	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
単純撮影	872	939	895	869	830	754	828	841	852	871	764	951	10,266
ポータブル	277	305	291	243	285	234	258	304	320	311	267	300	3,395
乳房撮影	1	1	1	4	2	0	1	0	0	0	1	0	11
骨塩定量	17	17	15	19	20	8	9	8	18	15	9	10	165
透視	38	41	45	44	33	32	41	30	38	52	47	48	489
C T	330	345	327	320	270	277	344	331	375	384	324	335	3,962
血管	96	98	92	96	95	93	87	96	104	100	90	96	1,143
超音波	280	347	285	310	269	275	291	247	288	286	253	246	3,377
M R I	112	90	102	96	94	83	99	78	88	75	81	94	1,092
スキャナ	135	167	185	179	173	142	175	167	191	150	138	157	1,959
術中透視	33	42	43	36	36	25	33	32	30	29	28	35	402
合 計	2,191	2,392	2,281	2,216	2,107	1,923	2,166	2,134	2,304	2,273	2,002	2,272	26,261

◆外来

検査種	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
単純撮影	2,313	3,366	2,302	2,494	2,358	2,260	2,480	2,391	2,490	2,455	2,219	2,332	29,460
ポータブル	21	17	15	17	4	14	8	16	15	12	10	15	164
乳房撮影	78	109	123	149	127	147	151	150	141	112	127	91	1,505
骨塩定量	67	74	124	105	68	90	126	91	149	121	100	107	1,222
透視	20	27	35	49	46	42	58	73	77	71	57	51	606
C T	1,490	1,547	1,478	1,548	1,427	1,421	1,527	1,453	1,571	1,481	1,370	1,518	17,831
血管	3	9	5	10	5	5	9	10	8	9	7	8	88
超音波	775	789	815	858	785	789	826	811	770	708	715	785	9,426
M R I	549	537	560	619	557	539	599	548	572	500	509	557	6,646
スキャナ	692	660	577	539	462	460	529	534	501	542	461	562	6,519
術中透視	9	6	3	6	0	6	3	8	4	4	4	3	56
合 計	6,017	7,141	6,037	6,394	5,839	5,773	6,316	6,085	6,298	6,015	5,579	6,029	73,523

◇当直時月別患者取扱数

検査種	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
単純撮影	289	374	272	256	271	274	271	315	409	365	326	296	3,718
ポータブル	39	55	54	37	40	30	47	53	62	63	57	50	587
OPE 室	22	39	20	25	39	15	23	35	18	25	27	29	317
乳房撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨塩定量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透視	2	1	2	3	1	0	1	2	1	1	3	1	18
C T	236	286	231	224	229	252	244	264	327	286	251	265	3,095
血管	11	13	6	15	5	13	10	10	19	12	12	11	137
超音波	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
M R I	17	18	17	13	14	13	21	18	27	22	18	19	217
スキャナ	39	62	53	49	34	39	39	43	49	60	46	56	569
術中透視	11	14	11	10	12	5	5	12	3	4	6	8	101
合 計	666	862	667	632	645	641	661	752	915	839	746	735	8,761

手術部の状況

◇手術件数（定時・緊急別）

診療科目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計	構成比 (%)	月平均 (件)
消化器内科	定時	1	2	3	3	5	2	6	2	3	3	3	4	37	1.2	3.1
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
腎臓・高血圧内科	定時	2	7	4	8	8	5	5	4	1	4	5	5	58	1.9	4.8
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
循環器内科	定時	1	2	3	0	2	0	3	4	1	2	1	0	19	0.6	1.6
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
緩和ケア内科	定時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.1
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
〔内科小計〕	定時	4	11	10	11	15	7	14	10	5	9	10	9	115	3.7	9.6
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
消化器・一般外科	定時	43	38	35	38	38	38	46	39	30	28	36	27	436	14.2	36.3
	緊急	10	18	9	14	10	8	8	11	9	12	9	8	126	4.1	10.5
呼吸器外科	定時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
乳腺・内分泌外科	定時	11	9	7	9	7	7	12	5	6	8	4	3	88	2.9	7.3
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
〔外科小計〕	定時	54	47	42	47	45	45	58	44	36	36	40	30	524	17.0	43.7
	緊急	10	18	9	14	10	8	8	11	9	12	9	8	126	4.1	10.5
整形外科	定時	41	48	45	41	41	42	38	49	36	31	45	53	510	16.6	42.5
	緊急	5	2	2	4	3	2	1	3	6	3	1	2	34	1.1	2.8
形成外科	定時	6	9	6	7	6	7	6	7	8	11	11	9	93	3.0	7.8
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
皮膚科	定時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
泌尿器科	定時	48	48	41	46	41	30	47	38	41	39	41	48	508	16.5	42.3
	緊急	11	5	8	5	9	5	7	3	9	8	5	5	80	2.6	6.7
産婦人科	定時	10	13	11	13	15	15	19	11	12	20	18	18	175	5.7	14.6
	緊急	2	4	1	6	3	1	2	4	2	2	5	2	34	1.1	2.8
眼科	定時	73	84	72	69	52	48	73	55	50	69	56	70	771	25.1	64.3
	緊急	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	1	0	5	0.2	0.4
耳鼻咽喉科	定時	13	10	11	13	26	13	11	10	8	12	11	11	149	4.8	12.4
	緊急	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.1	0.3
麻酔科	定時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	定時	8	4	3	8	6	11	12	8	14	8	7	12	101	3.3	8.4
	緊急	2	4	6	4	2	2	2	2	6	4	9	4	47	1.5	3.9
歯科口腔外科	定時	5	8	9	13	14	12	11	9	10	12	9	16	128	4.2	10.7
	緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
〔その他小計〕	定時	204	224	198	210	201	178	217	187	179	202	198	237	2,435	79.2	202.9
	緊急	21	15	18	23	17	10	12	13	23	17	21	13	203	6.6	16.9
総 合 計	定時	262	282	250	268	261	230	289	241	220	247	248	276	3,074	90.3	256.2
	緊急	31	33	27	37	27	18	20	24	32	29	30	21	329	9.7	27.4
	合計	293	315	277	305	288	248	309	265	252	276	278	297	3,403	100.0	

定時	262	282	250	268	261	230	289	241	220	247	248	276	3,074
緊急	31	33	27	37	27	18	20	24	32	29	30	21	329
合計	293	315	277	305	288	248	309	265	252	276	278	297	3,403
全麻件数	147	157	134	162	170	143	161	136	131	138	142	153	1,774

◇手術件数（入院・外来）

診療科目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計	構成比 (%)	月平均 (件)
消化器内科	入院	1	2	3	3	5	2	6	2	3	3	3	4	37	1.3	3.1
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
腎臓・高血圧内科	入院	2	7	4	8	8	5	5	4	1	4	4	5	57	2.0	4.8
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.1
循環器内科	入院	1	2	3	0	2	0	3	4	1	2	1	0	19	0.7	1.6
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
緩和ケア内科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.1
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
〔内科小計〕	入院	4	11	10	11	15	7	14	10	5	9	9	9	114	4.0	9.5
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.1
消化器・一般外科	入院	53	56	44	52	48	46	54	50	39	40	45	35	562	19.5	46.8
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
呼吸器外科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
乳腺・内分泌外科	入院	10	7	5	9	7	7	11	3	6	8	4	2	79	2.7	6.6
	外来	1	2	2	0	0	0	1	2	0	0	0	1	9	0.3	0.8
〔外科小計〕	入院	63	63	49	61	55	53	65	53	45	48	49	37	641	22.3	53.4
	外来	1	2	2	0	0	0	1	2	0	0	0	1	9	0.3	0.8
整形外科	入院	39	45	40	37	42	36	31	40	36	28	35	42	451	15.7	37.6
	外来	7	5	7	8	2	8	8	12	6	6	11	13	93	3.2	7.8
形成外科	入院	4	7	5	7	6	4	3	3	5	1	5	7	57	2.0	4.8
	外来	2	2	1	0	0	3	3	4	3	10	6	2	36	1.3	3.0
皮膚科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
泌尿器科	入院	55	49	48	49	50	33	53	37	49	44	44	52	563	19.5	46.9
	外来	4	4	1	2	0	2	1	4	1	3	2	1	25	0.9	2.1
産婦人科	入院	12	17	12	19	18	16	21	15	14	22	23	20	209	7.3	17.4
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
眼科	入院	37	47	44	44	20	25	44	25	27	32	33	43	421	14.6	35.1
	外来	36	37	28	28	32	23	29	31	23	37	24	27	355	12.3	29.6
耳鼻咽喉科	入院	14	10	8	14	26	13	11	10	8	12	11	11	148	5.1	12.3
	外来	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.1	0.3
麻酔科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	入院	10	8	9	12	8	13	14	10	20	12	16	16	148	5.1	12.3
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
歯科口腔外科	入院	5	8	9	13	14	12	11	9	10	12	9	16	128	4.4	10.7
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
〔その他小計〕	入院	176	191	175	195	184	152	188	149	169	163	176	207	2,125	73.8	177.1
	外来	49	48	41	38	34	36	41	51	33	56	43	43	513	17.8	42.8
総 合 計	入院	243	265	234	267	254	212	267	212	219	220	234	253	2,880	84.6	240.0
	外来	50	50	43	38	34	36	42	53	33	56	44	44	523	15.4	43.6
	合計	293	315	277	305	288	248	309	265	252	276	278	297	3,403	100.0	

◇麻酔方法・月別件数

麻酔方法	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
全麻	110	117	107	132	133	111	124	101	109	110	117	121	1,392
全硬	28	30	18	21	27	23	26	27	15	19	16	22	272
脊麻	44	47	44	39	41	28	41	38	48	36	39	40	485
脊硬	2	5	3	11	8	12	8	3	2	8	4	5	71
硬膜外	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
局麻	93	102	97	91	68	66	98	83	62	97	88	97	1,042
伝麻	1	2	2	4	0	1	2	5	7	1	3	2	30
伝局	2	2	0	1	1	2	0	1	1	0	0	0	10
なし	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	7
中止	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脊伝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静麻	11	7	5	6	9	5	10	6	8	5	10	10	92
血管室（全麻）	9	10	9	9	10	9	11	8	7	9	9	10	110
全伝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神ブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全硬脊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	302	325	286	314	298	257	320	273	259	285	287	307	3,513

◇年齢・月別件数（外来・入院含む）

性別	年齢別	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
男	0才～1ヶ月未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1ヶ月～1才未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1才～5才	3	0	1	0	2	2	1	2	0	1	0	1	13
	6才～11才	3	3	2	5	11	2	2	1	2	3	0	1	35
	12才～19才	4	2	4	2	9	3	2	4	7	6	1	6	50
	20才～39才	14	16	11	18	11	20	13	12	12	11	9	20	167
	40才～59才	30	29	20	22	32	28	31	22	36	21	38	26	335
	60才～69才	29	22	33	16	27	20	20	34	20	23	31	34	309
	70才～79才	40	40	36	39	42	34	47	41	32	44	41	29	465
	80才～	38	42	29	42	26	22	41	28	22	24	35	32	381
	小 計	161	154	136	144	160	131	157	144	131	133	155	149	1,755
女	0才～1ヶ月未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1ヶ月～1才未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1才～5才	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	5
	6才～11才	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	6
	12才～19才	0	1	1	3	4	1	1	1	0	2	2	3	19
	20才～39才	10	20	13	25	22	22	27	12	13	29	20	18	231
	40才～59才	29	31	24	32	21	19	30	24	35	19	32	25	321
	60才～69才	17	21	10	7	24	15	23	18	20	20	17	30	222
	70才～79才	41	41	40	47	25	27	33	30	20	34	22	34	394
	80才～	34	47	52	46	30	33	38	36	32	39	28	35	450
	小 計	132	161	141	161	128	117	152	121	121	143	123	148	1,648
合 計		293	315	277	305	288	248	309	265	252	276	278	297	3,403

◇曜日別件数

曜日	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
月	43	32	50	39	24	26	37	41	41	28	42	66	469
火	80	78	78	98	67	73	88	71	67	94	65	88	947
水	58	67	50	70	55	49	68	58	52	53	55	54	689
木	58	83	56	54	73	49	73	43	51	54	66	47	707
金	43	43	33	35	59	47	38	43	34	38	44	35	492
土	10	9	9	7	10	3	3	6	6	8	6	7	84
日	1	3	1	2	0	1	2	3	1	1	0	0	15
合 計	293	315	277	305	288	248	309	265	252	276	278	297	3,403

[目次へ戻る](#)

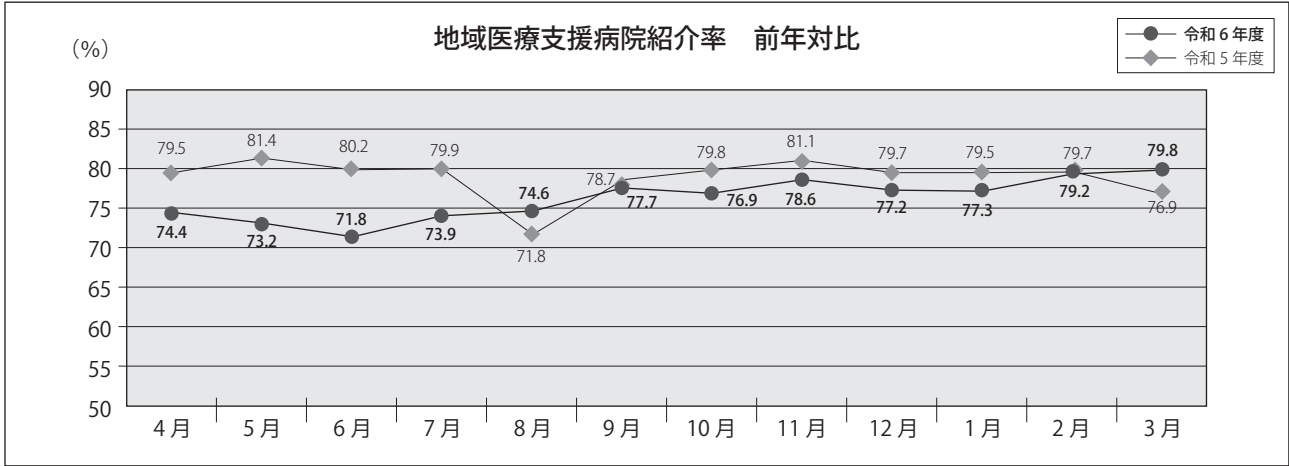
医療相談センターの状況

[地域医療連携室業務報告]

◇科別初診紹介患者数・紹介率内訳

※各月 左列：初診紹介患者数、右列：紹介率
(単位：件、%)

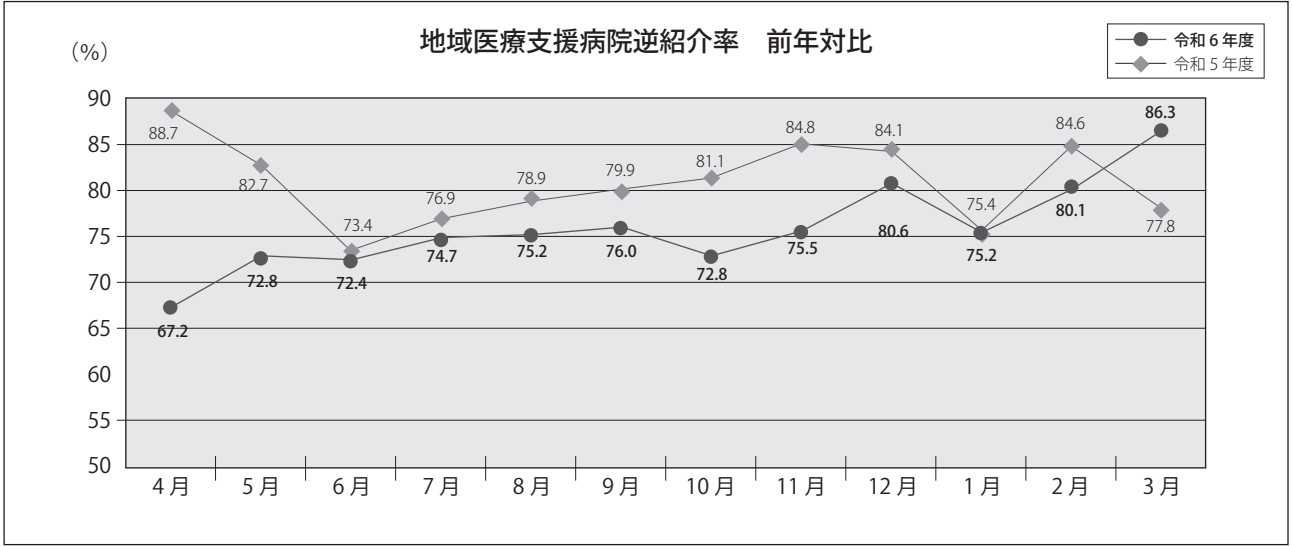
科 名	初診 紹介患者 合計	年間 科別 紹介率	R6年		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		R7年		1 月		2 月		3 月	
総合診療内科	1,328	61.0	96	60.8	115	68.3	134	65.6	126	58.0	126	66.3	103	60.2	115	57.4	108	54.0	116	58.8	95	61.8	84	62.9	110	59.3				
循環器内科	800	97.3	114	87.5	81	80.3	41	90.5	67	88.2	60	95.0	57	108.2	68	97.1	66	96.9	54	89.3	73	120.7	59	109.8	60	121.3				
呼吸器内科	437	93.4	39	83.7	30	84.4	61	100.0	29	81.8	38	100.0	23	95.8	30	93.3	28	87.5	39	97.5	47	102.2	36	94.7	37	92.5				
消化器内科	1,898	92.1	194	82.0	172	83.7	175	86.9	169	97.6	144	94.0	131	88.6	185	93.2	161	94.5	153	99.3	157	96.2	129	98.4	128	95.4				
腎臓・高血圧内科	186	91.8	14	107.7	26	96.2	11	91.7	20	82.6	15	87.5	20	105.3	21	100.0	15	93.8	7	66.7	14	87.5	9	75.0	14	92.9				
代謝・内分泌内科	338	80.1	82	69.1	56	70.9	39	61.5	20	80.0	14	93.3	24	91.7	20	105.3	17	93.8	17	83.3	17	100.0	7	116.7	25	95.2				
脳神経内科	520	64.9	91	48.8	86	48.8	63	44.3	40	55.6	34	82.9	30	96.4	36	69.2	33	84.8	29	74.2	27	96.3	32	85.3	19	73.9				
血液内科	55	96.4	5	100.0	2	100.0	5	80.0	5	166.7	9	100.0	2	66.7	4	80.0	1	100.0	2	100.0	8	80.0	7	100.0	5	125.0				
リウマチ・膠原病内科	102	67.6	21	47.6	19	47.4	9	55.6	8	75.0	11	100.0	4	75.0	7	71.4	3	66.7	4	75.0	9	88.9	4	100.0	3	100.0				
アレルギー科	7	77.8	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	1	100.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0				
神経精神科	81	97.4	4	60.0	5	80.0	5	100.0	11	137.5	5	100.0	9	88.9	9	88.9	9	100.0	2	66.7	6	85.7	4	100.0	12	120.0				
小児科	1,014	79.4	91	85.3	101	80.2	85	73.9	84	70.6	86	74.3	89	88.1	95	80.7	86	84.0	80	79.3	66	81.8	61	81.7	90	76.2				
消化器・一般外科	489	69.9	75	42.7	74	67.2	55	55.4	44	90.7	26	56.8	36	74.4	33	81.6	39	88.4	27	70.6	35	97.1	27	71.0	18	78.3				
心臓血管外科	21	105.9	1	100.0	0	0.0	2	50.0	5	133.3	0	0.0	0	0.0	1	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	5	133.3	1	100.0				
呼吸器外科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0				
小児外科	19	81.0	4	100.0	0	0.0	3	33.3	0	0.0	1	50.0	2	100.0	2	100.0	1	100.0	2	100.0	1	100.0	0	0.0	3	75.0				
乳腺・内分泌外科	86	64.3	10	50.0	6	85.7	8	54.5	10	75.0	3	60.0	8	30.8	6	75.0	7	54.5	6	71.4	4	66.7	5	62.5	13	100.0				
脳神経外科	324	83.8	40	83.3	56	81.3	31	61.1	22	75.0	23	87.0	24	60.0	32	112.0	20	89.5	30	96.6	13	130.0	19	84.2	14	86.7				
整形外科	792	92.8	73	86.1	62	94.8	69	95.5	92	85.7	62	90.3	57	101.8	64	98.4	63	92.1	50	92.5	67	84.7	56	93.0	77	105.8				
形成外科	593	91.3	44	84.6	59	96.7	52	87.9	39	100.0	43	89.6	43	91.5	43	85.1	68	89.0	51	89.3	45	85.7	52	94.3	54	103.8				
皮膚科	361	81.8	31	86.1	43	89.6	47	95.9	37	78.7	33	80.5	37	78.7	30	76.9	30	76.9	28	87.1	15	83.3	19	61.3	11	78.6				
泌尿器科	500	91.4	48	100.0	44	100.0	52	94.2	38	76.7	33	84.6	43	93.3	35	94.4	42	81.3	48	100.0	49	93.8	29	93.5	39	84.1				
産婦人科	294	59.6	27	49.0	21	43.8	31	57.7	22	66.7	26	62.5	25	47.9	31	68.3	24	84.6	27	65.0	17	68.0	15	53.6	28	68.4				
眼科	690	91.5	66	97.0	58	89.2	50	84.2	62	93.7	49	83.9	53	91.2	69	94.4	48	98.0	68	90.5	53	89.5	53	88.3	61	96.8				
耳鼻咽喉科	717	84.1	60	89.4	58	85.3	68	80.7	60	88.2	51	78.5	48	79.7	66	86.7	66	89.2	61	85.7	61	81.9	53	86.7	65	77.9				
放射線科	2,500	100.6	240	100.0	222	100.0	220	100.0	222	104.2	195	100.0	215	100.0	213	100.5	200	100.0	220	100.0	176	100.0	183	100.0	194	102.6				
腫瘍内科	10	20.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	3	0.0	1	0.0	3	0.0	0	0.0	0	0.0				
緩和ケア内科	70	30.8	8	75.0	3	0.0	6	9.1	8	36.4	6	9.1	4	28.6	9	41.7	3	22.2	6	22.2	6	38.5	7	41.7	4	50.0				
歯科口腔外科	1,724	43.0	122	44.3	112	34.9	113	34.2	144	36.6	123	37.5	139	46.0	177	44.5	145	48.9	160	45.6	140	38.9	167	52.6	182	52.0				
合 計	15,956	76.1	1,602	74.4	1,511	73.2	1,437	71.8	1,384	73.9	1,217	74.6	1,229	77.7	1,401	76.9	1,288	78.6	1,291	77.2	1,206	77.3	1,122	79.2	1,268	79.8				



◇科別逆紹介患者数・逆紹介率内訳

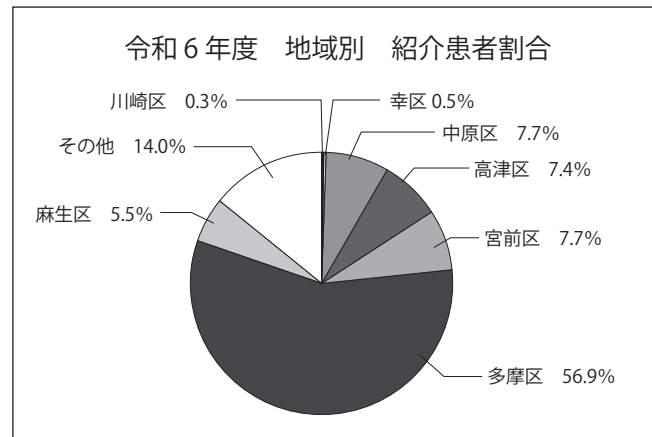
※各月 左列：逆紹介患者数、右列：逆紹介率
(単位：件、%)

科名	逆紹介 患者 合計	年間 科別逆 紹介率	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月
総合診療内科	1,943	93.5	143 93.5	172 106.8	160 83.3	171 85.5	177 97.8	166 100.0	145 76.3	147 78.6	160 87.9	175 115.1	144 109.1	183 100.5
循環器内科	1,219	166.8	117 121.9	106 149.3	15 35.7	112 164.7	99 165.0	102 208.2	120 176.5	118 181.5	116 207.1	108 186.2	91 178.4	115 244.7
呼吸器内科	327	72.3	19 44.2	15 46.9	115 205.4	23 69.7	17 44.7	15 62.5	19 63.3	18 56.3	14 35.0	25 54.3	17 44.7	30 75.0
消化器内科	1,320	69.0	103 54.5	109 63.4	119 67.6	122 72.6	101 67.8	87 62.1	110 57.6	118 72.4	136 90.7	103 65.2	100 78.1	112 86.2
腎臓・高血圧内科	660	336.7	43 330.8	58 223.1	59 491.7	64 278.3	66 412.5	62 326.3	59 295.0	47 293.8	56 622.2	52 325.0	50 416.7	44 314.3
代謝・内分泌内科	212	64.0	14 17.3	22 40.0	16 41.0	33 165.0	18 120.0	15 62.5	15 78.9	11 68.8	13 72.2	19 111.8	22 366.7	14 66.7
脳神経内科	326	62.2	25 29.1	28 34.1	39 63.9	34 75.6	21 60.0	23 82.1	39 100.0	25 75.8	26 83.9	23 85.2	16 47.1	27 117.4
血液内科	88	157.1	4 80.0	7 350.0	3 60.0	5 166.7	10 111.1	7 233.3	11 220.0	3 300.0	10 500.0	6 60.0	9 128.6	13 325.0
リウマチ・膠原病内科	57	55.9	3 14.3	3 15.8	9 100.0	6 75.0	6 54.5	4 100.0	4 57.1	3 100.0	4 100.0	8 88.9	3 75.0	4 133.3
アレルギー科	0	0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
神経精神科	37	47.4	4 80.0	1 20.0	2 40.0	3 37.5	1 20.0	4 44.4	2 22.2	3 33.3	4 133.3	4 57.1	5 166.7	4 40.0
小児科	698	58.2	53 55.8	78 64.5	62 55.9	70 64.2	44 40.4	64 63.4	73 67.0	60 60.0	49 53.3	36 46.8	41 57.7	68 64.8
消化器・一般外科	439	84.3	37 49.3	44 65.7	45 80.4	35 81.4	34 91.9	32 82.1	32 84.2	38 88.4	34 100.0	31 88.6	34 109.7	43 187.0
心臓血管外科	5	29.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
呼吸器外科	7	700.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 0.0	1 0.0	1 0.0	0 0.0	3 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
小児外科	2	9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
乳腺・内分泌外科	39	33.9	3 21.4	2 28.6	0 0.0	1 8.3	3 60.0	1 7.7	0 0.0	3 27.3	3 42.9	4 66.7	7 87.5	12 92.3
脳神経外科	396	128.2	26 72.2	23 47.9	45 125.0	44 183.3	36 156.5	25 100.0	36 144.0	44 231.6	43 148.3	23 230.0	25 131.6	26 173.3
整形外科	798	100.5	80 101.3	80 137.9	68 103.0	47 48.0	58 93.5	56 100.0	65 106.6	66 104.8	71 134.0	66 91.7	60 105.3	81 117.4
形成外科	55	8.7	5 9.6	5 8.3	7 12.1	9 23.1	8 16.7	6 12.8	3 6.4	1 1.4	1 1.8	3 6.1	3 5.7	4 7.7
皮膚科	92	20.9	1 2.8	2 4.2	4 8.2	4 8.5	8 19.5	8 17.0	3 7.7	4 10.3	17 54.8	18 100.0	10 32.3	13 92.9
泌尿器科	278	53.4	15 32.6	32 76.2	29 55.8	19 44.2	18 46.2	19 42.2	23 63.9	23 47.9	26 55.3	23 47.9	25 80.6	26 59.1
産婦人科	54	11.5	2 3.9	5 10.4	3 5.8	1 3.0	4 10.0	3 6.3	6 14.6	2 7.7	6 15.0	5 20.0	8 28.6	9 23.7
眼科	410	55.6	35 53.0	38 58.5	43 75.4	36 57.1	34 60.7	26 45.6	40 55.6	24 49.0	40 54.1	23 40.4	39 65.0	32 51.6
耳鼻咽喉科	56	6.7	9 13.6	4 5.9	5 6.0	3 4.4	4 6.2	2 3.4	8 10.7	4 5.4	5 7.1	7 9.7	1 1.7	4 5.2
放射線科	2,992	120.4	291 121.3	275 123.9	256 116.4	271 127.2	233 119.5	249 115.8	245 115.6	243 121.5	260 118.2	212 120.5	221 120.8	236 124.9
腫瘍内科	52	520.0	6 300.0	7 0.0	4 0.0	6 0.0	6 0.0	1 100.0	4 0.0	3 100.0	3 300.0	3 100.0	6 0.0	3 0.0
緩和ケア内科	1	0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
歯科口腔外科	2,129	56.5	178 72.4	182 61.7	177 57.1	179 50.0	165 53.7	163 59.9	194 52.0	174 61.3	182 55.7	154 45.4	161 51.9	220 63.6
合 計	14,692	75.5	1,216 67.2	1,298 72.8	1,286 72.4	1,300 74.7	1,173 75.2	1,141 76.0	1,258 72.8	1,184 75.5	1,283 80.6	1,131 75.2	1,099 80.1	1,323 86.3



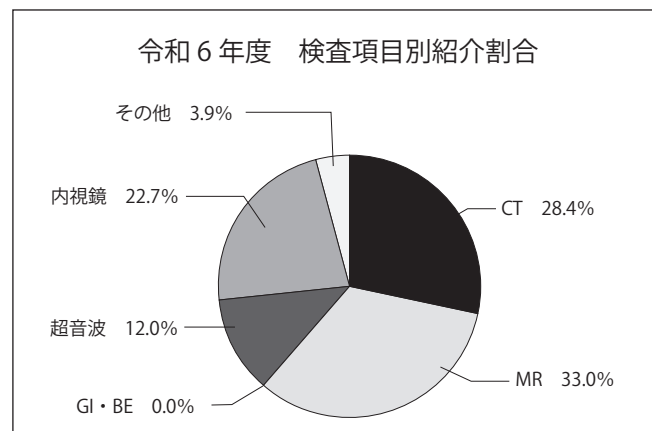
◇地域別紹介状数（再診紹介含む）

地域名	地域別 紹介状件数	月平均	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月
川崎市川崎区	61	5.1	3	5	5	6	12	4	4	4	4	2	6	6
川崎市 幸 区	110	9.2	13	3	5	7	11	4	9	10	20	9	8	11
川崎市中原区	1,771	147.6	443	389	237	121	90	75	77	76	96	58	58	51
川崎市高津区	1,713	142.8	134	142	126	151	153	136	151	135	129	142	154	160
川崎市宮前区	1,774	147.8	148	150	183	172	137	128	150	165	122	125	131	163
川崎市多摩区	13,161	1,096.8	1,118	1,126	1,132	1,190	1,032	1,090	1,184	1,090	1,129	1,035	969	1,066
川崎市麻生区	1,280	106.7	117	104	96	116	90	110	118	124	136	90	90	89
その他	3,245	270.4	265	277	271	294	262	251	285	277	281	257	248	277
合 計	23,115	1,926.3	2,241	2,196	2,055	2,057	1,787	1,798	1,978	1,881	1,917	1,718	1,664	1,823



◇検査項目別紹介件数

地域名	年度合計	月平均	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月
CT 検査	1,179	98.3	117	112	99	107	89	87	89	95	104	99	87	94
MR 検査	1,368	114.0	134	116	129	137	110	110	108	115	125	87	91	106
GI・BE 検査	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
超音波検査	497	41.4	43	50	36	37	34	50	51	45	43	23	39	46
内視鏡検査	940	78.3	68	80	87	96	69	55	88	86	90	80	70	71
その他検査	163	13.6	18	11	9	13	11	16	13	7	4	19	20	22
合 計	4,147	345.6	380	369	360	390	313	318	349	348	366	308	307	339



[看護相談・医療福祉相談部門業務報告]

1. 患者数

〈総合計〉

性別	担当部門			合計
	看護相談	SW	協働	
男性	254	406	226	886
女性	221	484	163	868
合計	475	890	389	1,754

〈入院〉

性別	担当部門			合計
	看護相談	SW	協働	
男性	185	367	213	765
女性	168	379	160	707
合計	353	746	373	1,472

〈外来〉

性別	担当部門			合計
	看護相談	SW	協働	
男性	68	39	13	120
女性	52	105	3	160
合計	120	144	16	280

〈未受診〉

性別	担当部門			合計
	看護相談	SW	協働	
男性	1	0	0	1
女性	1	0	0	1
合計	2	0	0	2

2. 住所地

〈川崎市〉

多摩区	1,144
宮前区	198
高津区	156
麻生区	86
中原区	41
幸区	8
川崎区	8
合 計	1,641

〈横浜市〉

青葉区	12
港北区	4
都筑区	3
神奈川区	3
瀬谷区	2
鶴見区	2
その他	2
合 計	28

〈東京都〉

稲城市	22
狛江市	20
世田谷区	10
町田市	8
調布市	7
多摩市	4
渋谷区	2
その他	6
合 計	79

〈その他〉

県内	3
県外	3
不明	0

合 計	1,754
-----	-------

3. 診療科別件数

〈入院〉

総合診療内科	587
循環器内科	74
呼吸器内科	56
消化器内科	61
腎臓・高血圧内科	63
代謝・内分泌内科	30
脳神経内科	125
腫瘍内科	1
血液内科	22
小児科	18
消化器・一般外科	79
乳腺・内分泌外科	0
脳神経外科	131
整形外科	146
形成外科	0
皮膚科	0
泌尿器科	18
産婦人科	0
神経精神科	0
眼科	0
耳鼻咽喉科	4
歯科口腔外科	0
緩和ケア内科	57
合 計	1,472

〈未受診〉

総合診療内科	1
血液内科	1

〈外来〉

総合診療内科	20
循環器内科	9
呼吸器内科	20
消化器内科	20
腎臓・高血圧内科	14
代謝・内分泌内科	4
脳神経内科	12
腫瘍内科	18
血液内科	5
小児科	17
消化器・一般外科	19
乳腺・内分泌外科	0
脳神経外科	5
整形外科	3
形成外科	2
皮膚科	2
泌尿器科	12
産婦人科	74
神経精神科	14
眼科	1
耳鼻咽喉科	0
歯科口腔外科	0
アレルギー科	0
リウマチ・膠原病内科	2
救急災害医療センター	5
緩和ケア内科	2
合 計	280

4. 疾病分類

〈入院〉

悪性腫瘍	201
循環器疾患	98
呼吸器疾患	306
消化器疾患	117
腎臓疾患	78
代謝疾患	42
神経疾患	42
脳血管疾患	233
整形外科疾患	174
皮膚・皮下組織疾患	9
泌尿器疾患	57
妊娠・分娩および産褥	0
精神疾患	0
その他	115
合 計	1,472

〈外来〉

悪性腫瘍	79
循環器疾患	10
呼吸器疾患	9
消化器疾患	16
腎臓疾患	14
代謝疾患	5
神経疾患	6
脳血管疾患	12
整形外科疾患	5
皮膚・皮下組織疾患	6
泌尿器疾患	2
妊娠・分娩および産褥	68
精神疾患	21
その他	27
合 計	280

5. 介入経路（複数回答有）

本人	10
家族	18
院内依頼	1,695
DPS（入院時スクリーニング）	3
DMR（退院調整ラウンド）	2
リハビリカンファランス	0
他機関	34
継続	2
その他	0
合 計	1,764

6. 支援内容（複数回答有）

心理的・社会的問題（＊1内訳）	304
退院支援（＊2内訳）	1,357
在宅療養支援（＊3内訳）	190
経済的問題（＊4内訳）	130
社会福祉制度活用	210
受診・受療	110
社会復帰	55
家族支援	127
その他	19
＊1 心理的・社会的問題の内訳	
家族関係	101
傷病・障害の受容	114
患者会・家族会	1
育児・養育支援	58
虐待・DV	35
グリーフケア	4
その他	15
＊2 退院支援の内訳	
方向性検討	830
転院	583
施設入所	335
介護保険の説明	372
介護保険サービス導入・調整	376
訪問看護の導入・調整	271
訪問診療の導入・調整	185
障害関連制度活用	7
関係機関連携	645
その他のサービス活用	41
＊3 在宅療養支援の内訳	
方向性検討	64
入院	5
施設入所	13
介護保険の説明	62
介護保険サービス導入・調整	92
訪問看護の導入・調整	85
訪問診療の導入・調整	84
障害関連制度活用	7
関係機関連携	122
その他のサービス活用	6
＊4 経済的問題の内訳	
生活保護申請	20
債務整理	9

7. 転帰先

一般病床	29
回復期リハビリテーション病棟	243
地域包括ケア病床	39
療養型病床	121
緩和ケア病棟	8
特殊疾患病棟	1
障害者病床	2
結核病床	1
感染病床	0
精神病床	6
自宅	538
ショートステイ	19
小規模多機能型居宅介護施設	15
看護小規模多機能型居宅介護施設	45
介護老人保健施設	64
介護老人福祉施設	21
グループホーム	9
有料老人ホーム	100
サービス付き高齢者住宅	13
死亡	184
その他	14
合 計	1,472

8. 支援困難要因

身元不明	0
独居	321
日中独居	94
住所不明・不定	1
身寄り無	32
身寄り脆弱	58
支援者無	12
支援者脆弱	40
家族に精神疾患・知的障害・社会的引きこもり	32
1ヶ月以内の再入院	16
記憶力低下・認知症	160
自殺企図・希死念慮	5
特殊な薬剤の継続	17
医療区分非該当	15
無保険	12
パーキンソン病関連疾患	46
社会資源の不足	14
低所得	83
倫理コンサルテーション介入	23
その他	49
合 計	1,030

[診療報酬関連業務報告]

1. 入院時支援加算

	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
入院時支援加算1(230点)算定件数	32	56	59	57	64	50	60	47	59	42	55	55	636

※ 6月より入院時支援加算1が230点から240点に変更

2. 入退院支援加算1

	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
算定件数(700点)	269	296	322	328	324	319	369	332	385	293	341	381	3,959

3. 退院時共同指導料

	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
算定件数(400点)	8	7	8	8	9	7	12	13	9	8	13	11	113
算定件数(2000点)	4	3	3	6	5	2	4	1	6	1	3	9	47

4. 介護支援連携指導料

	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
算定件数(400点)	14	11	10	17	21	14	14	11	14	14	12	15	167

[医療福祉相談部門専門相談業務報告]

◇ MCAP 関連

1. 症例件数

	児童	高齢者	DV	障害者	特定妊婦	総症例件数
症例件数	40	10	3	0	29	82

2. 年齢別

1歳未満	31	7~12歳	0	20代	19	50代	0	80代以上	7
1~3歳	5	13~15歳	3	30代	8	60代	2		
4~6歳	1	16~19歳	4	40代	0	70代	2		

3. 男女別

男性	26	女性	56
----	----	----	----

4. 診療科別

総合診療内科	2	代謝・内分泌内科	0	アレルギー科	0	整形外科	1	神経精神科	1	健康診断部	1
循環器内科	2	脳神経内科	1	小児科	24	形成外科	1	眼科	0	その他	0
呼吸器内科	0	血液内科	0	消化器・一般外科	0	皮膚科	0	耳鼻咽喉科	1		
消化器内科	1	リウマチ・膠原病内科	0	乳腺・内分泌外科	0	泌尿器科	0	歯科口腔外科	0		
腎臓・高血圧内科	0	腫瘍内科	0	脳神経外科	10	産婦人科	34	救急外来	3		

5. 病棟種別

病棟	27
外来	47
救急	8
その他	0

6. 虐待種類（重複あり）

	児童	高齢者	DV	障害者	特定妊婦
身体的	15	7	2	0	1
性的	0	0	1	0	0
ネグレクト	0	0	0	0	3
心理的	5	2	2	0	0
経済的	0	0	0	0	0
不適切養育	14				1

7. 発見者・発見場所

	病棟	外来	救急	医療相談センター	その他
本人	0	0	0	0	0
虐待者同居家族 (虐待者以外)	0	0	0	0	0
同居人以外の親族	0	0	0	0	0
保健福祉センター	0	3	0	10	0
児童相談所	0	0	0	0	0
地域のみまもり 支援センター	0	0	0	1	0
学校	0	0	0	0	0
保育園	0	0	0	0	0
幼稚園	0	0	0	0	0
医師	5	5	8	0	0
看護師	7	8	9	0	0
コメディカル・事務	0	0	0	0	0
ソーシャルワーカー	0	9	0	14	1
地域包括支援 センター・ケアマネジャー	0	0	0	1	0
その他	0	0	0	0	1

8. 虐待者（疑い含む）種別 （重複あり）

実父	13	実母	31
実父以外の父	1	実母以外の母	0
祖父	0	祖母	0
夫	3	妻	0
きょうだい	1	パートナー	0
子	5	その他	2

9. MCAP 対応

	児童	高齢者	DV	障害者	特定妊婦
緊急招集件数	3	1	0	0	1
通告件数	9	0	0	0	3
一時保護	3	0	0	0	2

10. 関係機関（重複あり）

	児童	高齢者	DV	障害者	特定妊婦
児童相談所	18	0	0	0	7
地域のみまもり 支援センター	30	0	1	0	28
学校	1	0	0	0	0
幼稚園	0	0	0	0	0
保育園	0	0	0	0	0
高齢者支援課	0	1	0	0	0
地域包括支援センター	0	3	0	0	0
女性相談窓口	0	0	1	0	0
民生委員	0	0	0	0	0
児童委員	0	0	0	0	0
乳児院	3	0	0	0	0
警察	0	0	0	0	0
その他	2	1	0	0	1

◇入院助産制度関連

1. 受入可否件数

区	件 数		
	可	不可	保留
多摩	3	0	0
麻生	0	0	1
高津	4	1	0
宮前	4	0	0
南部医療圏	4	0	0
市外	1	0	0
合計	16	1	1
総相談件数	18		

◇医療通訳関連

1. 外部医療通訳（MIC かながわ）

総相談件数	293
-------	-----

(1) 言語別相談件数

言語	件数
英語	159
中国語	6
スペイン語	0
ポルトガル語	0
韓国語・朝鮮語	0
タガログ語	15
タイ語	9
ベトナム語	35
カンボジア語	0
ラオス語	0
フランス語	30
ロシア語	0
ネパール語	39
合 計	293

(2) 診療科別相談件数

診療科	件数	診療科	件数
総合診療内科	2	乳腺・内分泌外科	0
循環器内科	0	脳神経外科	1
呼吸器内科	0	整形外科	1
消化器内科	0	形成外科	0
腎臓・高血圧内科	0	皮膚科	0
代謝・内分泌内科	17	泌尿器科	0
脳神経内科	1	産婦人科	257
血液内科	5	神経精神科	0
リウマチ・膠原病内科	0	眼科	0
腫瘍内科	0	耳鼻咽喉科	0
アレルギー科	0	歯科口腔外科	0
小児科	8	救急外来	0
消化器・一般外科	0	健康診断部	1
		その他	0

[看護相談部門業務報告]

1. 検査説明

	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
検査説明件数	667	760	805	695	721	637	787	641	662	596	650	626	8,247

2. 外来入院一体化パス対応

	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
外来入院一体化パス件数	137	159	137	146	137	133	162	123	120	140	111	113	1,618

3. 予定入院時支援

	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
入院支援対応件数 (入院予約時)	73	73	77	91	54	64	73	52	53	69	58	45	782

4. 訪問看護指示書

	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
訪問看護指示書 (300点)	85	85	63	73	68	73	108	66	94	75	76	94	960
特別訪問看護指示書 (+100点)	7	7	2	3	9	9	5	7	6	4	5	9	73

5. 介護保険主治医意見書 (件)

	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
件数	89	78	91	94	89	87	77	80	92	103	98	91	1,069

[目次へ戻る](#)

クリニカルエンジニア部の状況

◇安全管理

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
ラウンド	647	621	668	734	638	609	713	636	686	705	677	785	8,119
定期点検	34	42	29	20	26	92	124	68	82	74	81	51	723
貸出機器点検	711	721	714	695	702	606	701	689	740	753	625	714	8,371
トラブルシューティング	7	15	16	16	11	6	7	7	15	6	5	9	120
水質管理	7	7	7	8	3	4	5	2	4	7	5	3	62
医療機器研修	7	6	5	2	3	5	5	2	6	7	2	8	58

◇血液浄化

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
血液濾過透析 (HDF)	684	710	650	725	744	690	700	665	687	712	636	701	8,304
血液透析 (HD)	208	233	237	225	188	173	214	263	251	318	262	283	2,855
限外濾過 (ECUM)	48	51	50	41	32	58	52	70	57	68	51	54	632
緩徐式血液ろ過透析 (CRRT)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15
血漿交換 (PE)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血漿吸着 (PA)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
顆粒球除去療法 (GCAP)	4	3	7	3	0	0	3	9	3	0	0	0	32
レオカーナ (血液吸着)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹水濾過濃縮再静注法 (CART)	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	4
バスキュラーアクセス評価	3	8	6	3	4	2	3	4	5	6	2	6	52

◇手術室業務

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
術中神経モニタリング	2	2	3	3	3	4	4	3	7	5	5	5	46
ロボット手術	9	8	8	6	9	6	11	12	7	10	5	9	100

◇心臓カテーテル・ペースメーカー

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
造影・検査	CAG	20	24	20	19	21	21	23	22	26	29	22	19	266
	LVG	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	6
	S-G	1	3	2	1	2	2	0	2	4	5	4	0	26
	Biopsy	0	1	1	0	0	2	0	1	2	0	4	1	12
	Acetylcholine	3	0	0	0	3	3	3	2	1	1	2	0	18
	FFR	13	9	11	16	13	12	15	10	14	14	10	10	147
虚血治療	PCI	28	19	16	20	15	15	16	22	21	15	21	24	232
	EVT	2	0	0	3	0	1	0	0	2	2	2	2	14
	STENT	19	16	15	19	12	14	12	19	16	11	18	13	184
	Temporary	5	2	2	1	3	4	7	4	6	1	2	3	40
	血栓吸引	3	8	5	8	3	5	4	4	7	4	4	4	59
	IVUS・OCT	27	18	16	20	12	15	16	21	21	17	23	25	231
不整脈治療	ABL	10	11	10	9	11	11	13	7	9	11	8	10	120
	EPS	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	ペースメーカー	2	7	7	3	4	4	6	8	6	5	3	6	61
	PM 外来	38	36	53	43	37	34	38	36	45	38	37	36	471
補助循環	IABP	0	1	2	1	1	0	1	3	2	2	0	0	13
	PCPS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
緊急心臓カテーテル		2	7	2	3	3	6	4	1	4	5	3	5	45

[目次へ戻る](#)

薬剤部の状況

◇調剤・補給業務

・処方箋／調剤業務

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
外 来	患者数	17,086	17,765	17,379	18,933	17,341	17,483	19,223	17,476	18,548	17,501	16,290	17,580	212,605
	院内処方枚数	231	270	266	274	240	238	216	228	240	224	225	222	2,874
	院内処方件数	366	434	415	442	412	385	402	358	437	372	405	386	4,814
	院内処方剤数	3,745	4,609	4,345	4,157	5,132	3,987	4,988	3,713	5,122	3,736	5,084	4,116	52,734
	剤数／件数	10.23	10.62	10.47	9.40	12.46	10.36	12.41	10.37	11.72	10.04	12.55	10.66	10.94
	院外処方枚数	7,510	7,749	7,297	7,901	7,386	7,309	8,080	7,307	7,996	7,570	6,910	7,434	90,449
	院外処方発行率	97.02	96.63	96.48	96.65	96.85	96.85	97.40	96.97	97.09	97.13	96.85	97.10	96.92
	院内処方箋料	2,844	2,940	3,932	3,686	2,930	2,384	3,014	2,342	3,204	2,665	3,072	2,833	35,846
	調剤技術基本料	588	707	770	854	798	616	742	588	742	616	798	742	8,561
	調剤料	748	825	754	1,043	804	655	834	658	912	708	850	723	9,514
	麻毒加算	19	25	21	19	21	18	23	16	21	17	21	21	242
	薬剤情報提供件数	60	30	12	16	63	42	45	48	57	36	58	62	529
	院外処方箋料（点数）	494,304	507,804	434,354	469,455	435,398	435,573	477,681	430,376	474,779	443,899	408,279	441,490	5,453,392
入 院	患者数	8,518	9,691	9,127	9,473	9,207	8,434	8,944	8,640	9,097	9,324	9,061	9,274	108,790
	処方枚数	5,850	6,700	5,906	6,424	5,982	5,719	6,610	5,861	6,351	6,419	6,258	6,495	74,575
	処方件数	11,931	13,644	12,052	12,961	12,125	11,641	13,953	11,880	12,894	13,264	13,164	13,636	153,145
	処方剤数	68,270	79,637	69,771	75,984	72,038	67,002	80,509	68,618	83,439	74,779	77,102	78,758	895,907
	剤数／件数	5.72	5.84	5.79	5.86	5.94	5.76	5.77	5.78	6.47	5.64	5.86	5.78	5.85
	調剤技術基本料	756	840	798	1,050	1,680	546	672	546	588	336	546	504	8,862
	調剤料	7,300	7,849	6,438	8,627	8,127	6,349	7,140	5,792	5,822	6,467	7,350	8,127	85,388
	麻毒加算	63	66	64	58	87	76	63	76	57	75	98	130	913
合 計	患者数	25,604	27,456	26,506	28,406	26,548	25,917	28,167	26,116	27,645	26,825	25,351	26,854	321,395
	院内処方枚数	6,081	6,970	6,172	6,698	6,222	5,957	6,826	6,089	6,591	6,643	6,483	6,717	77,449
	院内処方件数	12,297	14,078	12,467	13,403	12,537	12,026	14,355	12,238	13,331	13,636	13,569	14,022	157,959
	院内処方剤数	72,015	84,246	74,116	80,141	77,170	70,989	85,497	72,331	88,561	78,515	82,186	82,874	948,641
	院内調剤料（金額）	123,180	132,520	127,770	153,370	144,470	106,440	124,880	100,180	113,460	108,840	127,350	130,800	1,493,260
	金額合計	5,066,820	5,210,860	4,471,430	4,848,080	4,499,080	4,462,590	4,902,140	4,404,420	4,861,820	4,548,190	4,210,720	4,546,320	56,032,470

・薬品補給業務

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
外 来	注射箋枚数	1,596	1,613	1,566	1,727	1,676	1,557	1,666	1,548	1,745	1,598	1,524	1,593	19,409
	注射箋件数	2,484	2,595	2,462	2,738	2,683	2,441	2,616	2,476	2,706	2,439	2,356	2,546	30,542
	請求票枚数	318	341	334	354	351	333	373	322	317	330	296	316	3,985
入 院	注射箋枚数	7,352	8,544	8,381	7,018	7,686	7,312	8,182	8,381	8,751	9,120	7,707	7,979	96,413
	注射箋件数	20,999	24,039	23,702	22,826	21,434	21,121	22,856	24,644	25,695	26,800	22,122	23,869	280,107
	請求票枚数	209	163	183	195	197	171	203	178	177	174	179	200	2,229
合 計	注射箋枚数	8,948	10,157	9,947	8,745	9,362	8,869	9,848	9,929	10,496	10,718	9,231	9,572	115,822
	注射箋件数	23,483	26,634	26,164	25,564	24,117	23,562	25,472	27,120	28,401	29,239	24,478	26,415	310,649
	請求票枚数	527	504	517	549	548	504	576	500	494	504	475	516	6,214
血 液 製 剤	血液製剤処方件数	3	9	6	4	6	11	5	4	11	9	8	8	84
	血液製剤注射箋件数	112	146	66	90	116	109	99	119	177	119	116	107	1,376
	材料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	115	155	72	94	122	120	104	123	188	128	124	115	1,460

◇製剤業務（製剤調製の月次推移表）

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
外用液剤	件数	6	9	10	7	10	9	5	13	11	9	13	11	113
	L 数	7.000	4.160	5.805	6.000	4.655	5.950	4.200	4.310	6.270	4.765	4.470	4.700	62.285
外用散剤	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Kg 数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
軟膏	件数	0	2	2	0	1	4	0	1	4	0	2	135	151
	Kg 数	0.00	0.00	0.10	0.00	0.03	4.13	0.00	0.10	0.19	0.00	0.00	0.00	4.55
滅菌液剤	件数	13	15	19	12	14	13	13	10	12	12	11	12	156
	L 数	0.440	0.740	0.780	0.435	0.635	0.785	0.570	0.500	0.645	0.540	0.595	0.655	7.320
注射剤（TPN 他）	件数	24	33	53	26	33	29	26	28	16	28	23	16	335
	本数	24	33	53	26	33	29	26	28	16	28	23	16	335
合 計	件数	43	59	84	45	58	55	44	52	43	49	49	174	755

◇抗癌剤混合調製業務

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
外来腫瘍 化学療法 診療科 1 イ (抗悪性 腫瘍剤)	延べ患者数	138	152	148	153	153	148	262	129	132	137	119	132	1,803
	調製本数	221	237	246	257	246	227	257	194	195	197	178	207	2,662
	算定件数 700 点	129	133											262
	算定件数 (初回から3 回目まで) 800 点			120	132	128	125	137	117	117	121	102	114	1,213
	算定件数 (4回目以降) 450 点			2	4	2	0	1	1	1	0	0	1	12
外来 化学療法 加算 1 (抗悪性 腫瘍剤 以外)	延べ患者数	31	27	19	26	28	25	28	24	32	22	25	20	307
	調製本数	36	28	20	27	30	29	32	26	38	25	29	23	343
	算定件数 450 点	16	20	16	16	23	16	19	17	21	16	18	17	215
外来 無菌 算定	算定件数 (無菌製剤処理料 1イ以外) 45 点	13	18	24	19	25	23	25	15	17	18	20	18	235
	算定件数 (無菌製剤処理料 2) 40 点	0	0	0	0	0	0	19	20	21	16	12	16	104
	算定件数 (無菌製剤処理料 1・2・他) 180 点	129	135	125	136	130	129	123	97	100	106	90	100	1,400
入院	延べ患者数	15	30	16	31	52	61	54	45	54	66	53	56	533
	調製本数	20	48	28	52	73	80	75	59	74	89	79	81	758
入院 無菌 算定	算定件数 (無菌製剤処理料 1イ以外) 45 点	4	5	0	4	6	6	7	15	5	17	18	24	111
	算定件数 (無菌製剤処理料 2) 40 点	0	23	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57
	算定件数 (無菌製剤処理料 1・2・他) 180 点	8	23	13	24	43	55	44	26	47	48	31	31	393
合計	延べ患者数	184	209	183	210	233	234	344	198	218	225	197	208	2,643
	調製本数	277	313	294	336	349	336	364	279	307	311	286	311	3,763
	金額合計	1,229,250	1,324,950	1,313,800	1,444,350	1,461,850	1,416,250	1,508,600	1,259,900	1,317,900	1,339,350	1,136,700	1,254,100	16,007,000

◇外来指導業務

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
延べ 患者 数	抗癌剤 A	45	56	38	40	29	40	49	40	43	42	52	50	524
	抗癌剤 B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	術前中止薬	198	200	178	229	196	172	214	173	173	198	184	183	2,298
	その他 10 点	18	6	18	11	4	16	22	16	13	19	9	18	170
	薬剤総合評価調整 管理料 250 点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	がん患者指導 管理料ハ 200 点	15	17	12	18	12	14	12	6	15	18	0	0	139
	連携充実加算 150 点	84	80	79	84	85	88	86	82	81	80	77	82	988
	バイオ後続品導入 初期加算 150 点	0	0	2	4	35	35	34	7	6	2	4	4	133
合計	がん薬物療法体制充実 加算 100 点								36	53	47	50	61	247
	延べ患者数	360	359	327	386	361	365	417	324	331	359	326	398	4,252
金額合計		157,800	154,600	147,300	169,100	204,400	214,100	206,200	183,100	214,800	207,900	172,400	191,800	2,223,500

◇薬剤管理指導業務

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
服 薬 指 導 業 務	①M/A系薬使用 対象 380 点	451	473	433	490	447	501	473	442	486	474	483	591	5,744
	②上記①以外 325 点	627	654	620	708	673	535	680	584	578	582	623	608	7,472
	合計	1,078	1,127	1,053	1,198	1,120	1,036	1,153	1,026	1,064	1,056	1,106	1,199	13,216
	麻薬管理加算件数 50 点	16	11	12	42	33	24	37	16	23	21	16	14	265
	退院時服薬指導件数 90 点	494	479	530	542	537	463	528	478	517	425	477	536	6,006
	点数合計	420,415	435,950	414,340	467,180	438,565	407,125	450,110	401,580	420,210	408,570	429,745	471,120	5,164,910
	病棟薬剤業務実施 加算 2 (件数) 100 点	277	277	223	195	204	186	193	234	205	206	187	208	2,595
	薬剤総合評価 調整加算 100 点	14	15	22	14	17	21	19	10	19	15	15	25	206
	薬剤調整加算 150 点	11	8	13	6	11	13	16	4	11	8	10	16	127
	退院時薬剤情報 連携加算 60 点	429	408	466	477	462	409	461	418	454	369	404	466	5,223
	小児退院時薬剤情報管理 指導連携加算 150 点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬剤管理指導業務 (金額)	4,769,050	4,908,300	4,687,500	5,176,000	4,900,350	4,543,150	5,013,700	4,516,600	4,715,000	4,540,100	4,756,850	5,247,800	57,774,400
	病棟薬剤業務 実施加算 (金額)	1,780,572	1,971,158	1,804,124	1,875,932	1,811,274	1,668,225	1,766,866	1,783,332	1,874,040	1,882,617	1,777,137	1,817,488	21,812,765
	周術期薬剤管理料 75 点	108	111	106	43	30	33	112	104	104	115	108	109	1,083
	金額合計	6,630,622	6,962,708	6,571,124	7,084,182	6,734,124	6,236,125	6,864,566	6,377,932	6,667,040	6,508,967	6,614,987	7,147,038	77,804,415

◇感染対策向上加算 1

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
包括入院料 (点数)	26,486,046	29,632,267	28,867,964	29,091,091	28,643,185	26,782,926	28,427,398	28,611,813	30,339,027	31,347,524	29,386,582	29,684,009	347,299,832
全体係数	1.5363	1.5339	1.5460	1.5460	1.5460	1.5460	1.5460	1.5460	1.5460	1.5460	1.5460	1.5460	
係数 (抗菌薬)	0.0247	0.0247	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	
点数 (① / ② X ③)	425,832	477,161	457,481	461,017	453,919	424,438	450,499	453,421	480,793	496,775	465,699	470,413	5,517,447
合計金額 (円)	4,258,318	4,771,608	4,574,807	4,610,166	4,539,185	4,244,383	4,504,989	4,534,214	4,807,931	4,967,751	4,656,994	4,704,128	55,174,475

◇TDM 解析件数

薬 剤 名	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
バルプロ酸	15	14	11	21	24	8	7	12	8	9	8	22	159
フェニトイン	0	2	1	0	2	2	2	1	0	0	1	0	11
フェノバルビタール	0	0	1	1	1	3	1	3	2	1	3	3	19
カルバマゼピン	1	1	6	8	16	1	3	2	5	0	3	9	55
ゾニサミド	4	0	0	0	4	2	3	1	0	1	0	1	16
クロナゼパム	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	4
ラコサミド	6	5	2	12	8	3	3	4	6	3	5	7	64
ラモトリギン	1	1	1	5	8	1	1	1	3	1	1	8	32
レベチラセタム	8	6	8	10	10	4	6	11	11	9	13	6	102
ゲンタマイシン	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
アミカシン	3	2	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	10
アルベカシン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン	18	35	25	55	46	42	47	49	52	56	23	27	475
ボリコナゾール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メソトレキサート	0	5	6	8	9	5	4	1	5	0	2	0	45
シクロスポリン	3	4	2	1	1	4	4	2	1	3	1	4	30
タクロリムス	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	6
テオフィリン	2	2	1	4	0	5	5	0	2	4	2	2	29
ジゴキシン	5	8	7	4	6	4	4	7	7	5	4	6	67
アミオダロン	9	9	6	8	7	10	8	12	5	4	2	4	84
フレカイニド	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	7	5	10	6	6	6	7	6	7	10	3	3	76
小計 外来	53	52	48	79	97	47	48	58	46	43	36	71	678
入院	29	50	41	67	59	54	58	55	68	63	35	31	610
合計	82	102	89	146	156	101	106	113	114	106	71	102	1,288

◇特定薬剤治療管理料算定件数

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
外来	件数	61	66	60	82	94	53	63	65	61	53	51	72	781
	点数	24,060	24,485	19,515	38,185	42,870	21,420	22,570	27,420	21,340	19,685	19,235	33,045	313,830
入院	件数	17	26	24	30	24	26	30	31	37	39	25	13	322
	点数	13,375	24,370	17,935	23,990	19,600	19,610	24,335	25,820	28,460	28,620	18,215	10,380	254,710
全件数 (算定分)		78	92	84	112	118	79	93	96	98	92	76	85	1,103
金額合計		374,350	488,550	374,500	621,750	624,700	410,300	469,050	532,400	498,000	483,050	374,500	434,250	5,685,400

◇医薬品情報業務（DI 等問い合わせ月次推移表）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
医薬品鑑別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
規格・採用状況	6	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	8
治療薬剤の検索	3	4	2	0	1	0	0	2	1	0	0	1	14
使用方法	4	4	5	1	5	1	5	0	2	1	1	0	29
薬効・薬理	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
副作用・相互作用	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
臨床薬物動態	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
配合変化・安定性	2	1	1	0	2	0	3	0	0	2	2	1	14
中毒・毒性	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	19	23	13	16	22	18	22	23	31	15	15	7	224
合 計	35	36	21	18	30	21	32	25	34	18	18	9	297

◇薬剤管理指導業務問い合わせ

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
副作用・相互作用他で 処方中止・変更	24	23	32	22	32	29	43	42	30	36	33	23	369
腎・肝機能低下処方変更	11	4	16	15	12	10	7	5	7	9	15	11	122
重複投与の回避	9	8	12	9	6	6	7	6	5	2	6	9	85
必要な薬剤の追加と不要 薬剤の中止	79	61	63	52	45	56	43	53	44	46	62	46	650
注射薬配合変化の回避・ 注射速度他適正使用	17	10	32	27	22	18	14	14	27	8	14	8	211
1)-①治療薬の選択と投 与量の情報提供（抗菌薬）	8	10	6	5	7	19	12	7	11	24	13	17	139
1)-①のうち 事前相談あり	4	5	6	2	10	6	8	7	5	11	8	2	74
1)-①のうち事前相談なし	2	5	5	4	3	3	6	1	6	6	1	14	56
1)-①のうち適正使用に 繋がった症例	0	1	6	1	1	5	3	3	6	2	3	1	32
1)-①以外の抗菌薬の選択・ 投与量・用法に関して	13	9	11	12	18	13	10	13	4	11	10	7	131
1)-②治療薬の選択と投与量・ 用法に関して（抗菌薬以外）	14	19	12	21	11	12	21	13	9	20	25	11	188
2)-①必要な検体検査・細菌 検査の依頼（抗菌薬関連）	2	5	3	2	3	3	5	2	1	1	3	13	43
2)-②必要な検体検査・細菌 検査の依頼（抗菌薬以外）	6	2	10	6	6	7	4	5	3	8	3	8	68
粉碎・剤形変更の情報提供	21	13	10	11	8	8	9	5	4	6	12	3	110
配合変化の情報提供	17	24	20	15	22	13	8	11	22	12	15	18	197
処方修正代行	183	149	133	159	149	162	142	130	120	119	132	103	1,681
TDM 初期投与設計	9	23	13	26	25	26	26	26	38	28	12	15	267
TDM 投与設計	7	21	13	25	25	25	26	26	35	28	12	15	258
AST 代行オーダー（注射）	35	77	86	217	150	123	197	203	177	191	63	86	1,605
AST 代行オーダー（TDM）	21	37	25	55	50	42	49	50	57	57	23	27	493
TDM（慢性期）代行オーダー	9	9	3	1	5	1	6	3	8	4	2	2	53
合 計	491	515	517	687	610	587	646	625	619	629	467	439	6,832

◇処方に関する問い合わせ業務

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
処方中止	112	102	85	104	102	79	109	65	78	92	58	90	1,076
注射中止	31	42	35	30	22	37	18	30	30	22	22	18	337
修正	30	86	25	18	28	16	23	22	24	19	22	30	343
投与量変更あり	38	26	16	42	29	16	34	27	23	23	14	28	316
投与量変更なし	0	1	0	0	1	0	1	3	4	1	3	1	15
投与日数変更	19	18	22	13	18	30	13	8	31	13	18	9	212
薬品違い	6	9	10	7	8	9	21	8	13	14	13	4	122
用法確認	18	20	17	37	13	18	31	12	21	22	23	28	260
コメント確認	19	11	11	14	4	19	13	12	7	16	29	8	163
重複	0	2	0	1	6	2	0	1	4	1	0	0	17
その他	4	7	3	10	13	0	13	11	2	4	0	7	74
合 計	277	324	224	276	244	226	276	199	237	227	202	223	2,935

◇麻薬業務

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
処方枚数	36	93	106	135	96	109	174	79	158	149	140	120	1,395
処方作業件数	72	186	212	270	192	218	348	158	316	298	280	240	2,790
注射箋枚数	429	445	405	540	485	421	492	441	421	452	512	563	5,606
注射作業件数	807	835	772	1,014	917	803	928	839	809	859	961	1,010	10,554
合 計	465	538	511	675	581	530	666	520	579	601	652	683	7,001

◇後発医薬品係数に伴う実績

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
包括入院料（点数）	26,486,046	29,632,267	28,867,964	29,091,091	28,643,185	26,782,926	28,427,398	28,611,813	30,339,027	31,347,524	29,386,582	347,002,405	664,618,228
後発医薬品係数	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140	0.00140
出来高算定 450円×出来高人数（金額）	32,850	38,250	37,350	56,250	42,750	34,200	39,150	33,300	43,650	23,400	32,850	29,700	443,700
合計金額（円）	403,655	453,102	441,501	463,525	443,755	409,161	437,134	433,865	468,396	462,265	444,262	4,887,734	9,748,355

後発医薬品係数は DPC 対象病院の機能評価係数Ⅱの係数の1つで、前々年度 10 月 1 日から前年度 9 月 30 日の後発医薬品の数量シェアを元に決定する

◇昭和薬科大学学生受け入れに伴う実績

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
学生	1 名 390,000 円 X15 名 = 5,850,000 円												5,850,000
教員充当費用	5,500,000 円												5,500,000
合計金額（円）													11,350,000

◇研修生受け入れに伴う実績

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
がん診療病院連携研修	1 名 130,000 円 X0 名 = 0 円												0
合計金額（円）													0

◇薬効別・年間医薬品購入実績（薬価）

期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

コード	薬効分類別名	内服薬	外用薬	注射薬	その他	合 計
100	神経系及び感覚器官用医薬品	10,532,511	16,023,195	147,345,994	0	173,901,701
110	中枢神経系用薬	10,424,301	6,582,646	63,582,813	0	80,589,760
120	末梢神経系用薬	75,270	1,519,980	40,076,016	0	41,671,266
130	感覚器官用薬	32,940	7,920,569	43,687,165	0	51,640,674
200	個々の器官系用医薬品	17,801,903	9,949,006	141,949,779	0	169,700,688
210	循環器官用薬	7,094,675	190,923	15,378,975	0	22,664,573
220	呼吸器官用薬	396,590	2,433,242	34,418,989	0	37,248,821
230	消化器官用薬	7,994,564	346,389	29,298,937	0	37,639,890
240	ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	1,477,758	88,732	62,267,762	0	63,834,252
250	泌尿生殖器官及び肛門用薬	838,316	475,092	135,958	0	1,449,366
260	外皮用薬	0	6,356,121	0	0	6,356,121
270	歯科口腔用薬	0	58,506	449,158	0	507,664
290	その他の個々の器官系	0	0	0	0	0
300	代謝性医薬品	29,013,300	382,831	226,913,932	0	256,310,063
310	ビタミン剤	448,784	0	2,238,690	0	2,687,474
320	滋養強壮薬	4,033,107	0	14,845,030	0	18,878,137
330	血液・体液用薬	11,324,226	382,831	67,685,417	0	79,392,474
340	人工透析用薬	0	0	28,978,395	0	28,978,395
390	その他の代謝性医薬品	13,207,182	0	113,166,400	0	126,373,582
400	組織細胞機能用医薬品	149,524,233	1,966,296	322,902,714	0	474,393,243
410	細胞賦活用薬	0	0	0	0	0
420	腫瘍用薬	149,197,783	1,966,296	305,018,243	0	456,182,322
430	放射性医薬品	0	0	0	0	0
440	アレルギー用薬	326,450	0	17,884,471	0	18,210,921
500	生薬及び漢方処方に基づく医薬品	2,082,160	0	0	0	2,082,160
510	生薬	0	0	0	0	0
520	漢方製剤	2,082,160	0	0	0	2,082,160
600	病原生物に対する医薬品	5,795,216	4,995,541	238,210,185	36,188,424	285,189,366
610	抗生物質製剤	2,820,852	0	68,517,179	0	71,338,031
620	化学療法剤	2,887,735	58,091	61,559,471	0	64,505,296
630	生物学的製剤	0	4,937,450	107,482,395	36,188,424	148,608,269
640	寄生動物用薬	86,630	0	651,140	0	737,770
700	治療を主目的としない医薬品	6,270,714	556,464	41,178,417	0	48,005,595
710	調剤用薬	4,200	392,439	1,521,070	0	1,917,709
720	診断用薬（体外診断用医薬品を除く）	3,427,562	164,025	39,657,347	0	43,248,934
730	公衆衛生用薬	0	0	0	0	0
790	その他の治療を主目的としない医薬品	2,838,953	0	0	0	2,838,953
800	麻薬	1,682,732	806,625	5,624,765	0	8,114,122
810	アルカロイド系麻薬（天然麻薬）	1,675,340	144,045	1,925,025	0	3,744,410
820	非アルカロイド系麻薬	7,392	662,580	3,699,740	0	4,369,712
900	その他	0	0	0	0	0
999	その他	0	0	0	0	0
合 計		222,702,769	34,679,957	1,124,125,786	36,188,424	1,417,696,936

[目次へ戻る](#)

看護部の状況

◇令和 6 年度 看護部目標

地域包括ケアシステムの中で急性期病院の役割を発揮する

1. 患者のニーズを先取りした看護を実践する
2. やりがいを感じる職場環境を整備する
3. 安全・安心な医療を提供する
4. 地域包括ケアシステムで役割を発揮できる知識・知術を習得する
5. 病院経営に参画する

◇令和 6 年度 看護部総括

部署名：看護部	看護部長：井上ふみ子
---------	------------

[副部長] 上村美穂 森本順子 圓 直美

[師 長] 教育担当師長：木村保美

夜勤師長：吉野可奈子

1. 今年度の特徴と概要

2024 年 3 月、聖マリアンナ医科大学東横病院（東横病院）が閉院となった。東横病院に勤務する看護職は、関連する 3 病院に異動することになり、当院に 50 名が異動となった。2024 年 4 月の看護師数は 488 名となり 46 名が過員の状況で新年度を迎えた。

過員の成果としては、12 月までの昨年度との 2 カ年比較において超過勤務費用 26,840,443 円減、有休消化は 14.88 日 / 人であり 1.4 日増であった。

2023 年度より全病棟で開始しているセル看護提供方式では、スケジュール通りに行動することにより、効率的に時間を使うことに意識を高めてきた。2025 年度の看護師数は定数の 442 名となるため、セル看護提供方式に移行したことによる超過勤務時間及び有休消化率がどのように変化するかに注視していきたい。

2. 今年度の実績

1) 患者のニーズを先取りした看護を実践する

11 月の時点で、患者から看護師に対する意見は 54 件であった。内訳は、苦情 29 件、要望 2 件、意見 2 件、感謝 12 件であった。苦情は接遇関連が多く、言葉遣い、態度等に関するものであった。患者満足度調査においても、言葉遣い・態度について昨年度より若干ポイントが低下しているため、今後も医療接遇に関する指導を継続していく必要がある。

セル看護提供方式を導入し 2 年目を迎えた。患者の側にいるだけでなく、患者に関心を寄せ、患者に寄り添った看護を提供できるように指導を継続していく。

2) やりがいを感じる職場環境を整備する

東横病院が閉院となり看護師数が過員の状況で新年度を迎えた。超過勤務時間は目標の 9.9h 以下を達成、有休消化率も増加し目標の 10 日間以上を達成した。職員満足度調査結果から仕事へのやりがい、昨年度 42.6pt から、37.3pt へ 5.3pt の低下を認めた。仕事量の適切さ 17.1pt (15.9) や休暇の取得 34.6pt (30.0) は上昇しており、給料の満足度 6.7pt (8.3) や福利厚生 8.6pt (11.9) が低下していた。看護師個々がやりがいを感じる環境とはどのような環境なのか、具体的に把握し、改善を進めていく必要がある。

3) 安全安楽な医療を提供する

後期高齢者の入院が多くなる中で、転倒・転落が多くみられた。これからは転倒・転落を予防することにより、転倒・転落してもアクシデントにならない対応について検討をしていくことが求められる。転倒・転落は病院でもあり得ることを理解してもらうことが重要である。セフティマネジャー会議で、患者・ご家族への説明用紙を見直すことができたので、今後は丁寧な説明を心掛ける必要がある。

2024 年度診療報酬改定では、身体的拘束最小化が求められている。身体的拘束以外で患者の安全・安心を守る代

替案が出せるように多職種カンファランスを充実していくことが課題である。

自然災害については、師長マネジメント検討会で、停電・自然災害に対応できる知識を高めることができた。今後も継続が必要である。

4) 病院経営に参画する

2023 年 5 月より COVID-19 は感染症 2 類から 5 類へ変更となった。当院においては、約 3 年間、COVID-19 対応に注力してきたが、今年後は、入院の流れを救急医療・手術・専門的治療にシフトしてきた。入院稼働率約 80%、平均入院日数 10.3 日、入院ベッドがないことを理由に即日入院を断らず対応してきた。また、医師の働き方改革により、オンコール体制の診療科が多くなる中で、看護師による NG チューブ挿入や男性のバルン挿入等タスクシェア・タスクシフトに継続的に取り組んだ。

3. 今後の課題／目標など

2024 年は東横病院の閉院により看護師数が過員であった。2025 年度は定数に戻ることから、現場は忙しさを実感することが予測される。しかし、2024 年度は特殊な状況であったことを認識し、定数配置の中で、いかに効率的にしかも患者に寄り添った看護を提供するかを考え実践していくことが求められる。

2025 年度目標

急性期病院における看護の役割を発揮し、患者の価値を最大化する

戦略目標

1. 患者の尊厳を守る看護を実践する：身体拘束最小化
2. 医療安全を強化し、安心安全な医療を提供する
3. 看護の専門性を破棄し、やりがいのある職場環境を整備する
4. 地域のニーズに応じた看護を提供できる看護師を育成する
5. 病院経営に参画する

部署名：6 東病棟

看護師長：高田恭子

1. 業務概要

病床：48 床（リハビリ運用対象病室 656 号（男性）4 床 657 号（女性）4 床）

診療科：消化器一般外科・乳腺外科 34 床、形成・皮膚科 2 床、泌尿器科 4 床、総合診療内科 8 床

スタッフ：看護師 33 名、看護助手 1 名、夜勤看護助手 3 名（1 名病欠中）、クラーク 1 名

2. 今年度の実績

- 1) 稼働率：84.8%
- 2) 平均在院日数：8.6 日
- 3) 平均超過勤務時間：9.8 時間
- 4) 重症度・医療看護必要度：① 31% ② 45.3%
- 5) スタッフ育成
昇格者 主任（阿尾知果樹）2025 年度 4 月～
- 6) 研修
 - ・神奈川ストーマリハビリテーション講習会受講：1 名（上野 幸）
 - ・重症度、医療・看護必要度研修受講：1 名（菊地真帆）
 - ・皮膚排泄ケア認定看護師過程：1 名（富樫佐和子）
 - * 2025 年 10 月試験予定
- 7) 看護研究・その他

活動報告

A チーム：○関上・浅岡・平岡・佐々木・井之上（看護相談）

「地域連携と退院前後訪問の大切さ～患者が望む生活実現のために～」

B チーム：○栗田・江里・高田（真）・小谷

「終末期患者における AC P シートの大切さ」

8) 部署活動

- ・周術期パンフレット作成と運用
- ・退院前・後訪問の実施 1 事例

9) 資格取得者

- ・糖尿病療養指導士受験資格取得：1 名（阿尾知果樹）
- ・ストーリーナビリテーション：1 名（上野 幸）
- ・神奈川県ストーリーナビリテーション講習会受講修了者
第 1 回フォローアップセミナー：2 名（山岸・上野）

3. 病棟目標評価

①効果的な病床運用と適切な加算申請

評価：B

平均在院日数の延長がなく昨年度以上の稼働率を維持できたことから平均的なベッド運用が実施できたと考える。加算に関しては、医師側からの取り組みや学習会も開催され、DPC II の期間を意識することの必要性を認識できた。実際の状況としては、看護指導不足から早期に再入院に至る事例もあったため、観察や指導等を適切に実施していく必要がある。術後疼痛加算や、リンパ浮腫指導管理料については、加算が適切に申請できるシステムが確立された。病床利用の適正化、希望個室への調整についても、情報を共有し意識的に実施できるようになった。一方で DMRS に関しては適切な時期での提供や、入院診療計画書の記載の不備などもみられていることから、1 週間以内の提出、記載項目の適正化や個別性の重視、提供と記録を強化していく必要がある。

②患者の尊厳、価値を尊重した看護の提供

評価：B

患者の尊厳を考えたコンチネンスケアの実施や意思決定支援について、他部署とも協働しながら取り組むことができた。身体拘束の実施や解除についても患者の状態評価と多職種含めた検討を行うことができるようになり DAY 評価カンファレンスも定着に至っている。しかし、新たな DAY 評価シートの入力や医師を含めた検討、解除を意識した解除時間への取り組み。必要な記録等の不備もあるため、来年度に向けて適切な検討や記録がされるよう今後も取り組みが必要。退院前後訪問やデスカンファレンスを実施でき退院後の支援を入院中から取り組むことができた。

患者満足度や投書においては、説明や同意、声の掛け方や対応だけでなく、療養環境の整備（環境整備）も課題となっている。療養する患者の立場に立って清潔で安全な療養環境を整備することを個々の看護師が意識して取り組んでいく必要がある。

③看護体制に基づいて勤務体制を整備する

評価：B

セル看護におけるブロックによるチーム割、均等な業務割やカンファレンスの体制などについては定着しつつあるが、時間軸での行動や記録による残業が多いことが課題である。また、ナースコール対応や PHS の対応不足も課題である。今年度は看護助手とのタスクシフトが困難な状況があったが、看護師の過員により休暇が取りやすく、業務負担の分散がされた。それらも影響し超過勤務時間の短縮にもつながっている状況がある。しかし、職員満足度の結果としてはポイントの低下もあった。

看護体制を活かし働きやすい環境を作っていくために、現在のセル看護体制での課題を整理し取り組む必要がある。また、人員が少なくなり勤務体制の変更も伴う中で、職員満足度の「患者ケアや看護に関する項目」が維持できる取り組みも必要と考える。

今年度は平均有給休暇取得数が 15 日程度であった。働きやすい環境の調整だけでなく、スタッフの満足度が「休みが取れる」「業務が少ない」等ではなく外科看護の充実感ややりがいにつながるように取り組む必要がある。

④手順・基準に基づいた安全管理を実践できる

評価：B

医療安全に関する意識を高め安全・安心な医療を提供することを目指し、安全対策や災害対策に取り組んだが、転倒に伴うアクシデント事例が1件発生した。高齢患者が多く入院する中で個別性を踏まえた対応力の向上が必要である。

災害への対応力で机上訓練の実施、他部署との合同訓練（6西・看護部）が行われ昨年度よりも繰り返した訓練ができた。今後も、実際に想定した訓練や、日々の自衛消防の役割を意識していく必要がある。

感染対策においては、手指消毒使用料20ml以上をキープすることができた。今後も使用をスタッフ個々が感染予防を意識していくことや係での推進を行って行く必要がある。

急変に対するスキルの向上と維持についても予定通り学習の開催がされた。今年度は救急外来の支援も受けシミュレーションを実施できた。参加できなかったスタッフもいるため、机上訓練や定期的な学習会の開催が必要である。今後も病棟での初動の対応と救急や医師との連携をスムーズに図れるように取り組んでいく。

⑤入院時から退院後の生活を見据えた看護を提供できる

評価：B

看護相談のスタッフからの支援も受けながら退院調整を進める現状があった。部署の学習での取り組みとしては、主任からの学習会を行い、スタッフの指導知識や技術の向上が図れるようにチェックリストの見直し等を実施した。また、周術期パンフレットを作成、運用してせん妄など合併症予防を目指して取り組めた。CNでの評価では9名が一段階上がる結果であった。部署全体のラダーが上がるように部署での学習も実践できるようにしていく。

ラダーでも、当院の役割を踏まえ地域と関わることも求められているが、多摩ネットへの学習会参加状況が悪いため、役職者だけでなくスタッフも学ぶ機会を活かし、地域での支援状況や交流を自主的に取り組めるように支援が必要である。

4. 今後の課題／目標等

- 1) DPCの期間での退院を意識し、同病名で1週間以内の再入院とならないよう入院中から退院を見据えて個別性を意識した指導を行う。また、個々のスタッフが、病院経営（コスト、加算、時間等）を意識した業務が実践できる。
- 2) 他科、高齢者などの入院により対応力が求められる。患者、家族の個別性に応じた対応ができるようなスタッフを育成する。セル看護体制の理解を深め、看護ケアの充実を図ることが課題。
- 3) 働きやすい環境づくりと看護スキルを活かした看護実践により、「やりがい」を感じられる病棟づくりを行う。
- 4) 安心安全な医療を提供できるよう基準手順の順守。対応力の向上を図る。部署の学習会の整理、ラダーレベルに応じた学習会を企画し、外科看護、地域との連携が図れる看護師の育成を行う。

部署名：6西病棟

看護師長：八田裕紀子

1. 業務概要

病床：48床

診療科：整形外科24床 総合診療内科6床 泌尿器科6床 耳鼻咽喉科4床 口腔外科4 眼科4床

スタッフ：看護師31名 看護助手3名 夜勤看護助手2名 クラーク1名

2. 今年度の実績

- 1) 稼働率：84.1%
- 2) 平均在院日数：10.1日
- 3) 平均超過勤務時間：8.8時間
- 4) 重症度・医療看護必要度：① 33.0%② 38.2%

5) 研修

- ・臨床指導者講習会（北里大学病院）：武笠知恵
- ・看護管理者教育課程 ファーストレベル：津端由香
- ・看護管理者教育課程 セカンドレベル：八田裕紀子
- ・BLS：芳賀愛理 横関菜央
- ・神奈川県看護協会 臨床指導者研修：栗田知可子
- ・NST 研修（慈恵医科大学）：遠藤千尋
- ・心電図勉強会（聖マリアンナ医科大学）：成田 優
- ・重症度・医療・看護必要度研修：佐々木美佐子

6) 看護研究・その他

活動報告

- ・A チーム・B チーム
- 「肢骨折患者に対するパンフレット作成に向けた取り組み」
—看護師の退院指導力向上に向けて—
○成田 優、齊藤弥鈴、星野優華、祖父江美幸、小澤佳帆、小野日菜子、成田央子、芳賀愛里、横関菜央
- ・「多疾患併存患者の ACP の重要性」
○小澤佳帆、津端由香、八田裕紀子、藤井真樹

7) 部署活動

- ・「上肢骨折手術後の患者様へ」パンフレット作成

3. 部署目標評価

①社会の変化に適応した病院経営に参画する

評価：B

入院診療計画書の7日以内にできないことがあった。オーバーナイト入院や診療科が変更になった場合、医師の入力が手術などの対応で遅くなり、入力記載ができず退院してしまうことがあった。今後は医師の速やかな入力の協力が得られるよう仕組みを検討していく必要がある。

加算に関してはデータを病棟会でスタッフに明示した。実際に明示することで病棟の現状を把握するとともに他の平均値と比較することができた。引く続き必要なデータの明示は必要であるとする。

②医療・介護・福祉との連携を強化し、切れ目のないケアを実践する

評価：B

倫理4分割カンファレンスについては、スタッフ個々が意識できており、必要な時期に必要な患者に対して実施することができた。接遇についてはスタッフの対応に対して問題となる場面を見た場合は、その場で注意指導を行うにとどまった。来年度に ロールプレイを含めた学習会の企画を行っていく。

勤務形態に対しては人員の減少によりプラチナナースのタイムスケジュールを変更し、対応することができた。今後も人員の状況に合わせ柔軟な勤務を検討することが必要である。

退院パンフレットについては上肢骨折後の患者に対し退院パンフレットを作成し、対象患者に配布している。クリニカルパスへの組み込みは来年度、パス委員とも相談し着手していく。

③働き方改革を推進し、看護師がやりがいを感じ、働き続けられる職場環境を整備する

評価：B

セル看護提供方式の定着に向けて、スタッフに定期的にアンケートを実施し、意見を集約して反映し改善を行った。今年度の職員満足度調査は前期と比較し34項目が上昇した。要因としてはスタッフからの意見をつのり業務改善を行い、リフレクションや、多職種カンファレンスが定期的に継続して行えるようになったことが考えられる。

毎月行っている「看護を語る会」では、看護師が患者との関わりについて語ることで、他のスタッフが患者・家族との関わりの一場面を共有することで、スタッフの看護観、考え方、関わり方の視野が広がったという意見がきかれた。次年度も継続していく。

④安全安楽なケアを提供するための体制を強化する

評価：B

看護補助者の退職が続き、看護補助者への看護ケアの協力依頼が難しかったが、必要時には依頼をすることで、協力を得ることができた。今後は看護助手が定着した段階で、計画的にタスクシフト・タスクシェアに取り組んでいく。

⑤ クリニカルリーダー・キャリアリーダーに基づき、学びを深め、自立した人材を育成する

評価：B

各診療科より1回ずつの学習会の開催、臨床推論の開催を予定していたが、準備や調整不足があり、薬剤師と呼吸器内科の2回の開催のみとなった。テーマは、スタッフの希望を取りながら、病棟の知識不足な点を考慮したうえで準備をしていく必要がある。診療看護師、認定看護師からの学習会については予定通りで実施ができている。経年別マニュアルについては情報収集の時点で難航し、着手できていないが、今年度やるべきことをすり合わせ次年度につなげていきたいと考える。セル看護方式のブロックリーダーやチームリーダー役割に整合し、かつ病棟特性に合わせた経年別マニュアルの作成が必要であると考えている。

4. 今後の課題／目標など

- 1) 整形外科の大腿骨頸部骨折、変形性膝関節症はDPCの期間を調整し、期間内での転院を行い協力病院と連携を図る
- 2) 看護助手の定着を図るため、定期的に話し合いを実施し、タスクシフト・シェアを進める
- 3) 看護師のやりがいが高められるよう、看護を語る会を継続し、看護観を共有し看護の質が向上できるように目指す
- 4) 幅広い疾患に対応できるよう知識の向上を目指し実践で活かせることを目指す
- 5) 患者の尊厳が守れるよう、日々のカンファレンスで感性を高める

部署名：5 東

看護師長：岩崎詩子

1. 業務概要

当該診療科：48 床 総合診療内科・代謝内科

スタッフ：看護師 37 名、看護助手 日勤 4 名 夜勤 2 名 クラーク 1 名

2. 今年度の実績

1) 平均稼働率：83.1%

平均在院日数：16.1 日

平均超過勤務：6.8 時間

有給休暇取得日数：約 15 日 / 人

看護必要度：① 10.3% ② 21.4%

2) スタッフ育成

研修：医療看護必要度研修受講 1 名

エキスパートⅡ研修受講 1 名

糖尿病指導療法士受験 1 名（合格発表未）

ケアマネージャー受験 2 名（1 名合格）

急性期ケア専門士受験 1 名（1 名合格）

3) 部署活動

糖尿病教室：年 12 回

活動報告会：活動報告会 3 題発表

「糖尿病の指導力向上を目指した取り組み」

「パーソンセンタードケア浸透への取り組み」

「摂食嚥下ケアの充実に向けた取り組み」

3. 部署目標評価

①病床機能に合った人材を育成する

評価 B

予定していた目標管理面談および学習会は実施できた。1～3年目（計14名）に関してはフォロー者が中心となり目標立案から評価までを行ったが、3割の者が目標としていたラダーに到達できなかった。年度はじめに各人の強みと課題を明確にし、具体的な行動計画を立案し1年間取り組むことで実践力の向上を図っていく必要がある。パーソンセンタードケアカンファレンスについては、週1回継続できており、満たされていないニーズから個別性のある看護を考える契機になっており、身体拘束の削減にもつながっている。糖尿病指導力向上については、患者パンフレットの見直しを実施した。また、糖尿病指導療法士の受験者も1名おり（既資格保持者2名）、糖尿病に関する指導力の向上につながっている。

②安心安全な医療を提供できる体制を整備する

評価：C

予定していた活動は全て実施できた。しかし、転倒転落に関わるインシデント・アクシデントの発生（3bが3件）、CD他部署内での感染症の発生、心電図モニターへの応需不十分、CODEBLUE時のアルゴリズムの知識不足など安全対策、感染対策、急変時対応に課題が残る結果となった。手順やルールの徹底をはかり患者安全の改善を最重要課題として次年度取り組む必要がある。

③看護実践にやりがいを感じ、働き続けられる職場環境を整備する

評価：B

年度初めから決まっていた退職者（3名）以外は退職者なく経過した。看護助手の増員もあり、看護助手へのタスクシフト（清潔ケアへの参加、ナースコール・電話対応、Ba-Tの尿破棄）は予定どおり実施できた。有給休暇取得日数や超過勤務時間も目標値を達成できたが、職員満足度は昨年度より大きく低下した結果となった。自身の看護を振り返る機会が少なく、看護実践にやりがいを感じる環境が整備できていなかった。また、セル看護の定着に向けて時間軸を見直し、機能評価の対応に際して、トップダウンで行うことが多く、スタッフに対する必要性の説明やスタッフからの意見収集が不足していたことが要因の一つと考える。実践した看護を振り返る機会を定期的に確保、看護のやりがいにつながるようにする必要がある。また、部署の役割や目標、各目標に対する具体的な内容やスケジュールなどをスタッフと共有する機会を増やし、双方向のコミュニケーションを意識していく必要がある。

④セル看護体制を定着させ、患者の利益を最大化する

評価：C

時間軸を見直し、ケアも院内基準の週3回へ増やしたことでセル看護体制の枠組みを概ね整えることができた。患者のそばにいる看護が実践できる体制が整ったことで患者の利益を最大化できるよう取り組みを継続する。患者満足度調査については前回より改善がみられた。しかし、患者から病棟スタッフの接遇や対応に対する投書が3件、その他師長に直接届いたクレームが7件あり、医療接遇の改善が必要である。特に、検査や治療内容に対する説明不足や医師も含めたスタッフ間での情報共有不足が原因のものが多いため、医師との連携および疾患・検査に対する知識の向上をはかっていく必要がある。また、身体拘束最小化に向け、3原則に則った評価の徹底、身体拘束具を用いない安全対策の習得を行う必要がある。

⑤病院経営に参画する

評価：B

COVID患者を含め、入院患者を受け入れられるベッドコントロールを実施した結果、病床稼働率は目標値を達成した。今年度より、総合診療内科医師に毎週のディスチャージカンファレンスに参加と、「退院支援に向けての案内」を配布する取り組みを開始した結果、平均在院日数がやや短縮した。今後も医師との情報共有、患者家族への説明を継続するとともに、ACPの推進をはかり、患者満足度の向上を図るとともに在院日数の短縮につなげていく必要がある。

4. 今後の課題／目標など

- 1) 患者に安心安全な看護が提供できる体制の構築
- 2) 患者の尊厳を尊重した看護実践

部署名：5 西病棟

看護師長：竹内廣美

1. 業務概要

診療科：脳外科 22 床、総合診療内科 20 床（主に呼吸器内科、脳神経内科）耳鼻科 2 床、眼科 2 床、共有 2 床
スタッフ：看護師 34 名 看護補助者 5 名 夜勤看護補助者 1 名 アルバイト 1 名 クラーク 1 名

2. 今年度の実績

1) 平均病床稼働率：86.7% 1 日平均患者数：41.6 人 看護必要度：① 18.8 ② 30.9 月平均超過勤務時間：6.1 時間

2) スタッフ研修

高齢者認知症研修 1 名 山口博弥

臨床指導者研修 1 名 田中聖菜

師長昇格者 2 年目研修 1 名 竹内廣美

3) 学会発表

第 51 回脳神経看護学会 ポスター「意識障害患者・家族への透析見合わせに時間を要した事例を振り返る」竹内廣美

第 6 回セル看護推進研究学会 シンポジウム 竹内廣美

3. 部署目標評価

①病院経営に参画する

評価：A

診療科にこだわらず積極的に入院を入れ、稼働率は 85% となった。診療報酬改定により、必要度の必要条件が厳しくなり、重症な患者を病棟で管理する機会が多くなった。今後も急性期の患者の病棟管理が増えることが予測され、対応できるスタッフの教育が必要である。

摂食嚥下加算の取得に取り組み、加算取得ができた。

②患者のニーズを予測した看護を実践する

評価：S

患者満足度調査の 1 回目の課題であった接遇に関して、ロールプレイを実施した。結果 2 回目の調査結果では接遇が 100pt の結果となった。

身体拘束の最小化に向けた取り組みとして、週 1 回の安全具適正使用カンファレンスを実施し、70 件の解除ができた。拘束最小化には取り組んでいると考えるものの、予防的な使用や治療優先の使用がまだ残る。拘束に関するアンケート結果からは、治療と尊厳のジレンマに悩む様子がうかがえた。本当に必要な拘束なのか、治療の状況下でどのように患者の尊厳を守るのかなど拘束に関する基本的な知識を学び考え、拘束を最小化できるような部署へ変化できるような活動が課題。

ACP 取得は 6 件へと増加し、病棟内に ACP の重要性が浸透しつつある。倫理アドバイザーの活動が見えない現状があるため、来年度の課題とする。

入院前から地域とつながりのある患者に対して、ケアマネや施設スタッフとのカンファレンスの実施を積極的に行った。特定看護師の協力を得ながら、件数を伸ばすことができた。カンファレンスの件数が増えることで、業務に影響が出てきている現状もある。来年度は診療科を広げてのカンファレンスの実施を行いたいと考えており、カンファレンスと業務をどのように時間内で行うのか業務の改善も含めて検討が必要。

③セル看護の質を高め、やりがいを感じる職場環境を整備する

業務改善をタイムリーに行うことができ、業務改善につながった。計画の時点で毎月の検討内容を決定していたことが効果的であった。

超過勤務は平均 5.5 時間となり、昨年度から減らすことができた。補完時間の変更と早出遅出の導入により、必要な時間に人員を配置することができたことと、超過勤務時間の申請による時間管理が効果的であった。

有給休暇は全員が病休を含めて 10 日以上を達成できた。勤務表作成時から年休が取得できるように計画的に取り組みを行いたい。

④安全・安心な医療を提供する

評価：B

転倒転落件数はアクシデントが1件発生したが、前年度に比べて減少した。身体拘束削減と合わせて、安全な入院環境の提供ができるような取り組みの継続が必要である。薬剤インシデントは昨年と件数の変化なし。インシデント発生時に要因対策を共有カンファレンスで共有し、業務の改善を行ったが、都度対応になった印象。根本的な要因分析が必要である。

災害対策は決められた業務の実施ができた。災害のリスクが高まった際に効果的に学習会が行え個人の知識が深まったと考える。

手指消毒は使用量平均が20.68mlであり、最低値15mlもあった。個人の使用本数の把握や毎朝の声掛けを実施したが伸び悩む結果となった。使用のタイミングの評価を実施しており、今後の使用量の変化と合わせて使用量増加に向けた何らかの対策が必要である。

療養環境調査の結果を確認し、対策が必要な部分に関して、全員で実施できる仕組みを作り対策を行った。継続できるようにする。

⑤患者を生活の場に戻すために必要な知識・技術を向上する

評価：B

個人が目標に取り組み、ラダー項目は最低1個/人の上昇につながった。目標の理解に関しては、1.2年目の理解が低い傾向が見えた。目標理解に関して個人の目標にまで落とし込めるような取り組みや定期的な取り組みの確認が課題である。

自己で学ぶために院内外の研修参加を目標とした。8割は受講ができたが、受講内容が決められないスタッフもいた。自分に必要なことを自分で学ぶという意識の低さがうかがえる。自分がやりたいことや学びたいことがわからないことで学びを活かすことができずやりがいの低さにもつながった可能性がある。自分たちで成長しあえる仕組みづくりが必要である。誇りに関しては昨年度よりも改善。各チームでのリフレクションが効果的であったと考える。自分の看護観を共有できる場を継続して設けることが重要である。

4. 今後の課題／目標など

- 1) 必要度のための適切な加算取得の知識習得と適切な加算取得のモニタリング
- 2) 病床稼働率維持のための業務改善と看護スタッフの対応力アップに向けた教育
- 3) 患者・家族へのACPの実施
- 4) 身体拘束最小化に向けた取り組み（尊厳の理解と倫理的ジレンマへの対応力の向上）
- 5) 薬剤関連のインシデントの要因分析と対策の検討によるインシデント件数の減少
- 6) セル看護充実によるやりがいを感じられる、働きやすい職場づくりの継続した取り組み
- 7) 目標を行動レベルにまで落とし目標管理の実施と自己研鑽による学ぶ組織への変革

部署名：4 東

看護師長：小林由紀子

1. 業務概要

循環器 24 床、腎臓内科 15 床、脳神経内 9 床の計 48 床の内科混合病棟

スタッフ：看護師 33 名 看護助手 5 名 夜勤看護助手 1 名 クラーク 1 名

2. 今年度の実績

平均稼働率：85.3% 平均在院日数：8.9 日 1 日平均患者数：40.9 人

看護必要度① 17.8%② 23.1% 平均超過勤務時間数：5.3 時間

スタッフの技術チェックリスト

昨年度より技術チェックの自立率は増えている

PD 患者減少により技術自立が困難となった

学会発表

第6回セル看護推進研究会 小林由紀子

「セル看護提供方式導入による成果と課題～患者と看護師が満足する看護を考える～」

活動報告会 2例発表

「ALSと告知を受けた患者の受け入れ段階」

「ACP推進に向けた取り組み」

3. 部署目標評価

①適切な看護実践により病院経営に貢献する

評価：A

平均稼働率 85.3%で前年度より上昇。適宜ベッド運用は変更して拒否なく入院を受け入れた。

1回/年新規パス作成は達成できた。適宜修正は実施できている。患者指導パンフレット見直しを実施した。

認知症加算の調査を行い、対策を講じたことで改善された。入院診療計画書・褥瘡評価も適宜調査と対策を講じ、漏れは少なくなっているが次年度も活動が必要である。

②多職種協働により個別性のある医療、看護を提供する

評価：A

患者満足度については適宜情報共有を行い、対策を実施した。

身体拘束率はセル看護により見守り可能な時間帯や代替の安全用具に変更することで減少した。今年度は4月と1月を比較しても拘束具の使用率は大幅に削減できた。安全用具の年間使用率も減少した。解除時間は37%（4月）から17%（1月）と減少している。

全スタッフを対象としたACP勉強会を2回開催し、ACP推進の取り組みが実施できた。診療報酬改定により全患者対象にACPを行う必要があり、今年度は14件ACP介入したが、実施数を上げていく必要がある。

③セル看護提供方式による業務カイゼンを推進し、働きやすい環境を整える

評価：A

係活動日を設け実施したため、活発な活動ができた。職員満足度調査では満足度へは繋がっていない。

昨年度に比べ超過勤務は減少し、平均5.3時間と目標値は達成できた。早出により夜勤の超過勤務数は減っているが、遅出による日勤の超過勤務数は変化がなかったため、次年度の取り組み方法を検討する。有休は10～20日取得できているが、満足度へは繋がっていない。

定期的に業務アンケートの実施と評価を行うことでスタッフの意見を考慮した業務改善を行うことができた。スタッフの意見や要望が適時聴取・反映できるよう、来年度以降もアンケート調査を実施し評価していく。

看護補助者のサポート体制を検討していく。

④安全安楽なケアを提供するための体制を強化する

評価：B

年間を通して手指消毒剤の使用量を確認し、病棟全体に周知できた。前年度より使用量は増加することができた。

新人勉強会含む各種勉強会を実施し、感染に対する知識の向上を図ることができた。

転倒転落件数は昨年度より大幅な減少を認めた。定期的にインシデントへの対策を提示することで共有することができた。転倒転落アセスメントスコアは記録不備があったため、次年度対策していく必要がある。

災害知識が定着していない部分もあるため、知識を得る機会を増やしていく必要がある。

⑤部署の専門性を中心に学びを深め、実践力の高い人材を育成する

評価：B

医師・看護師による学習会は計画通り行えた。1～3年目への目標管理・サポートを1年間実施し、2.3年目のアクションプランはB以上となった。2.3年目会のサポートも両者ともに評価は妥当とされた。次年度も継続していく。

4. 今後の課題／目標など

- 1) セル看護が定着し超過勤務削減や患者の傍で看護ができるようになったが、患者の個性をもった看護に繋がることができていない。また、業務中心となることもあり引き続き業務改善を進めていく。
- 2) 身体拘束削減に取り組み減少傾向ではある。患者の安全を配慮したうえで、拘束削減を更に勧めていく。カンファ

レンスの方法や内容精査を行い、拘束解除に向けた有効なカンファレンスの実施を目指す。

3) 看護補助者の定着を図り、タスクシェアができるように、業務整理・改善をしていく。

部署名：4 西病棟

看護師長：河原寛美

1. 業務概要

病床 48 床

診療科：消化器・肝臓内科 22 床・総合診療内科（血液内科 10 床含む）24 床・呼吸器内科 2 床

スタッフ：看護師 33 名（非常勤 1 名） 看護補助者：5 名 夜勤助手 2 名 クラーク 1 名

2. 今年度の実績

1) 平均稼働率：86.6%

平均在院日数：11.1 日

平均超過勤務時間：3.2 時間

有給休暇取得日数：平均 17.2 日

看護必要度：基準① 20% ② 32.5%

2) スタッフ育成

研修：認知症対応力向上研修受講 1 名

医療安全管理者研修受講 1 名

多摩倫理アドバイザー 3 名

3) 部署活動

活動報告

①「身体拘束削減と転倒転落を減らすための取り組みと思考の変化」

鈴木美和・高山 恵・高橋あい・荻野亜紀

②「ACP 導入とスタッフの意識変化」

鶴崎 藍・粕谷いずみ・鹿野彩子

3. 部署目標評価

①地域包括的システムを見据えた消化器内科・血液内科・総合診療内科を中心とした疾患の知識・技術を向上させる

評価：B

部署内の学習会は予定通り実施。各年代別の学習会も予定通り実施し 3 年目 7 名が化学療法患者の受け持ち開始。

2 年目は学習会を実施した。また、今年度は化学療法自立チェックリストを作成し自立基準を設けることができた。

今年度より、全身麻酔下上部 ESD の受け入れ実施を行い勉強会実施し安全に受け入れることができた。

②安全・安心な医療を提供する

評価：B

認知症患者が増加している中でセル看護の定着（見守りの看護）・毎日の安全カンファレンスの実施を行うことで身体拘束削減・転倒転落件数 43 件から 28 件へ減少できたが高い件数となっている。看護師の対応不足での転倒事例もあるため患者から離れる時の安全確認が重要であり強化する必要がある。また、レベル 3b の転倒によるアクシデント症例が 2 件と減少していないため引き続きアセスメントの強化を行う必要はある。

DAY 評価シートの改定もありさらなる身体拘束の削減に向けた取り組みを実施する必要がある、患者の側にいるだけではなく、患者に関心を寄せ、患者に寄り添った看護を提供できるように指導を継続していく。

インシデントに関しては、毎月評価実施し病棟内で掲示活動を実施。早急な周知が必要な場合は連絡網を使用し共有することができた。

③スタッフ一人ひとりが自身の役割を意識して職場環境を創造する

評価：A

今年度、病棟内の係活動を見直し細分化したことで、係メンバーが主体的に役割を実施することができた。また、職員満足度調査、総合満足度 29.7pt(+15.7) と「誇り」 45.9pt(+5) 「やりがい」 41.7pt(+0.8) 「患者ケア」 35.1pt(+19.8) と上昇した。セル看護を導入し、患者の側で寄り添う看護を実施していることで患者ケア時間の充足が感じられる結果となったと考える。

今年度は、過員だったため人員確保ができていたため、超過勤務時間削減できたが、次年度定数配置となるため引き続き業務改善実施し削減に取り組む必要あり。

④患者のニーズを先取りした看護を実践する

評価：A

業務スケジュールの見直しを、フローを作成したことで ACP 介入件数 41 件と必要な患者への介入が実施できている。倫理 4 分割を用いた事例検討症例も 14 症例の実施ができ患者・家族の意向実施し、毎日のチームカンファレンス定着に繋げることができた。また、ACP 介入に沿った看護ケアが考えられるように取り組んでいる。

来年度は、介入件数だけでなく看護の質を意識し繰り返し患者の気持ち・思いを聞き患者のニーズを先取りした看護の実践を行っていききたい。

患者満足度調査では、総合評価：前期 75 →後期 87 後期は看護師項目すべてにおいてポイントが上昇することができた。しかし、身だしなみ (82.6) ・言葉遣いや態度 (87) と多摩病院の平均値よりも低く改善が必要なため、来年度は患者対応場面の振り返りや意見交換を実施し病棟全体で意識し合える環境を作っていく必要がある。

⑤病院経営に参画する

評価：B

全身麻酔下上部 ESD のパス作成し運用実施することができた。入院診療計画書取得状況を月毎に集計し情報共有を行い昨年度未取得 127 件から 6 件に減少した。IC 記録についても監査を実施し漏れなく記入できた。

身体拘束削減については、2023 年度転倒ムシ 57 件から 2024 年度 8 件へと削減に取り組むことができた。しかし、体幹抑制・ミトン・車いすベルトに関しては大幅な減少ができていないため来年度も実施していく必要がある。

身体拘束削減に関しては、医師・多職種との協働と患者・家族への協力や説明が不可欠になると考える。また、Day 評価シートを入力を日々行いアセスメントしていく必要がある。記録・アセスメントについても引き続き継続課題としていく必要がある。

4. 今後の課題／目標など

1) 身体拘束最小化を目指し患者の尊厳を守る看護を実践する

終末期患者については、多職種カンファレンス (医師・看護師・リハビリ・薬剤師) を実施し拘束しないケア方法を検討する

2) 医療安全を強化し、安心安全な医療を提供する

3) 一人一人が主体的に実践し成果に繋げ、やりがいのある職場環境を整備する

4) 患者のニーズに応じた看護を提供できる看護師を育成する

部署名： 3 東小児病棟

看護師長：小田りつ子

1. 業務概要

病床 29 床、0 ～ 15 歳の 2 次救急までの入院を 24 時間対応している。また、重症心身障害児 (者) のレスパイト、児童相談所依頼の一時保護入院、食物経口負荷試験、職員の子どもの病児保育 (入院名：ホスピタルケア) の受入れを行っている。重症心身障害児 (者) のレスパイトは 1 患者 7 日以内 / 月で受け入れている。食物経口負荷試験は 4 日 / 月、12 枠 / 月実施している。聖マリアンナ医科大学病院との連携も図れており、重症化した場合は聖マリアンナ医科大学病院へ転院搬送、聖マリアンナ医科大学病院から要請があった場合は転院の受入れを行っている。

2. 今年度の実績

病床稼働率 54.6% (前年度より 7% 増)

平均在院日数 4.9 日（前年度より 0.5 日増）

予定入院 27.5%、緊急入院 72.5%

入院の内訳

診療科別：小児科延べ 878 名、耳鼻咽喉科 28 名、歯科口腔外科 13 名、整形外科 18、形成外科 18 名、泌尿器科 13 名、眼科 1 名、脳神経外科 3 名

重症心身障害児（者）：レスパイト 新規受入れ 4 名、延べ 73 名、在院日数延べ 484 日（前年度より 105 日増）

一時保護入院 延べ 4 名、在院日数延べ 86 日

治療入院 延べ 7 名、在院日数延べ 199 日

食物経口負荷試験：延べ 108 名（前年度より 34 名増）

ホスピタルケア：延べ 15 名、在院日数 28 日（前年度より 64 日減）

3. 病棟目標評価

①患者・家族のニーズに沿った看護を実践できる

評価：B

重症心身障害児（者）の褥瘡院内発生 3 件あったが初期段階でケアを開始し入院中に悪化を防ぐことができた。家族よりケアについて資料を提供されていたが十分に活かせず、統一した褥瘡予防ケアができていなかった。次年度、ケアの統一を図る取り組みを実施し、院内発生 0 件を目指す。患者満足度結果より看護師だけでなく看護補助者、医師と共に態度と言葉使いの改善に取り組み、低下にはならず目標達成できた。

②やりがいを感じる職場環境を整備する

評価：B

セル看護提供方式導入後も患者の状態や感染対策のための部屋移動が多くあり、動線の無駄は改善しなかった。職員満足度では「普通」という回答が多く、全体でポイントが低い結果となった。重要課題として職場の人間関係が挙げられた。次年度はお互いに認め合い、助け合える関係作りに取り組んでいく。有休取得は目標達成できた。今年度混合病棟になる予定で看護師数増加、超過勤務削減のための業務改善を行い、前年度より超過勤務を削減することができたため目標達成とした。

③患者に安全な医療を提供する

評価：B

今年度、サークルベッドからの転落 4 件、レベル 2 以下、いずれも家族がそばにいるときに柵を下げたまま患者から目を離した時に発生した。前期に 3 件発生したため、転倒転落に関して入院時説明のみでなく、面会時の家族の様子で追加説明し注意喚起を退院まで継続することに取り組んだが後期にも 1 件発生した。引き続き患者家族への注意喚起と面会中・付き添い中の様子の観察を継続していく必要がある。転落が発生したがレベル 2 以下であり、目標達成と評価した。

④自己の課題に取り組み、看護実践能力（知識・技術）が向上する

評価：B

前年度クリニカルラダー・キャリアラダーで出た課題を各自がアクションプランで取り組んだ結果レベルアップしたスタッフが多くなったが、今年度は同レベルに留まるスタッフがほとんどであった。しかし、個々の課題に取り組み、1 項目以上評価が上がったスタッフがクリニカルラダー 13 名、キャリアラダー 14 名であった。次年度も自己の課題に取り組んでいけるよう支援を継続する。急変対応に備え、部署内で PEARS、PALS の勉強会を実施した。今年度自部署での学習会参加率は目標値を達成することができた。

⑤様々な患者の受入れ体制を整備し、収益に貢献できる

評価：B

昨年度に引き続き重症心身障害児（者）の入院対応、食物経口負荷試験入院対応は多職種（医師、看護師、薬剤師、栄養士、SW、CE）で連携し対応することができた。今年度、重症心身障害児がレスパイト中に死亡する事例が 1 例あった。事例を振り返り、レスパイト利用者の見守り強化、吸引時のカテーテル挿入中や使用中のデバイスの種類等を表示し、統一したケア、緊急時にすぐ確認できるようにした。その結果統一したケアを実施することができるようになった。重症心身障害児（者）の一時保護入院、治療入院の受け入れにより、重症心身障害児（者）の受け入れは昨年度より大幅な増加となり目標達成できた。今後も重症心身障害児（者）を安全に受け入れられる体制を整え、

受け入れ継続、さらに拡大を目指す。食物負荷試験の受け入れは増加しており、対応できる看護師の育成に取り組み、今年度2名増加したため目標を達成することができた。今年度混合病棟の予定であったが稼働率が上がり、また設備工事ができなかったため、混合病棟にはならなかった。

4. 今後の課題／目標など

2025年度は少子化に伴って混合病棟に変更する可能性は継続しているため、小児科とその他の診療科受け入れの業務整備、患者ケアの充実、職場の人間関係の再構築を目標に以下の目標を立案した。

- 1) 地域のニーズに応じた看護を提供できる看護師を育成する
- 2) 患者が安全な医療、療養環境を提供する
- 3) お互いに尊重し合い、やりがいを感じる職場環境を整備する
- 4) 患者・家族のニーズに沿った看護を実践できる
- 5) 様々な患者の受け入れ体制を整備し、収益に貢献できる

部署名： 3 東緩和ケア病棟

看護師長：伊藤優子

1. 業務概要

- ・がん終末期患者・家族の全人的苦痛緩和
- ・緩和ケア病棟登録のための緩和ケア内科外来運営
- ・地域医療機関対象緩和ケア研修会の開催
- ・地域関係医療機関訪問と研修会の実施
- ・当緩和ケア病棟で死亡退院された遺族に対して、退院2か月後にお悔やみのお手紙送付

2. 今年度の実績

- ・緩和ケア内科医師が2名体制となり、癌種を問わず受け入れを開始した。2024年10月1日から、入院は全て緩和ケア内科で受け入れる体制に変更した。緩和ケア病棟登録のための緩和ケア内科外来は6枠から13枠に増加し、登録がスムーズに行えるようになった。
- ・基本的緩和ケアの知識習得のため、所属看護師全員がELNEC-J コアカリキュラム研修・PEACE研修を受講した。
- ・学会認定の終末期ケア認定士の初級を新たに2名が合格し計3名、上級に1名合格し計2名、急性期ケア専門士1名新規合格と専門性の向上を図ることができた。
- ・2024年度病床稼働率60.3%、平均在院日数13.1日、入院単価54,552円、入院患者数7.2名、転入患者数6.1名、退院数15.5名（うち死亡退院12.2名78.7%）
- ・2024年度外来件数337件（うち予約外12件）、月平均件数28件。所属看護師17名中16名94%が外来担当業務を自立することができた。未経験スタッフ1名は異動後1年未満であり、次年度前期に外来担当業務オリエンテーションを導入する予定である。
- ・地域関係医療機関対象講習会2024年9月25日開催
- ・たまふれあいクリニック合同事例検討会2024年11月5日
- ・2024年10月まで緩和ケア病棟入院基本料2を算定していたが、2024年11月1日から緩和ケア病棟入院基本料1を算定することができた。入院単価が増え、月60万円程度の増収につながった。
- ・全死亡退院患者145名のデスカースカンファレンスを実施し、看取りケアの振り返りとスタッフのメンタルケアを実施した。全死亡退院患者の遺族ケアとして、お悔やみのお手紙送付を全例に実施した。うち2名遺族が複雑性悲嘆の発症があり、1名は当院精神科への引継ぎ、1名はがん専門看護師と協働してがん看護外来を利用による支援を行った。地域の遺族会・サポートグループ2団体と連絡調整し、連携を図った。

3. 部署目標評価

①地域との連携強化により、ニーズに沿った運営と病床稼働の上昇を目指す。

評価：A

- ・地域関係医療機関・本院との連携が強化され、外来件数が昨年度の2倍以上、病床稼働はむらがあるが60%前後、入院単価は55,000円以上で推移することができた。
- ・予定になかった緩和ケア病棟入院基本料1への変更により、増収にもつながった

②外部顧客の視点：多職種協働と有資格者との連携により、患者・家族のニーズを捉えた質の高いケアを提供する

評価：B

- ・学習会の実施がACPに対する基礎的知識の向上と患者家族と積極的に取り組む基本姿勢を考えるきっかけとなりACP実施率向上に繋がった。
- ・お手紙や遺族の病棟訪問の情報共有が自分たちの実施した看護の振り返りと達成感、やりがいに繋がっている事が考えられる。

③業務を整理して超過勤務削減に繋げる・看護師の感情表出を促すカンファレンスを導入し離職防止に繋げる

評価：A

- ・記録のテンプレート化、セット化したこと、デスカンファレンスの見直しで記録にかかる時間を短縮することができた。
- ・看護補助者へのタスクシフトと遅出の勤務調整による協力体制の強化に繋がり結果として残業の減少に繋がったと考えられる。

④院内ルールの遵守を強化し安全な医療・看護を提供、患者獲得に繋げる

評価：B

- ・アメリカセンサーの取り扱いに関する知識不足、看護師の車椅子移乗時の知識不足、せん妄患者への薬剤調整不足により転倒転落事故が増えてしまったと考えられる。その都度情報共有・学習会を開催することで再発予防に努めた。
- ・電子カルテ使用不可時の紙カルテ対応や自然災害時の対応についての学習会も年度内に実施した。自発的にマニュアルを見たり、不安な点を質問するといったスタッフの姿もあり、知識の強化に繋がったと考える。

⑤緩和ケア病棟教育カリキュラムの低い項目を強化し知識・技術を向上させ看護師の定着に繋げる・診療報酬算定要件の地域対象講習会の確実な開催

評価：B

- ・外部研修については3月末で全員が受講終了している。
- ・各種勉強会も継続的に行っている。
- ・概ね予定通りであったが、伝達講習についてはできておらず、次年度以降の課題とする。
- ・次年度は、スタッフレベルでの学習会の企画と運営を積極的に行えるよう教育係で取りまとめていく。

4. 今後の課題／目標など

1) 緩和ケア病棟開設4年目となるため、専門的緩和ケア提供の充実を目指す。

現在、疼痛や呼吸困難感、不眠・不穏等の身体苦痛の緩和を早期に図ることができるようになっている。しかし、表面化しない苦痛のアセスメントが定期的に行われていないため、全人的苦痛の緩和が図れていない。次年度は、身の置き所のなさのチェックリストやSTAS-Jを用いて全人的苦痛のアセスメントを定期的に行い、早期苦痛緩和を図る。精神的苦痛・スピリチュアルな苦痛とケアについて学習を深め、ケア提供につなげる。

2) 家族・遺族ケアの充実を目指す。

2024年度は複雑性悲嘆を発症した遺族対応を経験した。複雑性悲嘆につながりやすい家族をアセスメントし、入院中に介入を行っていく。ハイリスク遺族には、当院の精神科受診や外部の遺族会・サポートグループの紹介を行う体制を整備し、実践していく。

3) 患者満足度の維持に向けた活動を継続する。

2024年度は満足度100ptを維持することができた。入院時のアンケートやACPを活用し、個々の希望に即した緩和ケア提供を実践していく。満足度の低い項目である面会時間については、医師と検討して制限を緩和していく。看護師の緩和ケア実践力評価表を用いた評価を継続し、習熟度の低い項目の学習を深めてケアの充実に

つなげていく。教育係を中心にスタッフ個々の学習成果を伝達講習していく場を設定し、スキルアップにつなげていく。

4) 職務満足度の維持に向けた活動を継続する。

緩和ケア病棟は、看取りが多く燃え尽き症候群を起こしやすい環境である。現在、デスケースカンファレンスや日々のカンファレンスを行い、スタッフの気持ちを吐露して予防につなげている。業務係を中心にスタッフが苦悩を抱え込まずに患者・家族対応を行える職場環境の整備を図っていく。現在、セル式看護方式は取り入れていないが、ペア制の導入を検討していく。

部署名：3 西病棟

看護師長：渋沢直子

1. 業務概要

病床運用 30 床（内小児科 4 床）

産婦人科と総合診療内科、眼科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科等の女性の患者を受け入れている。

助産師 20 名 看護師 7 名 クラーク 1 名 看護補助者 2 名

平日は産婦人科外来で助産師指導を実施。火曜日・金曜日午後は産褥外来、木曜日午前中は助産師外来、午後は産後ケア外来として母乳外来（乳腺ケア）を 9 月より再開した。

2. 今年度の実績

分娩件数 561 件・助産師外来件数 144 件・乳腺ケア外来件数 9 件

婦人科ダビンチ手術 10 月より開始し 5 件実施

アドバンス助産師 1 名取得

3. 部署目標評価

①収益につながる加算の取得と効率的な病床運用ができる

評価：B

前期と比較すると分娩件数が昨年度より減少している月があった。1 日に分娩が重なることもあるが、まったくない日があり病棟稼働にムラが生じてしまった。前期で修正した BABY プラスに関しては後期は修正もなく指導時に活用し、直通電話に関しても問題なく運用することができた。

計画していた助産師による母乳外来が後期から再開できたが、母乳外来の需要より産後ケアへの依頼が多かったため、外来枠を産後指導とし、幅広い患者のニーズにこたえられるようにした。

分娩予約者の約半数が LDR を希望しているため、LDR を利用できなかった場合は、分娩室での立ち合いを実施し、その後個室を利用してもらっている。多くの希望者の方が LDR を利用できる方法を検討していく必要がある。

②患者・家族の意向に沿った支援が実践できる

評価：B

一般患者の入院のほとんどが、パス患者であった。主に実施したカンファレンスは、外来からの継続看護の必要性があるとされていた患者に関する情報共有を行った。また産科患者の死産の事例に対して病棟で初めてデスカンファレンスを実施し、医師とともに振り返りを行うことができた。

患者からの苦情に関しては、スムーズに対応し、再入院の際は特に問題はなく入院生活を送ることができた。患者満足度調査結果でも苦情内容は特になかった。

助産師・看護師の IC 同席はできているが、医師が記録しているからと助産師が適切に記録していないこともあり、再度周知していく必要がある。

③業務改善を行い、セル看護提供体制を定着させる

評価：B

テンプレートの作成で統一された記録ができるようになっている。新生児の数にもよるが新生児担当者が超過勤務

になることは分娩がない限り減少している。

セル看護に関しては、アンケート結果ではまだ否定的な意見もあるが、改善をしながら定着することができている。患者数の変動はあるが、昨年度よりも超過勤務時間は減少することができた。またブロックで患者対応をするため、患者を待たせることなくケア等を実施でき、患者満足度評価も高い結果となった。

職員満足度調査結果では、注目していた項目全てが昨年度より上昇し、休暇は全員が10日以上取得できた。

④院内規定・基準・手順に沿った安全な看護・助産ケアを提供する

評価：B

各系の企画したことは実施できた。感染対策に関しては手指消毒剤の使用量が毎月減少してきており、次年度に向けて対策が必要である。安全係が実施しているピクトグラム調査は100%の達成ができていない。また療養環境調査結果でオーバーテーブルのロック実施率が低かった。褥婦の入院が多く、自身でオーバーテーブルのロックを片側だけにしてしまう傾向があり、注意喚起をしていく必要がある。

災害係は外来との連携を図ることができた。災害時の外来での分娩フローを作成し、共同で訓練を実施することができた。次年度も外来と連携できる企画を検討していく。

業務係は病棟特有の手順が多く、見直し・修正に時間を要したが、すべての手順を見直すことができた。次年度は一般病棟用の手順の見直しも実施し、助産師が受け持ちしても問題なくできるようにしていく。

⑤一般成人看護・産褥・新生児ケアに関する知識・技術を習得し、実践力の向上を図る

評価：B

計画以外の学習会をその時に必要と考えたものを多職種と開催し、知識・技術の向上に努めてきた。まだ不十分な点はあるが、繰り返し学習をすることで、事故なく安全な入院生活・分娩ができるようにしていく。

4. 今後の課題／目標など

近隣の産科クリニックの閉院により2023年度より分娩件数が増加した。しかし月によっては2023年度より分娩件数が少ない時もあり、当院で出産する魅力を発信していく必要がある。現在Instagramをフォロワー数の増加に向けて活動しているが、2025年度より患者満足度上昇を目指し新たな試みとして足形と写真のプレゼントを開始。リピーター獲得に尽力していく。また看護師の人数が少なくなった分、一般患者の受け持ちを助産師が行うことになり、不安なく看護が提供できる環境の整備が課題である。

2025年度目標

- 1) 収益につながる加算の取得と効率的な病床運用ができる
- 2) 安全な入院生活が提供できる
- 3) 女性のライフステージに沿った看護を提供できる環境を整備する
- 4) 院内規定・基準・手順に沿った安全な看護、助産ケアを提供する
- 5) 一般成人看護・産褥・新生児ケアに関する知識・技術を習得し、実践力の向上を図る

部署名：救急災害医療センター 救急外来

看護師長：上田好子

1. 業務概要

4本のホットライン（救急・脳神経・循環器・小児）を有し、救急患者を受け入れている。また、院内急変対応システム（コードブルー・RRS・CCOT）の運営を担い、異常の早期発見、重篤化の予防、急変時対応に関わるクリティカルケア領域の看護や、院内の急変時対応実践力向上に向けた教育活動、災害医療への備えを行い、救急災害医療センターとしての役割を果たしている。

2. 今年度の実績

救急患者受入れ総数：9,345人（843人増）

救急車受入れ台数：4,813台（233台増）

コードブルー：52件（検証100%実施 合同カンファレンス14件）

RRS：22 件（検証 100% 実施）

CCOT ラウンド：2 回 / 週（火曜・金曜）ラウンド総数 336 件

合同急変時対応訓練：5 部署実施（3 西、5 東、6 東、小児、画像）

看護部 5 年目 ICLS 研修：4 クール（1 クール 3 回研修実施） / 年実施
（インストラクター 2 名すべての研修に参加）

画像内視鏡看護師との協働（CAG/PCI トレーニング完了 2 名、救外夜勤応援看護師 5 名）

ICLS 受講終了者 2 名、インストラクター研修修了 1 名

有給休暇取得実績 19.0 日（年 1 人平均）

超過勤務時間 1 時間 12 分時間（月 1 人平均）

症例検討会：6 事例

活動報告会：3 症例「CCOT の取り組みと成果 ～ 2 年目を迎えて～」 「救急外来における意思決定支援」 「院内急変システムにおける救急外来看護師の取り組み」

学会報告：1 症例「看護師のワークライフバランス改善への取り組み」（第 62 回全国自治体病院学会）

雑誌投稿：1 例「曜日固定の休日「定体制」勤務シフトの導入 勤務表を待たなくても翌日の予定を立てられる！」
（ナースマネジャー 3 月号）

災害支援ナース研修修了 1 名

神奈川 DMAT 隊員研修修了 1 名

3. 部署目標評価

①多職種連携を強化し、救急医療提供体制を維持・強化する

評価：B

救急患者受入れ総数は昨年と比較し微増した。

多職種連携を強化し、特に救命士とのタスクシフト・シェアが進んだ。救命士が行う診療の補助業務は、看護師がトレーニングや実践のサポートを行い手技自立の促進に貢献した。新棚診療報酬の算定（救急患者連携搬送料）に関しては、関係各部門と協議を継続し、2025 年 5 月より算定開始の見通しがついた。

②患者にとって最善を考えた看護を提供する

評価：A

院内で発生したすべてのコードブルー・RRS に関わり急変時対応を行ってきた。検証実施率は 100% である。課題の整理を行ったうえで、必要に応じて当該部署との合同カンファレンス、急変時対応訓練が実施でき、組織横断的な活動が定着した。

全コードブルーのうち RRS 起動のチャンスがあった症例が 2023 年度 43% から 2024 年度 3% へ低下した。要因として、RRS の仕組みが院内に浸透したことにより起動しやすくなったこと、CCOT ラウンドが 2 回 / 週へ拡充され、よりクリティカルな視点での観察強化や早期対応につながり、院内全体で患者の重篤化予防に貢献できていると考える。

③看護師として成長しながらワークライフバランスを維持できる職場環境を整備する

評価：B

目標面接やキャリアデザイン面接を通し、多くのスタッフが明確な目標をもとに病棟運営や各々のキャリアデザインを持ちながら課題達成に向けた活動を継続できた。夜勤負担の軽減を目指し短時間夜勤導入に向けた準備を行ったが、法人の体制が整わず断念となった。しかし、画像内視鏡部門との連携を行い、夜勤の協働や救急看護師による緊急カテテル検査への対応が一部可能となり、入室までの時間短縮につながった症例も経験した。2023 年より継続して取り組んでいる定体制は定着し、有給休暇の予定取得やスタッフ各々の休暇のコントロールができやすくなり、休暇に対する職員満足度が向上した。繁忙時間帯に合わせた遅出勤務の調整や受け持ち制の導入により超過勤務時間の短縮が実現した。

④多職種と協働し、安全な医療を提供する

評価：B

COVID-19 の取り扱いが経時的に簡素化されたが、業務上での感染拡大等、感染予防対策の不備の発生を起こさず、安定して救急患者の受け入れを実施できた。

針指等の血液暴露インシデントが3件発生した。ルールの逸脱に伴うものではなく、重大事故には至っていないが、看護技術の向上や安全な手技の確立に今後も継続的に取り組んでいく必要がある。

多職種連携カンファレンスや定例ミーティングが定着した。情報共有に留まらず、院内病院機能評価の課題や現場での問題について多職種で検討し、よりよい救急外来の運営に努めていく。

⑤学び合う風土を醸成し、クリティカルケア実践能力の確実な向上を図る

評価：A

計画的な学習会の開催により、救急外来に必要な知識・技術の習得につながっている。各チームがテーマをもって活動を継続し、コードブルー・RRS・CCOTを通じた院内全体の急変時迅速対応システムの強化や災害に対する備えができており、活動を通して学び合う風土の醸成に役立っている。

4. 今後の課題／目標など

2025年度は、人員の大幅な削減と管理者が他部署との兼務となる。多職種協働を推進し、安全で効率的な部署運営が課題である。

- 1) 限られた人員で救急医療提供体制を維持する
- 2) 院内急変対応システムの充実と患者の尊厳を守る看護を提供する
- 3) 救急看護の専門性を発揮でき、やりがいのある職場環境を整備する
- 4) 画像内視鏡や多職種との連携を強化し、安全な医療・看護を提供する
- 5) 多職種協働によるOJTを推進し、看護実践能力の向上を図る

部署名：ICU

看護師長：中野亜美

1. 業務概要

ハイケアユニット（HCU 入院医療管理料1）病床10床。看護師31～29人、補助者1人、クラーク1人。救急外来や一般外来からの緊急入院や定時手術後の転入、急変時の転入等を受け入れて医療・看護を提供している。また、週2回救急外来看護師とCCOTラウンドに回り、院内に急変の予兆がある患者の有無を確認している。その他に、週2回多職種と患者の状態や今後の経過、ゴールについてカンファレンスを実施している。

2. 今年度の実績

1) 病床管理指標

入院延べ患者数 2,670人

稼働率 入院（転入含む） 73.3%（94.1%）

ハイケアユニット加算算定延べ患者数 2,553人

ハイケアユニット加算算定率 95.6%

加算点数 13,251,740点

看護必要度①②割合 1：35.5% 2：88.4%

重症患者初期支援充実加算 424,800点

2) 勤務状況

①平均夜勤時間 70.13時間

②超過勤務時間 3.8時間

③有給取得平均数 17日

3) 人材育成

①クリティカルケア認定看護師合格 山元慶洋

②重症度、医療・看護必要度研修終了者2名 位下幸子 菅谷真貴子

③RRSセミナー受講2名 溝田 洋 角田めぐみ

- ④主任昇格者研修受講 1 名 菅谷真貴子
- ⑤ICLS 受講 2 名 有田美喜 勝田美香
- ⑥川崎市看護協会「CCOT 導入後の成果」角田めぐみ 山元慶洋
- ⑦講師 角田めぐみ
 - 日本体育大学「フィジカルアセスメント」
 - 老人介護施設「窒息の対応と予防」
 - 院内「脳梗塞の看護」「呼吸器管理」
- ⑧部署内学習会 13 講義 延べ 180 人参加

3. 部署目標評価

①特定集中治療室管理料 5 を取得し、稼働が安定する

ハイケアユニット入院医療管理料 1 の取得し稼働が安定する

評価：B

年初ハイケアユニットから特定集中治療室管理料を目指したが、ハイケアからの変更ができないことが分かり目標は達成できなかった。そのため、目標を「ハイケアユニット入院医療管理料 1 の取得し稼働が安定する」へ変更した。管理料 1 は取得でき、毎月の稼働は昨年度より 3%上昇している。転入を含めた稼働率 94.1%だった。重症度、医療・看護必要度は① 35.5%② 88.4%クリアされている。しかし、病棟の必要度のために、ある程度重症な患者を転出させることも重要なため、数値の可視化や医師への説明を行った。ハイケアユニット加算算定は 96.1%であり、病状が不安定なため一般病棟へ転出できなかったケースが複数名いたために 100%にはならなかった。

②患者にとって最善を考えた看護を提供する

評価：B

安全面では、前期はアクシデント 0 だったが、後期は、気管チューブ自己抜去（3b）のアクシデントが 1 件あった。インシデントでは、ネームバンドや点滴交換等、手順無視で起きている事例があった。患者の安全を確保するために、ICU 独自のルールは撤廃し院内ルールを順守する職場にする必要がある。自己抜管というアクシデントがあったが、身体拘束率は前期 16.2%から後期 14.7%へ減少している。チーム活動を通し、病棟全体で身体拘束を削減しようとする傾向にあり、せん妄予防やケアを充実させるために、アセスメントシートを作成し活用しつつある。今後は、せん妄患者や身体拘束の減少を目指し、さらに活動を活発にしていき患者の最善を考える病棟にしたい。

③看護師として成長しながらワークライフバランスを維持できる職場環境を整備する

評価：B

休日でも病棟会への参加が推進されていたため、病棟会を廃止し、Google ドライブでの情報伝達と、日々のカンファレンス時間を活用した協議をおこなった。病棟会へ参集していた時と比較しても、情報共有不足からのトラブル等はなかったため有効だと感じている。また、昨年度まで定体制や休暇希望制限がない状態だったが、安全な勤務配置の視点から、今年度は廃止をした。実際、定休が必要なスタッフは継続して、休暇希望のルールを設けることで不公平感は軽減したという意見が聞かれた。有給取得平均 17 日、超過勤務平均 3.5 時間でワークライフバランスを維持できる職場環境の整備ができたと考える。チーム活動は活発で、チーム内の症例検討やせん妄看護や ACP、安全レポート、感染活動等充実していた。個々の能力を考慮しながらチャージや SV の人材を育成できた。既卒・中途・異動者プログラムは、3 月上旬に完成した。実際、4 月の異動スタッフから使用し評価したい。

④多職種と協働し、安全な医療を提供する

評価：B

感染や安全、防災では、年間予定通りに決められたことは実施できている。感染では手指消毒剤の使用の推進のために、個別指導を行い使用量が増加している。防災では日々の役割を意識してもらうために毎日のアナウンスを行った。

多職種カンファレンスの記載率 40.4%であり減少しているが、患者にとって有意義な話し合いは行えているため、カンファレンス時に記載できるような体制を見直す必要がある。

⑤学び合う風土を醸成し、クリティカルケア実践力の向上を図る

評価：B

クリティカルに必要な部署内学習会は、13 講義 延べ 180 人が参加した。その他には症例検討会を1か月に1回程度実施していた。学習会の参加者も講師側も良い学びの機会になっている。チームで事例検討会を行っているが、自分たちの看護をじっくりと振り返る場を設けることで、個性のある看護展開に気づくことができている。また、認定看護師、ICLS 取得者も増え、急変対応シミュレーションも不定期に実施していた。次年度は、与えられたものより、自分たちが学びたいことを中心に学習会を開催し、「自ら学び、学び合う風土」を醸成したい。

4. 今後の課題 / 目標など

- 1) 身体拘束最小化を機会に、拘束具を外すための環境を整える
- 2) 倫理カンファレンスや看護リフレクションを習慣化する
- 3) ベッドサイドにいることを増やし観察力やアセスメント力を高める
- 4) 個々の活動を通し、承認力を高める

部署名：腎センター

看護師長：菊地初実

1. 業務概要

当院は、腹膜透析 (PD) 導入病院であるとともに、各診療科に入院した透析患者の入院透析を行い、サテライト機能を有する施設である。ベッド数 24 床、うち 22 床はオンライン HDF(血液濾過透析) 2 床は HD(血液透析) 治療ができる。維持血液透析治療以外にも特殊浄化療法として血漿交換療法、顆粒球吸着療法、CART(腹水濾過濃縮再静注法)、LDL 吸着療法を行っている。

慢性腎臓病 (CKD) 看護外来では保存期 CKD 患者に保存期維持の指導を実施している。その中の一部は医師・栄養士・看護師と協働した指導を行い、透析予防に繋げている。また、療法選択外来では CKD ステージ 3 以上の患者に、患者にとって最善の治療選択ができるよう支援を行っている。透析患者の心血管系合併症による下肢末梢動脈閉塞の予防としてフットケアを実践し、フット外来では糖尿病の既往がある透析未導入 CKD 患者の足病変予防に努めている。

2. 今年度の実績 (2025 年 3 月まで)

外来維持血液透析患者数は 68 名、導入患者 40 名、緊急導入患者数 7 名。PD 患者数は 8 名、新規導入者は 3 名であった。外来 HD：8,091 回、外来 HDF：8,557 回、入院 HD 回数 1,109 回であった。献腎登録患者数は 5 名、腎臓移植者数 2 名、新規腎移植予定者 2 名となっている。

療法選択 (RRT) 件数 55 件実施し、昨年度より増加した。フットケアは外来の件数は下肢末梢動脈疾患 821 件、糖尿病足病変 540 件と昨年度より増加している。退院後訪問は 3 件実施できた。

2024 年度は CKD 看護外来で、慢性腎臓病透析予防加算、糖尿病透析予防加算を取得し、他職種と協働で患者指導を実施している。また、糖尿病教室のフットケア指導を継続した。今年度は腎臓病療法指導 1 名、腎代替療法指導士 1 名、資格取得した。

学会発表は日本腹膜透析医学会「エコーガイド下穿刺トレーニングの取り組み」をポスター発表、日本腎不全看護学会「透析管理関連特定行為の実践」、川崎市看護協会看護研究・活動報告「腎センター災害への取り組み」を口演発表した。

看護部活動報告会は「腎センター災害への取り組み - 地域と支え合う災害透析医療 -」「絆つなぐ ACP- 恒例の維持等血液透析患者・家族との思いの共有」「CKD 看護外来における意思決定支援」「CKD 看護外来での取り組みと診療報酬」の 4 題をポスター発表した。

地域と連携を図る目的で「第 12 回北部 PD セミナー」「第 11 回多摩区腎防災ネットワーク」を予定通りに開催した。「第 11 回多摩区腎防災ネットワーク」では初めて訪問看護ステーションの方の参加を募り、災害時の取り組みの情報共有を実施した。

3. 病棟目標評価

- ①看護のできる診療報酬を取得し、病院経営に参画する

評価：A

腎臓病看護認定看護師が中心となって透析予防チームを他職種と協働し、今年度は新たに慢性腎臓病透析予防加算と糖尿病透析予防加算の取得を開始した。フット外来も外来枠の整備で件数が伸びている。CKD 看護外来は看護師の指導を透析予防加算の取得として実施した。また CKD 看護外来から腎代替療法選択外来への繋げ加算の取得に至った。

② CKD 保存期から透析終末期まで患者の QOL を支える看護を提供する

評価：B

腎臓病教室の開催は予定通り開催でき、参加者からは興味があるとアンケートで答えられていた。CKD 看護外来や腎臓病教室など透析未導入期の患者の看護を実施し、療法選択などに繋げている。ACP の取り組みに関しては透析看護認定看護師や緩和病棟経験者から ACP の勉強会を実施し、チームで取り組むようにした。多職種カンファレンスや倫理カンファレンスもできる限り参加した。来年度も継続的に透析患者の ACP を意識しながら進めていけるようにしていくことが必要と考える。

③働きがいのある職場環境を整備する

評価：B

外来患者人数の増加に伴い業務改善を進めてきたが、調整が難しく実現できなかった内容もあった。そして、改善案を修正したが、すぐに超過勤務時間の短縮にはつながらず目標は達成できなかった。そのため、スタッフの疲弊感にもつながってしまい職員満足度調査の結果は昨年度より全体に下がっていた。経験年数や学習意欲も高い看護師も多いため、時間内の作業時間の確保のために業務改善を更に進め、超過勤務時間の削減と職場環境の整備を行っていくことが課題である。

④安全・安心な医療を提供する

評価：A

インシデントは転倒や確認ミスによるものが多かった。特に転倒は院外で転倒し、骨折や急性硬膜下血腫などで入院することがあった。外傷はないが、院内転倒もあり安全な環境づくりが必要と考える。BLS の訓練を定期的に実施し、急変時対応に取り組んだ。感染は COVID-19 やインフルエンザなどクラスターをおこすことはなく、手指消毒使用量も目標達成できている。災害は地域との連携を図るための会を実施し、災害時の透析受け入れ対応マニュアルを病院の災害・防火委員会の内容を検討し作成した。

⑤個人の課題に沿って、看護の質を高める人材を育成する

評価：B

部署内の技術取得はすすめられた。まだ穿刺技術が取得できていないスタッフもいるため来年度取得できるようにしていく。加算に関わる資格取得は腎代替療法指導士 1 名、腎臓病療養指導士が 1 名取得できた。自己研鑽と個人の透析看護・医療に知識向上ができるように支援を継続していく

4. 今年度の課題／目標など

- 1) 患者が透析療法を継続できる安全な環境づくり
- 2) 業務改善をすすめ、超過勤務時間の削減にする
- 3) 透析看護の知識・技術の取得を活かせ、看護の質向上に努める
- 4) お互いに声掛けや指摘しあえ、やりがいのある職場環境を作る

部署名：画像・内視鏡センター

看護師長：島澤淳子

1. 業務概要

画像・内視鏡センター看護師配置は常勤 16 名パート 3 名、看護補助者 2 名。画像エリアへの配置人数は、CT 1 ～ 2 名・MR 1 名・透視室 1 ～ 2 名・血管室 3 名と看護補助者 1 名である。内視鏡センターへの配置人数は看護師 5 名、看護補助者 1 名、臨床検査技師 3 名、事務員 2 名、そして、全体を統括する看護師 1 名を配置し業務を行っている。

画像部門の検査・治療は、CT・MR の造影検査・CT ガイド下生検、透視では、健診 GI・ERCP・EUS・イレウス管

挿入・造影、大腸ステント、ドレナージ造影、尿管ステント、ミエロ、小腸鏡等、複数診療科の検査・処置に対応している。血管室ではアンギオ、CAG、PCI、EVT、PV、PMI/PME、TACE、コイルリング、PICC、ドレナージ造影、PTA等、主に循環器・脳外・消化器内科・放射線科、腎内の検査・治療に対応している。

内視鏡センターでは、GF、CS、上下部止血術、ESD、EMR、気管支鏡、TEEの検査・治療の対応を行っている。また、今年度から手術室にて全麻下ESDを開始し、麻酔医による全身管理のもと、医師・看護師は手技に集中でき、難しい症例に対しても実施できるようになった。

2. 今年度の実績

画像診断部門の検査・治療件数（昨年度差）は、CT:21,793（+1,304）件、MR:7,738（+777）、透視室:1,095（-45）件、血管室検査・治療:2,388（+156）件。内視鏡センター部門の検査・治療件数は、上部:3,627（+673）件、下部:2,846（+780）件、ERCP:136（+20）件、気管支鏡:35（+12）件、TEE:30（+3）件であった。全麻下ESDは24件であった。画像部門は1割増し、内視鏡は3割増している。緊急検査の件数は、血管63件、透視19件、内視鏡14件であった。看護師のオンコール件数:99（-9）件、そのうち拘束の呼び出しは58件、夜勤時・診療のある土曜日の緊急検査件数41件、セカンドコール件数:0件であった。月平均の超過勤務時間は3.75時間、2割軽減ができた。

看護部の活動報告会では「内視鏡センターでの業務改善・全身麻酔下上部ESDの整備への取り組み」「全身麻酔下によるPV（肺静脈隔離術）業務改善の取り組み」をポスター発表した。

内視鏡センターではスコープ挿入時にエアロゾル発生リスクがあるため感染予防対策を十分に行い、感染させず経過できている。そして、鎮静剤等を使用することが多く転倒リスクが高い部署であるため、転倒予防対策を強化し実施することで転倒ゼロを達成できた。

3. 病棟目標評価

①各診療科と協力し、病院経営に参画する

評価：B

内視鏡件数3割増し、全麻下ESDを開始することで単価上昇（麻酔管理5 +6,000点）あり。

地域内視鏡の方のポリプ切除を開始し、単価上昇（6,460点）している。

ポリペク数1,081（+403）、ESD数51（+35）と、件数は上昇している。

検査着を廃止（1枚-60円）することで支出の減少となった。

画像検査件数1割増し、新規治療、肺静脈隔離クライオバルーン（+64,900点）IVL血管内石灰破碎術（24,720点）などによる単価の上昇あり。

その他、生食シリンジの入力漏れ防止、吸い上げルール化、ERCP定数見直し期限切れなし単価上昇、検査数増加し、経営拡大につながり経営に貢献できている。

②患者の立場で考えたケアを提供する

評価：B

総合満足度100→92.9ptとやや低下、見だしなみ80→78.6pt、言葉遣い90→92.9pt、信頼安心できる知識・技術100→89.3pt、分かりやすい説明80→78.6pt、質問・相談のしやすさ70→70.4pt、課題とするほどの大きな変動はなし。しかし、3項目で低下あり、診療予約時間への配慮90→57.1pt、検査室の雰囲気90→59.3pt、情報提供の適切さ90→39.3ptであった。

接遇チェックやアンケートを行い、接遇への意識を高めることを継続し、結果として看護70pt以上をキープできたと考える。接遇チェックの課題（忙しさを感じさせているなど）からプライバシーの配慮、説明、相談しやすい工夫を共有、評価のため看護師へのアンケート実施し、忙しさを見せないよう「プロ意識」で働くことの重要性について100%の看護師が意識でき行動できていた。

予約枠は上部内視鏡は2～3週間先、下部内視鏡は1カ月先が予約可能であり、患者によっては満足となりづらい状況があったことが考えられる。そして検査室の環境の変化はしておらず、検査室の雰囲気が低下していたので、今後は白壁にアートシールなどで飾るまたは心地よい音楽など検討した。また、情報提供に関しては検査直後に医師から説明はあるが、病理結果によるものや詳しい説明は外来で実施するので検査当日で満足な説明にはなりづらく、鎮静剤の影響で覚えていないことも考えられる。

③働き続けられる職場環境を整備する

評価：B

超過勤務平均 3.75 時間、2 割減少、有休消化は平均 19 日消化できた。拘束 / 夜勤 4 名増加したことで 4 ～ 5 回が 2 ～ 4 回 / 月程度になり、負担が軽減し職場環境が改善している。

リフレクション、ナラティブを毎月実施し、愛ある看護の実践を共有することで活用をひろげ、寄り添う看護への意識を高められたという意見が聞かれた。また、スタッフ間でのコミュニケーション不足に関しては、お互いを尊重しあうことを意識させ解決を図った。

救急外来との協働を開始し、技術を確認し調整しながら実施した。

④多職種と連携し、安全・安心な検査・治療の提供をする

評価：B

検査開始時はタイムアウトを実施、多職種と患者情報を共有し安全な検査治療を提供できている。インシデント件数 38 件（2 月まで）レベル 3a：5 件、造影剤もれ、ルート抜去などレベル 2：15 件、造影剤もれ、調剤間違い、鎮静剤過剰などに対しては分析し個人指導を行い防止した。検診 GI で転倒 1 件、多職種カンファレンスを行い検診患者対応を検討し改善策を実施している。確認不十分が 18 件だったため、手順を確認、修正し繰り返さないよう共有した。コードブルー 4 件、RRS 4 件と応援体制を確率し実施、早期対応ができています。医療安全推進レター（造影剤アレルギーの予測対応について）を配信した。

検査着替え一覧の更新、準備の動画手順を作成しナーシングスキルで配信した。

災害時訓練を実施した。内視鏡 11/21、画像 1/16

技師 3 名へ静脈留置針の技術サポートを行った。

急変時シミュレーションを各エリアで実施、振り返り課題を共有、記録を統一した。

（CT 6 回 MR 1 回 血管 2 回 内視鏡 1 回 ）

⑤スタッフの知識及び看護実践力の向上を図る

評価：B

各エリアで学習会計 27 回実施、法人間での学習会、IVR 虚血フォーラムに参加し知識を深めた。自治体学会 2 題「診療放射線技師による造影剤静脈注射穿刺へのサポート」「働きやすい職場環境の醸成に向けたチーム作り～チームアプローチ評価尺度から見たチームの現状と課題～」発表した。

検査部門での日々の倫理感性は高いほうだが、症例カンファレンスをする機会が少ない。

4. 今後の課題／目標など

- 1) 検査治療件数の増加は見込まれ、配置や調整を工夫、継続して業務改善を行っていく。
- 2) 治療効果が高い、（診療報酬が高い）最新治療を学び安全に提供できる知識技術を身に着ける。
- 3) 倫理カンファレンス、高齢者認知症ケア、ACP 学習会などを推進する。
- 4) 検査準備の不備が軽減するよう動画手順を作成したので、定着し患者が安心して検査を受けられる環境を整備する。
- 5) エコー下静脈穿刺について看護師が技術を習得、環境を構築し患者の苦痛軽減へつなげる。

部署名：手術部

看護師長：貝塚聖子

1. 業務概要

スタッフ：看護師 26 名 看護補助者 2 名 クラーク 2 名

OR6 室で運用しており対象科は消化器外科、整形外科、泌尿器科外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、形成外科、耳鼻咽喉科、歯科・口腔外科、乳腺外科、腎臓・高血圧内科、消化器内科、麻酔科、循環器内科、腫瘍内科の 15 科が手術室を使用している。

スタッフは、看護師 26 名 看護補助者 2 名 クラーク 1 名が配属され、地下中央滅菌室配属の洗浄・滅菌・清掃担当の委託業者と連携を取りながら手術業務を行っている。

手術部内で麻酔科外来を多職種（歯科衛生士・薬剤師・麻酔科医師・手術看護師）で運営しており、周術期看護を実践しており、2023 年度からは術後疼痛管理（APS）チームが開始され横断的な介入に向けた準備をしている。

2. 今年度の実績

1. 部署実績

年間手術件数（3,403 件）、年間麻酔件数（1,664 件）、麻酔科外来件数（2,094 件）

手術室稼働率（53.6%）、術前訪問実施率（80%）、術後訪問実施率（58%）

新規手術：全身麻酔科 ESD 婦人科ダヴィンチ手術

2. スタッフ育成

術後疼痛管理研修修了者 一山幸子

敬和学園大学臨時講師（医学概論） 貝塚聖子

3. 活動報告

消化器内科チーム「全身麻酔下 ESD 導入開始への取り組みと今後の課題」

安全・急変対応チーム「術中危機的出血時対応の取り組み」

3. 部署目標評価

①医療機器・器械・医材料管理体制を強化し、効率の良い手術部運営を行う

評価：B

各科医師との入室時間調整など連携を強化し、前年度より手術室稼働率は上昇した。

関連病院閉院に伴い手術器械の移管を行い、運用を開始した。引き続き機器の整理や材料の見直しを行い、無駄のない手術器材の供給を行いながら円滑な手術室運営を行う。

②他部門との連携を強化し、周術期看護を実践する

評価：B

新規手術導入に伴い、多職種での情報共有、シミュレーションを行った。全身麻酔下 ESD25 件、婦人科ダヴィンチ 5 例の実績を挙げた。

術後訪問件数については前年度より低下した。2024 年度 1 月より一時的に中央滅菌室応援に伴う業務変更により訪問できない状況があったことも要因の一つと考える。

麻酔科外来に関しては 4 職種（歯科衛生士、薬剤師、医師、看護師）で行っており、患者を待たせるなどの接遇面での問題があげられた。今後、多職種が連携して外来環境を整えていく必要がある。

③心理的に安全でやりがいのある職場環境を整える

評価：B

超過勤務時間については、1 月以降に中央滅菌室応援に伴い増加した。しかし、麻酔科外来件数増加に伴う超過勤務については、遅出体制を組み入れるなど勤務体制を変更して削減に努めた。また、洗浄滅菌方法や材料運用の変更などを取り入れた業務改善を実施した。職員満足度調査結果においては人間関係の低下を認めた。要因の一つとして、手術介助量の差が挙げられたため、次年度は手術室全体で偏りなく知識・技術が習得実践できる環境を整えていく。

④多職種と協働し、安全な医療を提供する

評価：B

2024 年度に大量出血事例が発生し、手術部危機的出血時対応フローチャートを見直し多職種シミュレーションを実施した。院内全体での危機的対応力向上を強化する必要性があり、シミュレーションで出されていた課題について対策を立案し、取り組みを継続していく。手術室バリエーション会議では提出された問題の分析や対策が不足していることがあるため、手術室だけではなく、手術部運営委員会などを用いた情報共有の在り方についても検討が必要だと考える。

⑤専門性の高い知識・技術を習得し、質の高い看護を実践する

評価：B

新人の技術習得に関しては主任、病棟と連携をとりながら知識・技術の習得に努めた。

基本的技術の習得に加えて、手術室内危機的対応に関する学習を実施したが、実践力向上までには至っていない。

経験年数別学習においても麻酔管理を含めた周術期看護の実践力を向上させていく必要がある。滅菌関連の知識・技術の習得においてはダヴィンチ手術の洗浄方法など正しい洗浄方法についても学習する機会を得たが、マニュアル作成までには至っていないため、手術室看護業務としての安全な器械の取り扱いについての学習が必要であると考えている。

4. 今後の課題／目標など

- 1) 病院経営を考えた円滑な手術部運営を行う
- 2) 周術期における患者、家族を中心とした患者の尊厳を守る看護を実践する
- 3) 手術看護の専門性を発揮し、やりがいのある職場環境を整備する
- 4) 多職種を協働し、安全・安心な医療を提供する
- 5) 専門性の高い知識・技術を習得し、地域のニーズに応じた看護を提供できる人材を育成する

部署名：医療相談センター看護相談

看護師長：藤井真樹

1. 今年度の特徴と概要

今年度は、PFMを促進すること、地域との連携の強化、ACPの促進を目標として取り組みをおこなった。検査・外入一体化パスの件数は、2023年度より約1.5倍件数が増え、入退院支援加算・入院時支援加算も1.5倍増収となった。COVID-19前の件数も超えることができた。地域との連携は、介護支援連携が2023年度から2倍に増え、ACPの連携は38件と同様に2倍に増えた。患者が、安心・安全に入退院ができること、また、その支援により診療報酬の増収を得ることができた。さらに、TAMAネットの活動を拡大し、訪問看護・ケアマネージャーだけでなく、川崎市多摩区の障害福祉課や地域ケア推進室などのメンバー会を構築し、災害やACPに関する学習会を行い、連携を強化することができた。

2. 今年度の実績

1. 入院前から地域支援者と患者の情報を共有し、安全な入院生活を支援する

予定入院の患者で地域の支援者がいる場合には、事前に情報を共有し、入院時に配慮すること等を病棟看護と連携を強化し、安全な入院支援を行っている。また、外入一体化パスにより、治療と看護の標準化を図り、患者の安全な入退院を支援することができている。高齢で身寄りがない患者の受診が増えており、分かりやすい説明と個性にそった接遇で対応を心がけ、医療相談センターの総合的な窓口として機能することを継続していく。

検査説明 8,247件

外入一体化パス 1,618件

予定入院支援 636件 (1,517,600円)

入退院支援加算Ⅰ 3,959件 (27,713,000円)

介護連携指導 167件 (668,000円)

退院時共同指導 400点 113件 (452,000円)

2,000点 47件 (940,000円)

合計 31,290,600円

その他 訪問看護指示書 34,249,600円

2. 患者のACPを促進し地域の支援者に繋ぎ、患者の意向が大切にされる医療とケアを提供する

PFMとACP、退院支援とACPを組み合わせ、入院時は24名、退院時は38名の患者とACP面談を行い、地域の支援者に連携することができた。今年度の診療報酬の改定に伴い、ACPの促進が重要となるため、より多くの患者とACPを行いサイクルを回せるように対応をしていく。

3. 部署目標評価

①在宅療養支援、退院支援を実践できる体制を再構築する

評価：A

入院時支援・入退院支援算定件数、介護連携等指導料、退院時共同指導料ともに増加、入退院支援システムが機能しており、診療報酬が取得できていると評価する。予定入院支援対象者として入外一体化パス患者も介入する体制を作り、昨年はパス患者での算定は9件であったが、213件に増加しており、増収に繋がった。次年度も退院支援が必要な患者に確実に診療報酬が選定できるように入退院支援体制強化、在宅療養支援を促進していく。退院前後訪問に関して、看護相談から病棟管理者に対象者を共有したが、勤務調整ができず実現できない事例が複数あった。今後は、退院前後訪問の運用を検討する必要がある。

②地域医療・福祉関係機関と連携を強化し、ACPを実践する

評価：B

入院前から患者・家族・地域の支援者と関係性を構築し情報収集、ACPの動機づけを行い、安心・安全、かつ価値観を大切にする当院の医療の提供の最初のサイクルを回すことができた。また、入院中から退院に向けて、患者・家族の希望や目標を実現するためのカンファレンスも充実し、地域包括ケアシステムの中の急性期病院としての役割を果たすことができた。

③やりがいの感じられる職場環境をつくる

評価：B

入院支援看護師と退院調整看護師がチームで動くことで相互に補完しながら、病棟との情報共有促進、退院調整業務負担軽減ができている。次年度はメンバーの異動も考慮し効果的に入退院支援ができるように再構築する。

④自部署の防災対策の整備と強化を図る

評価：B

災害時に誰が何を行うか、に関しては、行動レベルで各スタッフが言語化できるようになった。次年度も、災害訓練や定期的な学習会を通して、有事に備えるようにしていく。

⑤地域包括支援システムで必要な入退院支援の実践力が向上する

評価：B

地域連携リンクナースについては主任会やTAMAネット学習会、DMRを通じて、退院調整の知識・実践力を理解し、地域関連職連携しており、病棟主体のカンファレンスも増加している。

退院調整Nsは週1回の退院支援カンファレンス実施、学会発表、院内外の学習会や研修へ各スタッフが予定通りの参加ができている。入院支援看護師が退院支援についての育成、病棟での学習会に協力することができている。実践力は向上していると評価する。(今後アンケートで評価予定)

チーム・人員が変わるため、退院調整チーム・教育体制を評価・検討していく。

4. 今後の課題／目標など

地域包括ケアシステム中で、川崎市北部地域の急性期病院は当院だけである。よって、当院の入院をきっかけにして、患者・家族の意向が実現できるようにACPサイクルを回しながら入退院支援を行うことを目標とする。2025年度は身寄りがない高齢者が増えるため、包括的なサポートを行いながら、その人のACPが実現できるように支援を行っていく。また、退院支援・退院調整に関しては、DPC期間Ⅱを超えない範囲での調整を目指していく。さらに、スタッフのやりがい、看護相談でやりたい看護が実践できるよう環境を整えていく。

部署名：外来

看護師長：中村 忍

1. 業務概要

標榜診療科 32 診療科。看護師 36 名、診療アシスタント 15 名。

安心・安全な外来診療の提供のため医師の診察介助、在宅治療・ケア、注射の指導、患者や家族の意思決定のサポート、今後の治療や検査の説明を行っている。

外来通院患者の約 70%は 70 歳以上であり、診療内での説明では十分な理解が得られず看護師による補足説明の機会が増えている。また、認知症の患者や日本語が不自由な外国人患者も多く治療や治療の追加説明だけでなく、服薬や生活指導にも多く尽力している。さらに地域で生活を継続しながら通院ができるよう、地域施設や訪問看護などと連携を図り在宅での療養環境を整える介入を行っている。

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に着目し、「生活のしやすさ」「ACP シート」の活用を進め、できるだけ個々の人生プランに寄り添った介入の実現のため、多職種との情報共有や院内他部署、地域にもつながる関わりを意識的にやっている。

2. 今年度の実績（カッコ内は 2023 年度実績）

外来延べ患者数 212,605 名（198,131 名） +14,474 名
1 日平均 790 名 / 日（739 名 / 日） +51 名 / 日
新患患者数 32,744 名（30,603 名） +2,141 名
新患比率 14.6%（14.7%）
稼働額 3,385,454 千円（3,146,511 千円） +238,943 千円
産婦人科 分娩件数 561 件（545 件） +16 名
外来化学療法延べ数 1487 名（1368 名） +119 名

3. 部署目標評価

①患者サービス向上に取り組み、患者に選んでもらえる外来運営を行う

評価：B

外来延べ患者数は昨年度より 14,474 名増加し 212,605 名となった。東横病院閉院に伴い、転医してきた患者も多いが、初診時間を 11 時から 11 時 30 分に延長する等当院での取り組みも影響している事が考えられる。しかし、約 14,500 名 / 年の患者増加にも関わらず、待ち時間調査では待ち時間は 4 分の延長に留まることができた。さらに、大学病院での PET/CT の予約取得に着目し新たな予約取得方法を導入したことで、検査の予約取得に関して大幅な待ち時間の改善（導入前は約 1 時間かかっていた予約取得が、直接電話での予約取得が可能となり 5 分で対応可）が図ることができた。

患者満足度は、前期の総合満足度が 85.6pt（前年度 80.7pt）であり大幅に上がった。その他の項目も軒並み上昇した。しかし、後期は再び総合満足度が 80.6pt と 80 台となり前年度と変化ない結果となった。安定して満足度が高評価となり、患者に選んでもらえる外来となるよう外来運営を継続していく必要がある。

②患者の意思を尊重した外来看護を提供し、在宅療養支援の充実を図る

評価：B

ACP 介入に注力し 2 件 / 人とし啓発活動を行った結果、85%以上のスタッフが ACP 介入を経験でき苦手意識の低下につながった。また、煩雑な業務中に介入するためには多くの外来患者の中から ACP 介入が必要な患者を事前に把握し、時間と場所の調整をすることが課題であることが明確になった。

患者からのクレームは前年より増加した。病院システムや多職種との協働に関するものがあつたが、看護スタッフの接遇に関するものも複数あり部署での情報共有と継続した指導が必要である。

IC 同席、記録を徹底したことにより前年度より 615 件の IC 記録の件数が増加した。外来患者数、対応患者の増加の中、時間をうまく活用し対応できた結果となった。

地域連携件数は外来業務日誌の件数で把握している。しかし、導入後間もない外来業務日誌の入力が確実にできていない事もあり、実数の把握が困難なこともあった。次年度以降も継続的に地域連携に取り組み、見える関係を構築し続ける必要がある。

③やりがいを感じる職場環境を整備し、スタッフの働きやすさを推進し定着が図れる

評価：B

目標とする超過勤務時間の削減（3.0 時間 / 月 ➡ 2.7 時間 / 月）と有給休暇取得（14 日 / 人 / 年）が達成できた。診療時間の延長が超過勤務の要因であったため、遅出勤務を導入するなど勤務体制を適宜検討し調整を行った。それにより、超過勤務時間は削減でき、スタッフのライフワークバランスの良い環境を提供することができた。

職場満足度調査は例年と大きな変化はなかったが、改善目標に挙げた「自分の意見を生かした患者ケア」に関して

は 11.2pt 上昇し、患者ケアの充実が図れ満足度に繋がった。

④手順を遵守し安心・安全な外来看護が提供できる

評価：B

目標に掲げた患者誤認のインシデントが 17 件 / 年を下回ることができた。前期はオーバーペースであったが、インシデント発生時のフローを修正し、早期にインシデントを共有することで同内容のインシデントを繰り返さなくなった。カンファレンス後からインシデントが減少し、インシデントの発生フローも活用できている。

トリアージや診療科マニュアルは予定通りすべて修正・見直しができた。診療科の増設に伴う新しいマニュアルの作成は適宜作成している。

災害に対する取り組みは主任が中心となり年間通して行った。連絡網訓練ではアプリを活用しているが、スタッフ全員の既読まで時間を要した。実際の災害時に活用できるように繰り返し訓練をする必要がある。エアストレッチャーは動画を視聴し実際にスタッフを乗せて搬送の訓練を実施した。自信をもって使用できるよう訓練の継続が大切であると振り返った。部署の災害訓練では、広い外来エリアでは災害発生を「いち早く知らせること」が重要であり、多くのスタッフが早急に災害対応を開始できるかが課題となった。診療アシスタントや受付事務などコメディカルとの連携も重要であると再認識した。

感染については、各自が手指衛生の 5 つのタイミングを確認し、的確に手指消毒剤を使用したことで 450ml / 月の使用量を下回ることにはなかった。また、クラスターの発生もなかった。

5S に関しては、トイレや水回りの環境に着目し、ポスターを貼付と注意喚起を行った。それにより、環境整備の意識が高まり煩雑な状況は改善された。

⑤外来看護に必要な知識・技術を習得する

評価：B

急変時想定の上訓練を実施し、スタッフが急変時の対応をイメージできた。部署でコードブルー 3 件、RRS2 件の症例があり全ての事例（5 件の事例）について係メンバー内で、妥当性の振り返りを行い理解を深めることができた。全外来スタッフがカンファレンスで事例共有できたのは 3 件であった。

新たなトリアージ基準を確認しながら、事例評価を行うことで共通認識を図り、統一したトリアージに繋がることが予測される。今年度は導入のみにとどまった。今後、PDCA サイクルを回しトリアージの統一化に取り組む。外来で必要な地域包括ケアシステムについて、資料や症例カンファレンスを通じて知識を深めることができた。さらに地域とのつながりを意識した関わりを持てるよう啓発していく必要がある。

4. 今後の課題／目標など

- 1) 外来で実施した患者・家族の意思決定支援を、患者が安心してその人らしい生活を地域で送れるよう病棟や地域と情報共有・連携を行う。
- 2) やりがいを感じる職場環境を整備し、スタッフの働きやすさを推進し定着が図れる。
- 3) 手順やマニュアルを遵守し安心・安全な医療、看護が提供できる外来の環境を整備する。

◇令和6年度看護師数の推移

			R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月
配置数	看護師	正職員	437	433	431	427	424	424	422	423	423	413	408	407
		臨時	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16
	助産師	正職員	23	23	23	23	23	24	24	24	24	24	24	24
		臨時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保健師	正職員	22	22	22	22	21	20	20	20	20	20	20	20
		臨時	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	准看護師	正職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		臨時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	正職員	483	479	477	473	469	469	467	468	468	458	453	452
		臨時	18	22	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17
実働数 (産休・育休・ 病欠・安全 対策室除く)	看護師	正職員	410	415	413	411	406	405	399	400	402	391	388	386
		臨時	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	15
	助産師	正職員	22	22	22	22	21	21	22	22	22	22	22	22
		臨時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保健師	正職員	18	18	19	19	18	17	17	17	17	17	17	17
		臨時	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	准看護師	正職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		臨時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	正職員	451	456	455	453	446	444	439	440	442	431	428	426
		臨時	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	16

◇部署別看護要員数 ※4月1日現在

		外来(医療相談, 画像,内視鏡含)	病棟	救急災害・ 腎センター	手術部	看護部	産育休・病欠	安全対策室	計
看護師	正職員	62	241	50	29	10	26	1	419
	臨時・委託	9	7	1	0	0	0	0	17
助産師	正職員	1	21	0	0	0	1	0	23
	臨時・委託	0	0	0	0	0	0	0	0
保健師	正職員	1	15	1	0	0	3	1	21
	臨時・委託	0	1	0	0	0	0	0	1
准看護師	正職員	1	0	0	0	0	0	0	1
	臨時・委託	0	0	0	0	0	0	0	0
クラーク	正職員	0	0	0	0	2	0	0	2
	臨時・委託	0	8	1	0	0	0	0	9
看護助手	正職員	0	4	0	1	0	0	0	5
	臨時・委託	2	43	1	1	0	0	0	47
計	正職員	65	281	51	30	12	30	2	471
	臨時・委託	11	59	3	1	0	0	0	74

◇看護要員数

		2024.4.1 現在 の数 [A]	年度内採用 「異動」 [B]	年度内退職者 「異動」 [C]	2025.3.31 現 在の数 [D]	退職率 [E]
看護師	正職員	437	1	56	382	12.8%
	臨時・委託	17	0	2	15	11.8%
助産師	正職員	23	1	0	24	0.0%
	臨時・委託	0	0	0	0	0.0%
保健師	正職員	22	0	3	19	13.6%
	臨時・委託	1	0	0	1	0.0%
准看護師	正職員	1	0	0	1	0.0%
	臨時・委託	0	0	0	0	0.0%
クラーク	正職員	2	0	0	0	0.0%
	臨時・委託	9	3	3	9	25.0%
看護助手	正職員	5	0	0	5	0.0%
	臨時・委託	47	23	25	45	35.7%
計	正職員	490	2	59	431	12.0%
	臨時・委託	74	26	30	70	30.0%

退職率 (%)

$$[E] = ([C] \div ([A] + [B])) \times 100$$

[B]: 2024年4月2日から2025年3月31日までに採用されたもの

[C]: 2024年4月1日から2025年3月31日までに退職したもの

[D]: 2025年3月31日付退職者・異動者を除いた数

◇令和6年度 目標設定における各部署の取り組みと結果（総合評価）

地域包括ケアシステムの中で急性期病院の役割を発揮する

1. 患者のニーズを先取りした看護を実践する
2. やりがいを感じる職場環境を整備する
3. 安全・安心な医療を提供する
4. 地域包括ケアシステムで役割を発揮できる知識・知術を習得する
5. 病院経営に参画する

BSC	戦略目標	戦略マップ	重要成功要因	業績評価指標	目標数値	
財務の視点	病院経営に参画する	医療収益の増加	効果的・効率的な病床運用	①病床稼働率 ②有料個室稼働率 ③重症者・感染症個室算定状況	①稼働率 85%以上 一般病床 小児科病棟 50% 緩和ケア病棟 75% ②有料個室稼働率：2023 年度以上 ③重症者・感染症個室算定状況：2023 年度以上	
			診療報酬の確実な取得	・退院支援加算 ・せん妄加算 ・認知症ケア加算 ・有料個室利用件数	・退院支援加算：2023 年度以上 ・せん妄加算：2023 年度以上 ・認知症ケア加算：2023 年度以上 ・有料個室利用件数：2023 年度以上	
外部顧客の視点	患者のニーズを先取りした看護を実践する	患者満足度向上	ケアの受け手の最大化	①患者満足度調査	① 2023 年度の課題の改善 ② 2023 年度入院 81.9pt 以上 2023 年度外来 84.2pt 以上	
				②患者クレーム件数	患者からのクレームが減少 2023 年度苦情・意見・要望 42 件以下 2023 年感謝 18 件以上	
				③不必要な身体拘束の削減	・身体拘束実施率 ・身体拘束状況（日中の解除状況） ・看護計画監査 終末期患者への実施 0 件	
				④ ACP の推進	・各部署での ACP 推進	
				⑤コンチネンスケア	・コンチネンスケアの考え方の学習会 ・患者の尊厳に配慮した排泄介助	

具体的行動計画	部署戦略目標	中間評価	最終評価
<p>【ベッド稼働率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署の目標稼働率と達成するための具体的対策 一般病床 小児科病棟 緩和ケア病棟 トータル 85% 以上となる 効果的・効率的なベッド運用の検討と評価 有料個室稼働率の分析：減免になる理由の詳細の分析 重症者・感染症個室算定の毎月の実績と分析 	<p>3 西：収益につながる加算の取得と効率的な病床運用ができる</p> <p>緩和：地域との連携強化により、ニーズに沿った運営と病床稼働の上昇を目指す</p> <p>小児：様々な患者の受入れ体制を整備し、収益に貢献できる</p> <p>4 西：病院経営に参画する</p> <p>4 東：適切な看護実践により病院経営に貢献する</p> <p>5 西：病院経営に参画する</p> <p>5 東：病院経営に参画する</p> <p>6 西：社会の変化に適応した病院経営に参画する</p> <p>6 東：病院経営を意識した病棟運営を行う</p> <p>ICU：特定集中治療室管理料 5 を取得し、稼働が安定する</p> <p>画像：内視鏡：各診療科と協力し、病院経営に参画する</p> <p>外来：患者サービス向上に取り組み、患者に選んでもらえる外来運営を行う</p> <p>看護：在宅療養支援、退院支援を実践できる体制を再構築する</p> <p>救外：多職種連携を強化し、救急医療提供体制を維持・強化する</p> <p>手術：医療機器・器械・医材料管理体制を強化し、効率の良い手術部運営を行う</p> <p>腎セ：看護のできる診療報酬を取得し、病院経営に参画する</p>	<p>3 西：B</p> <p>緩和：B</p> <p>小児：B</p> <p>4 西：B</p> <p>4 東：B</p> <p>5 西：C</p> <p>5 東：B</p> <p>6 西：B</p> <p>6 東：B</p> <p>ICU：B</p> <p>画像：B</p> <p>外来：C</p> <p>看護：B</p> <p>救外：B</p> <p>手術：B</p> <p>腎セ：A</p>	<p>3 西：B</p> <p>緩和：A</p> <p>小児：B</p> <p>4 西：B</p> <p>4 東：A</p> <p>5 西：A</p> <p>5 東：B</p> <p>6 西：B</p> <p>6 東：B</p> <p>ICU：B</p> <p>画像：B</p> <p>外来：B</p> <p>看護：A</p> <p>救外：B</p> <p>手術：B</p> <p>腎セ：S</p>
<ul style="list-style-type: none"> 2023 年度患者満足度調査結果の分析と課題対策立案 	<p>3 西：患者・家族の意向に沿った支援が実践できる</p> <p>緩和：多職種協働と有資格者との連携により、患者・家族のニーズを捉えた質の高いケアを提供する</p> <p>小児：患者・家族のニーズに沿った看護を実践できる</p> <p>4 西：患者のニーズを先取りした看護を実践する</p> <p>4 東：多職種協働により個別性のある医療、看護を提供する</p> <p>5 西：患者のニーズを予測した看護を実践する</p> <p>5 東：セル体制を定着させ、患者の利益を最大化する</p> <p>6 西：医療・介護・福祉との連携を強化し、切れ目のないケアを実践する</p> <p>6 東：個別性を捉えた看護を提供する</p> <p>ICU：患者にとって最善を考えた看護を提供する</p> <p>画像・内視鏡：患者の立場で考えたケアを提供する</p> <p>外来：患者の意思を尊重した外来看護を提供し、在宅療養支援の充実を図る</p> <p>看護：地域医療・福祉関係機関と連携を強化し、ACP を実践する</p> <p>救外：患者にとって最善を考えた看護を提供する</p> <p>手術：他部門との連携を強化し、周術期看護を実践する</p> <p>腎セ：CKD 保存期から透析終末期まで患者の QOL を支える看護を提供する</p>	<p>3 西：B</p> <p>緩和：B</p> <p>小児：B</p> <p>4 西：B</p> <p>4 東：B</p> <p>5 西：B</p> <p>5 東：C</p> <p>6 西：B</p> <p>6 東：B</p> <p>ICU：B</p> <p>画像：B</p> <p>外来：B</p> <p>看護：B</p> <p>救外：B</p> <p>手術：C</p> <p>腎セ：B</p>	<p>3 西：B</p> <p>緩和：B</p> <p>小児：B</p> <p>4 西：A</p> <p>4 東：A</p> <p>5 西：S</p> <p>5 東：C</p> <p>6 西：B</p> <p>6 東：B</p> <p>ICU：B</p> <p>画像：B</p> <p>外来：B</p> <p>看護：B</p> <p>救外：A</p> <p>手術：B</p> <p>腎セ：B</p>
<ul style="list-style-type: none"> 各部署のクレーム・感謝の件数と課題解決立案 接遇に関する各部署の学習会の計画・実施 夜中の私語、患者にわかりにくい説明、不快に思わせる言葉・態度 安心・信頼さえる確かな技術 			
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束削減に向けた記録の充実 解除時間が分かる カンファレンスの充実 終末期患者の身体拘束をしないための看護計画と評価 			
<ul style="list-style-type: none"> 各部署の ACP の具体的な取り組み方法の検討・実施 私のこれからのことシートの活用 紹介 			
<ul style="list-style-type: none"> コンチネンスケアの学習会の企画 おむつ介助の方法の検討 おむつ交換の時間の考え方 			

BSC	戦略目標	戦略マップ	重要成功要因	業績評価指標	目標数値	
内部顧客の視点	やりがいを感じる職場環境を整備する	職員満足度向上	やりがいを感じられる職場環境	①超過時間	9.9h/月以下 *過去3年間の実績÷3	
				②各部署看護体制・セル看護提供方式の定着	職員満足度調査 仕事のやりがい 42.6pt (63.9pt) 患者ケア業務の満足度 29.3(74.3pt) ()は全病院20施設の標準偏差値 50pt以上であれば平均より高い	
				③勤務体制・業務改善	・早出・遅出を取り入れた勤務体制 ・業務改善1つ以上	
				④タスクシフト・シェア	④タスクシフト・シェアの計画 他職種への業務移行拡大	
				⑤有休取得	⑤10日/年以上	
業務プロセスの視点	安全・安心な医療を提供する	安全・安心な医療の推進	安全な医療の提供	①転倒・転落によるインシデント・アクシデント発生	①2023年度転倒転落 アクシデント発生件数8件を下回る	
				②停電対応	各部署別停電対応の学習会の実施	
				③自然災害対応：地震・水害	・BCP見直し・訓練	
				④感染症対応	・標準予防策の遵守 手指消毒剤使用料 15ml ・クラスターの有無	

	具体的行動計画	部署戦略目標	中間評価	最終評価
	<ul style="list-style-type: none"> 各部署の月平均の目標値の設定 毎月の結果と分析、課題対策立案 	3 西：業務改善を行い、セル看護提供体制を定着させる 緩和：業務を整理して超過勤務削減に繋げる、看護師の感情表出を促すカンファレンスを導入し離職防止に繋げる 小児：やりがいを感じる職場環境を整備する 4 西：スタッフ一人ひとりが自身の役割を意識して職場環境を創造する 4 東：セル看護提供方式による業務カイゼンを推進し、働きやすい環境を整える 5 西：セル看護の質を高めやりがいを感じる職場環境を整備する 5 東：看護実践にやりがいを感じ、働き続けられる職場環境を整備する 6 西：働き方改革を推進し、看護師がやりがいを感じ、働き続けられる職場環境を整備する 6 東：看護体制を活かし、働きやすい環境を整備する ICU：看護師として成長しながらワークライフバランスを維持できる職場環境を整備する 画像：働き続けられる職場環境を整備する 外来：やりがいを感じる職場環境を整備し、スタッフの働きやすさを推進し定着が図れる 看護：やりがいの感じられる職場環境をつくる 救外：看護師として成長しながらワークライフバランスを維持できる職場環境を整備する 手術：心理的に安全でやりがいのある職場環境を整える 腎セ：働きがいのある職場環境を整備する	3 西：B 緩和：B 小児：B 4 西：B 4 東：B 5 西：B 5 東：B 6 西：B 6 東：B ICU：B 画像：A 外来：B 看護：B 救外：B 手術：B 腎セ：B	3 西：B 緩和：B 小児：B 4 西：B 4 東：B 5 西：B 5 東：B 6 西：B 6 東：B ICU：B 画像：A 外来：B 看護：B 救外：B 手術：B 腎セ：B
	<ul style="list-style-type: none"> 職員満足度調査の結果と分析 仕事のやりがいと患者ケア業務の満足度を向上させるために対策と実施 各部署の看護体制の見直し課題と対策の実施・評価 セル看護提供方式の定着の確認アンケート調査 セル看護提供方式で変化したことの学会発表 			
	<ul style="list-style-type: none"> 自部署の勤務体制の分析と勤務体制の整備 勤務体制整備と業務改善 勤務体制変更に対する職員からの評価と改題解決計画 看護助手活用と評価 			
	<ul style="list-style-type: none"> 心理的安全性（医師含む） やって良かったと思える看護、リフレクション 振り返り時間、ナラティブ モデルナースの育成 業務の進捗わかるシート 補完業務スムーズに 			
	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な有給消化 勤務予定で5日間取得 希望休の取得状況の把握 			
	<ul style="list-style-type: none"> 各部署での件数把握と分析 	3 西：院内規定・基準・手順に沿った安全な看護・助産ケアを提供する 緩和：院内ルールの遵守を強化し安全な医療・看護を提供、患者獲得に繋げる 小児：患者が安全な医療を提供する 4 西：安全・安心な医療を提供する 4 東：安全安楽なケアを提供するための体制を強化する 5 西：安全・安心な医療を提供する 5 東：安全・安心な医療を提供できる体制を整備する 6 西：安全安楽なケアを提供するための体制を強化する 6 東：医療安全に関する意識を高め安全・安心な医療を提供する ICU：多職種と協働し、安全な医療を提供する 画像：多職種と連携し、安全・安心な検査・治療の提供をする 外来：手順を遵守し安心・安全な外来看護が提供できる 看護：自部署の防災対策の整備と強化を図る 救外：多職種と協働し、安全な医療を提供する 手術：多職種と協働し、安全な医療を提供する 腎セ：安全・安心な医療を提供する	3 西：B 緩和：B 小児：B 4 西：B 4 東：B 5 西：B 5 東：B 6 西：B 6 東：B ICU：B 画像：A 外来：B 看護：B 救外：C 手術：C 腎セ：B	3 西：B 緩和：B 小児：B 4 西：B 4 東：B 5 西：B 5 東：C 6 西：B 6 東：B ICU：B 画像：A 外来：B 看護：B 救外：B 手術：B 腎セ：A
	<ul style="list-style-type: none"> 各部署での学習会の企画 マニュアルの読み合わせ 長時間電子カルテ使用不可時の対応の確認 紙カルテ使用方法の確認 生命維持装置や医療機器の使用 			
	<ul style="list-style-type: none"> 各部署での学習会の規格 			
	<ul style="list-style-type: none"> 標準予防策の実施と評価 			

BSC	戦略目標	戦略マップ	重要成功要因	業績評価指標	目標数値	
学習と成長の視点	地域包括的システムで必要な知識・技術を向上する	看護実践力向上	①目標管理	①師長面接	①師長（副師長）面接 3 回／以上	
			②クリニカルラダー	・クリニカルラダー結果	・レベル 0：1 年目が全員レベル 0 にならない ・経験者のラダーアップ	
			③看護実践力	・経験年数別看護実践力評価	・新人がガイドラインに基づいた看護技術習得 1 年目項目クリア・2 年目項目クリア ・クリニカルラダー 2→3 へアップ ・クリニカルラダー 2 以上看護師の院内資格の取得 輸血ルート 男性バルン挿入 胃管チューブ挿入 その他各部署の計画	
				・地域連携研修	・訪問看護同行の実施件数	

	具体的行動計画	部署戦略目標	中間評価	最終評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインを意識できる面接の実施と個人目標の明確化 	3 西：一般成人看護・産褥・新生児ケアに関する知識・技術を習得し、実践力の向上を図る	3 西：B	3 西：A
	<ul style="list-style-type: none"> ・自部署の課題と研修計画、看取り、倫理、社会資源の活用 ・OJT 計画 ・リフレクションの実施 	緩和：緩和ケア病棟教育カリキュラムの低い項目を強化し知識・技術を向上させ看護師の定着に繋げる 小児：自己の課題に取り組み、看護実践能力（知識・技術）が向上する	緩和：C 小児：C	緩和：B 小児：B
	<ul style="list-style-type: none"> ・ラダーレベルに合わせた学習 各部署および集合 ・部署を超えた学習会（部署独自の研修を他の部署の看護師が出れるように） ・訪問看護ステーション訪問研修 ・退院支援の知識向上のため、退院支援のリンクナース会を再構築 ・ユマニチュード研修、高齢者ケアの促進 ・キャリアデザイン研修見直し ・臨床判断研修 ・看護のリフレクション 	4 西：地域包括的システムを見据えた消化器内科・血液内科・総合診療内科を中心とした疾患の知識・技術を向上させる 4 東：部署の専門性を中心に学びを深め、実践力の高い人材を育成する 5 西：患者を生活の場に戻すために必要な知識・技術を向上する 5 東：病床機能にあった人材を育成する 6 西：クリニカルラダー・キャリアラダーに基づき、学びを深め、自立した人材を育成する 6 東：退院調整に必要な知識・技術の向上を図る ICU：学び合う風土を醸成し、クリティカルケア実践力の向上を図る 画像・内視鏡：スタッフの知識及び看護実践力の向上を図る 外来：外来看護に必要な知識・技術を習得する 看護：地域包括支援システムで必要な入退院支援の実践力が向上する 救外：学び合う風土を醸成し、クリティカルケア実践能力の確実な向上を図る	4 西：B 4 東：B 5 西：B 5 東：B 6 西：B 6 東：B ICU：B 画像：B 外来：B 看護：B 救外：A	4 西：B 4 東：B 5 西：B 5 東：B 6 西：B 6 東：B ICU：B 画像：B 外来：B 看護：B 救外：A
	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション、介護施設への訪問研修 ・地域で活動する多職種との情報共有会 ・リンクナース会からの情報共有会の実施 	手術：専門性の高い知識・技術を習得し、質の高い看護を実践する 腎セ：個人の課題に沿って、看護の質を高める人材を育成する	手術：B 腎セ：B	手術：B 腎セ：B

◇令和6年度 目標設定における各委員会等の取り組みと結果（総合評価）

地域包括ケアシステムの中で急性期病院の役割を発揮する

1. 患者のニーズを先取りした看護を実践する
2. やりがいを感じる職場環境を整備する
3. 安全・安心な医療を提供する
4. 地域包括ケアシステムで役割を発揮できる知識・知術を習得する
5. 病院経営に参画する

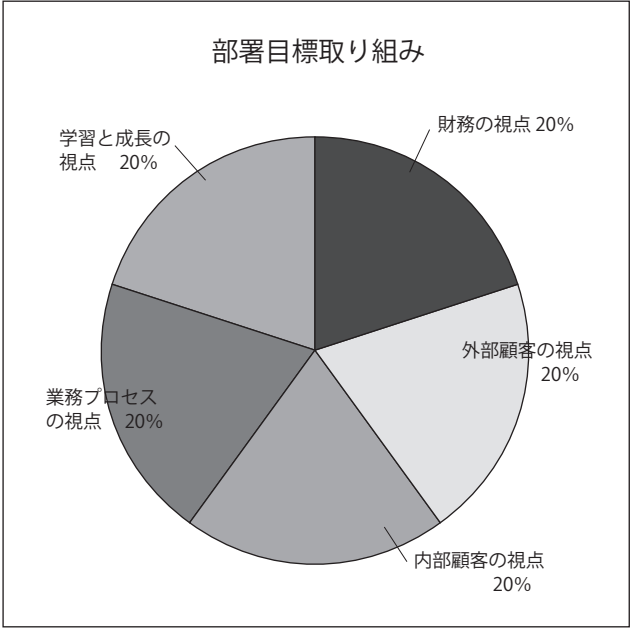
BSC	戦略目標	戦略マップ	重要成功要因	業績評価指標（KPI）	目標数値	
財務の視点	病院経営に参画する	医療収益の増加	効果的・効率的な病床運用	①病床稼働率 ②有料個室稼働率 ③重症者・感染症個室算定状況	①稼働率 85%以上 一般病床 小児科病棟 50% 緩和ケア病棟 75% ②有料個室稼働率：2023 年度以上 ③重症者・感染症個室算定状況：2023 年度以上	
			診療報酬の確実な取得	・退院支援加算 ・せん妄加算 ・認知症ケア加算 ・有料個室利用件数	・退院支援加算：2023 年度以上 ・せん妄加算：2023 年度以上 ・認知症ケア加算：2023 年度以上 ・有料個室利用件数：2023 年度以上	
外部顧客の視点	患者のニーズを先取りした看護を実践する	患者満足度向上	ケアの受け手の最大化	①患者満足度調査	① 2023 年度の課題の改善 ② 2023 年度入院 81.9pt 以上 2023 年度外来 84.2pt 以上	
				②患者クレーム件数	患者からのクレームが減少 2023 年度苦情・意見・要望 42 件以下 2023 年感謝 18 件以上	
				③不必要な身体拘束の削減	・身体拘束実施率 ・身体拘束状況（日中の解除状況） ・看護計画監査 終末期患者への実施 0 件	
				④ ACP の推進	・各部署での ACP 推進	
				⑤コンチネンスケア	・コンチネンスケアの考え方の学習会 ・患者の尊厳に配慮した排泄介助	

	具体的行動計画	部署戦略目標	中間評価	最終評価
	<p>【ベッド稼働率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署の目標稼働率と達成するための具体的対策 一般病床 小児科病棟 緩和ケア病棟トータル 85%以上となる 効果的・効率的なベッド運用の検討と評価 有料個室稼働率の分析：減免になる理由の詳細の分析 重症者・感染症個室算定の毎月の実績と分析 <p>・各部署で算定できる加算項目と目標値</p> <p>・加算についての学習会の計画と実施</p>	<p>副師長会：病院経営に参画する</p> <p>記録委員会：重症度、医療・看護必要度のコスト算定・評価が確実に 行えるよう支援する</p>	<p>副師長会：B</p> <p>記録委員会：B</p>	<p>副師長会：B</p> <p>記録委員会：B</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 2023 年度患者満足度調査結果の分析と課題対策立案 <p>・各部署のクレーム・感謝の件数と課題解決立案</p> <p>・接遇に関する各部署の学習会の計画・実施</p> <p>夜中の私語、患者にわかりにくい説明、不快に思わせる言葉・態度</p> <p>・安心・信頼さえる確かな技術</p> <p>・身体拘束削減に向けた記録の充実</p> <p>解除時間が分かる</p> <p>カンファレンスの充実</p> <p>終末期患者の身体拘束をしないための看護計画と評価</p> <p>・各部署の ACP の具体的な取り組み方法の検討・実施</p> <p>・私のこれからのことシートの活用 の紹介</p> <p>・コンチネンスケアの学習会の企画</p> <p>・おむつ介助の方法の検討 おむつ交換の時間の考え方</p>	<p>副師長会：患者のニーズを先取りした看護を実践する</p> <p>主任会：パーソン・センタード・ケアを理解し、認知症患者をひとりの人として尊重した看護を実践する</p>	<p>副師長会：B</p> <p>主任会：B</p>	<p>副師長会：B</p> <p>主任会：B</p>

BSC	戦略目標	戦略マップ	重要成功要因	業績評価指標 (KPI)	目標数値	
内部顧客の視点	やりがいを感じる職場環境を整備する	職員満足度向上	やりがいを感じられる職場環境	①超過時間	9.9h/月以下 *過去3年間の実績÷3	
				②各部署看護体制・セル看護提供方式の定着	職員満足度調査 仕事のやりがい 42.6pt (63.9pt) 患者ケア業務の満足度 29.3(74.3pt) () は全病院 20 施設の標準偏差値 50pt 以上であれば平均より高い	
				③勤務体制・業務改善	・早出・遅出を取り入れた勤務体制 ・業務改善 1 つ以上	
				④タスクシフト・シェア	④タスクシフト・シェアの計画 他職種への業務移行拡大	
				⑤有休取得	⑤ 10 日/年以上	
業務プロセスの視点	安全・安心な医療を提供する	安全・安心な医療の推進	安全な医療の提供	①転倒・転落によるインシデント・アクシデント発生	① 2023 年度転倒転落 アクシデント発生件数 8 件を下回る	
				②停電対応	各部署別停電対応の学習会の実施	
				③自然災害対応：地震・水害	・BCP 見直し・訓練	
				④感染症対応	・標準予防策の遵守 手指消毒剤使用料 15ml ・クラスターの有無	

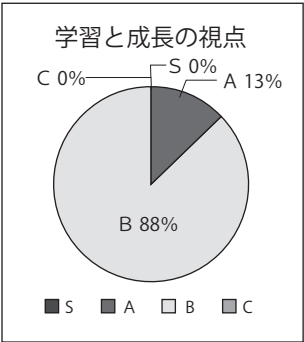
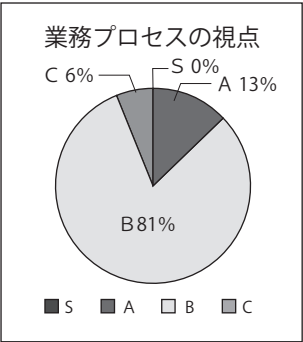
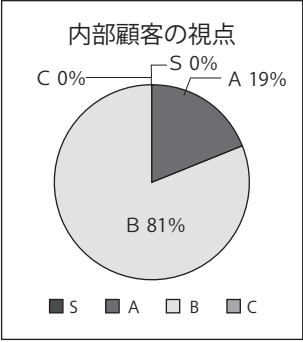
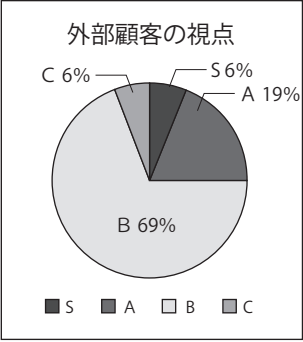
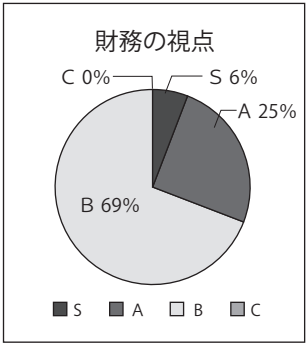
	具体的行動計画	部署戦略目標	中間評価	最終評価
	<ul style="list-style-type: none"> 各部署の月平均の目標値の設定 毎月の結果と分析、課題対策立案 	師長マネジメント：やりがいを感じる職場環境を整備する 副師長会：やりがいを感じる職場環境を整備する 主任会：適切な実習環境を提供できるよう現場の問題点の共有を図り改善につなげる 記録委員会：テンプレートを活用した記録を推進し記録の無駄をなくす セル委員会：やりがいを感じる職場環境を整備する	師長会：B 副師長会：B 主任会：B	師長会：B 副師長会：B 主任会：B
	<ul style="list-style-type: none"> 職員満足度調査の結果と分析 仕事のやりがいと患者ケア業務の満足度を向上させるために対策と実施 各部署の看護体制の見直し課題と対策の実施・評価 セル看護提供方式の定着の確認アンケート調査 セル看護提供方式で変化したことの学会発表 		記録委員会：B	記録委員会：B
	<ul style="list-style-type: none"> 自部署の勤務体制の分析と勤務体制の整備 勤務体制整備と業務改善 勤務体制変更に対する職員からの評価と改題解決計画 看護助手活用と評価 		セル委員会：B	セル委員会：B
	<ul style="list-style-type: none"> 心理的安全性（医師含む） やって良かったと思える看護、リフレクション 振り返り時間、ナラティブ モデルナースの育成 業務の進捗わかるシート 補完業務スムーズに 			
	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な有給消化 勤務予定で5日間取得 希望休の取得状況の把握 			
	<ul style="list-style-type: none"> 各部署での件数把握と分析 	師長マネジメント：大規模災害時の看護体制を構築することができる 副師長会：安心・安全な医療を提供する 主任会：有事の際、災害マニュアルに沿った行動がとれる 業務委員会：看護業務に関する課題を抽出し対策を立案する看護補助者が安全な患者ケアを提供できるよう支援する 記録委員会：看護記録に関する監査を医療情報部と連携して行い、適切な記録を行えるように支援する 感染リンク：リンクナースが正しい知識・技術を習得し、各部署における感染管理行動を推進する事ができる	師長会：B 副師長会：B 主任会：B	師長会：B 副師長会：B 主任会：B
	<ul style="list-style-type: none"> 各部署での学習会の企画 マニュアルの読み合わせ 長時間電子カルテ使用不可時の対応の確認 紙カルテ使用方法の確認 生命維持装置や医療機器の使用 		業務委員会：B	業務委員会：B
	<ul style="list-style-type: none"> 各部署での学習会の規格 		記録委員会：B	記録委員会：B
	<ul style="list-style-type: none"> 標準予防策の実施と評価 		感染リンク：B	感染リンク：B

BSC	戦略目標	戦略マップ	重要成功要因	業績評価指標（KPI）	目標数値	
学習と成長の視点	地域包括的システムで必要な知識・技術を向上する	看護実践力向上	①目標管理	①師長面接	①師長（副師長）面接 3 回／以上	
			②クリニカルラダー	・クリニカルラダー結果	・レベル 0：1 年目が全員レベル 0 にならない ・経験者のラダーアップ	
			③看護実践力	・経験年数別看護実践力評価	・新人がガイドラインに基づいた看護技術習得 1 年目項目クリア・2 年目項目クリア ・クリニカルラダー 2→3 へアップ ・クリニカルラダー 2 以上看護師の院内資格の取得 輸血ルート 男性バルン挿入 胃管チューブ挿入 その他各部署の計画	
				・地域連携研修	・訪問看護同行の実施件数	



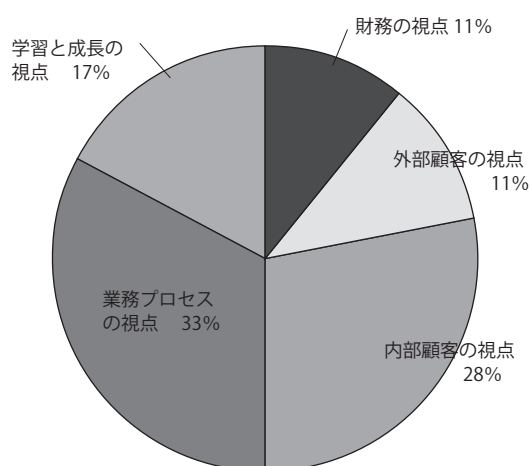
◆部署別目標評価割合

S：チャレンジした企画が成功
A：期待以上の結果
B：予想通りの結果
C：期待以下の結果



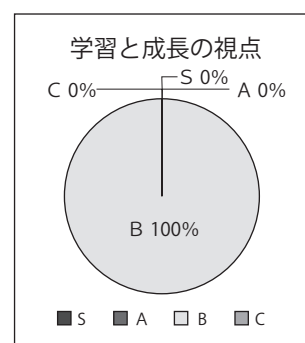
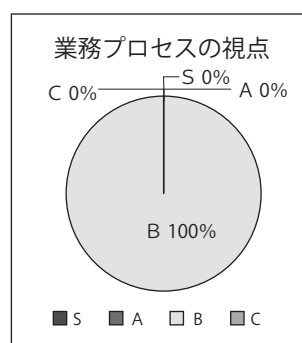
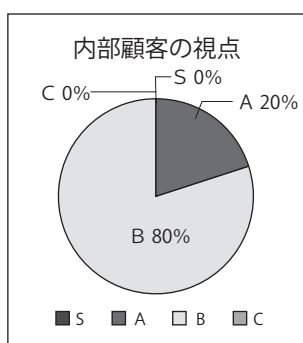
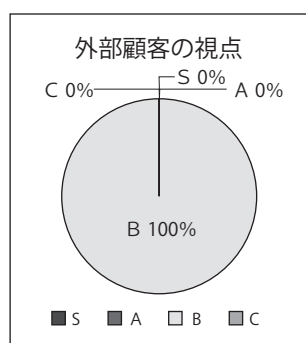
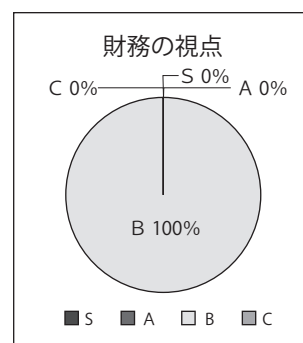
	具体的行動計画	部署戦略目標	中間評価	最終評価
	<ul style="list-style-type: none"> キャリアデザインを意識できる面接の実施と個人目標の明確化 	副師長会：看護補助者がスキルアップできる体制の構築と支援の強化をはかる 主任会：地域包括ケアシステムの中の急性期病院の看護師として、地域包括ケアシステムで必要な入退院支援の実践力が向上する 教育：クリニカルラダー別研修体制を実施する、OJT と offJT の連携を図る	副師長会：B	副師長会：B
	<ul style="list-style-type: none"> 自部署の課題と研修計画、看取り、倫理、社会資源の活用 OJT 計画 リフレクションの実施 		主任会：B	主任会：B
	<ul style="list-style-type: none"> ラダーレベルに合わせた学習 各部署および集合 部署を超えた学習会（部署独自の研修を他の部署の看護師が出れるように） 訪問看護ステーション訪問研修 退院支援の知識向上のため、退院支援のリンクナース会を再構築 ユマニチュード研修、高齢者ケアの促進 キャリアデザイン研修見直し 臨床判断研修 看護のリフレクション 		教育：B	教育：B
	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護ステーション、介護施設への訪問研修 地域で活動する多職種との情報共有会 リンクナース会からの情報共有会の実施 			

委員会・会議・リンク目標取り組み



◆委員会別目標評価割合

S：チャレンジした企画が成功
 A：期待以上の結果
 B：予想通りの結果
 C：期待以下の結果



◇病院月別看護師数 ※毎月1日現在

項 目	4月 新入職者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成17年度		5	5	5	5	5	5	25	26	167	206	223	224
平成18年度	39	275	277	277	277	277	278	276	284	286	287	290	305
平成19年度	27	318	324	324	321	321	325	328	330	333	331	332	330
平成20年度	39	346	329	328	316	316	315	318	318	317	313	315	314
平成21年度	48	338	339	340	334	332	330	325	325	325	318	316	316
平成22年度	39	347	342	341	334	332	332	333	333	333	326	324	324
平成23年度	48	359	358	357	348	347	342	343	343	344	342	342	344
平成24年度	31	366	366	363	356	357	356	354	353	354	350	351	350
平成25年度	37	374	373	367	360	356	354	355	356	356	353	351	351
平成26年度	35	361	363	363	362	358	357	351	354	354	350	350	349
平成27年度	34	362	363	362	362	351	348	347	348	350	348	347	347
平成28年度	44	370	370	367	361	359	357	354	354	354	351	348	348
平成29年度	42	374	374	373	369	369	364	361	361	361	360	359	354
平成30年度	49	390	387	386	383	383	378	376	376	375	372	371	369
平成31年度	35	388	389	388	382	382	378	375	373	373	371	370	370
令和2年度	36	393	391	392	392	392	391	389	387	385	382	382	382
令和3年度	44	414	413	413	410	408	407	406	404	405	399	396	396
令和4年度	50	416	415	416	413	407	404	400	401	400	397	396	397
令和5年度	48	424	425	422	418	416	413	413	414	414	415	416	424
令和6年度	44	483	479	477	473	469	469	467	468	467	458	453	452

パート・アルバイト勤務者を除く

◇部署別看護師数 ※4月1日現在
(17年度は開院の2月1日現在)

	画像 内視鏡 含	外来 医療相談 病棟	救急 災害 センター	腎 センター	手術 部	看護 部	産休・ 病欠	安全 対策室	合 計
17年度	37	120	40	4	15	4	3	0	223
18年度	36	161	47	5	18	4	3	1	275
19年度	30	201	40	9	18	4	15	1	318
20年度	35	228	40	10	17	5	10	1	346
21年度	39	213	40	10	17	5	13	1	338
22年度	32	220	39	11	18	6	19	2	347
23年度	33	229	39	11	19	6	19	3	359
24年度	36	228	37	13	19	7	24	2	366
25年度	41	228	36	14	20	5	28	2	374
26年度	39	220	37	11	21	4	27	2	361
27年度	42	221	35	12	21	4	25	2	362
28年度	45	226	37	13	19	4	24	2	370
29年度	43	228	36	13	20	6	26	2	374
30年度	48	231	40	16	20	6	27	2	390
31年度	44	232	41	14	20	8	27	2	388
R2年度	48	239	38	16	23	8	19	2	393
R3年度	44	239	47	15	24	14	29	2	414
R4年度	49	238	46	19	26	13	22	3	416
R5年度	54	251	43	17	26	10	21	2	424
R6年度	65	277	51	19	29	10	30	2	483

パート・アルバイト勤務者を除く

◇看護職員最終学歴 ※4月1日現在
(17年度は開院の2月1日現在)

	看護系 大学院	看護系 大学	短期 大学3 年	短期 大学2 年	専門 学校	高校 専攻科	助産 師学校	保健 師学校	准看護 師学校	合 計
17年度	2	3	16	17	156	13	15	0	1	223
18年度	2	9	19	20	191	16	17	0	1	275
19年度	2	13	23	22	220	19	16	2	1	318
20年度	4	15	26	16	250	17	15	2	1	346
21年度	2	23	40	15	221	18	16	2	1	338
22年度	2	23	46	14	224	18	17	2	1	347
23年度	2	29	68	10	207	21	19	2	1	359
24年度	1	30	75	8	209	21	19	2	1	366
25年度	1	26	83	8	213	21	19	2	1	374
26年度	1	30	89	7	196	18	17	2	1	361
27年度	1	28	89	6	197	19	19	2	1	362
28年度	3	31	87	6	202	18	20	2	1	370
29年度	4	33	81	6	211	15	21	2	1	374
30年度	6	43	80	6	216	16	20	2	1	390
31年度	6	51	72	6	215	15	20	2	1	388
R2年度	3	54	63	5	208	33	21	2	1	390
R3年度	4	74	63	5	210	32	23	2	1	414
R4年度	5	92	60	5	200	30	26	2	1	421
R5年度	5	110	53	5	194	30	24	2	1	424
R6年度	5	125	57	5	233	31	24	2	1	483

パート・アルバイト勤務者を除く

◇認定看護師一覧

	領域	看護師名
1	家族支援	藤井真樹
2	がん看護	木幡和美

◇認定看護師一覧

	領域	看護師名
1	皮膚・排泄ケア	杉山奈穂
2	集中ケア	上村美穂
3	クリティカルケア	木村保美・山元慶洋
4	認知症看護	吉田 香
5	がん性疼痛看護	伊藤優子
6	摂食・嚥下障害看護	治田悠介
7	感染管理	アニン祥子・杉本麻衣 高尾あずさ
8	脳卒中リハビリテーション看護	竹内廣美
9	がん化学療法看護	木幡和美
10	腎不全看護	大森眞由美
11	慢性心不全看護	秋山幸恵

◇診療看護師一覧

	領域	看護師名
1	診療看護師	前田 彩
2	診療看護師	芳賀光雄
3	診療看護師	馬場雅樹
4	診療看護師	伊藤理恵

◇特定看護師一覧

	領域	看護師名
1	特定看護師	杉山奈穂
2	特定看護師	角田めぐみ
3	特定看護師	藤原久美子
4	特定看護師	内藤 静
5	特定看護師	大森眞由美
6	特定看護師	木村保美
7	特定看護師	山元慶洋

◇看護部 研修実施一覧（院内）

	研修名	開催年月日	内 容	参加者数
新入職者オリエンテーション	オリエンテーション	2024年4月1日	大学の沿革・組織について 勤務規則 福利厚生等について 接遇研修 医療人として	47
	看護部オリエンテーション	2024年4月2日	多摩病院について 医療安全 感染対策 看護部の概要 業務について 労働環境と心得 教育について	47
	看護部オリエンテーション	2024年4月3日	災害対策 セル看護提供方式 看護補助者との協働 薬剤師の役割と薬剤管理	47
	看護部オリエンテーション	2024年4月4日	電子カルテ操作研修 看護記録について 社会人基礎力コンピテンシー コミュニケーションとアサーション	43
1年目研修	【講義・演習】 看護技術研修	2024年4月9日 2024年4月12日	清拭・陰部洗浄・摘便 移動・移送・体位交換	44
	【講義・演習】 看護技術研修	2024年4月17日 2024年4月23日	食事介助・口腔ケア 静脈注射・点滴管理	44
	【講義・演習】 看護技術研修	2024年4月24日 2024年5月1日	血糖測定・採血 経腸栄養・内服管理	44

	研修名	開催年月日	内 容	参加者数
1 年 目 研 修	【講義】	2024 年 4 月 27 日	看護倫理	44
	【講義・演習】 看護技術研修	2024 年 5 月 8 日 2024 年 5 月 10 日	心電図・BLS 療養環境を考える・夜勤巡視	44
	【講義・演習】 看護技術研修	2024 年 5 月 23 日	ポンプ操作	44
	【講義】 臨床判断Ⅰ	2024 年 5 月 31 日	臨床判断に必要なフィジカルアセスメントの基礎知識・ 技術を学ぶ	44
	リフレッシュ研修	2024 年 6 月 6 日	・同期と交流を持ち、リフレッシュの機会にする ・JOB オリエンテーションについて	44
	JOB ロテーション研修	2024 年 8 月 1 日～ 2024 年 8 月 31 日	・入院から退院までの患者の流れがわかるよう関連部署 を回り、各部署での看護を体験する ・手術室・画像内視鏡の検査出し、手術出しを習得する 機会にする ・ICU では、フィジカルアセスメントを学び、自部署で は習得が難しい看護技術を習得する機会にする	42
	【講義・演習】	2024 年 9 月 25 日 2024 年 9 月 27 日	看護について考える	41
	【講義・演習】	2024 年 10 月 30 日 2024 年 10 月 31 日	多重課題	40
	【講義】	2024 年 11 月 27 日	看護倫理	40
	【講義】	2024 年 12 月 16 日 2024 年 12 月 17 日	再構成	42
	【講義・演習】	2025 年 1 月 29 日	医療保険・介護保険について 家族支援看護	41
	【講義・演習】 看護技術研修	2025 年 2 月 28 日	災害時の対応 気管内挿管の介助について	42
	【講義・演習】 修了式	2025 年 3 月 13 日	・人工呼吸器の仕組みと看護 ・1 年の振り返り（自己の成長、今後の課題） ・修了証書による各部署の師長からフィードバック	41
2 年 目 研 修	【講義】 ナラティブ	2024 年 5 月 15 日	・ナラティブとは ・ナラティブ看護の考え方	43
	【講義】 臨床判断Ⅱ	2024 年 6 月 21 日	臨床判断にフェーズを理解し、推論パターン（気づき・ 解釈）を深めることの重要性を理解できる	45
	【講義】 ナラティブ交換会	2024 年 7 月 31 日	・ナラティブとは。考え方、おさらい ・ナラティブの書き方について	44
	【グループワーク】 ナラティブ交換会	2024 年 9 月 30 日	グループワーク ・ナラティブシートを各自で記載、持参しそれをもとに ナラティブ交換会 ・ナラティブ発表にむけて 発表会の進め方・役割分担	43
	【発表会・グループワーク】 ナラティブ交換会	2024 年 12 月 10 日 2024 年 12 月 12 日	ナラティブ発表会	42
3 年 目 研 修	【講義】 臨床判断Ⅲ	2024 年 6 月 21 日	臨床判断にフェーズを理解し、推論パターン（気づき・ 解釈・省察）を深めることの重要性を理解できる	37
	【講義・ワールドカフェ】 リーダーシップⅠ①	2024 年 7 月 18 日	・リーダーシップの様々な形について知り、リーダ ーシップの理解を深める ・フォロワーシップの理解を深める	37
	【グループワーク】 リーダーシップⅠ②	2024 年 10 月 15 日 2024 年 10 月 16 日	リーダーシップを発揮するために必要な自己の課題を 明確にすることができる	37

	研修名	開催年月日	内 容	参加者数
3 年 目 研 修	【報告会・グループワーク】 リーダーシップⅠ③	2025 年 1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・実践に結びつけるリーダーシップを発揮するための取り組みを発表し意味づけする ・日常の看護業務における問題や課題を解決する方法について考え実践に結びつける ・研修を通じてクリニカルラダー「C 協働する力」の達成を促進することができる 	36
	【講義】 臨床判断Ⅳ	2025 年 3 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床判断モデルにおける「省察」を深めることができる ・急変事例を通じて、解剖生理、病態、フィジカルアセスメントなどの知識を 駆使して、患者状態を判断する能力を身につけることができる ・実際の急変事例について、急変前の状況から何が起きているのか分析しながら整理を行う ・どんな観察や看護を行うことで、防ぐことができたか、今いる患者に対し、どんなケアを行うことで予防的なケアに繋がるか、表現することができる 	29
4 年 目 研 修	【講義】 キャリアデザイン研修	2024 年 6 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・院内留学を通して、自らのキャリアデザインを描く ・看護の視野を広げ、自己の目標を明確にする 	14
	【講義】 臨床判断Ⅳ	2024 年 11 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床判断モデルにおける「省察」を深めることができる ・急変事例を通じて、解剖生理、病態、フィジカルアセスメントなどの知識を駆使して、患者状態を判断する能力を身につけることができる ・実際の急変事例について、急変前の状況から何が起きているのか分析しながら整理を行う ・どんな観察や看護を行うことで、防ぐことができたか、今いる患者に対し、どんなケアを行うことで予防的なケアに繋がるか、表現することができる 	26
	【講義】 キャリアデザイン研修	2025 年 2 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・院内留学を通して、自らのキャリアデザインを描く ・看護の視野を広げ、自己の目標を明確にする ・研修報告会 	14
5 年 目 研 修	シナリオシミュレーション	2024 年 7 月 22 日～ 2024 年 11 月 30 日 (3 回コース)	<ul style="list-style-type: none"> ・突然の心肺停止に対する最初の 10 分間のチーム蘇生を習得する 	16
メン ター 研 修	【講義・グループワーク】 メンター研修①	2024 年 6 月 25 日	新人の現在の状況がわかり、必要な指導や支援について考えることができる	20
	【講義・再構成】 メンター研修②	2024 年 9 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクションシートを用い、自己の指導を振り返ることができる ・リフレクションを行い、自己の傾向に気づくことができる ・自己の指導時の課題と今後の対策について表現することができる 	18
	【講義・グループワーク】 メンター研修③ コミュニケーション研修	2024 年 11 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・動画講義を視聴し、世代の理解とコーチングについて理解することができる ・自己の傾向から、世代の違いからどのようにコミュニケーションを図っているか明らかにする ・自己の指導時の課題と今後の対策について表現することができる 	16
	【講義・グループワーク】 メンター研修④	2025 年 2 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・新人の現在の状況がわかり、必要な指導や支援について考えることができる。 ・メンターとしての活動を振り返り意味づけすることができる 	19

	研修名	開催年月日	内 容	参加者数
コミュニケーション研修	【講義・再構成】	2024 年 9 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクションシートを用い、自己の指導を振り返ることができる ・リフレクションを行い、自己の傾向に気づくことができる ・自己の指導時の課題と今後の対策について表現することができる 	5
	【講義・グループワーク】	2024 年 11 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・動画講義を視聴し、世代の理解とコーチングについて理解することができる ・自己の傾向から、世代の違いからどのようにコミュニケーションを図っているか明らかにする ・自己の指導時の課題と今後の対策について表現することができる 	5
リーダーシップII	【講義・演習】	2024 年 8 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとフォロワーの関係理解 ・リーダーとフォロワー / リーダーシップとマネジメント 	21
	【講義・演習】	2024 年 9 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの新たな視点の獲得 ・コミュニケーション体験 / 相互理解ワークショップ 	21
	【講義・演習】	2024 年 10 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・情報格差による意思疎通並びに意思決定の困難差について体験 ・クイズ&ゲームワークショップ ・振り返り 	21
中採用研修	【BLS・グループワーク】	2024 年 7 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の再学習を行い、実践につなげる ・現在の自己の気持ちを表出でき、解決への糸口を見出せる 	2
看護部活動報告会	活動報告口演	2025 年 3 月 13 日	・各部署、委員会、個人等の活動を発表	115
	活動報告示説	2025 年 3 月 14 日	・各部署、委員会、個人等の活動を発表	163

◇看護部 学会・研修参加一覧（院外）

	研修会名・学会	開催年月日	主 催	人 数
学 会	第 15 回日本プライマリーケア学会	2024 年 6 月 7 日～ 9 日	日本プライマリーケア学会	2
	第 28 回日本緩和医療学会学術大会	2024 年 6 月 14 日～ 15 日	日本緩和医療学会	2
	第 20 回日本クリティカルケア看護学会学術集会	2024 年 6 月 22 日～ 23 日	日本クリティカルケア看護学会	1
	第 30 回摂食嚥下リハビリテーション学会	2024 年 8 月 30 日～ 31 日	日本摂食嚥下リハビリテーション学会	1
	第 25 回日本褥瘡学会学術集会	2024 年 9 月 6 日～ 7 日	日本褥瘡学会	1
	第 31 回日本家族看護学会	2024 年 9 月 14 日～ 15 日	日本家族看護学会	2
	第 6 回セル看護推進研究会	2024 年 9 月 20 日～ 21 日	セル看護推進研究会	3
	第 51 回脳神経看護学会	2024 年 9 月 23 日	日本脳神経看護研究会	1
	第 7 回エンドオブライフケア学会学術集会	2024 年 10 月 13 日～ 14 日	エンドオブライフケア学会	1
	第 62 回全国自治体病院学会	2024 年 10 月 31 日～ 11 月 1 日	全国自治体病院学会	4
	第 5 回フットケア・足病医学会学術集会	2024 年 11 月 29 日～ 30 日	フットケア・足病医学会	1
	第 19 回医療の質・安全学会学術集会	2024 年 11 月 29 日～ 30 日	一般社団法人医療の質・安全学会	1
	第 30 回日本こども虐待防止学会	2024 年 11 月 30 日～ 12 月 1 日	日本こども虐待防止学会	1
	第 39 回がん看護学会学術集会	2025 年 2 月 22 日～ 23 日	がん看護学会	1
	川崎市看護協会看護研究活動報告会	2025 年 2 月 27 日	川崎市看護協会	4
長 期 研 修	第 52 回日本集中治療医学会学術集会	2025 年 3 月 14 日～ 16 日	日本集中治療医学会	2
	認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程	2024 年 4 月 3 日～ 2025 年 3 月 14 日	神奈川県立保健福祉大学 教育実践センター	1
	認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程	2024 年 5 月 8 日～ 9 月 13 日	北里大学	1
	実習指導者養成講座	2024 年 5 月 24 日～ 2025 年 1 月 24 日	北里大学	1
	実習指導者養成講座	2024 年 6 月 10 日～ 11 月 21 日	済生会東部病院	1
主 任 昇 格 者 研 修	認定看護管理者制度サードレベル教育課程	2024 年 8 月 24 日～ 2025 年 1 月 18 日	昭和大学看護キャリア開発・研究センター	1
	「学ぶこと・育つこと」と「教えること・育てること」	2024 年 7 月 27 日	聖マリアンナ医科大学病院	2
主 任 学 習 会	自己の振り返りと意味づけ 現場学からの学び	2024 年 10 月 5 日	聖マリアンナ医科大学病院	3
	授業デザイン「教えることの基本となるもの」	2024 年 6 月 29 日	聖マリアンナ医科大学病院	7
饗・副 館 長 署	授業デザイン「教える人の学びと成長」	2025 年 1 月 18 日	聖マリアンナ医科大学病院	7
	2024 年度 全国自治体病院協議会 看護部会 研修会	2024 年 7 月 9 日	全国自治体病院協議会	1

	研修会名・学会	開催年月日	主 催	人 数
神奈川県看護協会主催	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	2024 年 7 月 12 日・8 月 20 日	神奈川県看護協会	2
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	2024 年 11 月 7 日～8 日	川崎市看護協会	1
		2024 年 11 月 12 日～13 日	神奈川県看護協会	1
	災害支援ナース養成研修	2024 年 11 月 16 日～17 日	神奈川県看護協会	1
	医療安全管理者養成研修（e ラーニング・集合研修）	2024 年 12 月～2025 年 1 月 25 日	神奈川県看護協会	1
	新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業神奈川県災害支援ナース養成研修	2025 年 1 月 20 日～21 日	神奈川県看護協会	1
	高齢者支援と認知症患者の看護②	2025 年 1 月 21 日～22 日	神奈川県看護協会	1
	糖尿病患者のフットケア	2025 年 1 月 28 日・2 月 5 日・2 月 6 日	神奈川県看護協会	1
	臨床倫理認定士基礎編研修	2024 年 4 月 4 日・5 月 21 日・7 月 2 日	日本臨床倫理学会	1
	術後疼痛管理研修（e ラーニング）	2024 年 5 月 31 日～2025 年 3 月 24 日	日本麻酔科学会	1
	重症度、医療・看護必要度評価及び院内指導者研修	2024 年 7 月 1 日～8 月 31 日	S-QUE 研究会	9
	看護職員認知症対応向上研修	2024 年 7 月 24 日	かながわ健康財団	1
		2024 年 8 月 21 日	かながわ健康財団	1
		2024 年 9 月 25 日	かながわ健康財団	1
	第 39 回ストーリーナビリテーション講習会	2024 年 8 月 10 日	神奈川ストーリーマ研究会	1
	第 6 回入院時重症患者メディエーター養成講習会	2024 年 8 月 18 日	医療メディエーター協会	1
	ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム	2024 年 9 月 7 日～8 日	川崎市立川崎病院	1
	AHA-ACLS プロバイダーコース研修	2024 年 9 月 7 日～8 日	聖マリアンナ医科大学東横病院	1
	ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム	2024 年 11 月 16 日・12 月 1 日	東京都健康長寿医療センター	3
	病院勤務の医療従事者向け認知症対応向上研修	2024 年 12 月 5 日	かわさき記念病院	1
	KCMC 小児看護エキスパートナースコース	2024 (11 日間)	神奈川県立こども医療センター	1

[目次へ戻る](#)

栄養部の状況

◇栄養相談入院患者疾患別指導数

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
糖尿病	12	28	23	20	15	24	24	14	20	19	14	19	232
腎臓病	9	4	8	10	6	5	8	4		6	2	2	64
脂質異常症	1		2		1	1		1	1			3	10
高血圧	2	1	1		7	3	1	1	1	4	2	4	27
肝臓病	2	1		2	1	1	2		2	1	2	3	17
胃腸疾患	1	2	3	4	4	1	5	1	3	4	2	5	35
脾臓病	1	1	2	1	4	1		1					11
胆のう疾患	6	3	6	5	7	3	11	5	8	4	7	5	70
肥満			2					2				1	5
心臓病	7	9	8	8	4	5	2	4	6	7	6	6	72
痛風・高尿酸血症													0
消化管術後	17	22	19	12	16	19	24	26	13	14	16	13	211
がん患者		1		2	2	1	4	5	1	4	3		23
摂食機能・嚥下機能低下		2		3	2		2	3	4	2		3	21
低栄養状態		2	1	1	2	1	1	1	1			1	11
小児食物アレルギー	10	7	9	8	7	7	11	8	7	9	12	8	103
その他	2		1			3		4	1				11
合 計	70	83	85	76	78	75	95	80	68	74	66	73	923

◇栄養相談外来患者疾患別指導数

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
糖尿病	70	63	48	70	49	58	58	46	68	62	55	56	703
腎臓病	29	34	23	30	44	31	40	37	38	41	41	37	425
脂質異常症	9	2	6	7	4	8	6	5	8	6	5	3	69
高血圧	6	2	7	3	5	3	4	2	2	4	1	4	43
肝臓病	7	7	10	4	4	9	7	4	10	3	5	9	79
胃腸疾患		2			1			1				1	5
脾臓病						1	1	1			1		4
胆のう疾患		2	2	1		2			1		1	2	11
肥満	5	2	2	5	4	8	9	7	9	6	4	3	64
心臓病	4	3	4	2	1	2	3	2	7	4	3	2	37
痛風・高尿酸血症			1			1			1			1	4
消化管術後	7	6	9	9	7	6	6	8	8	9	5	7	87
がん患者	1	3	3	5	2	4	3	4	1		3	2	31
摂食機能・嚥下機能低下				1	1	1							3
低栄養状態	1	1		1		1			2	1	1	3	11
小児食物アレルギー													0
その他	6	3	1	7	8	4	5	6	7	8	6	10	71
合 計	145	130	116	145	130	139	142	123	162	144	131	140	1,647

◇栄養相談 入院集団指導件数（糖尿病教室）

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
患者数	6	11	5	5	2	0	8	3	6	8	4	4	62

◇栄養相談 個人指導・集団指導件数

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
個人指導	215	213	201	221	208	214	237	203	230	218	197	213	2,570
集団指導	6	11	5	5	2	0	8	3	6	8	4	4	62
合 計	221	224	206	226	210	214	245	206	236	226	201	217	2,632

◇食種別食数

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
熱量制限食	2,614	3,661	3,021	3,570	2,956	3,198	3,259	2,594	3,445	3,547	3,687	3,664	39,216
蛋白質制限食	160	180	226	432	218	170	137	163	170	169	35	43	2,103
熱量蛋白質制限食	618	678	576	457	502	522	490	469	628	676	684	620	6,920
脂質制限食	334	257	471	423	387	251	480	332	370	326	588	619	4,838
易消化食	319	383	497	408	579	363	480	547	392	611	873	544	5,996
胃術後食	199	282	218	308	351	161	132	193	270	145	145	292	2,696
小児治療食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別治療食計	4,244	5,441	5,009	5,598	4,993	4,665	4,978	4,298	5,275	5,474	6,012	5,782	61,769
常食	4,382	5,261	4,272	4,855	4,771	3,935	4,491	4,984	4,779	4,178	4,937	4,994	55,839
軟菜食	5,644	5,571	5,227	5,459	5,192	5,627	4,737	5,247	5,148	5,715	4,956	5,339	63,862
流動食	515	634	619	555	703	719	971	641	549	804	558	739	8,007
学童食	39	68	64	209	303	207	158	137	171	64	164	100	1,684
幼児食	554	593	339	562	498	461	431	604	581	433	455	403	5,914
離乳食	118	232	201	213	61	114	63	26	65	47	151	120	1,411
経腸栄養（食品扱い）	1,874	2,114	1,953	1,392	1,528	1,499	1,753	1,527	1,552	1,983	1,298	1,540	20,013
経腸栄養（薬品扱い）	376	239	337	440	215	290	445	241	222	318	272	259	3,654
マリアンナ食	518	382	637	653	583	463	699	313	610	462	633	607	6,560
調乳食	685	805	674	894	797	692	831	752	716	695	885	619	9,045
検査食	403	468	571	658	886	835	725	890	500	511	633	627	7,707
一般食計	15,108	16,367	14,894	15,890	15,537	14,842	15,304	15,362	14,893	15,210	14,942	15,347	183,696
総 合 計	19,352	21,808	19,903	21,488	20,530	19,507	20,282	19,660	20,168	20,684	20,954	21,129	245,465

目次へ戻る

入院患者疾病統計

2024/4/1 ~ 2025/3/31

◇全科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	5,392	675	105	110	142	161	225	563	732	1,242	1,154	283
	女	4,909	564	86	71	353	492	228	291	345	847	1,089	543
	計	10,301	1,239	191	181	495	653	453	854	1,077	2,089	2,243	826
I 感染症および寄生虫症	男	118	39	14	5	10	1	2	3	6	11	20	7
	女	137	39	21	7	10	3	4	4	1	11	21	16
	計	255	78	35	12	20	4	6	7	7	22	41	23
II 新生物	男	999	1	4	3	9	8	28	112	190	396	220	28
	女	602	1	-	4	9	14	47	78	93	170	143	43
	計	1,601	2	4	7	18	22	75	190	283	566	363	71
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	23	1	1	-	-	-	-	2	4	5	6	4
	女	43	3	1	-	1	2	3	5	5	4	8	11
	計	66	4	2	-	1	2	3	7	9	9	14	15
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	183	10	7	5	3	8	9	33	22	38	38	10
	女	143	3	7	2	5	5	14	10	19	23	41	14
	計	326	13	14	7	8	13	23	43	41	61	79	24
V 精神および行動の障害	男	6	-	-	3	-	-	2	-	1	-	-	-
	女	13	-	-	3	1	-	1	-	1	4	3	-
	計	19	-	-	6	1	-	3	-	2	4	3	-
VI 神経系の疾患	男	213	3	11	15	16	22	16	33	28	41	25	3
	女	169	2	-	24	10	9	6	12	13	30	52	11
	計	382	5	11	39	26	31	22	45	41	71	77	14
VII 眼および付属器の疾患	男	132	-	1	2	1	-	-	5	19	30	69	5
	女	277	-	-	-	1	1	-	7	21	109	117	21
	計	409	-	1	2	2	1	-	12	40	139	186	26
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	26	12	2	-	-	3	-	2	2	3	2	-
	女	31	4	3	-	2	-	2	4	6	8	1	1
	計	57	16	5	-	2	3	2	6	8	11	3	1
IX 循環器系の疾患	男	775	4	-	1	2	8	30	120	144	219	204	43
	女	503	2	-	-	2	8	12	20	48	135	176	100
	計	1,278	6	-	1	4	16	42	140	192	354	380	143
X 呼吸器系の疾患	男	736	162	32	26	34	37	24	27	46	94	173	81
	女	511	111	29	16	32	18	19	13	18	46	107	102
	計	1,247	273	61	42	66	55	43	40	64	140	280	183
XI 消化器系の疾患	男	665	1	-	8	34	32	57	114	109	145	141	24
	女	468	2	-	-	30	31	28	53	41	115	111	57
	計	1,133	3	-	8	64	63	85	167	150	260	252	81
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	54	5	2	2	6	5	4	2	6	5	12	5
	女	31	2	1	2	1	-	1	4	4	3	9	4
	計	85	7	3	4	7	5	5	6	10	8	21	9
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	95	28	3	-	-	-	3	7	17	12	17	8
	女	118	20	2	-	-	3	6	1	14	25	43	4
	計	213	48	5	-	-	3	9	8	31	37	60	12
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	474	12	3	5	5	14	22	64	65	153	107	24
	女	386	10	2	1	12	13	44	33	17	84	101	69
	計	860	22	5	6	17	27	66	97	82	237	208	93
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	625	1	-	5	228	368	23	-	-	-	-	-
	計	630	6	-	5	228	368	23	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	178	172	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	151	150	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	計	329	322	2	4	1	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	23	11	3	4	4	-	1	-	-	-	-	-
	女	24	16	1	-	1	1	2	-	1	1	-	1
	計	47	27	4	4	5	1	3	-	1	1	-	1
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	48	7	3	1	-	2	-	3	9	8	14	1
	女	28	10	1	2	1	-	-	1	1	4	8	-
	計	76	17	4	3	1	2	-	4	10	12	22	1
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	399	55	17	26	17	20	27	34	54	59	64	26
	女	420	39	18	5	5	8	12	42	39	69	121	62
	計	819	94	35	31	22	28	39	76	93	128	185	88
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	147	146	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	158	148	-	-	1	7	1	-	-	-	1	-
	計	305	294	-	-	1	7	1	-	-	1	1	-
XXII 特殊目的コード	男	93	1	-	-	1	1	-	2	10	22	42	14
	女	71	1	-	-	-	1	3	4	3	6	26	27
	計	164	2	-	-	1	2	3	6	13	28	68	41

◇総合診療内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	847	-	-	7	30	18	31	59	87	182	303	130
	女	807	-	-	6	25	26	22	29	40	120	291	248
	計	1,654	-	-	13	55	44	53	88	127	302	594	378
I 感染症および寄生虫症	男	38	-	-	-	4	-	2	3	3	5	15	6
	女	46	-	-	1	4	3	1	-	-	6	17	14
	計	84	-	-	1	8	3	3	3	3	11	32	20
II 新生物	男	53	-	-	-	1	1	-	5	6	21	15	4
	女	40	-	-	2	-	-	1	1	10	8	12	6
	計	93	-	-	2	1	1	1	6	16	29	27	10
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	9	-	-	-	-	-	-	1	2	2	3	1
	女	16	-	-	-	-	2	1	-	1	1	5	6
	計	25	-	-	-	-	2	1	1	3	3	8	7
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	43	-	-	-	-	2	1	8	3	9	13	7
	女	38	-	-	-	1	-	3	2	2	7	14	9
	計	81	-	-	-	1	2	4	10	5	16	27	16
V 精神および行動の障害	男	4	-	-	1	-	-	2	-	1	-	-	-
	女	5	-	-	-	-	-	1	-	-	2	2	-
	計	9	-	-	1	-	-	3	-	1	2	2	-
VI 神経系の疾患	男	14	-	-	-	2	1	-	1	2	6	2	-
	女	15	-	-	-	2	3	1	-	2	3	3	1
	計	29	-	-	-	4	4	1	1	4	9	5	1
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
	女	9	-	-	-	1	-	-	3	-	4	1	-
	計	12	-	-	-	1	-	-	3	-	6	2	-
IX 循環器系の疾患	男	47	-	-	-	-	2	1	2	6	13	16	7
	女	70	-	-	-	-	-	1	2	4	8	28	27
	計	117	-	-	-	-	2	2	4	10	21	44	34
X 呼吸器系の疾患	男	279	-	-	4	6	4	5	9	22	48	119	62
	女	221	-	-	3	4	6	7	2	6	30	77	86
	計	500	-	-	7	10	10	12	11	28	78	196	148
XI 消化器系の疾患	男	127	-	-	1	9	4	13	19	19	25	32	5
	女	97	-	-	-	5	7	2	8	6	19	31	19
	計	224	-	-	1	14	11	15	27	25	44	63	24
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	29	-	-	-	3	2	3	-	3	4	9	5
	女	18	-	-	-	1	-	-	2	2	2	8	3
	計	47	-	-	-	4	2	3	2	5	6	17	8
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	20	-	-	-	-	-	-	1	5	3	5	6
	女	26	-	-	-	-	-	2	-	-	6	14	4
	計	46	-	-	-	-	-	2	1	5	9	19	10
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	79	-	-	-	-	-	1	4	2	26	35	11
	女	119	-	-	-	4	1	1	6	2	18	47	40
	計	198	-	-	-	4	1	2	10	4	44	82	51
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	8	-	-	-	-	1	-	-	2	-	5	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	9	-	-	-	-	1	-	-	2	-	6	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	27	-	-	1	3	-	3	4	3	2	5	6
	女	32	-	-	-	2	2	-	1	3	3	10	11
	計	59	-	-	1	5	2	3	5	6	5	15	17
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	66	-	-	-	1	1	-	2	8	16	28	10
	女	51	-	-	-	-	-	1	2	2	3	21	22
	計	117	-	-	-	1	1	1	4	10	19	49	32

◇循環器内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	615	-	-	1	5	18	26	106	107	178	148	26
	女	288	-	-	-	3	4	8	14	23	84	101	51
	計	903	-	-	1	8	22	34	120	130	262	249	77
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	61	-	-	-	2	15	10	19	5	10	-	-
	女	18	-	-	-	-	1	1	4	3	5	4	-
	計	79	-	-	-	2	16	11	23	8	15	4	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	530	-	-	1	2	3	16	86	102	162	136	22
	女	252	-	-	-	2	2	7	10	20	77	88	46
	計	782	-	-	1	4	5	23	96	122	239	224	68
X 呼吸器系の疾患	男	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-
XI 消化器系の疾患	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	13	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	3
	女	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1
	計	22	-	-	-	-	-	-	-	-	4	14	4
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	計	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

◇呼吸器内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	183	-	-	2	3	4	3	4	25	72	53	17
	女	93	-	-	1	2	2	4	8	9	23	29	15
	計	276	-	-	3	5	6	7	12	34	95	82	32
I 感染症および寄生虫症	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	4	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-
	計	5	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	-
II 新生物	男	58	-	-	-	-	-	-	-	7	37	11	3
	女	22	-	-	-	-	-	1	-	3	11	4	3
	計	80	-	-	-	-	-	1	-	10	48	15	6
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
X 呼吸器系の疾患	男	106	-	-	2	3	4	3	4	16	29	33	12
	女	56	-	-	1	2	2	2	6	6	7	19	11
	計	162	-	-	3	5	6	5	10	22	36	52	23
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
	計	5	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	-
XIV 泌尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	4	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	5	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	8	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	1
	女	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	1
	計	13	-	-	-	-	-	-	1	1	1	8	2

◇消化器内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	503	-	-	1	12	12	26	77	101	152	105	17
	女	347	-	-	-	7	10	15	39	37	108	95	36
	計	850	-	-	1	19	22	41	116	138	260	200	53
I 感染症および寄生虫症	男	7	-	-	-	1	-	-	-	1	1	4	-
	女	6	-	-	-	-	-	-	2	-	1	2	1
	計	13	-	-	-	1	-	-	2	1	2	6	1
II 新生物	男	257	-	-	-	-	3	8	33	63	91	53	6
	女	142	-	-	-	1	4	4	18	23	48	36	8
	計	399	-	-	-	1	7	12	51	86	139	89	14
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	5	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	-
	女	6	-	-	-	-	-	-	1	2	2	1	-
	計	11	-	-	-	-	-	1	1	3	5	1	-
X 呼吸器系の疾患	男	6	-	-	-	-	1	-	-	2	1	1	1
	女	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2
	計	10	-	-	-	-	1	-	-	3	1	2	3
XI 消化器系の疾患	男	213	-	-	1	11	8	16	43	32	52	43	7
	女	180	-	-	-	6	6	10	18	11	55	51	23
	計	393	-	-	1	17	14	26	61	43	107	94	30
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	男	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
	計	7	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	3
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	4	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	5	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	1
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-
	計	7	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	1
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇腎臓・高血圧内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	234	-	-	-	-	4	2	24	32	81	74	17
	女	173	-	-	-	1	1	14	6	19	59	51	22
	計	407	-	-	-	1	5	16	30	51	140	125	39
I 感染症および寄生虫症	男	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
	女	3	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1
	計	6	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	1
II 新生物	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1
	計	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1
	女	10	-	-	-	-	-	-	-	1	2	6	1
	計	16	-	-	-	-	-	-	-	1	3	10	2
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	10	-	-	-	-	-	-	1	1	3	4	1
	女	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-
	計	15	-	-	-	-	-	-	1	2	3	8	1
X 呼吸器系の疾患	男	24	-	-	-	-	-	-	1	-	8	10	5
	女	9	-	-	-	-	-	1	-	1	3	1	3
	計	33	-	-	-	-	-	1	1	1	11	11	8
XI 消化器系の疾患	男	4	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	5	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-
	女	10	-	-	-	-	-	2	-	3	4	1	-
	計	14	-	-	-	-	-	2	-	4	4	4	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	155	-	-	-	-	4	2	19	27	58	39	6
	女	106	-	-	-	1	1	9	5	9	42	26	13
	計	261	-	-	-	1	5	11	24	36	100	65	19
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	6	-	-	-	-	-	-	2	-	1	3	-
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	計	9	-	-	-	-	-	-	2	-	1	6	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	14	-	-	-	-	-	-	1	1	5	6	1
	女	13	-	-	-	-	-	-	-	1	4	8	-
	計	27	-	-	-	-	-	-	1	2	9	14	1
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	2
	女	4	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1
	計	10	-	-	-	-	-	1	1	1	1	3	3

◇代謝・内分泌内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	117	-	-	-	2	6	8	25	21	29	24	2
	女	88	-	-	-	4	5	12	10	13	19	22	3
	計	205	-	-	-	6	11	20	35	34	48	46	5
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	4	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-
	計	5	-	-	-	-	-	1	1	2	1	-	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	99	-	-	-	2	5	7	22	16	26	19	2
	女	71	-	-	-	4	5	11	7	12	12	18	2
	計	170	-	-	-	6	10	18	29	28	38	37	4
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
	計	4	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	1
X 呼吸器系の疾患	男	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	計	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-
XI 消化器系の疾患	男	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	計	4	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	3	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	3	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	計	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	男	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
	計	4	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-

◇脳神経内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	160	-	-	1	2	7	8	26	22	33	49	12
	女	144	-	-	1	7	3	5	6	10	38	56	18
	計	304	-	-	2	9	10	13	32	32	71	105	30
I 感染症および寄生虫症	男	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	3	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-
II 新生物	男	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	-
	計	4	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	-
VI 神経系の疾患	男	55	-	-	-	1	6	1	10	10	11	16	-
	女	68	-	-	-	6	3	4	6	4	15	25	5
	計	123	-	-	-	7	9	5	16	14	26	41	5
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
IX 循環器系の疾患	男	77	-	-	-	-	-	6	14	10	15	23	9
	女	50	-	-	-	-	-	1	-	4	14	20	11
	計	127	-	-	-	-	-	7	14	14	29	43	20
X 呼吸器系の疾患	男	7	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2	1
	女	7	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-
	計	14	-	-	-	-	-	-	1	2	3	7	1
XI 消化器系の疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	4	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	4	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1
XIV 泌尿路生殖器系の疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	計	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
	計	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	3	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	4	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	1
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	計	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-

◇血液内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	70	-	-	-	8	-	5	5	5	30	13	4
	女	53	-	-	-	-	-	3	8	6	12	18	6
	計	123	-	-	-	8	-	8	13	11	42	31	10
I 感染症および寄生虫症	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
II 新生物	男	59	-	-	-	8	-	5	5	4	26	11	-
	女	33	-	-	-	-	-	1	3	3	9	13	4
	計	92	-	-	-	8	-	6	8	7	35	24	4
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	7	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	3
	女	10	-	-	-	-	-	1	3	1	3	1	1
	計	17	-	-	-	-	-	1	3	2	4	3	4
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	女	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1
	計	6	-	-	-	-	-	1	-	1	2	1	1

◇リウマチ・膠原病内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 泌尿生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇腫瘍内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇アレルギー科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇神経精神科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇小児科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	666	528	81	49	8	-	-	-	-	-	-	-
	女	545	420	79	44	1	1	-	-	-	-	-	-
	計	1,211	948	160	93	9	1	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	56	39	14	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	62	39	21	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	118	78	35	5	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	6	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	22	10	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	12	3	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	34	13	14	7	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	5	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	33	3	10	12	8	-	-	-	-	-	-	-
	女	27	2	-	24	1	-	-	-	-	-	-	-
	計	60	5	10	36	9	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	197	162	22	13	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	149	111	27	11	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	346	273	49	24	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	4	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	6	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	9	5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	13	7	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	31	28	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	22	20	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	53	48	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	12	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	22	20	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	175	169	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	148	148	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	323	317	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	12	8	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	16	15	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	計	28	23	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	11	7	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	12	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	23	17	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	70	54	14	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	53	36	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	123	90	31	2	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよ ぼす要因および保健サー ビスの利用	男	16	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	13	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	29	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇消化器・一般外科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	495	-	-	3	17	20	34	85	98	131	92	15
	女	302	-	-	1	22	20	17	37	36	78	70	21
	計	797	-	-	4	39	40	51	122	134	209	162	36
I 感染症および寄生虫症	男	4	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-
	女	4	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	-
	計	8	-	-	-	4	-	1	-	1	2	-	-
II 新生物	男	169	-	-	-	-	-	3	33	36	62	31	4
	女	97	-	-	1	2	1	1	10	11	34	33	4
	計	266	-	-	1	2	1	4	43	47	96	64	8
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	女	6	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	2
	計	8	-	-	-	-	-	1	1	1	1	2	2
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
X 呼吸器系の疾患	男	3	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	4	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-
XI 消化器系の疾患	男	306	-	-	3	14	20	27	51	56	65	59	11
	女	182	-	-	-	19	18	15	26	24	39	26	15
	計	488	-	-	3	33	38	42	77	80	104	85	26
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	計	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	男	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
	女	3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-
	計	6	-	-	-	-	1	-	-	3	1	1	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-
	計	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-

◇心臓血管外科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 泌尿生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇呼吸器外科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇小児外科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 泌尿生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇乳腺・内分泌外科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	79	-	-	1	1	3	18	19	15	16	6	-
	計	80	-	-	1	1	3	18	19	16	16	6	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	75	-	-	-	1	3	15	19	15	16	6	-
	計	76	-	-	-	1	3	15	19	16	16	6	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 泌尿生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-
	計	4	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇脳神経外科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	217	-	1	2	1	3	12	26	45	55	59	13
	女	216	3	-	-	-	10	4	14	25	46	80	34
	計	433	3	1	2	1	13	16	40	70	101	139	47
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	15	-	-	-	-	-	3	4	2	5	1	-
	女	13	-	-	-	-	1	-	2	1	3	6	-
	計	28	-	-	-	-	1	3	6	3	8	7	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	36	-	1	1	1	-	4	1	7	12	6	3
	女	31	-	-	-	-	2	-	1	3	3	18	4
	計	67	-	1	1	1	2	4	2	10	15	24	7
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1
	計	4	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1
IX 循環器系の疾患	男	97	-	-	-	-	3	5	16	24	22	23	4
	女	111	-	-	-	-	6	3	7	17	31	33	14
	計	208	-	-	-	-	9	8	23	41	53	56	18
X 呼吸器系の疾患	男	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
XIV 泌尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	66	-	-	1	-	-	-	4	12	16	27	6
	女	51	3	-	-	-	1	-	1	2	9	21	14
	計	117	3	-	1	-	1	-	5	14	25	48	20
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇整形外科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	230	1	2	22	15	20	24	31	47	34	25	9
	女	311	-	2	5	3	7	13	42	45	66	93	35
	計	541	1	4	27	18	27	37	73	92	100	118	44
I 感染症および寄生虫症	男	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
II 新生物	男	4	-	-	1	-	-	1	-	1	1	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
	計	6	-	-	1	-	-	1	1	1	2	-	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	3	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-
	女	4	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-
	計	7	-	-	1	1	-	-	1	2	2	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
XI 消化器系の疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	6	-	-	-	-	1	-	-	2	1	2	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	計	8	-	-	-	-	1	-	-	2	2	3	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	29	-	-	-	-	-	1	5	8	7	7	1
	女	51	-	-	-	-	3	2	1	11	13	21	-
	計	80	-	-	-	-	3	3	6	19	20	28	1
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他の 外因の影響	男	184	1	2	20	14	19	22	25	34	24	15	8
	女	249	-	1	5	3	4	11	39	33	49	69	35
	計	433	1	3	25	17	23	33	64	67	73	84	43
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇形成外科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	35	1	5	2	3	4	5	4	6	3	1	1
	女	22	-	-	1	1	-	4	1	5	4	3	3
	計	57	1	5	3	4	4	9	5	11	7	4	4
I 感染症および寄生虫症	男	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	26	1	4	1	-	1	5	4	5	3	1	1
	女	18	-	-	-	-	-	3	1	5	4	2	3
	計	44	1	4	1	-	1	8	5	10	7	3	4
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
	計	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	4	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	計	5	-	-	-	2	1	1	-	1	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 泌尿生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他の 外因の影響	男	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇皮膚科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇泌尿器科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	498	5	4	6	6	9	19	60	91	181	107	10
	女	109	-	-	-	2	2	9	12	12	26	30	16
	計	607	5	4	6	8	11	28	72	103	207	137	26
I 感染症および寄生虫症	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
II 新生物	男	253	-	-	-	-	1	-	18	53	110	67	4
	女	21	-	-	-	-	-	-	1	6	5	7	2
	計	274	-	-	-	-	1	-	19	59	115	74	6
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	計	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	男	218	2	3	5	5	8	19	41	32	65	33	5
	女	82	-	-	-	2	1	9	10	4	21	23	12
	計	300	2	3	5	7	9	28	51	36	86	56	17
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	14	-	-	-	-	-	-	1	5	3	4	1
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	15	-	-	-	-	-	-	1	6	3	4	1
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	4	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	4	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
XXII 特殊目的コード	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

◇産婦人科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	135	135	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	889	140	-	6	243	387	67	27	11	6	2	-
	計	1,024	275	-	6	243	387	67	27	11	6	2	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	61	-	-	1	5	5	18	15	9	6	2	-
	計	61	-	-	1	5	5	18	15	9	6	2	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-
	計	3	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	48	-	-	-	5	9	22	10	2	-	-	-
	計	48	-	-	-	5	9	22	10	2	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	622	1	-	5	227	366	23	-	-	-	-	-
	計	624	3	-	5	227	366	23	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	計	6	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	130	130	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	143	135	-	-	1	6	1	-	-	-	-	-
	計	273	265	-	-	1	6	1	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

◇眼科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	141	-	-	1	1	-	-	7	23	35	69	5
	女	277	-	-	-	-	-	-	7	24	109	116	21
	計	418	-	-	1	1	-	-	14	47	144	185	26
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	5	-	-	-	-	-	-	2	2	1	-	-
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
	計	8	-	-	-	-	-	-	2	5	1	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	130	-	-	1	1	-	-	5	19	30	69	5
	女	274	-	-	-	-	-	-	7	21	109	116	21
	計	404	-	-	1	1	-	-	12	40	139	185	26
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 泌尿路生殖系系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	5	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	5	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇耳鼻咽喉科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	141	5	12	11	29	34	19	14	9	6	2	-
	女	94	1	5	5	31	10	12	7	9	10	4	-
	計	235	6	17	16	60	44	31	21	18	16	6	-
I 感染症および寄生虫症	男	4	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-
	女	7	-	-	3	3	-	-	1	-	-	-	-
	計	11	-	-	4	4	1	-	1	-	1	-	-
II 新生物	男	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	4	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-
	計	5	-	-	-	-	-	2	1	1	1	-	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	9	-	-	1	1	-	1	2	3	1	-	-
	女	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-
	計	13	-	-	1	1	-	1	2	3	3	2	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	15	5	2	-	-	2	-	2	2	1	1	-
	女	14	1	3	-	1	-	2	-	4	3	-	-
	計	29	6	5	-	1	2	2	2	6	4	1	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	103	-	10	7	25	28	16	10	4	3	-	-
	女	59	-	2	1	26	10	9	4	3	3	1	-
	計	162	-	12	8	51	38	25	14	7	6	1	-
XI 消化器系の疾患	男	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	計	5	-	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	3	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-
	計	4	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇放射線科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇麻酔科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇歯科口腔外科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	計	5	-	-	2	-	1	1	-	-	1	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	計	3	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇リハビリテーション科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇緩和ケア内科 疾病別・年齢階層別・性別 退院患者数 全病名

大分類		合計	0-4 歳	5-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	100	-	-	-	-	2	1	10	12	40	30	5
	女	70	-	-	-	-	-	1	5	6	22	22	14
	計	170	-	-	-	-	2	2	15	18	62	52	19
I 感染症および寄生虫症	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	男	95	-	-	-	-	2	1	10	11	39	27	5
	女	67	-	-	-	-	-	1	5	5	22	21	13
	計	162	-	-	-	-	2	2	15	16	61	48	18
III 血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養および代謝 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V 精神および行動の障害	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
VI 神経系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VII 眼および付属器の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳および乳様突起の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
X 呼吸器系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XI 消化器系の疾患	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
XII 皮膚および皮下組織の 疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII 筋骨格系および結合組織 の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV 妊娠、分娩および 産褥<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形および 染色体異常	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	男	3	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	4	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-
XIX 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XX 傷病および死亡の外因	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響をおよぼ す要因および保健サービ スの利用	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII 特殊目的コード	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◇悪性新生物の性別・年齢階層別、患者数および死亡退院数

2024/4/1 ～ 2025/3/31

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
総 計	男	総数	999	5	3	9	8	28	112	190	396	220	28
		死亡	100	-	-	-	1	1	9	12	37	32	8
	女	総数	602	1	4	9	14	47	78	93	170	143	43
		死亡	81	-	-	-	1	1	5	6	25	26	17
	計	総数	1601	6	7	18	22	75	190	283	566	363	71
C00. 口唇	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C01. 舌根<基底>部	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C02. 舌のその他および 部位不明	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C03. 歯肉	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
C04. 口（腔）底	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C05. 口蓋	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C06. その他及び部位不 明の口腔	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C07. 耳下腺	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C08. その他および部位 不明の大唾液腺	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C09 扁桃	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
C10. 中咽頭	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C11. 鼻<上>咽頭	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C12. 梨状陥凹<洞>	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C13. 下咽頭	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C14. その他部位不明の 口唇、口腔および 咽頭	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C15. 食道	男	総数	12	-	-	-	-	-	1	1	4	3	3
		死亡	3	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
	女	総数	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	14	-	-	-	-	-	1	3	4	3	3
		死亡	3	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
C16. 胃	男	総数	81	-	-	-	-	1	5	17	31	22	5
		死亡	12	-	-	-	-	-	1	-	5	5	1
	女	総数	36	-	-	-	-	-	1	1	10	20	4
		死亡	6	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1
	計	総数	117	-	-	-	-	1	6	18	41	42	9
		死亡	18	-	-	-	-	-	1	-	8	7	2
C17. 小腸	男	総数	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	4	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	7	-	-	-	-	-	2	-	3	2	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C18. 結腸	男	総数	80	-	-	-	2	-	22	16	24	15	1
		死亡	10	-	-	-	1	-	1	2	5	1	-
	女	総数	65	-	1	1	1	1	4	5	22	20	10
		死亡	11	-	-	-	-	1	1	1	1	5	2
	計	総数	145	-	1	1	3	1	26	21	46	35	11
		死亡	21	-	-	-	1	1	2	3	6	6	2
C19 直腸S状結腸移行部	男	総数	15	-	-	-	-	1	4	1	8	-	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	総数	9	-	-	-	-	-	2	2	3	2	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	24	-	-	-	-	1	6	3	11	2	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
C20. 直腸	男	総数	38	-	-	-	-	3	5	9	20	1	-
		死亡	6	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-
	女	総数	15	-	-	-	-	4	-	5	5	-	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	総数	53	-	-	-	-	7	5	14	25	1	1
		死亡	7	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
C21. 肛門および肛門管	男	総数	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
C22. 肝および肝内胆管	男	総数	34	-	-	-	-	-	2	3	14	15	-
		死亡	7	-	-	-	-	-	1	-	3	3	-
	女	総数	23	-	-	-	-	-	1	6	5	9	2
		死亡	5	-	-	-	-	-	1	-	1	2	1
	計	総数	57	-	-	-	-	-	3	9	19	24	2
		死亡	12	-	-	-	-	-	2	-	4	5	1
C23. 胆のう<嚢>	男	総数	6	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	総数	6	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1
		死亡	4	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1
	計	総数	12	-	-	-	-	-	-	4	-	7	1
		死亡	5	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1
C24. その他および部位 不明の胆道	男	総数	17	-	-	-	-	-	2	2	2	8	3
		死亡	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	女	総数	10	-	-	-	-	-	-	1	-	7	2
		死亡	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
	計	総数	27	-	-	-	-	-	2	3	2	15	5
		死亡	5	-	-	-	-	-	1	1	-	1	2
C25. 膵	男	総数	46	-	-	-	-	2	8	7	15	14	-
		死亡	16	-	-	-	-	1	1	2	5	7	-
	女	総数	20	-	-	-	-	-	-	3	12	4	1
		死亡	9	-	-	-	-	-	-	1	4	3	1
	計	総数	66	-	-	-	-	2	8	10	27	18	1
		死亡	25	-	-	-	-	1	1	3	9	10	1
C26. その他の部位不明 確の消化器	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C30. 鼻腔および中耳	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C31. 副鼻腔	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C32. 咽頭	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C33 気管	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C34. 気管支および肺	男	総数	79	-	-	-	-	-	2	9	47	17	4
		死亡	20	-	-	-	-	-	1	3	9	5	2
	女	総数	34	-	-	-	-	-	-	4	16	8	6
		死亡	9	-	-	-	-	-	-	1	5	1	2
	計	総数	113	-	-	-	-	-	2	13	63	25	10
		死亡	29	-	-	-	-	-	1	4	14	6	4

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
C37. 胸腺	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
C38. 心臓、縦隔および 胸膜	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C39. その他および部位 不明確の呼吸器 系および胸腔内臓 器	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C40. (四) 肢の骨および 関節軟骨	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C41. その他および部位 不明の骨および関 節軟骨	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C43. 皮膚の悪性黒色腫	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C44. 皮膚のその他	男	総数	4	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	総数	6	-	-	-	-	-	-	-	2	1	3
		死亡	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	計	総数	10	-	-	-	-	2	-	-	2	2	4
		死亡	3	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-
C45. 中皮腫	男	総数	3	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	3	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C46. カポジ〈Kaposi〉肉腫	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C47. 末梢神経および 自立神経気系	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C48. 後腹膜および腹膜	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
C49. その他の結合組織 および軟部組織	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C50. 乳房	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	85	-	-	1	3	15	23	17	19	7	-
		死亡	8	-	-	-	-	-	2	2	3	1	-
	計	総数	86	-	-	1	3	15	23	18	19	7	-
		死亡	8	-	-	-	-	-	2	2	3	1	-
C51. 外陰（部）	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C52. 膣	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C53. 子宮頸（部）	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	3	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-
		死亡	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	計	総数	3	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-
		死亡	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
C54. 子宮体部	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	10	-	-	-	-	-	2	3	5	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	総数	10	-	-	-	-	-	2	3	5	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
C55. 子宮・部位不明	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C56. 卵巣	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	3	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-
		死亡	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	計	総数	3	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-
		死亡	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
C57. その他および部位不明の女性生殖器	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C58. 胎盤	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C60. 陰茎	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
C61. 前立腺	男	総数	180	-	-	-	-	-	15	41	91	31	2
		死亡	7	-	-	-	-	-	-	-	2	4	1
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	180	-	-	-	-	-	15	41	91	31	2
		死亡	7	-	-	-	-	-	-	-	2	4	1
C62. 精巣〈睪丸〉	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C63. その他部位不明の 男性生殖器	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C64. 腎盂を除く腎	男	総数	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	3	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	総数	6	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
C65. 腎盂	男	総数	5	-	-	-	-	-	1	-	2	1	1
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	6	-	-	-	-	-	1	-	2	2	1
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C66. 尿管	男	総数	18	-	-	-	-	-	-	6	-	10	2
		死亡	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	女	総数	6	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	総数	24	-	-	-	-	-	-	7	2	10	5
		死亡	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
C67. 膀胱	男	総数	51	-	-	-	1	-	2	6	15	25	2
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	総数	8	-	-	-	-	-	1	-	3	2	2
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	59	-	-	-	1	-	3	6	18	27	4
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
C68. その他及び部位不 明の尿路	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
C69. 眼および付属器	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C70. 髄膜	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C71. 脳	男	総数	3	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	4	-	-	-	1	2	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
C72. 脊髄、脳神経およびその他の中枢神経の部位	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C73. 甲状腺	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
C74. 副腎	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C75 その他の内分泌および関連組織	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C76. その他および部位不明確	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C77. リンパ節の続発性および部位不明	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	4	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	5	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C78. 呼吸器および消化器の続発性	男	総数	15	-	-	-	-	-	4	2	3	5	1
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	8	-	-	1	1	-	-	1	3	2	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	総数	23	-	-	1	1	-	4	3	6	7	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C79. その他の部位の続発性	男	総数	18	-	-	-	-	-	-	1	7	10	-
		死亡	3	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-
	女	総数	9	-	-	-	-	-	1	-	3	5	-
		死亡	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	計	総数	27	-	-	-	-	-	1	1	10	15	-
		死亡	5	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-
C80. 部位の明示されないもの	男	総数	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	3	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
		死亡	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	計	総数	5	-	-	-	1	-	-	1	2	1	-
		死亡	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
C81. ホジキン〈Hodgkin〉病	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C82. ろ胞性〔結節性〕非ホジキン〈non-Hodgkin〉リンパ腫	男	総数	3	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	4	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
C83. びまん性非ホジキン<non-Hodgkin> リンパ腫	男	総数	9	-	-	-	-	-	-	-	7	2	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	12	-	-	-	-	-	2	-	2	8	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	21	-	-	-	-	-	2	-	9	10	-
C84. 末梢性および皮膚 T 細胞 リンパ腫	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C85. 非ホジキン <non-Hodgkin> リンパ腫のその他および 詳細不明の型	男	総数	16	-	-	-	-	-	3	1	12	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	総数	9	-	-	-	-	1	1	-	-	3	4
		死亡	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	計	総数	25	-	-	-	-	1	4	1	12	3	4
C86. T/NK 細胞リンパ腫 のその他の明示された型	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C88. 悪性免疫増殖性疾患	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
C90. 多発性骨髄腫および悪性形質細胞性 新生物	男	総数	11	-	-	-	-	1	2	3	3	2	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	7	-	-	-	-	-	-	3	1	3	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	18	-	-	-	-	1	2	6	4	5	-
C91. リンパ性白血病	男	総数	7	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	7	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-
C92. 骨髄性白血病	男	総数	12	-	-	-	-	4	1	-	2	5	-
		死亡	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	女	総数	6	-	-	-	-	-	-	-	5	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	18	-	-	-	-	4	1	-	7	6	-
C93. 単球性白血病	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C94. 細胞型の明示された その他の白血病	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C95. 細胞型不明の白血病	男	総数	6	-	-	1	-	-	-	-	5	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	6	-	-	1	-	-	-	-	5	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
C96. リンパ組織、造血 組織および関連組 織のその他および 詳細不明	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C97. 独立した（原発性） 多部位	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D00. 口腔、食道および 胃の上皮内癌	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D01. その他および部位 不明の消化器上皮 内癌	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D02. 中耳および呼吸器 系の上皮内癌	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D03. 上皮内色黒腫	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D04. 皮膚の上皮内癌	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D05. 乳房の上皮内癌	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D06. 子宮頸（部）の上皮 内癌	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D07. その他および部位 不明の生殖器の上 皮内癌	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D09. その他および部位 不明の上皮内癌	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
D12. 結腸，直腸，肛門 及び肛門管の良性 新生物＜腫瘍＞	男	総数	136	-	-	-	3	4	22	39	51	17	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	80	-	-	1	1	1	15	12	31	19	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	216	-	-	1	4	5	37	51	82	36	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D13. 消化器系のその他及 び部位不明確の良性 新生物＜腫瘍＞	男	総数	5	-	-	-	-	1	1	2	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	4	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	9	-	-	-	-	1	4	3	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D14 中耳及び呼吸器系 の良性新生物＜腫 瘍＞	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D17. 良性脂肪腫性新生 物＜腫瘍＞（脂肪腫 を含む）	男	総数	3	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	3	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D18. 血管腫及びリンパ 管腫，全ての部位	男	総数	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D21. 結合組織及びその 他の軟部組織のそ の他の良性新生物 ＜腫瘍＞	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D22. 結合組織及びその 他の軟部組織のそ の他の良性新生物 ＜腫瘍＞	男	総数	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D23. 皮膚のその他の良 性新生物＜腫瘍＞	男	総数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D25. 子宮平滑筋腫	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	27	-	-	1	1	14	9	2	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	27	-	-	1	1	14	9	2	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D27. 卵巣の良性新生物 ＜腫瘍＞	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	17	-	2	3	4	2	1	3	1	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	17	-	2	3	4	2	1	3	1	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D30. 腎尿路の良性新生 物＜腫瘍＞	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
D32. 髄膜の良性新生物	男	総数	4	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	4	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	8	-	-	-	-	-	4	2	1	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D33. 脳および中枢神経 のその他の部位の 良性新生物	男	総数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D35. その他および部位 不明の内分泌腺の 良性新生物	男	総数	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	3	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	4	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D36. その他の部位及び 部位不明の良性新 生物＜腫瘍＞	男	総数	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D37. 口腔及び消化器の 性状不詳又は不明 の新生物＜腫瘍＞	男	総数	19	-	-	-	-	1	1	4	6	6	1
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	8	-	1	-	1	1	1	-	3	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	27	-	1	-	1	2	2	4	9	7	1
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D38. 中耳、呼吸器及び 胸腔内臓器の性状 不詳又は不明の新 生物＜腫瘍＞	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	3	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	総数	4	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
D39. 女性生殖器の性状 不詳又は不明の新 生物＜腫瘍＞	男	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	7	-	-	1	-	2	2	1	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	7	-	-	1	-	2	2	1	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D40. 男性生殖器の性状 不詳又は不明の新 生物＜腫瘍＞	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D41. 腎尿路の性状不詳又 は不明の新生物 ＜腫瘍＞	男	総数	8	-	-	-	-	-	-	-	5	2	1
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	7	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	15	-	-	-	-	-	-	3	5	6	1
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D43. 脳および中枢神経 の性状不詳または 不明の新生物	男	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D44. 内分泌腺の性状不 詳又は不明の新生 物＜腫瘍＞	男	総数	3	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	4	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大分類			合計	0-9 歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	90 歳 -
D46. 骨髄異形性症候群	男	総数	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	総数	4	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
D47. リンパ組織，造血組織 及び関連組織の性状 不詳又は不明のその 他の新生物〈腫瘍〉	男	総数	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	3	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	総数	5	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D48. その他及び部位不明 の性状不詳又は不明 の新生物〈腫瘍〉	男	総数	19	4	2	1	1	3	2	4	2	-	-
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	総数	13	1	-	-	-	2	1	5	2	1	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	総数	32	5	2	1	1	5	3	9	4	1	1
		死亡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

[目次へ戻る](#)

治験管理室の状況

◇治験・製造販売後調査の科別受託進捗状況

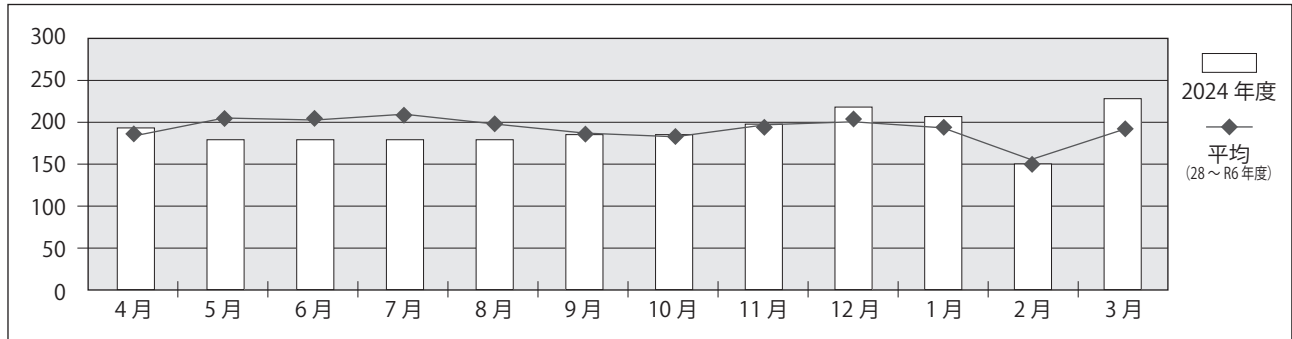
	治 験				製造販売後調査	
	第Ⅰ相試験	第Ⅱ相試験	第Ⅲ相試験	医療機器	使用成績調査	特定使用成績調査
	契約件数 < 契約症例数 > (実施症例数)				新規契約件数	
総合診療内科						
循環器内科						
呼吸器内科						
消化器内科						
腎臓・高血圧内科						
代謝・内分泌内科						
脳神経内科						1
血液内科						
リウマチ・膠原病内科						
腫瘍内科						
緩和ケア内科						
アレルギー科						
神経精神科						
小児科						1
消化器・一般外科						
心臓血管外科						
呼吸器外科						
小児外科						
乳腺・内分泌外科						
脳神経外科						1
整形外科						
形成外科						
皮膚科						
泌尿器科						
産婦人科						
眼科						
耳鼻咽喉科						
放射線科						
麻酔科						
歯科口腔外科						
病理診断科						
合 計						3

[目次へ戻る](#)

医療安全管理室の状況

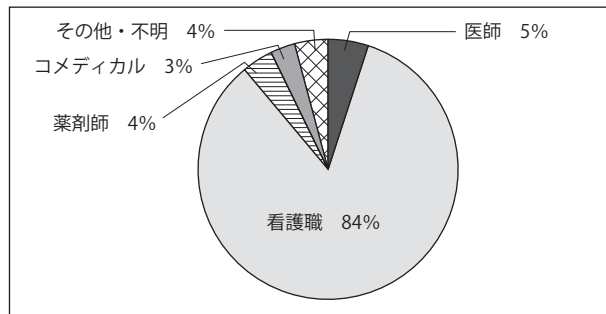
◇セーフティレポート 報告数

項 目	R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計	平均
2024 年度	194	180	180	180	179	183	184	198	218	206	152	225	2,279	189.9
平均 (28～R6 年度)	187	200	202	203	194	188	183	196	199	191	153	189	2284	190.3



◇職種別状況

職 種	報告件数
医師	105
看護職	1,908
薬剤師	84
コメディカル	82
その他・不明	100
合 計	2,279



◇分類別報告件数

項 目		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	合計
薬 剤	処方・与薬（内服）	17	12	15	13	23	17	18	10	18	25	18	23	209
	処方・与薬（点滴）	5	17	7	7	9	7	6	10	14	13	4	4	103
	処方・与薬（その他）	25	24	23	25	18	16	16	24	24	15	21	22	253
	与薬準備	6	7	10	10	9	2	4	7	6	5	8	10	84
	調剤・製剤管理	10	7	1	7	6	11	6	8	4	7	4	13	84
療 養 上 の 世 話	ベッド周囲での転倒	12	7	4	6	7	5	10	10	14	17	12	13	117
	トイレでの転倒	0	0	0	2	0	3	4	3	3	1	0	3	19
	ベッド周囲での転落	9	6	8	1	1	8	4	8	3	10	5	14	77
	その他の場所での転倒・転落	5	4	4	3	2	1	3	1	3	0	1	1	28
	その他の療養上の世話	10	7	16	14	12	13	20	21	17	13	15	7	165
ドレーン・チューブ	点滴ルート自己抜去	32	10	19	13	14	21	12	14	15	18	10	15	193
	NG チューブ自己抜去	9	7	14	5	3	6	18	11	19	16	14	20	142
	気管チューブ・気管カニューレ	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	7
	その他	12	21	20	18	9	15	21	17	27	15	11	20	206
処 置・ 治 療	手術	4	5	2	3	3	5	8	12	2	5	4	5	58
	その他の治療	15	21	15	22	22	28	13	14	19	18	10	21	218
そ の 他	輸血	1	2	1	0	0	1	0	1	1	0	1	2	10
	医療機器等	1	5	7	8	9	1	6	8	2	6	0	7	60
	検査	14	17	12	18	23	19	10	12	20	17	10	23	195
	給食・栄養	7	1	1	4	8	3	4	7	7	4	3	2	51
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		194	180	180	180	179	183	184	198	218	206	152	225	2,279

◇令和6年度 主な取り組み事項

No	項目	取り組み内容
1	■医療事故防止マニュアル・職員ポケットマニュアルの改訂 ①活用度の高いマニュアルの改訂 ②ポケットマニュアル改訂、発行、電子マニュアル活用	<ul style="list-style-type: none"> 医療事故防止マニュアルの改訂。更新は計画通りに実施。 職員に周知させたい内容を新たに掲載、また指針についてはいつでも職員が確認できるツールとしてポケットマニュアルを活用できる視点で内容を更新。
2	■医療安全文化調査の実施 前年度の実施結果に対する課題（情報伝達エラー）に取り組み、評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全文化調査の参加者数は812名。回答の定着が見られ、参加者数は、前年度から横ばいの推移であった。医療安全文化調査の意義、周知を行い、実施した結果を活用できるように働きかける。
3	■医療事故調査制度への対応 ①アクシデント、有害事象発生時の報告体制の強化 ②医療事故調査制度に対する職員への周知・教育 ③院内で発生した重大事故事例を共有し、再発防止に向けた対策を周知する。	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故（事例検討会）事例件数：12件 事故調査支援センター報告事例：1件 全死亡事例の把握については、医療情報部の協力を得て死亡チェックシート（異状死のスクリーニングのため死亡診断書記載時チェック）システムを修正し、7月以降からシートの記載は100%で経過している。
4	■院内で発生した事故事例の再発防止に向けた取り組みと事故防止の啓発 ①『転倒・転落予防チーム』による未然防止、再発防止の視点で目標を立案し継続的に活動する ②『病理・画像レポート未読対策チーム』による、画像診断・病理診断報告レポート未読ゼロ対策の活動を行う ③『CV管理チーム』による、CVカテーテル挿入認定講習医の認定活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> 転倒転落チームは複数回転倒・3b以上の事例で多職種カンファレンスをしている。転倒を繰り返す例も増えており、複数回転倒事例の検討も行っている。転倒防止と共に怪我の防止策を取っていきけるように安全具（マット：テストール）の採用を行った。 病理・画像レポート未読対策チームでは必修研修でシステムの周知を図った。画像レポートの偶発的重要所見は4月から●をつけて目立つようにし、検査翌月の追跡で未対応ケースは月平均1.3件と前年（2.3件）より減少した。 CVチームでは認定講習会を4回実施した。2024年度は32名に対し認定証を発行した。
5	■患者・家族への啓発活動を行うとともに、協働することにより事故防止を目指す ①「患者と医療者のパートナーシップ」の推進 ②ホームページの活用 ③医療安全推進週間イベントの実施 ④患者クレーム・相談に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> 患者と医療者のパートナーシップの冊子を各所設置と入院時パンフレットに入れ込み、医療安全への患者参加を促すためのアプローチを行った。 医療安全推進週間には、【標語イラスト】の院内募集を行い、患者・家族と職員参加型イベント（標語イラストへの投票）へと繋いだ。標語イラスト一覧掲示場所にはポケットティッシュ（前年度標語（ポケットマニュアル表紙）を裏面に挿入）配付箱を設置し、好評を得た。受賞標語イラストは次年度のポケットマニュアルの表紙に掲載した。 医療安全に関連した苦情対応は1件実施した。苦情への対応について医療安全推進部会、医療安全管理委員会、セーフティマネジメント委員会で共有した。
6	■インシデント発生時セーフティレポートを活用できる ①医師レポート / 合併症報告書 / レベル3b以上の事故報告書の提出推進 ②多職種で共有すべき内容や職員への周知が必要な事例をニュースレターで発信 ③再発防止に向けた対策の遵守状況をモニタリングする	<ul style="list-style-type: none"> セーフティレポートの提出件数が2,279件（アクシデント12件）と前年度（2023年度2,186件、アクシデント件数12件）より増加した。 医師（研修医含む）から提出されるセーフティレポートは105件、合併症報告は10件（2023年度セーフティレポート77件、合併症報告5件）で、セーフティレポート同様、前年度より増加した。引き続き医師への動機づけ、周知を行う。 再発防止策の周知、遵守状況は医療安全ラウンド、医療安全ニュースレターを活用して確認した。
7	■医療安全必修研修2回以上 / 年開催できる ①院内研修 <ul style="list-style-type: none"> e-ラーニング研修 院内研修 新入職者、研修医への安全オリエンテーション ②院外研修 <ul style="list-style-type: none"> 学会（自治体病院学会、医療の質・安全学会など） 医療安全関連セミナー 医療安全管理者養成研修受講 	<ul style="list-style-type: none"> 必修研修2回 / 年、認定研修を1回 / 年開催した。全職員が受講率100%とするため、2022年度より未受講者に対しては研修内容に対する課題のレポート提出をもって受講とした。必修研修の未受講者は、1回目0名。2回目は5名で、全員レポート提出し100%の受講率となった。認定研修では、RRS(Rapid Response System)周知を目的とした研修を行った。 日本臨床医学リスクマネジメント学会では『安全にシングルチェックを導入するための取り組み』、医療の質・安全学会では『報告書確認対策チームによる偶発的重要所見未対応の追跡システムの評価』について発表し、当院の取り組み、活動をアピールする機会となった。 医療安全養成研修受講者については報告書体制加算の体制構築のために必要な部署において受講することができている。

◇ SMT ラウンド

毎月第3水曜日に医療安全推進部会メンバーで担当を決め、チェックリストをもとに院内ラウンドを実施。
結果については、毎月医療安全推進部会と師長会にて報告。

第1回5月23日(リハビリテーション科)	転倒・転落防止のための環境チェック	
第2回6月20日(薬剤部)	薬剤の管理状況を確認する(持参薬・配置薬)	
第3回7月25日(看護部)	安全なベッド周辺の環境	
(1)	(2)	(3)
第4回8月22日(画像診断部)	患者誤認防止策の実施状況	
第5回9月26日(CE部)	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使用	
第6回11月21日(事務部)	防犯、施錠の状況	
(4)	(5)	(6)
第7回12月19日(看護部)	個人情報の適切な管理	
第8回1月14日(診療部)	安全な環境	
第9回2月20日(薬剤部)	薬剤の管理状況を確認する(配薬カート・冷蔵庫・配置薬)	
(7)	(8)	

◇医療安全推進週間

毎年、患者さまへの医療安全推進・協働を呼びかける取り組みとして実施しており、2024年度は、『患者さんと医療者のパートナーシップ』をテーマとした【標語イラスト】を院内募集(10/28～11/12)し、34作品の応募がありました。

更に、より多くの利用者(患者・家族)へ周知するため、下記箇所へ応募いただいた標語イラスト一覧ポスターを掲示、ポケットティッシュ配付箱を設置し、シール貼付/フォームによる投票(11/19～11/25)へも参加いただき、401票の投票がありました。

【標語ポスター掲示・ポケットティッシュ配付箱設置場所】

1. 1階～6階 エレベーターホール前
2. 1階 西外来よりの壁
3. 1階 画像診断部前

【標語ポスター掲示・ポケットティッシュ配付箱設置場所】

設置場所		
1～6階 エレベーターホール前	1階 西外来よりの壁	1階 画像診断部前



【ポケットティッシュ】

ポケットティッシュ配付箱を設置し、シール貼付にて投票して下さった方が持って行っていただけのようにしました。
また、ポケットティッシュ裏面に昨年度優秀賞受賞作品(ポケットマニュアル表紙)を挿入し、医療安全推進週間の周知を促しました。



【Google フォーム】

並行し、Google フォームでの投票も受け付けました。

2023年10月11日 水曜日

東京証券取引所（JPO）：東京・経済産業省
および東京証券 本店

東京証券管理
高橋 田中 氏

Good 標語 投票のお願い

皆様より投票希望や運動へのご理解、ご協力ありがとうございます。
東京証券取引所（JPO）の呼びかけとして、「東京証券と投資家とのJPOフォーラム（座談会）」の席から4つのテーマに合った標語をお募集、入選希望、投票に際してはぜひご参加し、票を投じた後50日間の平均得票数でGood 標語賞を決めたいと考えています。

以下ウェブサイトより各テーマごとに1稿、Good 標語をお書きください。ご協力、応援をよろしくお願いいたします。

① 各テーマから投票（推薦票）②
③ このフォームより投票してください

→

QRコード

※それぞれテーマから1つずつ、Good 標語を選んでください。
① 東京証券と投資家とのJPOフォーラム（座談会）
② 投資・株主に関する情報公開（透明性） ③ 投資家高度化
④ 投資家高度化

【投票期間】
2023年11月24日（金）～2023年11月30日（水）17:00 迄

【各テーマを統括して投票（お募集・入選希望）②】

投票フォームの他、各テーマ募集・入選希望場向けに決定的な7つ質問、シールで投票希望の11個の質問から5つを回答して投票することができます。
お募集の方は、フォームから投票シールで投票のどちらの形式からでも可能です。
④ [Marathon 2023 JPO](#) を参照してください。シールで投票をお願いします。





【選挙システム導入予定】
1 1期～9期 エレベーターホール
2 1期 西外英子の家

東京証券管理 市橋 222



◇医療安全推進ニュースレター 発行実績

『医療安全推進ニュースレター』は、医療安全推進部会のメンバーの部署より定期的に(1回/2M)職員の皆さま向けに配信しています。2024年度の病院全体の新しい取り組みや共有すべき情報をリアルタイムでお届けすることを目標に発行してます。

第67号(4月-医療安全管理室)	第68号(6月-CE部)	第69号(7月-看護部)	第70号(8月-薬剤部)
			
第71号(10月-画像診断部)	第72号(12月-事務部)	第73号(1月-診療部)	
			
その他 臨時号 etc			
<p>【臨時号】</p> <p>■臨時号(2025.1月-医療安全推進週間)</p> <p>■臨時号(2023.2月-医療文化調査)</p>			

◇病棟別 主要菌・多剤耐性菌 新規検出患者数

月	主要菌・多剤耐性菌	3児	3緩	3西	4東	4西	5東	5西	6東	6西	ICU	外来	合計
令和6年 4月	黄色ブドウ球菌 (MS)				3	3	5	5	2	1	2		21
	MRSA				1	1	3	1	1		1		8
	緑膿菌				2	2	2		1		1		8
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等				2	3	5	2			2	1	15
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)												0
	フルオロキノロン耐性大腸菌							1		1	2	14	18
	その他					2							2
	CD 抗原のみ陽性									1			1
	CD 抗原・トキシン陽性				1	1							2
	血液培養陽性	1			1	7	7	1	3	2	4	2	28
	月 計 (血液培養陽性を除く)	0	0	0	9	12	15	9	4	3	8	15	75
5月	黄色ブドウ球菌 (MS)	2			3	2	7	4	1	6	1		26
	MRSA		1		1	1	2	2	1	1	2		11
	緑膿菌					2	2	2	4				10
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等				3	3	8	6	1	3	2		26
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)												0
	フルオロキノロン耐性大腸菌					1		2		1		16	20
	その他												0
	CD 抗原のみ陽性								1				1
	CD 抗原・トキシン陽性							1					1
	血液培養陽性	1			4	9	5	6	7	3	4	1	40
	月 計 (血液培養陽性を除く)	2	1	0	7	9	19	17	8	11	5	16	95
6月	黄色ブドウ球菌 (MS)				1	5	3	1		3	2		15
	MRSA						3	2	1	1			7
	緑膿菌						3			3			6
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等			1		2	3	2	1	3		4	16
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)												0
	フルオロキノロン耐性大腸菌					1		1	3			9	14
	その他					1				2			3
	CD 抗原のみ陽性				1				1				2
	CD 抗原・トキシン陽性												0
	血液培養陽性	1			5	4	1	2	8	3	4	3	31
	月 計 (血液培養陽性を除く)	0	0	1	2	9	12	6	6	12	2	13	63
7月	黄色ブドウ球菌 (MS)	2		1		1	6	3	2	4	2		21
	MRSA				3		1		1	2	1		8
	緑膿菌				2	3	2	1	2	1			11
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等			1	1	2	5		1	3	1	2	16
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)												0
	フルオロキノロン耐性大腸菌						2			1		8	11
	その他	1						1					2
	CD 抗原のみ陽性			1									1
	CD 抗原・トキシン陽性									2			2
	血液培養陽性				2	4	4	2	6	2	4	1	25
	月 計 (血液培養陽性を除く)	3	0	3	6	6	16	5	6	13	4	10	72

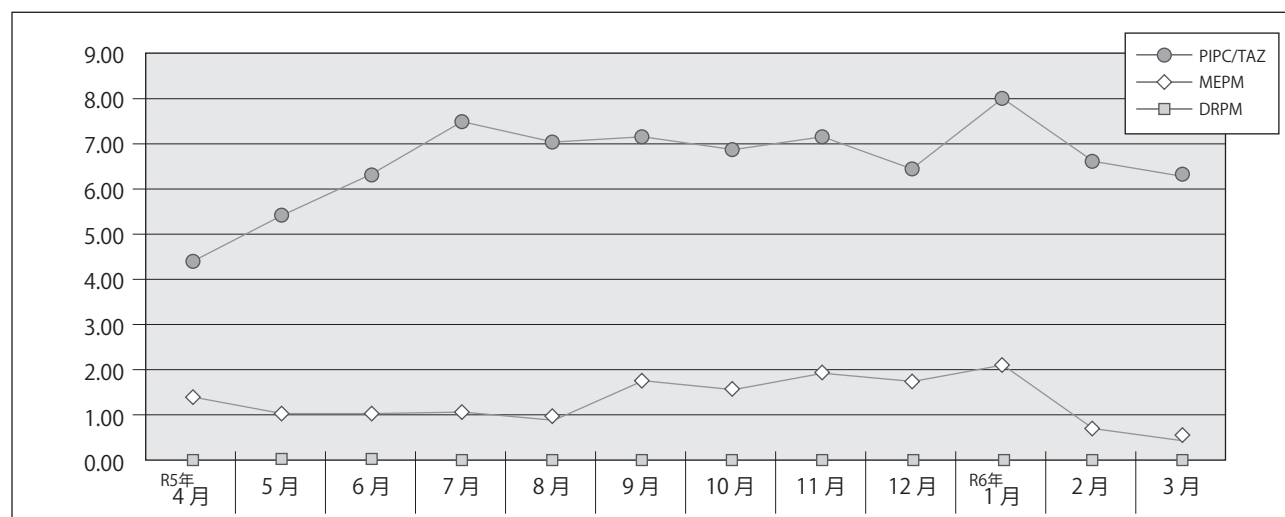
月	主要菌・多剤耐性菌	3児	3緩	3西	4東	4西	5東	5西	6東	6西	ICU	外来	合計
8月	黄色ブドウ球菌 (MS)				1	2	6	2	1	2	1		15
	MRSA				2		4			1			7
	緑膿菌				1	1	8		3	1			14
	2R/MDRP					1							1
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等			1	2	1	9	1	3			2	19
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)				1		1						2
	フルオロキノロン耐性大腸菌						2	2		1		5	10
	その他												0
	CD 抗原のみ陽性				1								1
	CD 抗原・トキシシン陽性				2	2		1	1	1			7
	血液培養陽性			1	3	2	8	2	3	1	5	2	27
	月 計 (血液培養陽性を除く)	0	0	1	10	7	30	6	8	6	1	7	76
9月	黄色ブドウ球菌 (MS)				2		6	3	3	2	1		17
	MRSA			1	1	4	2	1			1		10
	緑膿菌				1	2	2	1		3	1		10
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等			1	3	1	5		2	2	1	1	16
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)												0
	フルオロキノロン耐性大腸菌			1	1			1	2			7	12
	その他					1						1	2
	CD 抗原のみ陽性				1							2	3
	CD 抗原・トキシシン陽性												0
	血液培養陽性				4	5	7	3	3	1	4	3	30
	月 計 (血液培養陽性を除く)	0	0	3	9	8	15	6	7	7	4	11	70
10月	黄色ブドウ球菌 (MS)				3	3	5	2	3	2			18
	MRSA					2	7	3	1	1			14
	緑膿菌					2	2	2		1			7
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等				3	1	4	2	1	1		5	17
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)					1		1					2
	フルオロキノロン耐性大腸菌							1	1			7	9
	その他												0
	CD 抗原のみ陽性				1	1							2
	CD 抗原・トキシシン陽性												0
	血液培養陽性	1			2	6	2	5	4		3		23
	月 計 (血液培養陽性を除く)	0	0	0	7	10	18	11	6	5	0	12	69
11月	黄色ブドウ球菌 (MS)				1	4	2		1	3	1		12
	MRSA				3		2	1		2			8
	緑膿菌				4	1	6		1	2			14
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等					2	2	1	2	2	1	5	15
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)												0
	フルオロキノロン耐性大腸菌								1	1		8	10
	その他					1							1
	CD 抗原のみ陽性					1	2	1		1			5
	CD 抗原・トキシシン陽性					1	2	1					4
	血液培養陽性	1			2	5	5	1	5	5	6	4	34
	月 計 (血液培養陽性を除く)	0	0	0	8	10	16	4	5	11	2	13	69

月	主要菌・多剤耐性菌	3児	3緩	3西	4東	4西	5東	5西	6東	6西	ICU	外来	合計
12月	黄色ブドウ球菌 (MS)				5	4	7	7	4	4	1		32
	MRSA				2	1	1		1	1			6
	緑膿菌				1	1	2	1	2		1		8
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等				1	1	4	4	4	7		3	24
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)									2			2
	フルオロキノロン耐性大腸菌					1	1					7	9
	その他								1			1	2
	CD 抗原のみ陽性									1	1		2
	CD 抗原・トキシン陽性					1	2		1				4
	血液培養陽性			2		10	6	4	3	4	5	4	38
	月 計 (血液培養陽性を除く)	0	0	0	9	9	17	12	13	15	3	11	89
令和 7 年 1 月	黄色ブドウ球菌 (MS)	2	1		2	1	4	4	2	3			19
	MRSA				2		2		2	1			7
	緑膿菌				2	4	2	2		4			14
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等		1		2	6	6	1	4	4	1	2	27
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)												0
	フルオロキノロン耐性大腸菌					1	1	2		1	2	6	13
	その他												0
	CD 抗原のみ陽性												0
	CD 抗原・トキシン陽性						1		2	1			4
	血液培養陽性				1	7	9	2	1	7	7	4	38
	月 計 (血液培養陽性を除く)	2	2	0	8	12	16	9	10	14	3	8	84
2 月	黄色ブドウ球菌 (MS)					1	2	3	1	3			10
	MRSA				1	1	3	1	2	1			9
	緑膿菌					2	3	2	2				9
	2R/MDRP					1							1
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等				2	2	3	3	4	8	1	3	26
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)					2				1			3
	フルオロキノロン耐性大腸菌								1	1	1	8	11
	その他	1											1
	CD 抗原のみ陽性						3		1			1	5
	CD 抗原・トキシン陽性				1	1	1						3
	血液培養陽性					5	5	1	2	2	3	3	21
	月 計 (血液培養陽性を除く)	1	0	0	4	10	15	9	11	14	2	12	78
3 月	黄色ブドウ球菌 (MS)	1			3	4	10	6	4	2			30
	MRSA						4	2	1	3	1		11
	緑膿菌						2	3					5
	2R/MDRP												0
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等				3	1	3	2	2	1			12
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)					1							1
	フルオロキノロン耐性大腸菌						1	2		3		2	8
	その他					1							1
	CD 抗原のみ陽性				1								1
	CD 抗原・トキシン陽性				2	1				1			4
	血液培養陽性					4	6	4	1	1	2	5	23
	月 計 (血液培養陽性を除く)	1	0	0	9	8	20	15	7	10	1	2	73

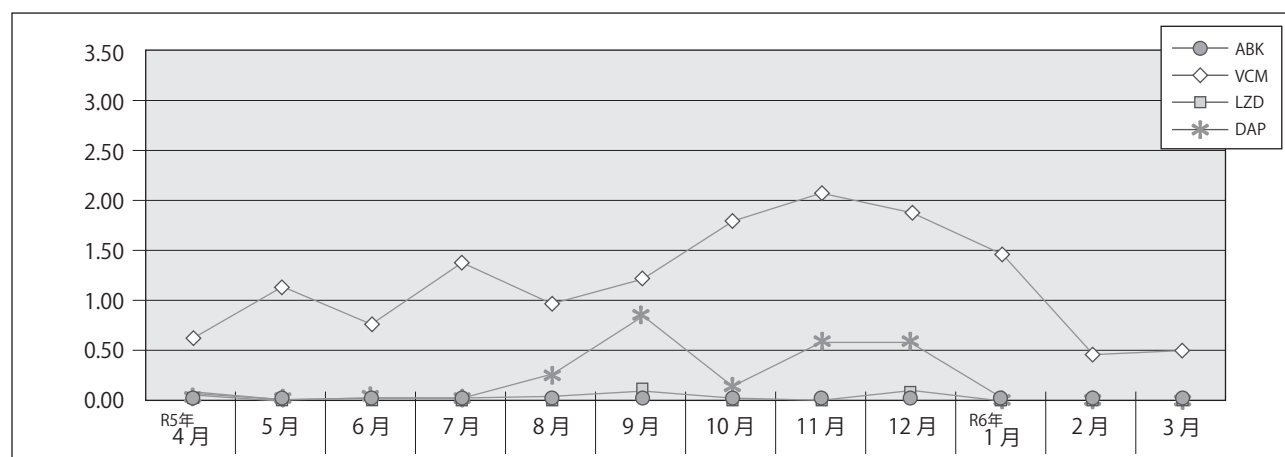
◇病棟別 主要菌・多剤耐性菌 新規検出患者数 <病棟別年度合計>

令和6年度	主要菌・多剤耐性菌	3東 小児	3東 緩和	3西	4東	4西	5東	5西	6東	6西	ICU	外来	合計
	黄色ブドウ球菌 (MS)	7	1	1	24	30	63	40	24	35	11		236
	MRSA	0	1	1	16	10	34	13	11	14	6		106
	緑膿菌	0	0	0	13	20	36	14	15	15	3		116
	2R/MDRP	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0		2
	多剤耐性腸内細菌 ESBL 等	0	1	4	22	25	57	24	25	34	9	28	229
	カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)	0	0	0	1	4	1	1	0	3	0	0	10
	フルオロキノロン耐性大腸菌	0	0	1	1	4	7	12	8	10	5	97	145
	その他	2	0	0	0	6	0	1	1	2	0	2	14
	CD 抗原のみ陽性	0	0	1	5	2	5	1	3	3	1	3	24
	CD 抗原・トキシン陽性	0	0	0	6	7	6	3	4	5	0	0	31
	血液培養陽性	5	0	3	24	68	65	33	46	31	51	32	358
	年 度 計	9	3	8	88	110	209	109	91	121	35	130	913

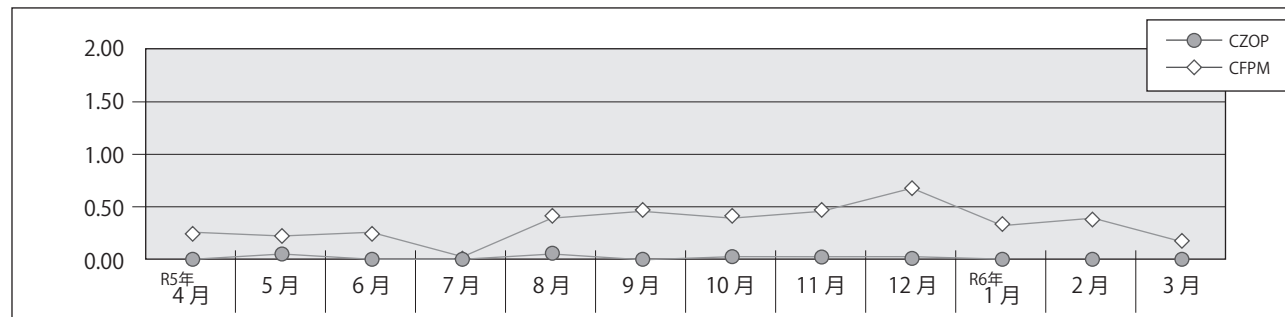
◇ゾシン・カルバペネム（2024/04～2025/03）



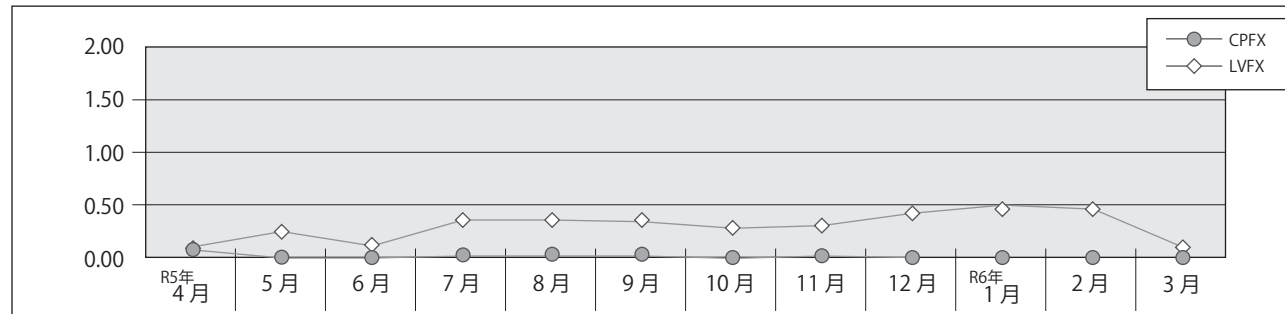
◇抗 MRSA（2024/04～2025/03）



◇第4世代セフェム（2024/04～2025/03）



◇キノロン（2024/04～2025/03）



図書室の状況

◇相互貸借利用状況

区 分		R6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年 1月	2月	3月	年度合計	月平均	前年度
大学	人数	2	0	0	1	2	1	2	1	1	2	0	1	13	2.0	26
	件数	2	0	0	18	6	5	14	1	2	3	0	2	53	4.4	105
学外	人数	3	2	6	4	2	7	3	4	3	5	3	2	44	3.7	31
	件数	5	10	10	15	4	11	7	7	3	9	4	2	87	7.3	67
合計	人数	5	2	6	5	4	8	5	5	4	7	3	3	57	4.8	57
	件数	7	10	10	33	10	16	21	8	5	12	4	4	140	11.7	172

[目次へ戻る](#)

視察及び見学

番号	来訪機関	目的	期間	人数	部署
1	川崎市立菅中学校	職場体験	2024年5月30日	10	看護部・薬剤部・リハビリテーション科
2	川崎市立菅生中学校	職場体験	2024年10月2日	6	看護部・薬剤部・リハビリテーション科
3	川崎市立井田病院	病院機能評価に対する取組みの視察	2024年10月10日	6	総務課・看護部
4	川崎市立平中学校	職場体験	2024年11月1日	4	看護部
5	川崎市立麻生中学校	職場体験	2024年11月1日	5	看護部
6	川崎市立中野島中学校	職場体験	2024年11月13日	6	看護部
7	川崎市立生田中学校	職場体験	2024年11月19日	4	看護部
8	川崎市立向丘中学校	職場体験	2024年12月5日	8	看護部・薬剤部・リハビリテーション科
9	川西市議会	行政視察	2025年1月10日	9	総務課
10	平塚市民病院	緩和ケア病棟の視察	2025年1月31日	6	緩和ケア病棟

[目次へ戻る](#)

研修・講演会等

◇地域医療従事者向け研修会

実施日	名称	講師（敬称略）	内容	参加者
令和 6 年 4 月 18 日	川崎北部骨折予防連携のための会	男山病院 外来看護師 酒井啓子 男山病院 薬剤部 原 敬 男山病院 副院長 山崎 久	・ OLS 活動立ち上げから現在までの歩み ・ 骨粗鬆症外来におけるマネージャ ・ 当院における骨粗鬆症診療の現状と課題	現地参加 29 名 WEB 参加 85 名
6 月 19 日	TAMA ネット 第 1 回定例会	帝京大学医学部外科学講座 Acute Care Surgery 部門 病院准教授 伊藤 香	・ 緊急 ACP について	院外訪問 看護師 9 名 ケアマネ 10 名 MSW2 名 理学療法士 2 名
6 月 24 日	川崎市北部医療連携 後援会	弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科学講座助教 梶 友紘 埼玉医科大学国際医療セン ター脳神経内科 脳卒中内科教授 加藤裕司	・ 脳卒中の急性期治療について ・ 脳卒中後の疼痛管理	院内 25 名 院外 10 名
7 月 17 日	TAMA ネット 第 1 回学習会	司会：訪問看護ステーション 長沢ひまわり 臼田管理者	・ 事務局、会計係選出 活動計画立案 診療報酬、介護報酬改定について情報共有 各事業所の状況報告、共有	ZOOM 会議 院内 4 名 院外 14 名
7 月 28 日	第 53 回川崎地区外 傷セミナー (川崎 JPTEC コース)	救急災害医療センター 野村 悠 救急救命士 東 祐樹	・ 外傷診療学習教育	院内 5 名 院外 13 名
9 月 11 日	TAMA ネット 第 2 回定例会	司会：Luxem 訪問看護ステーション川崎多摩 武澤管理者	・ 第 1 回学習会計画 ・ 第 2 回学習会の内容検討 各事業所の状況報告、共有	ZOOM 会議 院内 4 名 院外 18 名
9 月 20 日	STOP！脳卒中 ～予防と治療を考え る～	多摩病院循環器内科 樋熊拓未 多摩病院脳神経外科 小野 元	・ 心房細動とどう向き合うか ・ 脳卒中の予防と治療について	WEB 会議 院内 3 名 院外 17 名
9 月 25 日	多職種で取り組む 地域連携×緩和ケア	川崎市立多摩病院緩和ケア内 科 相原菜里 多摩ファミリークリニック 高木 暢 在宅看護センターグロース唯 山田久美 なの花薬局登戸店 早川晃央	・ 緩和ケア病床と緩和ケア治療について ・ 在宅医療における緩和ケア ・ 地域連携×緩和ケア	ハイブリッド 院内 25 名 院外 30 名
9 月 26 日	第 12 回 川 崎 北 部 PD セ ミ ナー	川崎市立多摩病院腎センター 看護師 吉田美香 東北医科薬科大学 腎臓分泌内科 教授 森 健文	・ 当院の PD と地域連携の実際 ・ 高齢 PD 患者を地域でサポートするために	対面式 院内 17 名 院外 38 名
10 月 16 日	第 1 回学習会 災害看護で大切なこ と	多摩病院 5 西副院長 國谷さやか 川崎市地域包括ケア推進室 専門支援担当 佐々木瑞穂 司会：多摩病院外来 石岡副院長	・ 能登半島地震 DMAT 活動から学んだこと ・ 能登半島地震の支援から得た災害看護について ～行政保健師の立場～	ハイブリッド 院内 27 名 院外 17 名
10 月 17 日	健康づくり・介護予 防講座	川崎市立多摩病院 竹本彩夏	・ 正しく学ぼう動脈硬化～血糖値の嘘・ホント～	多摩区役所地域みま もり支援センター
10 月 24 日	健康づくり・介護予 防講座	川崎市立多摩病院 吉田浩幸	・ 自分では気づかない睡眠時無呼吸症候群	多摩区役所地域みま もり支援センター

実施日	名称	講師（敬称略）	内容	参加者
10月31日	第26回 多摩病院 生涯教育研修会	薬剤部 神林万里奈 薬剤部主任 中島敦美 なの花薬局登戸店 早川晃央	・川崎市立多摩病院の取り組み 有害事象の評価と支持療法 について / 連携充実加算 ・がん患者を支える地域での連 携	ハイブリッド 院内 12 名 院外 7 名
11月21日	2024 年度 第 1 回多摩病院 薬剤部抄読会	薬剤部主任 藤重瑤子	・高齢者の入院患者における Polypharmacy 介入	ハイブリッド 院内 9 名 院外 5 名
11月25日	健康づくり・介護予 防講座	川崎市立多摩病院 松永光太郎	・飲むなら知ろう肝臓の話	多摩区役所地域みま もり支援センター
11月28日	健康づくり・介護予 防講座	川崎市立多摩病院 八木麻衣子	・普段からできる運動	多摩区役所地域みま もり支援センター
12月5日	BEAMS in 川崎	認定 NPO 法人 CFJ 山田不二子	・医療従事者向け虐待対応プロ グラム	対面式 院内 12 名 院外 21 名
12月6日	川崎北部 CKD-MBD 医療連携の会	大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学特任教授 坂口悠介	・冠動脈石灰化結節の治療戦略 における腎臓内科医の役割	ハイブリッド 院内 2 名 院外 27 名 (現地 6 名)
令和 7 年 1 月 30 日	第 2 回学習会 整えすぎない ACP	登戸だんだん訪問看護 新井管理者 のぞみ訪問看護リハビリテ ーションチーム登戸 和田管理者 たまふれあい訪問看護ステ ーション 千葉原 Luxem 訪問看護リハビリテ ーション川崎多摩 渡邊 司会：ひばりの森訪問看護ス テーション多摩 佐々木管理者	・訪問看護ステーション 4 か 所より事例紹介 ・ACP の課題と対策について グループワーク	ハイブリッド 院内 26 名 院外 30 名
2月20日	第 27 回 多摩病院 生涯教育研修会	薬剤部主査 松本 浩 整形外科部長 大沼弘幸	・当院における骨折予防チーム の立ち上げと取り組み ・薬剤師としてどう考える？ ～ フレイル骨粗しょう症治 療との関わり方～	ハイブリッド 院内 16 名 院外 4 名
2月22日	多摩区歯科医師会主 催 講演会	多摩病院歯科・口腔外科 新井 剛	・歯科医師会員向け講演会	対面式 院内 7 名 院外 45 名
2月28日	総合診療内科主催 カンファレンス	総合診療内科副部長 家 研也	・院内外医師による症例検討会	対面式 院内 9 名 院外 20 名
3月27日	2024 年度 第 2 回多摩病院 薬剤部抄読会	薬剤部 武田真央	・日本の高齢者におけるスタチ ン使用と認知症 リスクの 関連性	ハイブリッド 院内 20 名 (現地 14 名 Web6 名) 院外 34 名

◇登録紹介医向け動画 QR コード配信

配信用	タイトル	内容	講師	
令和 6 年 4 月	多摩病院 動画配信 第 46 回	診療科案内	緩和ケア内科	森山 久美
令和 6 年 5 月	多摩病院 動画配信 第 47 回	診療科案内	消化器内科	松永光太郎
令和 6 年 6 月	多摩病院 動画配信 第 48 回	診療科案内	泌尿器科	吉岡 まき
令和 6 年 8 月	多摩病院 動画配信 第 49 回	診療科案内	歯科口腔外科	市川はるの
令和 6 年 9 月	多摩病院 動画配信 第 50 回	診療科案内	脳神経内科	大熊 壮尚
令和 6 年 10 月	多摩病院 動画配信 第 51 回	診療科案内	眼科	海老原紘子
令和 6 年 11 月	多摩病院 動画配信 第 52 回	診療科案内	呼吸器内科	西田 皓平
令和 7 年 1 月	多摩病院 動画配信 第 53 回	診療科案内	血液内科	上村 悠
令和 7 年 2 月	多摩病院 動画配信 第 54 回	診療科案内	整形外科	大沼 弘幸
令和 7 年 3 月	多摩病院 動画配信 第 55 回	診療科案内	循環器内科	樋熊 拓未

◇地域連携会合

実施日時	場所	内容	主催者	参加者
令和 6 年 6 月 18 日 (火) 19:30 ~ 21:00	ホテルモリノ新百合丘	多摩区医師会懇親会	多摩区医師会	院内 42 名
11 月 5 日 (火) 19:30 ~ 21:00	ホテルモリノ新百合丘	川崎市立多摩病院 地域連携 の会	川崎市立多摩病院医療相談セ ンター	院外 130 名 院内 41 名
令和 7 年 1 月 22 日 (水) 19:30 ~ 21:00	ホテルモリノ新百合丘	多摩区医師会新年会	多摩区医師会	院内 28 名

◇地域医療連携活動実績

実施日時	場所	内容	主催者	参加者
令和 6 年 4 月 18 日 (木) 18:00 ~ 19:00	2 階講堂	川崎北部骨折予防の連携のた めの会	川崎北部医療連携推進の会	佐藤・荒井
5 月 21 日 (火) 15:00 ~ 17:00	宮前区役所向ヶ丘出 張所 2 階大会議室	相談支援・ケアマネジメント 調整会議 「急な退院！本当に在宅で生 活できるの？」	フレンド神木地域包括支援セン ター	佐藤
7 月 25 日 (木) 13:30 ~ 14:30	リモート会議	令和 6 年度第 1 回かながわ医 療通訳派遣システム事業運営 委員会部会	かながわ医療通訳派遣システム 事業運営委員会事務局	安重
7 月 26 日 (金) 14:30 ~ 16:00	リモート会議	令和 6 年度第 1 回ケア児等 支援ネットワーク会議	川崎市健康福祉局地域ケア推進 室	菊池
8 月 2 日 (金) 10:00 ~ 12:00	多摩区役所 1 階講堂	多摩区要保護児童対策地域協 議会実務者会議区代表者部会 「子どもの権利擁護」 「一時保護所の機能・役割」	川崎市多摩区地域みまもり支援 センター	佐藤
9 月 11 日 (水) 15:00 ~ 16:30	宮前区役所向ヶ丘出張 所 2 階大会議室	退院調整	フレンド神木地域包括支援セン ター	川上

実施日時	場所	内容	主催者	参加者
9月19日（木） 10:00～12:00	多摩区役所 1 階講堂	令和 6 年度多摩区要保護児童 対策地域協議会 スーパーバイズ「地域のネッ トワークにおける協働した支 援のあり方」	多摩区役所地域支援課	佐藤
11月25日（月） 16:00～17:00	リモート会議	令和 6 年度 第 1 回 KCAP・MSW 部会	KCAP 事務局	佐藤・菊池
11月26日（火） 18:00～20:00	リモート会議	令和 6 年度 KCAP・MSW 全体会	KCAP 事務局	佐藤・菊池
12月4日（水） 19:00～20:00	多摩区休日診療所 2 階大会議室	令和 6 年度第 2 回多摩区在宅 療養推進協議会	多摩区医師会 川崎市健康福祉局地域包括ケア 推進室	郡 Ns・佐藤
令和 7 年 1 月 27 日（月） 14:00～16:00	宮前区役所 4 階大会 議室	令和 6 年度宮前区相談支援・ ケアマネジメント推進委員会 研修会 急性期病院における入退院支 援について	川崎市宮前区役所高齢・障害課	佐藤
2月17日（月） 15:30～17:00	リモート会議	令和 6 年度 第 2 回 KCAP・MSW 部会	KCAP 事務局	菊池
3月11日（火） 11:00～12:00	リモート会議	令和 6 年度第 2 回かながわ医 療通訳派遣システム事業運営 委員会部会	かながわ医療通訳派遣システム 事業運営委員会事務局	佐藤
3月13日（木） 10:00～11:30	リモート会議	令和 6 年度第 2 回医ケア児等 支援ネットワーク会議	川崎市健康福祉局地域ケア推進 室	菊池

◇有識者を招聘して開催した連携会議

実施日時	場所	内容	主催者	参加者
令和 7 年 2 月 25 日（火） 18:00～19:30	リモート会議	聖マリアンナ医科大学病院と 関係医療機関との交流会 病病連携の会	聖マリアンナ医科大学病院 メディカルサポートセンター	佐藤・川上・ 菊池・塩田

◇ TAMA ネット 活動実績

実施日時	テーマ	会場・形式 / 講師・司会	参加者
令和 6 年 7 月 17 日 (水) 17:30 ～ 19:00	第 1 回定例会 ・事務局・会計係選出 ・診療報酬・介護報酬改定について情報共有 ・活動計画立案 ・各事業所の状況報告・共有	ZOOM 司会：訪問看護ステーション長 沢ひまわり 臼田管理者	計 18 名 (院外 14 名・院内 4 名) TAMA ネット会員 川崎市地域包括ケア推進室 総合リハビリテーション推進センター
9 月 11 日 (水) 17:30 ～ 19:00	第 2 回定例会 ・第 1 回学習会計画 ・第 2 回学習会の内容検討 ・各事業所の状況報告・共有	ZOOM 司会：Luxem 訪問看護リハビリステーション川崎多摩 武澤管理者	計 21 名 (院外 18 名・院内 4 名) TAMA ネット会員 川崎市地域包括ケア推進室 総合リハビリテーション推進センター
10 月 16 (水) 17:30 ～ 19:00	第 1 回学習会 災害看護で大切なこと 活動報告 ・能登半島地震 DMAT 活動から学んだこと ・能登半島地震の支援から得た災害看護について ～行政保健師の立場から～ ・事前に備えておくこと、多摩区での災害対策についてグループワーク	集合と ZOOM 講師： ①川崎市立多摩病院 5 西副師長 國谷さやか氏 ②川崎市地域包括ケア推進室専門支援担当 佐々木瑞穂氏 司会：多摩病院外来 石岡副師長	計 44 名 (院外 17 名・院内 27 名) ケアマネジャー 9 名 訪問看護 7 名 川崎市地域包括ケア推進室 1 名 多摩病院 27 名
令和 7 年 1 月 30 日 (木) 17:30 ～ 19:00	第 2 回学習会 整えすぎない ACP ・訪問看護ステーション 4 ヲ所より事例紹介 ・ACP の課題と対策についてグループワーク	集合と ZOOM 講師： ①登戸だんだん訪問看護 新井管理者 ②のぞみ訪問看護リハビリテーションチーム登戸 和田管理者 ③たまふれあい訪問看護ステーション 千葉原氏 ④Luxem 訪問看護リハビリステーション川崎多摩 渡邊氏 司会：ひばりの森訪問看護ステーション多摩 佐々木管理者	計 56 名 (院外 30 名・院内 26 名) ケアマネジャー 4 名 地域包括支援センター 1 名 訪問看護 20 名 川崎市地域包括ケア推進室 2 名 総合リハビリテーション推進センター 3 名 多摩病院 26 名
3 月 19 日 (水) 17:30 ～ 19:00	第 3 回定例会 ・学習会アンケート結果共有 ・活動内容の振り返り ・次年度活動計画立案 ・各事業所の状況報告・共有	集合と ZOOM 司会：向丘訪問看護ステーション 小笠原管理者	計 25 名 (院外 15 名・院内 10 名) TAMA ネット会員 川崎市地域包括ケア推進室 総合リハビリテーション推進センター

◇医療安全研修会一覧（院内）

No.	開催日	対象者	参加者	内容
1	令和6年 4月2日	新入職者 新入職研修医	12名	■職員オリエンテーション 医療安全について ・知っておくと役に立つこと ・知っておかないとまずいこと
2	4月18日	CVカテーテル 挿入認定医取 得希望医師	◆受講者：5名 / ◆指導者：1名	■2024年度第1回CVカテーテル挿入 講習会 ～シミュレーション実技～ 別途：参考動画、参考資料配付
3	6月28日	昭和薬科大学 実習生①	昭和薬科大学実習生5名	■医療安全研修（学生） セーフティマネジメント ・医療安全管理について 岡田みちよ（医療安全管理者）
4	7月31日～ 9月6日	多摩病院職員 （パート・委託・ 派遣職員含む）	1,158名 （医師128名・看護師445名・事務 99名・委託194名・他292名）	■第1回医療安全必修研修 【Safety Plus】 【11：07】〈医薬品安全管理講習〉 【8：46】〈医療接遇〉 【11：24】〈病理・未読レポート未読防 止対策〉
5	9月18日	看護部看護補 助者	看護補助者40名	■医療安全研修（看護補助者） ・医療安全を知る 岡田みちよ（医療安全管理者）
6	10月15日	昭和薬科大学 実習生②	昭和薬科大学実習生5名	■医療安全研修（学生） セーフティマネジメント ・医療安全管理について 岡田みちよ（医療安全管理者）
7	11月19日	CVカテーテル 挿入認定医取 得希望医師	◆受講者：1名 / ◆指導者：1名	■第2回CVカテーテル挿入講習会 ～シミュレーション実技～ 別途：参考動画、参考資料配付
8	12月2日～ 12月28日	医師／看護師	469名（医師89名・看護師380名）	■医療安全認定研修 【Safety Plus】16：02 RRS（Rapid Response System）について ○救急災害医療センター 高松由佳
9	12月5日	CVカテーテル 挿入認定医取 得希望医師	◆受講者：2名 / ◆指導者：2名	■第3回CVカテーテル挿入講習会 ～シミュレーション実技～ 別途：参考動画、参考資料配付
10	12月20日	昭和薬科大学 実習生③	昭和薬科大学実習生5名	■医療安全研修（学生） セーフティマネジメント ・医療安全管理について 岡田みちよ（医療安全管理者）
11	令和7年 2月18日～ 3月18日	多摩病院職員 （パート・委託・ 派遣職員含む）	1,052名 （医師163名、看護師455名、事務 106名、コメディカル183名、委託・ 他145名）	■第2回医療安全必修研修 【Safety Plus】10：48 課題：セーフティレポート感謝祭 ～セーフティレポートの事例・集計結果 から皆様にお伝えしたいこと～ ○岡田みちよ（医療安全管理者）

◇医療安全研修会一覧（院外）

No.	開催日	研修名	参加者数
1	令和6年5月～ 令和7年3月	2024年度医療安全推進ネットワーク交流会 ■県看護協会医療安全推進ネットワーク交流会	(Web参加) 医療安全管理者：1名
2	6月28日（金） 19:00～20:15	医療の質改善・患者安全セミナー（第1回） 近時の裁判例と医療安全業務の実際から学ぶカルテ記載の重要性確認 ■京都大学医学部附属病院 医療安全管理部	(Web参加) 医療安全管理者：1名 / 医師：1名
3	8月11日（土） 9:00～18:00	医療安全セミナー TeamSTEPPS 近畿大学 辰巳陽一 ■日本臨床医学リスクマネジメント学会	(Web参加) 医療安全管理者：1名
4	8月9日（金）～ 8月25日（日）	2024年度医療安全管理者養成研修 ■日本臨床医学リスクマネジメント学会	(Web受講) 医師：1名 / 臨床工学技士：1名
5	8月20日（火）	第12回オンラインセミナー 行動計画 4b 経鼻胃管と輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理 ■医療安全全国共同行動	(Web参加) 医療安全管理者：1名
6	10月14日（月祝）	2024年度患者安全推進全体フォーラム in 山梨 地域と取り組む医療安全 ■日本医療機能評価機構（PSP）	(山梨) 医療安全管理者：1名
7	10月16日（水）	病院見学 海老名総合病院 ■県看護協会医療安全推進ネットワーク交流会	(神奈川) 医療安全管理者：1名
8	10月26日（土）	「医療事故調査制度」を活用した院内医療安全活動の実際 ■医療事故調査・支援センター	(東京) 医療安全管理者：1名 / 医師1名
9	10月30日（水）	医療の質改善・患者安全セミナー（第2回） 医療現場における「家族」の意向（全編） ■京都大学医学部附属病院 医療安全管理部	(Web参加) 医療安全管理者：1名 / 医師：1名
10	11月2日（土）	令和6年度医療事故調査制度研修会【基礎編】 ■医療事故調査・支援センター	(神奈川) 事務：1名
11	11月27日（水）	医療安全全国共同行動×T-GAP Dr.Hardeep Singh セミナー ■医療安全全国共同行動	(Web参加) 医療安全管理者：1名
12	12月8日（月）	令和6年度医療事故調査制度 「管理者・実務者セミナー」 ■日本医療安全調査機構	(東京) 医療安全管理者：1名 / 医師1名
13	12月20日（土）	医療の質改善・患者安全セミナー（第3回） 臨床倫理相談事例と近時の裁判例から考える患者家族との向き合い方 ■京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 弁護士法人大江法律事務所	(Web参加) 医療安全管理者：1名
14	令和7年 1月20日（月）	第20回医療の質・安全学会学術集会第2回カウンタ ダウンセミナー 医療の質・安全学会の発表を目指して抄録を作ろう！ ■医療の質・安全学会	(Web参加) 事務：1名
15	1月21日（火）	医療安全全国共同行動オンラインセミナー 患者安全行動計画6 病院における転倒転落へのアプローチ ■医療安全全国共同行動	(Web参加) 医療安全管理者：1名
16	1月29日（水）	2024年度医療安全文化調査第1回活用支援セミナー 今できることは何か 現場の悩みにフォーカス オン ■医療安全文化調査	(Web参加) 事務：1名

No.	開催日	研修名	参加者数
17	3月1日（土）	2024年度患者安全推進全体フォーラム 有事に医療体制を継続するために ～経験から学ぶ想定外への対応～ ■日本医療機能評価機構（PSP）	（Web 参加） 医療安全管理者：1名
18	3月9日（日）	第2回神奈川県安全かもめセミナー 特別講演リスク管理の観点から見たヒューマンファクター ■主催：テルモ株式会社	（神奈川） 医療安全管理者：1名
19	3月18日（火）	医療安全全国共同行動第19回オンラインセミナー 行動計画8. 事故調査における医療安全管理者と患者・家族、医療者との対話 ■医療安全全国共同行動	（Web 参加） 医療安全管理者：1名
20	3月18日（火）～ 5月31日（土）	医療事故の再発防止に向けた提言第20号 「血液検査パニック値に係る死亡事例の分析」説明会 ・血液検査パニック値への取り組みを考えよう ■医療事故調査・支援センター	（Web 参加） 医療安全管理者：1名

◇感染管理院内研修会実施一覧

No	日時	場所	対象者・人数	テーマ	講師	主催	参加人数	参加率 (出席者/ 対象者)
1	2024 年 4 月 2 日	2 階講堂	研修医 / 看護師 / 事務職： 70 名	「感染管理の基礎」	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	総務課	70 名	100%
2	4 月 9 日	2 階講堂	看護部新入職者：50 名	「感染対策の基本」	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	看護部	50 名	100%
3	5 月 22 日	2 階講堂	感染リンク ナース：15 名 看護師：5 名	第 1 回 感染リンクナース会 「当院の感染対策の現状と課題」	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	看護部	20 名	100%
4	6 月 27 日	薬剤部	昭和薬科大学 薬学生：5 名	ICT 及び ICT ラウンド について 感染対策の基本	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	薬剤部	5 名	100%
5	7 月 1 日	e-ラー ニングツール 「SafetyPlus」	全職員	令和 6 年度第 1 回感 染対策必修研修会 感染対策基本の「キ」	森兼啓太（山形大学 医学部付属病院 検査 部部长 / 感染制御部 部長）	院内感染 対策委員 会	1,148 名	100%
6	7 月 24 日	2 階講堂	感染リンク ナース：15 名 看護師：5 名	第 2 回 感染リンクナース会	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	看護部	19 名	94.7%
7	8 月 22 日	2 階旧 カフェ	日本体育大学 生：14 名	感染対策の基本	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	看護部	14 名	100%
8	8 月 24 日	2 階講堂	感染対策向上 加算を算定す る保険医療機 関 外来感染対策 向上加算を算 定する保健医 療機関 地域の保健 所、医師会	令和 6 年度 感染対策 向上加算に係る新興・ 再興感染症発生等想 定訓練	川崎市健康安全研究 所 所長 三崎貴子 聖マリアンナ医科大 学病院 感染制御部 川崎市立多摩病院 ICT 他	聖マリア ンナ医科 大学病院 感染制御 部川崎市 立多摩病 院 ICT	140 施 設 233 名	—
9	9 月 2 日 ～ 9 月 30 日	e-ラー ニングツール 「SafetyPlus」	医師 / 看護師 / コメディカ ル：805 名	2024 年度 第 1 回 AST (抗菌薬適正使用支援 チーム) 認定講習 「AST 活動について」	酒井 翼（医師 / 総 合診療内科） 隈元亜依（臨床検査 技師 / 臨床検査部） 松本 浩（抗菌化学 療法認定薬剤師 / 薬 剤部） 高尾あずさ（感染管 理認定看護師 / 外来）	AST（抗 菌薬適正 使用支援 チーム）	754 名	93.6%
10	9 月 18 日	2 階講堂	看護助手 / ク ラーク / 診療 アシスタント： 20 名×2 回	看護補助者における 医療安全と感染防止	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	看護部	40 名	100%
11	9 月 25 日	2 階講堂	感染リンク ナース：15 名 看護師：5 名	第 3 回 感染リンクナース会	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	看護部	20 名	100%
12	10 月 3 日	薬剤部	昭和薬科大学 薬学生：5 名	ICT 及び ICT ラウンド について 感染対策の基本	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	薬剤部	5 名	100%

No	日時	場所	対象者・人数	テーマ	講師	主催	参加人数	参加率 (出席者 / 対象者)
13	11月27日	2階旧 カフェ	感染リンク ナース：15名 看護師：5名	第4回 感染リンクナース会	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	看護部	19名	95%
14	12月18日	2階講堂 + e-ラーニ ングツール 「SafetyPlus」	全職員	令和6年度第2回感 染対策必修研修会 / 安全衛生委員会認定 講習 「感染症とワクチン」	岡部信彦先生 （川崎市健康安全研究 所 参与 / 小児科 医師）	院内感染 対策委員 会安全衛 生委員会	1,088 名	100%
15	12月19日	薬剤部	昭和薬科大学 薬学生：5名	ICT 及び ICT ラウンド について 感染対策の基本	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	薬剤部	5名	100%
16	令和7年 1月22日	2階講堂	感染リンク ナース：14名 看護師：5名	第5回 感染リンクナース会	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	看護部	19名	100%
17	2月3日 ～ 2月28日	e-ラーニ ングツール 「SafetyPlus」	医師 / 看護師 / 薬剤師 / 臨 床検査技師 / 診療放射線技 師 / 臨床工学 技士 / 理学療 法士 / 作業療 法士 / 言語聴 覚士 / 歯科衛 生士：699名	2024年度第2回AST （抗菌薬適正使用支援 チーム）認定講習 「肺炎について」～「成 人肺炎診療ガイドラ イン 2024」改訂を踏 まえて～	内田竜二（医師 / 総 合診療内科） 隈元亜依（臨床検査 技師 / 臨床検査部） 藤重瑠子（抗菌薬学 療法認定薬剤師 / 薬 剤部） 杉本麻衣（感染管理 認定看護師 / 医療安 全管理室院内感染対 策）	AST（抗 菌薬適正 使用支援 チーム）	659名	92.0%
18	3月16日	2階講堂	感染リンク ナース：14名 看護師：5名	第6回 感染リンクナース会	杉本麻衣（医療安全管理室院内感染対策 / 感染管理認定看護師）	看護部	19名	100%

◇職員研修等実績

No.	開催日	演題	講演者	参加人数	主催部署
1	令和6年 4月15日～ 5月10日	採血に関する注意事項 「正しい採血をするために注意事項 の周知」	渡邊理恵、松戸美保 / 多摩病 院臨床検査部臨床検査技士	466人	臨床検査部
2	4月18日	CVカテーテル挿入講習会 「～シミュレーション実技～」	多摩病院認定指導医8名	6人	医療安全管理室
3	6月19日	緊急 ACP	伊藤 香（帝京大学医学部外科 学講座准教授）	656人	臨床倫理委員会
4	7月1日～ 7月31日	令和6年度 第1回感染対策必修研修会 「感染対策の基本のキ」	森兼啓太（山形大学医学部附 属病院検査部部長 / 感染制御 部部長）	1,148人	院内感染対策委員会
5	7月31日～ 9月6日	2024（R6）年度 第1回医療安全必修研修 Safety Plus（eラーニング）	薬剤部、医療安全管理室、病 理・画像レポート未読対策 チーム	1,158人	医療安全管理室
6	9月2日～ 9月30日	2024年度第1回AST（抗菌薬適正使 用支援チーム）認定講習 「AST活動について」	酒井 翼（総合診療内科医師）、 隈元亜依（臨床検査部臨床検 査技師）、松本 浩（薬剤部抗 菌化学療法認定薬剤師）、高 尾あずさ（外来感染管理認定 看護師） / 多摩病院	754人	抗菌薬適正使用支 援チーム

No.	開催日	演題	講演者	参加人数	主催部署
7	9月30日～ 10月25日	2024年度 第1回 DST 主催オンデマンド研修 「身体拘束に関する診療報酬とドラッグロック・スピーチロックについて」	竹内廣美（看護部）、加藤蒼生（薬剤部）、吉田 香（看護部） / 多摩病院	466 人	DTS（認知症サポートチーム）
8	10月24日～ 11月14日	令和6年度 第1回 MCAP 研修会	岩崎俊之（多摩病院小児科医師 / MCAP 委員長）	687 人	MCAP 委員会
9	11月7日	第5回多摩倫理報告会 「多様目でモヤモヤを共有し倫理的な感受性を高めよう」	三浦靖彦（岩手保健医療大学成人看護学教授 / 日本生命倫理学会理事・臨床倫理学会理事 / 慈恵医科大学病院客員教授）	61 人	臨床倫理委員会
10	11月18日～ 令和7年 1月10日	患者の権利研修	朝倉武士（多摩病院消化器・一般外科医師 / 個人情報・研究倫理委員会委員長）	554 人	個人情報・研究倫理委員会
11	11月19日	第3回二次性骨折予防認定講習 「顎骨と歯」、「当院での薬剤関連顎骨壊死症例」、「当科で行う口腔ケアについて」	新井 剛（歯科口腔外科医師）、市川はるの（歯科口腔外科医師）、浜崎容子（歯科衛生士） / 多摩病院	48 人	骨折予防チーム
12	12月2日～ 12月28日	2024（R6）年度 医療安全認定研修 「RRS（Rapid Response System）について」	高松由佳（多摩病院救急災害医療センター医師）	469 人	医療安全管理室
13	12月3日～ 令和7年 1月31日	2024年度個人情報に関する研修（e-learning 開催） 「個人情報・プライバシー（第1回講義・第2回講義）」	長谷川剛（上尾中央総合病院 / 情報管理特任副院長）、山崎祥光（弁護士法人御堂筋法律事務所弁護士）	418 人	個人情報・研究倫理委員会
14	12月9日～ 令和7年 2月8日	接遇研修 「クレームにならない患者対応」	荒神裕之（山梨大学医学附属病院 医療の質・安全管理部 / 特任教授）	878 人	ボランティア・サービス向上委員会
15	12月18日～ 令和7年 2月14日	令和6年度 第2回感染対策必修研修会 / 安全衛生委員会認定講習 「感染症とワクチン」	岡部信彦（川崎市健康安全衛生研究所 参与）	1,088 人	院内感染対策委員会 / 安全衛生委員会
16	令和7年 2月3日～ 2月28日	クリニカルパス大会	市川はるの（歯科口腔外科医師）、岡部 愛（看護部看護師）、佐藤悠香（医療情報部） / 多摩病院	324 人	クリニカルパス委員会
17	2月3日～ 2月28日	2024年度 第2回 AST（抗菌薬適正使用支援チーム）認定講習 「肺炎について」～「成人肺炎診療ガイドライン 2024」改訂を踏まえて～	内田竜二（総合診療内科医師）、隈元亜依（臨床検査部臨床検査技師）、藤重瑤子（薬剤部抗菌化学療法認定薬剤師）、杉本麻依（医療安全管理室感染管理認定看護師） / 多摩病院	659 人	抗菌薬適正使用支援チーム
18	2月3日～ 2月28日	放射線診療従事者研修（Safety Plus にて開催）	吉田篤史（画像診断部）、岩杉康司（画像診断部） / 多摩病院	165 人	放射線安全対策委員会
19	2月18日～ 3月18日	2024（R6）年度 第2回医療安全必修研修	岡田みちよ（多摩病院医療安全管理室副室長）	1,052 人	医療安全管理室
20	2月25日～ 3月21日	2024年度 第2回 DST 主催オンデマンド研修	三宅誕実（神経精神科医師）、吉田 香（看護部認知症看護認定看護師）、杉村裕子（リハビリテーション科作業療法士） / 多摩病院	399 人	DST（認知症サポートチーム）
21	3月28日～ 4月30日	令和6年度 第2回 MCAP 研修会【認定講習】 子ども虐待に関する基礎研修	栗原八千代（聖マリアンナ医科大学付属病院 小児科学助教）	544 人	MCAP 委員会

病院実習受入先一覧

番号	学校名	実習科目	期間	人数	部署
1	川崎市立看護大学	小児看護学実習Ⅰ	2024年9月17日～2025年2月21日	32	看護部
		成人・老年看護学実習Ⅱ	2024年10月21日～2024年12月13日	20	看護部
		基礎看護学実習Ⅰ	2024年11月18日～2024年11月21日	10	看護部
2	駒沢女子大学	小児看護学実習	2024年5月13日～2024年5月24日	9	看護部
		成人看護学急性期実習	2024年5月14日～2024年5月30日	8	看護部
		看護学統合実習(急性期)	2024年6月17日～2024年6月27日	6	看護部
		成人看護学実習Ⅰ(急性期)	2024年9月24日～2025年2月6日	32	看護部
3	聖徳大学	看護実習	2024年6月10日～2025年2月25日	2	看護部
4	国際医療福祉大学大学院	実習Ⅲ	2024年6月10日～2024年8月30日	2	看護部
		認定看護管理サードレベル	2024年11月22日	1	看護部
5	東京純心大学	統合実習(看護統合領域)	2024年7月1日～2024年7月12日	5	看護部
		統合実習(老年看護額領域)	2024年7月1日～2024年7月12日	10	看護部
		基礎看護展開実習	2024年8月26日～2024年9月6日	34	看護部
		老年退院支援実習	2024年9月17日～2024年11月1日	30	看護部
		リプロダクティブヘルス看護学実習	2024年11月5日～2025年1月31日	13	看護部
		小児看護学実習	2024年11月18日～2025年2月21日	32	看護部
6	日本体育大学	臨床実習	2024年8月6日～2024年9月3日	14	看護部
7	横浜実践看護専門学校	母性看護学実習	2024年7月29日～2024年8月16日	15	看護部
8	横浜創英大学	小児看護学実習Ⅱ	2024年7月1日～2024年7月25日	17	看護部
		成人看護学実習・急性期	2024年7月16日～2024年7月31日	3	看護部
		統合実習	2024年7月22日～2024年8月23日	30	看護部
		成人看護学実習・慢性期	2025年1月28日～2025年2月12日	7	看護部
9	東京南看護専門学校	成人老年実習Ⅰ	2024年5月7日～2024年5月21日	6	看護部
		小児実習Ⅱ	2024年9月2日～2024年9月12日	12	看護部
		成人老年実習Ⅱ	2024年9月24日～2024年10月8日	6	看護部
10	城西放射技術専門学校	放射線臨床実習	2024年5月13日～2024年6月21日	1	画像診断部
11	東洋公衆衛生学園	放射線臨床実習	2024年8月26日～2024年10月31日	2	画像診断部
12	東京医薬看護専門学校	視能訓練士科	2024年6月10日～2024年7月12日	1	眼科
13	日本医歯薬専門学校	視能訓練士学科	2024年8月13日～2025年2月21日	2	眼科
14	東京立川歯科衛生学院専門学校	歯科口腔外科臨床実習	2024年9月9日～2024年11月22日	6	歯科口腔外科

番号	学校名	実習科目	期間	人数	部署
15	昭和薬科大学	病院実務実習Ⅱ期	2024年5月20日 ～ 2024年8月4日	5	薬剤部
		病院見学	2024年8月8日 ～ 2024年8月14日	10	薬剤部
		病院実務実習Ⅲ期	2024年8月19日 ～ 2024年11月3日	5	薬剤部
		病院実務実習Ⅳ期	2024年11月8日 ～ 2025年2月9日	5	薬剤部
16	神奈川県立保健福祉大学	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	2025年3月3日 ～ 2025年3月22日	2	栄養部
17	高知リハビリテーション専門職大学	臨床実習Ⅱ	2024年7月22日 ～ 2024年9月25日	1	リハビリテーション科
18	専門学校社会医学技術学院	理学療法臨床実習Ⅲ	2024年10月21日 ～ 2024年12月7日	1	リハビリテーション科
19	東京工科大学	言語聴覚臨床実習Ⅰ	2025年1月20日 ～ 2025年2月17日	1	リハビリテーション科
20	北里大学	臨床実習Ⅱ	2024年5月20日 ～ 2024年6月14日	1	リハビリテーション科
		臨床実習Ⅳ	2024年6月10日 ～ 2024年8月2日	1	リハビリテーション科
21	神奈川県医師会	神奈川県消防学校専科教育救急科教育訓練	2024年11月9日 ～ 2024年12月15日	18	救急災害医療センター
22	東京医療学院大学	身体渉外領域総合臨床実習	2024年4月15日 ～ 2024年6月12日	1	リハビリテーション科
		基礎看護学実習Ⅱ	2024年6月5日 ～ 2024年6月7日	8	看護部
		基礎看護学実習Ⅲ	2024年9月11日 ～ 2024年9月20日	8	看護部
23	日本女子大学	ソーシャルワーク実習	2024年9月2日 ～ 2024年10月15日	1	医療相談センター
24	立教大学	ソーシャルワーク実習	2024年10月1日 ～ 2025年1月22日	1	医療相談センター
25	川崎消防局	ビデオ咽頭鏡病院実習	2024年6月3日 ～ 2024年6月24日	4	総務課
26	昭和大学（認定看護師教育センター）	腎不全看護認定看護師	2025年1月21日 ～ 2025年2月14日	2	看護部
27	武蔵野大学	急性期看護実習2（小児看護）	2025年1月14日 ～ 2025年1月16日	4	看護部
28	川崎市看護協会	在宅医療研修	2024年10月16日	1	医療相談センター
29	セゲド大学	3年次内科夏期実習	2024年8月5日 ～ 2024年8月30日	1	循環器内科、消化器内科
30	湘中央生命科学技術専門学校	見学実習	2024年10月1日 ～ 2024年10月29日	1	救急災害医療センター
31	順天堂大学	臨床実習Ⅳ（インターンⅡ期）	2024年6月3日 ～ 2024年7月12日	1	リハビリテーション科
32	大阪府病院協会看護専門学校	基礎看護学	2024年12月16日 ～ 2024年12月17日	1	看護部
33	東京家政大学	臨床実習Ⅰ	2025年1月14日 ～ 2025年3月8日	1	リハビリテーション科
34	カレル大学	6年次小児科実習	2024年12月16日 ～ 2024年12月20日	1	小児科

〈看護部〉令和6年度 臨地実習受け入れ状況

	学校名	実習単元	期 間	延べ 人数	実数	部署
看護学実習	聖マリアンナ医科大学看護専門学校	母性看護学実習	2024年5月9日～2024年5月23日(7)	35	5	外来・ 3西病棟
			2024年5月27日～2024年6月10日(7)	42	6	
			2024年6月24日～20254年7月8日(7)	42	6	
			2024年9月9日～2024年9月24日(7)	42	6	
			2024年9月27日～2024年10月10日(7)	42	6	
		基礎実習Ⅲ	2024年7月10日～2024年7月25日(9)	54	6	5西病棟
				63	7	5東病棟
				54	6	6東病棟
		統合実習	2024年10月15日～2024年10月30日(10)	29	3	4東病棟
				30	3	5西病棟
				30	3	6西病棟
		成人老年看護Ⅱ	2024年11月7日～2024年11月22日(10)	68	7	4西病棟
				70	7	5東病棟
		基礎実習Ⅱ	2024年11月25日～2024年12月10日(6)	36	6	4西病棟
				36	6	4東病棟
				36	6	5西病棟
				36	6	5東病棟
				36	6	6西病棟
		地域・在宅看護論	2024年6月3日	2	2	看護相談
			2024年7月1日	2	2	
			2024年9月12日	2	2	
	川崎市立看護大学	小児看護学実習	2024年9月17日～20245年9月20日(4)	16	4	小児病棟
			2024年9月24日～2024年9月27日(4)	16	4	
			2024年9月30日～2024年10月4日(4)	16	4	
			2024年10月7日～2024年10月11日(4)	14	4	
			2024年10月21日～2024年10月24日(4)	12	3	
			2024年10月28日～2024年11月1日(4)	16	4	
			2025年2月10日～2025年2月14日(3)	12	4	
			2025年2月25日～2025年2月28日(4)	16	4	
		成人・老年看護学実習(急性期)	2024年10月21日～2024年11月1日(7)	35	5	6東病棟
			2024年11月5日～2024年11月15日(6)	30	5	6西病棟
				29	5	6東病棟
			2024年12月2日～2024年12月13日(7)	35	5	6東病棟
		基礎看護学実習Ⅰ	2024年11月18日～2024年11月22日(4)	20	5	4東病棟
				20	5	5西病棟
	東京医療学院大学	基礎看護学実習Ⅱ	2024年6月5日～2024年6月7日(3)	12	4	4東病棟
				12	4	4西病棟
		基礎看護学実習Ⅲ	2024年9月11日～2024年9月20日(6)	24	4	4東病棟
				24	4	5西病棟
	東京純心大学	統合実習	2024年7月1日～2024年7月12日(7)	35	5	4西病棟
				35	5	4東病棟
				35	5	6西病棟
		基礎看護展開実習	2024年8月26日～2024年9月6日(7)	41	6	4西病棟
				33	6	4東病棟
				41	6	5西病棟
				35	5	5東病棟
				35	5	6西病棟
				42	6	6東病棟

	学校名	実習单元	期 間	延べ 人数	実数	部署
看護学実習	東京純心大学	小児看護学実習	2024 年 11 月 18 日～ 2024 年 11 月 22 日 (3)	15	5	小児病棟
			2024 年 12 月 2 日～ 2024 年 12 月 6 日 (3)	15	5	
			2024 年 12 月 16 日～ 2024 年 12 月 20 日 (3)	15	5	
			2025 年 1 月 6 日～ 2025 年 1 月 10 日 (3)	12	4	
			2025 年 1 月 20 日～ 2025 年 1 月 24 日 (3)	14	5	
			2025 年 2 月 3 日～ 2025 年 2 月 7 日 (3)	14	5	
			2025 年 2 月 17 日～ 2025 年 2 月 21 日 (3)	15	5	
		老年退院支援実習	2024 年 9 月 17 日～ 2024 年 9 月 30 日 (7)	35	5	4 西病棟
				35	5	5 東病棟
			2024 年 10 月 7 日～ 2024 年 10 月 17 日 (7)	34	5	4 西病棟
				35	5	5 東病棟
			2024 年 10 月 21 日～ 2024 年 10 月 31 日 (8)	40	5	4 西病棟
				40	5	5 東病棟
		リプロダクティブヘルス看護学実習	2024 年 11 月 5 日～ 2024 年 11 月 15 日 (6)	22	4	3 西病棟
			2025 年 1 月 6 日～ 2025 年 1 月 17 日 (6)	28	5	
			2025 年 1 月 20 日～ 2025 年 1 月 31 日 (6)	22	4	
	横浜創英大学	小児看護学実習	2024 年 7 月 1 日～ 2024 年 7 月 4 日 (4)	24	6	小児病棟
			2024 年 7 月 8 日～ 2024 年 7 月 11 日 (4)	24	6	
			2024 年 7 月 22 日～ 2024 年 7 月 25 日 (4)	20	5	
		成人・急性期実習	2024 年 7 月 16 日～ 2024 年 7 月 31 日 (12)	36	3	6 西病棟
		統合実習	2024 年 7 月 22 日～ 2024 年 8 月 2 日 (8)	32	4	4 西病棟
				32	4	4 東病棟
			2024 年 7 月 29 日～ 2024 年 8 月 9 日 (8)	32	4	5 東病棟
				32	4	5 西病棟
			2024 年 8 月 12 日～ 2024 年 8 月 23 日 (8)	16	2	4 西病棟
				32	4	4 東病棟
				32	4	5 東病棟
				32	4	5 西病棟
		成人・慢性期実習	2025 年 1 月 26 日～ 2025 年 2 月 12 日 (11)	26	3	5 東病棟
				35	4	5 西病棟
	横浜実践看護専門学校	母性看護学実習	2024 年 7 月 29 日～ 2024 年 8 月 2 日 (5)	25	5	3 西病棟
			2024 年 8 月 5 日～ 2024 年 8 月 9 日 (5)	25	5	
			2024 年 8 月 13 日～ 2024 年 8 月 16 日 (4)	20	5	
	駒沢女子大学	急性期実習（外科）	2024 年 5 月 13 日～ 2024 年 5 月 31 日 (12)	60	5	6 東病棟
				60	5	6 西病棟
			2024 年 9 月 24 日～ 2024 年 10 月 3 日 (8)	40	5	6 東病棟
				32	4	6 西病棟
			2024 年 10 月 8 日～ 2024 年 10 月 17 日 (7)	28	4	6 東病棟
			2025 年 1 月 15 日～ 2025 年 1 月 23 日 (7)	35	5	6 西病棟
				35	5	6 東病棟
			2025 年 1 月 28 日～ 2025 年 2 月 6 日 (8)	32	4	6 西病棟
				40	5	6 東病棟
		統合実習（急性期）	2024 年 6 月 17 日～ 2024 年 6 月 27 日 (9)	27	3	ICU 病棟
				18	2	6 東病棟
		小児看護実習	2024 年 5 月 13 日～ 2024 年 5 月 17 日 (5)	25	5	小児病棟
			2024 年 5 月 20 日～ 2024 年 5 月 24 日 (5)	25	5	

	学校名	実習単元	期 間	延べ 人数	実数	部署
看護学実習	東京南看護専門学校	小児看護学実習	2024 年 9 月 2 日～2024 年 9 月 6 日 (4)	24	6	小児病棟
			2024 年 9 月 9 日～2024 年 9 月 12 日 (4)	24	6	
		成人老年（急性期Ⅰ）	2024 年 5 月 7 日～2024 年 5 月 23 日 (9)	54	6	5 西病棟
		成人老年（慢性期Ⅱ）	2024 年 9 月 24 日～2024 年 10 月 10 日 (9)	45	5	4 東病棟
	武蔵野大学	急性期看護実習Ⅱ 小児学実習	2025 年 1 月 13 日～2025 年 1 月 17 日 (3)	12	4	小児病棟
	大阪府病院協会看護専門学校	基礎Ⅰ	2024 年 12 月 16 日～2024 年 12 月 17 日 (2)	2	1	4 西病棟
NP	国際医療福祉大学大学院（特定行為看護師養成分野）	実習Ⅲ	2024 年 6 月 10 日～2024 年 8 月 5 日	16	1	総合診療内科
			2024 年 8 月 5 日～2024 年 8 月 30 日	19	1	
CNS	国際医療福祉大学生涯学習センター	認定看護管理者教育課程 サードレベル	2024 年 11 月 22 日	1	1	看護部
	昭和大学（認定看護師教育センター）	腎不全看護認定看護師	2025 年 1 月 21 日～2025 年 2 月 14 日 (19)	38	2	腎センター
研卒修後	川崎市看護協会	在宅医療研修	2024 年 10 月 16 日	1	1	看護相談
養護教諭コース	日本体育大学 体育学部 健康学科 養護コース	看護臨床実習	2024 年 8 月 6 日～2024 年 9 月 3 日 (20)	266	14	外来
						救急外来
						小児病棟
						4 西病棟
						4 東病棟
						5 西病棟
						5 東病棟
						6 西病棟
						6 東病棟
	聖徳大学 通信教育 社会福祉課	看護臨床実習	2024 年 6 月 10 日～2024 年 6 月 17 日 (6)	6	1	外来
						救急外来
						小児病棟
			2024 年 7 月 3 日～2024 年 7 月 10 日 (6)	6	1	外来
						救急外来
						小児病棟
			2025 年 2 月 17 日～2025 年 2 月 25 日 (6)	6	1	外来
						救急外来
						小児病棟

[目次へ戻る](#)

経理概要

◇令和 6 年度 収支決算書

(単位：千円)

勘定科目			令和 6 年度予算額	医療率	令和 6 年度決算額	医療率	差異
収入 の 部	医業 収益	入院収益	7,134,394		7,229,165		△ 94,771
		室料差額収益	96,863		101,160		△ 4,297
		外来収益	3,179,651		3,229,625		△ 49,974
		その他医業収益	165,624		176,257		△ 10,633
		保険等査定増減	△ 44,419		△ 48,756		4,337
		医業収益計	10,532,113	100.0%	10,687,451	100.0%	△ 155,338
	医業外 収益	受取利息配当金	836		1,317		△ 481
		補助金収益	774,714		769,274		5,440
		その他の医業外収益	157,091		171,198		△ 14,107
		医業外収益計	932,641		941,789		△ 9,148
	特別利益		0		0		0
	収 入 合 計		11,464,754		11,629,240		△ 164,486
支出 の 部	医業費用	給与費	6,562,017	62.3%	6,594,332	61.7%	△ 32,315
		材料費	2,740,304	26.0%	2,750,465	25.7%	△ 10,161
		医薬品費	1,348,112	12.8%	1,344,040	12.6%	4,072
		その他の材料	1,392,192	13.2%	1,406,425	13.2%	△ 14,233
		経費	1,107,581	10.5%	1,136,538	10.6%	△ 28,957
		委託費	1,793,104	17.0%	1,773,844	16.6%	19,260
		減価償却費	265,228	2.5%	266,506	2.5%	△ 1,278
		指定管理者負担金	756,430	7.2%	756,430	7.1%	0
		医業費用計	13,224,664	125.6%	13,278,115	124.2%	△ 53,451
	医業外費用	支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0
		その他の医業外費用	1,276		1,068		208
		医業外費用計	1,276		1,068		208
	特別損失		20		51		△ 31
	支 出 合 計		13,225,960		13,279,234		△ 53,274
収 支 差 額			△ 1,761,206		△ 1,649,994		△ 111,212

◇経営状況

◆平成 17 年度～平成 27 年度

項 目		単位	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
病 床 数		床	許可病床 376 床 稼働病床 232 床	許可病床 376 床 稼働病床 232～317 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床
入 院	延患者数	人	9,353	90,029	112,543	111,288	109,727	107,933	110,691	107,157	105,933	107,350	111,417
	新入院患者数	人	786	6,558	7,746	7,929	8,492	8,134	8,395	8,613	8,644	9,202	9,463
	退院患者数	人	597	6,482	7,735	7,943	8,522	8,114	8,413	8,602	8,606	9,228	9,493
	病床稼働率	%	68.3	87.1	81.8	81.1	80.0	78.6	80.4	78.1	77.2	78.2	81.0
	平均在院日数	日	12.6	12.8	13.5	13.0	11.9	12.3	12.2	11.5	11.3	10.7	10.8
	月平均回転率	回	2.3	2.4	2.3	2.3	2.6	2.5	2.5	2.6	2.7	2.8	2.8
	患者1人1日当り収益	円	35,498	45,175	44,745	46,065	48,668	50,687	49,824	54,511	55,010	55,017	56,047
外 来	患者実人数	人	9,414	49,545	52,802	47,655	50,650	46,307	45,421	41,914	41,629	38,143	38,066
	延患者数	人	19,341	191,734	218,943	224,751	233,530	228,519	228,851	228,875	226,502	217,015	216,534
	平均通院日数	日	2.1	3.9	4.2	4.7	4.6	4.9	5.0	5.5	5.4	5.7	5.7
	患者1人1日当り収益	円	8,796	8,407	9,179	9,909	10,687	11,283	11,046	11,111	11,018	11,586	12,992
剖検率		%	0.0	1.2	2.1	2.2	3.5	4.1	2.2	2.8	2.2	2.9	0.9
医業収支比率		%	40.8	90.8	88.2	86.0	93.5	95.4	93.5	94.3	92.7	89.6	93.2
給与費比率		%	136.0	56.3	51.2	51.8	48.7	48.4	50.1	49.5	51.0	51.2	49.4
医薬品費比率		%	12.9	10.0	11.9	11.7	11.0	10.5	10.7	10.8	10.9	11.1	13.6
診療材料費比率		%	27.8	13.6	13.8	13.6	14.0	13.7	12.4	12.4	12.7	13.8	12.1
医療消耗器具備品比率		%	14.4	1.6	1.1	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.2	1.0
経費比率		%	35.3	10.8	9.3	9.9	9.4	9.0	10.8	11.0	10.8	11.0	9.4
委託費比率		%	31.3	18.9	19.5	20.5	16.2	15.2	14.9	14.4	14.3	16.0	13.7
うち委託人件費比率		%	21.2	13.5	11.9	11.7	9.2	8.3	8.0	7.7	7.7	8.3	7.2
減価償却比率		%	1.5	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.7	1.8
支払利息比率		%	0.4	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1

◆平成 28 年度～令和 6 年度

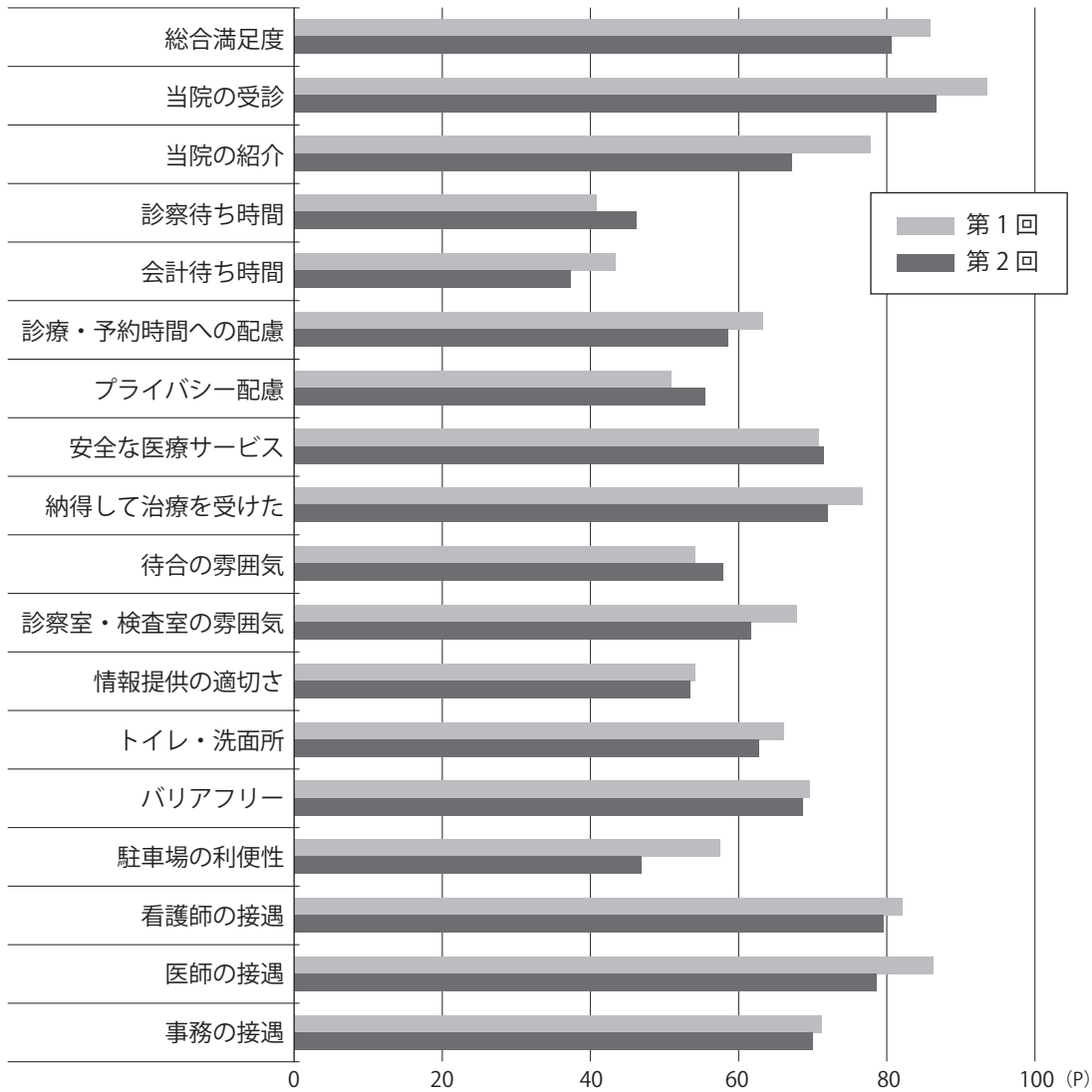
項 目		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
病 床 数		床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床	許可病床 376 床 稼働病床 376 床 (5・6 月 329 床) (3 月 309 床)	許可病床 376 床 稼働病床 309 床	許可病床 376 床 稼働病床 4 月 309 床 5～9 月 321 床 10～3 月 341 床	許可病床 376 床 稼働病床 369 床	許可病床 376 床 稼働病床 369 床		
入 院	延患者数	人	108,649	113,796	112,355	114,205	85,797	85,463	85,225	100,023	108,790		
	新入院患者数	人	9,398	10,079	10,132	9,869	7,306	7,944	7,685	8,632	9,447		
	退院患者数	人	9,378	10,074	10,132	9,854	7,400	7,927	7,699	8,578	9,424		
	病床稼働率	%	79.2	82.9	81.9	83.0	64.9	75.8	70.8	74.1	80.8		
	平均在院日数	日	10.6	10.3	10.1	10.6	10.7	9.8	10.1	10.6	10.5		
	月平均回転率	回	2.9	3.0	3.0	2.9	2.9	3.1	3.0	2.9	2.9		
	患者1人1日当り収益	円	55,560	55,352	57,464	55,960	62,550	67,224	72,384	65,725	66,179		
外 来	患者実人数	人	36,833	37,105	37,396	36,642	28,566	31,041	31,629	30,573	32,744		
	延患者数	人	217,001	216,186	217,333	215,483	186,755	203,135	197,226	198,131	212,605		
	平均通院日数	日	5.9	5.8	5.8	5.9	6.5	6.5	6.2	6.5	6.5		
	患者1人1日当り収益	円	13,089	12,827	13,556	13,617	14,202	14,283	14,836	15,066	15,101		
剖検率		%	2.4	2.4	2.6	1.6	1.0	0.6	1.6	1.3	0.8		
医業収支比率		%	91.2	90.8	90.1	88.3	76.1	78.1	71.4	81.8	80.5		
給与費比率		%	52.2	52.8	53.4	54.8	65.6	62.0	60.2	57.9	61.7		
医薬品費比率		%	12.1	11.3	11.6	11.9	13.9	11.4	16.2	13.0	12.6		
診療材料費比率		%	11.7	12.2	11.9	11.9	11.7	13.4	11.8	13.1	13.2		
医療消耗器具備品比率		%	1.1	1.1	1.1	1.3	1.5	1.6	1.3	1.2	1.2		
経費比率		%	9.4	9.2	9.7	9.9	10.8	12.0	23.5	10.8	10.6		
委託費比率		%	14.7	15.1	14.8	15.0	18.5	18.4	17.7	17.4	16.6		
うち委託人件費比率		%	7.3	8.1	8.0	8.4	10.3	9.9	9.7	9.5	9.0		
減価償却比率		%	2.0	2.2	2.4	2.5	2.3	2.7	2.8	2.7	2.5		
支払利息比率		%	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

患者満足度調査結果

◇外来患者満足度調査結果

	実施日	来院患者数（人）	配布数（枚）	回収数（枚）	回収率（%）
第 1 回	2024 年 7 月 16 日	889	217	211	97.2
第 2 回	2025 年 1 月 21 日～1 月 23 日	2,627 ※ 3 日間の合計	369	369	100.0

	第 1 回	第 2 回
総合満足度	85.6 ポイント	80.6 ポイント



【重要改善項目】 …重要度が高いのに満足度が低く優先的に考慮すべき事項

第 1 回	医療サービス「診療・予約時間への配慮」「安全な医療サービス」、施設・設備・情報提供「診察室・検査室の雰囲気」 事務の接遇「質問のしやすさ」「信頼・安心できる知識や技術」
第 2 回	施設・設備・情報提供「待合の雰囲気」「診察室・検査室の雰囲気」、事務の接遇「質問や相談のしやすさ」

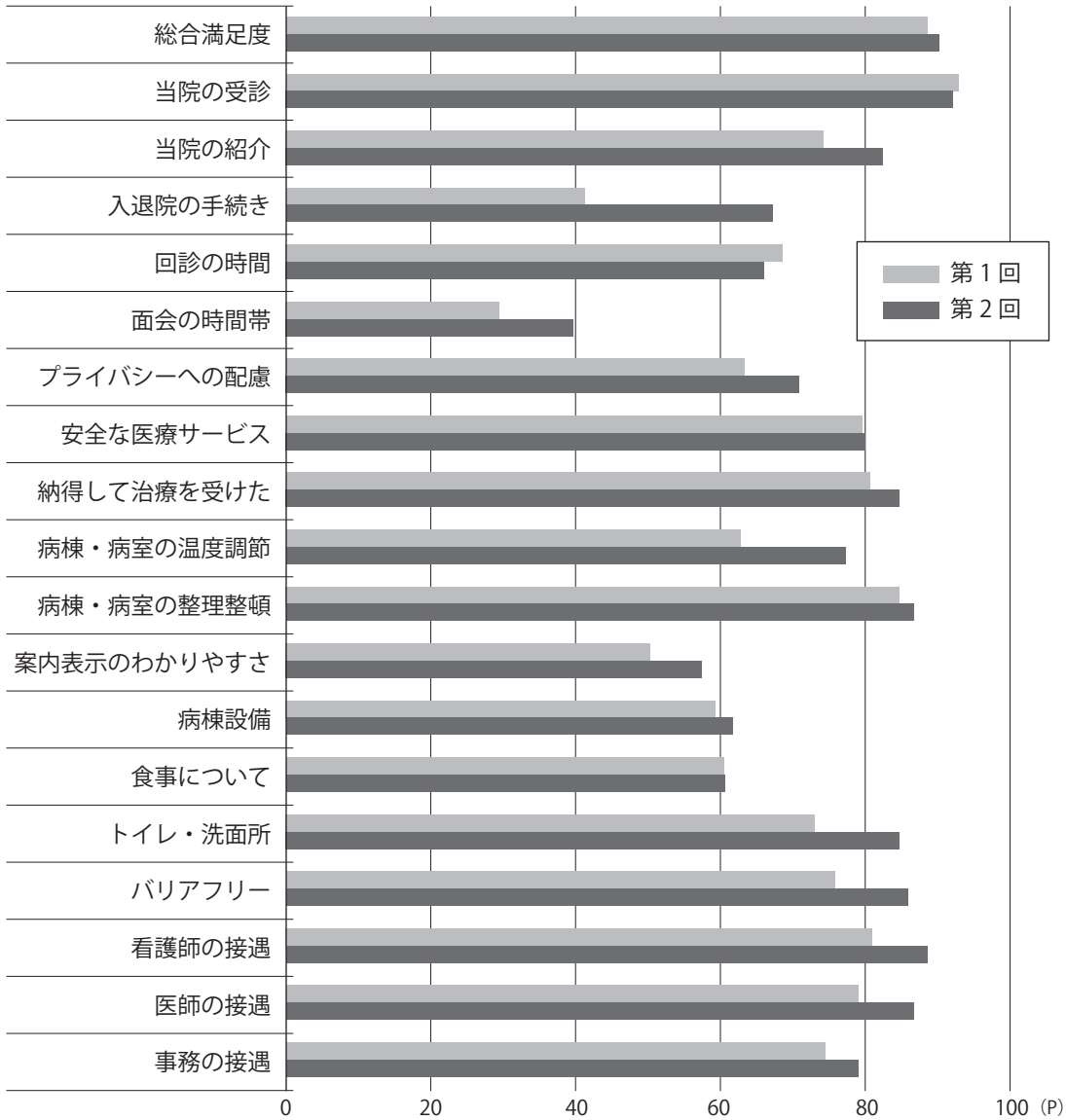
【重点維持項目】 …重要度も満足度も高く重要な魅力点であるため維持・促進すべき項目

第 1 回	医療サービス「納得して治療を受けた」、看護師の接遇、医師の接遇、事務の接遇
第 2 回	医療サービス「安全な医療サービス」「納得して治療を受けた」、看護師の接遇、医師の接遇、事務の接遇

◇入院患者満足度調査結果

	実施日	在院患者数（人）	配布数（枚）	回収数（枚）	回収率（％）
第 1 回	2024 年 7 月 16 日	284	142	119	83.8
第 2 回	2025 年 1 月 21 日	298	228	185	81.1

	第 1 回	第 2 回
総合満足度	89.1 ポイント	89.9 ポイント



【重要改善項目】 …重要度が高いのに満足度が低く優先的に考慮すべき事項

第 1 回	事務の接遇「質問や相談のしやすさ」、「信頼・安心できる知識や技術」
第 2 回	医療サービス「プライバシー配慮」、医師の接遇「質問や相談のしやすさ」

【重点維持項目】 …重要度も満足度も高く重要な魅力点であるため維持・促進すべき項目

第 1 回	医療サービス「安全な医療サービス」「納得して治療を受けた」、施設・設備・情報提供「トイレ・洗面所」「病棟・病室の整理整頓」、看護師の接遇、医師の接遇、事務の接遇
第 2 回	医療サービス「安全な医療サービス」、施設・設備・情報提供「バリアフリー」、看護師の接遇、医師の接遇、事務の接遇

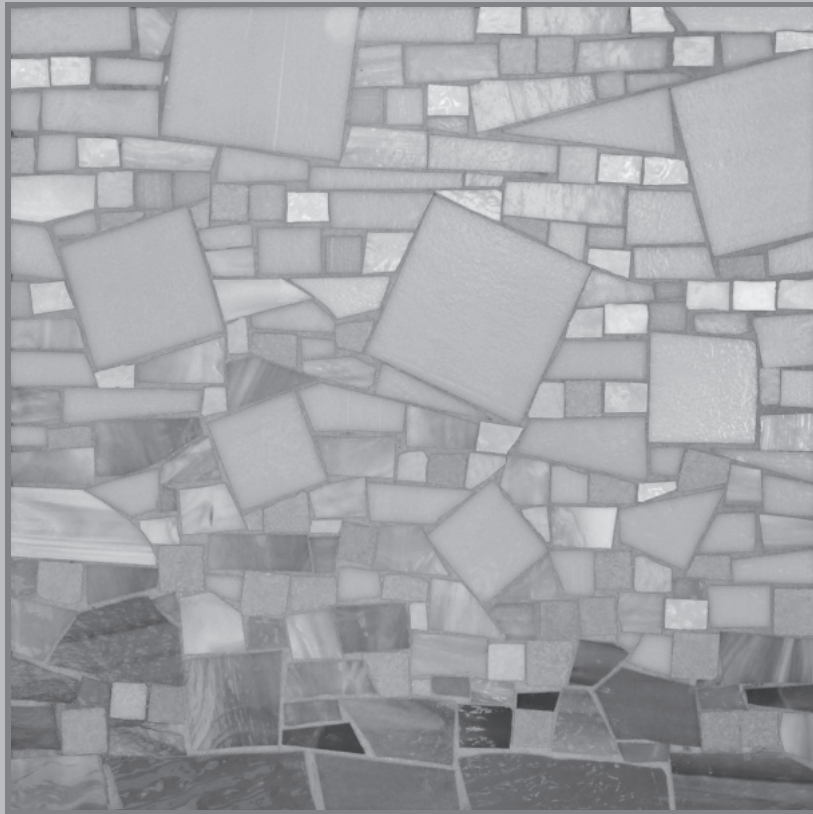
撮影関係

◇撮影実施一覧

No	日時	番組名	使用場所
1	2024年5月19日	関西テレビ「マウンテンドクター」	講堂、講堂前ホワイエ
2	2024年7月20日	TBS テレビ「ブラックペアン シーズン 2」	職員食堂
3	2024年8月11日	TBS テレビ「ブラックペアン シーズン 2」	職員食堂
4	2024年12月15日	TBS ドラマ特別企画「わが家はたのし」	画像診断部検査室前廊下
5	2025年2月11日	フジテレビ「119 エマージェンシーコール 救急指令通信室」	診察室前廊下

[目次へ戻る](#)

業 績 集



病院長室

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	浅香真衣子 松本 浩 廣瀬雅宣 小形厚貴 藤重瑤子 平間千絵 アニン祥子 隈元亜依 宮本豊一 長島悟郎 高野知憲 國島広之	環境感染誌	39 (4); 117-125	2024.4	血液培養陽性症例を対象 とした抗菌薬適正使用支 援チームによる介入内容 および臨床アウトカムの 評価	浅香真衣子
2	長島悟郎	集中	(2)、30-31	2025.2	私の海外留学見聞録 ^⑥ ～家族とともに切り開い た NIH での研究と日常～	長島悟郎

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	小野 元 長島悟郎 梶 友紘 森嶋啓之	第 52 回日本小児脳神経 外科学会	2024.6	頭髮の引っ張りにより発生した帽状 腱膜下血腫の一例	小野 元
2	長島悟郎	第 39 回日本環境感染学 会総会	2024.7	パネルディスカッション 13 病院機 能の第三者認証制度を感染制御の視 点から考えるー病院機能評価審査側 の立場からー	長島悟郎
3	宮崎一輝 栗田将旭 森嶋啓之 小野 元 長島悟郎	第 154 回一般社団法人日 本脳神経外科学会 関東 支部学術集会	2024.9	脳室腹腔シャント不全に対して嚢胞 脳室腹腔シャントが有用であった Dandy-Walker Syndrome の一例	宮崎一輝
4	森嶋啓之 宮崎一輝 栗田将旭 小野 元 長島悟郎 村田英俊	一般社団法人日本脳神経 外科学会 第 83 回学術集 会	2024.10	Persistent primitive hypoglossal artery を伴う内頸動脈狭窄症に対す る CAS の工夫	森嶋啓之
5	平野智之 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.11	院内職員による病院機能評価サー ベランスの有用性についてー本審査結 果による考察ー	平野智之
6	塚本嵩仁 大木 明 長島悟郎 塚原正祥 黒崎 晃	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.11	自治体病院としての SDGs への取り 組み	塚本嵩仁
7	東 祐樹 富永勇輝 田中 拓 加藤一徳 蔵光美穂 長島悟郎 磯島恭平 塚本嵩仁	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.11	病院救急救命士が市中病院で貢献で きることー主に安定した状態の患者 の病院間搬送目的にー	東 祐樹
8	松本愛美 加藤一徳 奥瀬千晃 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.11	緊急診療依頼の分析 ～紹介患者数 増加を目指して～	松本愛美
9	長久保瑞紀 宮崎秀和 橋本卓也 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.11	患者用パス全件見直しの取り組みに ついて	長久保瑞紀
10	島田 歩 宮崎秀和 橋本卓也 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.11	病院機能評価カルテレビュー審査受 審に向けた対策に関する取り組み	島田 歩
11	平田裕吏安 宮崎秀和 橋本卓也 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.11	DNAR 指示の手順見直しに向けた当 院の現状調査について	平田裕吏安

番号	氏 名	学 会 名	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
12	廣富匡志 池田史朗 細田智弘 中島由紀子 國島広之 三崎貴子	第 92 回神奈川県感染症 医学会	2024.11	川崎市における過粘稠性肺炎桿菌 (hvKP) 感染症の発生状況と肝膿瘍の 発症に関わるリスク因子に関する研 究	廣富匡志
13	森嶋啓之 栗田将旭 長島悟郎	第 40 回日本脳神経血管 内治療学会学術集会	2024.11	Persistent primitive hypoglossal artery を伴う内頸動脈狭窄症に対す るステント留置術のフィルタープロ テクションの工夫	森嶋啓之
14	小野 元 宮崎一輝 長島悟郎	第 30 回日本脳神経外科 救急学会	2025.2	硬膜下膿瘍の鑑別に MRI・FLAIR 画像 は有用か？	小野 元
15	内藤 静 長島悟郎	第 30 回日本脳神経外科 救急学会	2025.2	A 病院の脳神経外科で求められる特 定看護師の役割と今後の展望	内藤 静
16	小野 元 宮崎一輝 長島悟郎	第 48 回日本脳神経外傷 学会	2025.2	小児頭部外傷による頭がい骨骨折の 特徴と力学的分析	小野 元

[目次へ戻る](#)

総合診療内科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Aoki N, Ishizuka K, Otsuki T, Ie K.	Am J Med	doi: 10.1016/ j.amjmed. 2023.12. 023.	2024.4	Mikulicz Disease.	Aoki N
2	Kakisako J, Otsuki T, Asakura T, Sasaki D, Ie K, Ishizuka K.	Clin Case Rep	doi: 10.1002/ ccr3.9022.	2024.6	Quadruple (1440 degrees) intestinal volvulus.	Kakisako J
3	Araki A, Ishizuka K, Uchida R, Ie K.	Postgrad Med J	doi: 10.1093/ postmj/ qgae032.	2024.6	Mesenteric phleboscrosis caused by traditional Chinese herbal medicine.	Araki A
4	Masuyama T, Branch J, Ishizuka K, Uchida R, Otsuki T, Ie K, Okuse C.	Am J Med	doi: 10.1016/ j.amjmed. 2024.06. 003.	2024.6	Minocycline-Induced Blue Nails.	Masuyama T

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
5	Yokoi A, Ishizuka K, Motohashi I, Hiwatari M, Asakura T, Ie K.	Am J Med	doi: 10.1016/ j.amjmed. 2024.03. 002.	2024.6	Giant Hepatic Cyst.	Yokoi A
6	Takeshima M, Sakurai H, Inada K, Aoki Y, Ie K, Kise M, Yoshida E, Matsui K, Utsumi T, Shimura A, Okajima I, Kotorii N, Yamashita H, Suzuki M, Kuriyama K, Shimizu E, Mishima K, Watanabe K, Takaesu Y.	BMC Prim Care	doi: 10.1186/ s12875- 024-02449- 7.	2024.6	Treatment strategies for insomnia in Japanese primary care physicians' practice: A Web-based questionnaire survey.	Takeshima M
7	Otsuki T, Ishizuka K, Eto H, Nakano H, Kato Y, Sudo H, Motohashi I, Ie K, Ohira Y, Okuse C.	Am J Med	doi: 10.1007/ s11606- 024-08794- 8.	2024.8	Antibody-Positive Dermatomyositis Leading to Identification of Diffuse Large B-Cell Lymphoma.	Otsuki T

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
8	Ie K, Hirose M, Sakai T, Motohashi I, Aihara M, Otsuki T, Tsuboya A, Matsumoto H, Hashi H, Inoue E, Takahashi M, Komiya E, Itoh Y, Machino R, Tsuchida T, Albert SM, Ohira Y, Okuse C.	JAMA Netw Open	doi: 1 0.1001/ jamanetwork open. 2024.49465.	2024.11	Medication Optimization Protocol Efficacy for Geriatric Inpatients: A Randomized Clinical Trial.	Ie K
9	Azuma Y, Otsuki T, Ishizuka K.	BMJ Case Rep	DOI: 10.1136/ bcr-2025- 265047.	2025.3	Summer-type hypersensitivity pneumonitis in an early adolescent Japanese male.	Azuma Y
10	渡邊洋章 家 研也 高岡詠子 廣瀬雅宣 本橋伊織 奥瀬千晃 大平善之	聖マリアンナ医科大学 雑誌	doi: 10.14963/ stmari.52.99	2025.3	在日外国人学生が抱える こころの健康に関する医 療アクセスへの阻害因子 に関する研究	渡邊洋章
11	Akao A, Otsuki T, Ishizuka K, Katayama M, Ie K, Okuse C.	Am J Med	doi: 10.1016/ j.amjmed. 2025.03.017	2025.3	Adult Intussusception with Inverted Meckel's Diverticulum as the Leading Point.	Akao A

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Ie K, Machino R, Albert SM, Tomita S, Ohashi H, Motohashi I, Otsuki T, Ohira Y, Okuse C.	Society of General Internal Medicine 2024 Annual Meeting	2024.5	Barriers and enablers of proactive deprescribing among older adults.	Ie K
2	Otsuki T, Ishizuka K, Eto H, Nakano H, Kato Y, Sudo H, Motohashi I, Ie K, Ohira Y, Okuse C.	SGIM 2024 Annual Meeting	2024.5	Dermatomyositis with Anti- transcription Intermediary Factor 1- γ Antibodies Masking Underlying Diffuse Large B-cell Lymphoma.	Otsuki T
3	Motohashi I, Ie K, Okuse C, Ohira Y.	Society of General Internal Medicine 2024 Annual Meeting	2024.5	Esophageal Perforation Due to Tuberculous Mediastinal Lymphadenitis with Initially Suspected Esophageal Malignancy.	Motohashi I
4	家 研也	2024 年度日本不安症学会 / 日本認知療法・認知行 動療法学会合同開催 シン ポジウム	2024.7	プライマリ・ケア医からみた不安症 と認知行動療法の現状と課題 精神科医療への要望 「多職種・多領域で取り組む不安症の 啓発と治療～実際に認知行動療法は 普及しているか？」	家 研也
5	家 研也	第 8 回便秘ゼミ	2024.7	多併存疾患時代のポリファーマシー 対策	家 研也
6	家 研也	日本プライマリケア連合 学会認定薬剤師研修会	2024.7	多併存疾患時代のポリファーマシー 対策	家 研也
7	家 研也	2024 年度日本不安症学会 / 日本認知療法・認知行 動療法学会合同開催 シン ポジウム 8「認知行動療 法の医学教育パスウェイ： 行動科学から専門医育成 まで」	2024.7	プライマリ・ケアにおける行動療法・ 認知行動療法の意義と教育 「認知行動療法の医学教育パスウェ イ：行動科学から専門医育成まで」	家 研也
8	家 研也 高橋政樹 奥瀬千晃	日本病院総合診療医学会 学術総会	2024.9	患者の減薬への積極性に関連する因 子の検討：横断研究	家 研也

[目次へ戻る](#)

循環器内科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Higuma T, Akashi YJ, Fukumoto Y, Obara H, Kakuma T, Asaumi Y, Yasuda S, Sakuma I, Daida H, Shimokawa H, Kimura T, Iimuro S, and Nagai R.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society	2024;88: 995-1003	2024.6	Residual Coronary Risk Factors Associated With Long-Term Clinical Outcomes in Patients With Coronary Artery Disease Treated With High- vs. Low-Dose Statin Therapy - REAL- CAD Substudy.	Higuma T
2	Sugiyama T, Kakuta T, Hoshino M, Hada M, Yonetsu T, Usui E, Hanyu Y, Nagamine T, Nogami K, Ueno H, Matsuda K, Sayama K, Sakamoto T, Kobayashi N, Takano M, Kondo S, Wakabayashi K, Suwa S, Dohi T, Mori H, Kimura S, Mitomo S, Nakamura S, Higuma T, Yamaguchi J, Natsumeda M, Ikari Y, Yamashita J, Sambe T, Yasuhara S, Mizukami T, Yamamoto MH, Sasano T, and Shinke T.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society	2024;88: 1853-1861	2024.8	Predictors of Optical Coherence Tomography- Defined Calcified Nodules in Patients With Acute Coronary Syndrome - A Substudy From the TACTICS Registry.	Sugiyama T

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
3	Honda K, Takagi S, Suzuki T, Kotoku N, Miyazaki H, and Higuma T.	Coronary artery disease	35・7・625	2024.11	Aortic cavity masquerading as right coronary artery occlusion.	Honda K
4	Hada M, Kakuta T, Sugiyama T, Hoshino M, Yonetsu T, Usui E, Hanyu Y, Nagamine T, Nogami K, Ueno H, Matsuda K, Sayama K, Setoguchi M, Tahara T, Sakamoto T, Mineo T, Kobayashi N, Takano M, Kondo S, Wakabayashi K, Suwa S, Dohi T, Mori H, Kimura S, Mitomo S, Nakamura S, Higuma T, Yamaguchi J, Natsumeda M, Ikari Y, Yamashita J, Mizukami T, Yamamoto MH, Sasano T, and Shinke T.	JACC Cardiovascular imaging	2024;17: 1384-1386	2024.11	Prognostic Impact of Culprit Lesion Calcified Nodule After Emergency Coronary Intervention: A TACTICS Registry Subanalysis.	Hada M

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
5	Mori H, Yamamoto MH, Mizukami T, Kobayashi N, Wakabayashi K, Kondo S, Sekimoto T, Sambe T, Yasuhara S, Sugiyama T, Kakuta T, Mitomo S, Nakamura S, Takano M, Yonetsu T, Dohi T, Yamashita J, Yamaguchi J, Kimura S, Higuma T, Natsumeda M, Ikari Y, Suwa S, Suzuki H, and Shinke T.	CJC open	2025;7: 641-648	2025.1	Significant Stenosis Without Thrombus: Is It the Third Most Common Morphology of Acute Coronary Syndrome?	Mori H

[目次へ戻る](#)

呼吸器内科

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	棚橋淳子	間質性肺炎チーム連携セミナー	2024.7	間質性肺疾患の病態及び診療のポイント	
2	西田皓平 松澤 慎 伏屋愛加 玉井勇人 國島広之 棚橋淳子 峯下昌道	第 72 回日本アレルギー学会学術大会	2024.10	SARS-CoV2 抗原定量の高値が持続したリツキシマブ使用歴がある患者にレムデシビルに他の治療薬を併用した一例	
3	Junko Tanahashi, Katsuhiko Morita.	The 23rd World Congress for Bronchology and Interventional Pulmonology	2024.10	Assessing the safety of saline injection during bronchoscopy in patients with COPD.	
4	Junko Tanahashi, Ryo Yamamoto, Kohei Nishihda, Akihito Tsunoda, Masamichi Mineshita.	The 28th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology	2024.11	A case of acupuncture-related pneumothorax.	
5	棚橋淳子	在宅呼吸管理研究会	2024.11	連続パルスオキシメーター検査の外來での活用	
6	棚橋淳子	令和 6 年度公害健康被害被認定者家庭療養指導事業研修会	2025.1	気管支喘息の基礎知識と患者指導のポイント	
7	棚橋淳子	川崎市アレルギー疾患対策市民向け講演会および個別相談	2025.1	成人ぜん息の最新知識	

[目次へ戻る](#)

消化器内科

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	橋本英篤 松永光太郎 青山夏海 中村紗里香 黄 世揚 長瀬良彦 奥瀬千晃 立石敬介	第 66 回神奈川医学会総会・学術大会	2024.11	発症前から治癒までの経過を追えた B 型急性肝炎の 1 例	橋本英篤
2	小松拓実 佐藤義典 中本悠輔 加藤正樹 清川博史 今野真己 黒木優一郎 落合康利 前畑忠輝 安田 宏 立石敬介	第 21 回日本償還学会総会学術集会 WS5	2025.2	消化管出血に対するマネジメントの最前線 医師の働き方改革による上部消化管出血に対する緊急内視鏡への影響	小松拓実

[目次へ戻る](#)

腎臓・高血圧内科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	麻生芽垂 富永直人	薬事	66(5), 856-864 頁	2024.4	【最適な治療・管理がわかる 水・電解質・酸塩基平衡異常】代表的な電解質異常へのアプローチ 水代謝異常	
2	奥山恵美子 小波津香織 市川大介	Medicina	61(5), 678-682 頁	2024.4	【腎機能を考慮した内科疾患の診療】腎機能が病態・治療に関係する疾患 腎疾患 良性腎硬化症	
3	Ushimaru S, Sumi H, Aso M, Fujishima R, Shiizaki K, Tominaga N.	JCEM Case Rep	2024 Apr 15;2(4):luae055. doi: 10.1210/ jcemcr/luae055. PMID: 38623532; PMCID: PMC11017109.	2024.4	Attenuation of Bone Mineral Density Decline During Anemia Treatment With Methenolone Acetate in Myelodysplastic Syndrome.	
4	高山 卓 富永直人	レジデントノート増刊	26,14, 168-177 頁	2024.11	いま身につけたい CKD 患者を診るチカラ 腎機能を診るチカラ 第 5 章 CKD 患者の電解質異常を診るときに知っておきたいこと 1.CKD 患者の低ナトリウム血症	
5	Ushimaru S, Tominaga N.	Kidney Int Rep	2024 Nov 17; 10(1):269-270. doi: 10.1016/ j.ekir.2024.11.010. PMID: 39810787; PMCID: PMC11725804.	2024.11	Acute Kidney Injury With Fanconi Syndrome Following Intake of a Red Yeast Rice Supplement.	
6	Sakai M, Yoshida K, Ogata M, Okuyama E, Kitano F, Shibagaki Y, Yazawa M.	Sonography	https://doi.org/10.1002/sono.12488	2024.12	Point-of-care ultrasound differentiated the cause of proteinuria in a patient with lung cancer.	

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
7	Ogata M, Tominaga N, Morikubo S, Inoue T, Shibagaki Y, Yazawa M.	CEN Case Rep	2025 Jan 22. doi: 10.1007/ s13730-025- 00964-9. Epub ahead of print. PMID: 39843884.	2025.1	An educational case of toluene intoxication: importance of kidney function and timing in diagnosis.	
8	Sumi H, Tominaga N, Fujita Y, Verbalis JG; and the Electrolyte Winter Seminar, Collaborative Group.	Clin Exp Nephrol	2025 Feb;29(2) :134-148. doi: 10.1007/ s10157-025- 02624-9. Epub 2025 Jan 23. PMID: 39847311; PMCID: PMC 11828805.	2025.2	Pathophysiology, symptoms, outcomes, and evaluation of hyponatremia: comprehension and best clinical practice.	
9	Sumi H, Tominaga N, Fujita Y, Verbalis JG; Electrolyte Winter Seminar Collaborative Group.	Clin Exp Nephrol	2025 Mar;29(3) :249-258. doi: 10.1007 /s10157-024- 02606-3. Epub 2025 Jan 23. PMID: 39847310; PMCID: PMC11893709.	2025.3	Treatment of hyponatremia: comprehension and best clinical practice.	

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	矢田哲康 齋藤充央 富永直人	第 34 回日本臨床工学会	2024.5	医療機器リモート監視システムとその有用性～ MD Linkage の導入経験から～	
2	依田詢平 齋藤充央 富永直人	第 34 回日本臨床工学会	2024.5	呼気ポートの違いが人工呼吸器トリロジー Evo の換気に与える影響	
3	矢田哲康 大場次郎 富永直人	第 34 回日本臨床工学会	2024.5	災害時の圧挫症候群に対する医療供給体制の実態調査（厚生労働省科研費補助金研究）	
4	大森眞由美 吉田美香 樋口 愛 中尾裕美子 菊地初実 富永直人	第 69 回日本透析医学会 学術集会・総会	2024.6	エコーガイド下穿刺トレーニングの取り組みと課題	
5	丑丸 秀 藤島理恵 奥瀬千晃	第 69 回日本透析医学会 学術集会・総会	2024.6	HB ワクチン接種後に HBs 抗原が陽性となった維持血液透析患者の一例	
6	後藤美春 奥山恵美子 丑丸 秀	第 54 回日本腎臓学会東 部学術大会	2024.9	高アンモニア血症による意識障害を契機に血液透析を開始した症例	
7	北野史也 奥山恵美子 小波津香織 友廣忠寿 柴垣有吾	第 54 回日本腎臓学会東 部学術大会	2024.9	ロキサデュスタットによる中枢性甲状腺機能低下が原因とみられる透析困難症の一症例	
8	田島 亮 鈴木幹広 吉田俊哉 古賀将史	第 54 回日本腎臓学会東 部学術大会	2024.9	経カテーテル的大動脈弁置換術後に Stanford B 型急性大動脈解離を発症し急性腎障害となった 1 例	
9	小山 亮 麻生芽亜 田邊 淳 久道三佳子 柴垣有吾	第 54 回日本腎臓学会東 部学術大会	2024.9	肝細胞癌の化学療法中に発症した Pauci-immune 型 ANCA 陰性半月体形成性腎炎の一例	
10	角 浩史 富永直人	第 28 回日本透析アクセ ス医学会学術集会・総会	2024.10	生検鉗子による血栓除去にて血管内治療のみで血栓を伴う慢性完全閉塞を加療し得た一例	
11	丑丸 秀 藤島理恵 椎崎和弘	第 26 回日本骨粗鬆症学 会	2024.10	メテノロン酢酸エステルによる貧血治療中に骨密度低下抑制を認めた骨髄異形成症候群患者の一例	
12	奥山恵美子	第 34 回初学者のための 腎臓病教室	2024.12	腎移植患者の感染症	

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
13	濱田悠佑 土田善之 富永直人 藤谷茂樹	五十嵐義浩 大川 修 吉田 徹	第 52 回日本集中治療医 学会学術集会	2025.3 当院での集中治療における CE の関わり 方の変貌	

[目次へ戻る](#)

代謝・内分泌内科

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	望月亮太 竹本彩夏 太田明雄	小藤 梢 清水紗智 曾根正勝	第 62 回 日本糖尿病学会 関東甲信越地方会	2025.2 尿路感染症を契機に背部皮下膿瘍と 敗血症性肺塞栓症を来した 2 型糖尿 病の一例	
2	清水紗智 小藤 梢 望月亮太	太田明雄 竹本彩夏 曾根正勝	第 62 回 日本糖尿病学会 関東甲信越地方会	2025.2 右足胼胝感染を契機に下腿の筋層内 膿瘍と深部静脈血栓症をきたした 2 型糖尿病の一例	

[目次へ戻る](#)

脳神経内科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Tachikawa K, Shimizu T, Imai T, Ko R, Kawai Y, Omae Y, Tokunaga K, Frith MC, Yamano Y, Mitsuhasi S.	J Molecular Diagnostics	26・2・ 1016-1032	2025.2	Cost-effective Cas9-Mediator Targeted Sequencing of Spinocerebellar Ataxia Repeat Expansions.	Tachikawa K
2	Mizukami H, Shiraishi M, Kaburagi M, Matsumoto H, Hagiwara Y, Yamano Y.	Brain Sciences	14・6・524	2025.2	Utility of Combining Transcranial Sonography and MIBG Myo-2 cardial Scintigraphy to Evaluate Substantia Nigra in Patients 3 with Parkinson's Disease.	Mizukami H

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	太刀川慶史 清水高弘 今井 健 山野嘉久 三橋里美	ヨーロッパ人類遺伝学会 (ESHG)	2024.6	Cost-effective Cas9-Mediator Targeted Sequencing of Spinocerebellar Ataxia Repeat Expansions.	太刀川慶史
2	篠原健介	Migraine Web Seminar	2024.6	片頭痛治療の最前線	篠原健介
3	篠原健介	KANAGAWA Migraine Meeting	2024.9	当院での片頭痛治療について	篠原健介
4	大熊優梨花 太刀川慶史 松本博文 篠原健介 大熊壮尚 山野嘉久	第 42 回日本神経治療学 会学術集会	2024.11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎にお ける経静脈的免疫グロブリンによる外 来点滴維持療法の検討	大熊優梨花
5	大熊壮尚	第 52 回日本頭痛学会総 会	2024.12	三叉神経痛・自律神経性頭痛 そ の他の一次性頭痛の実臨床における 診断ポイント	大熊壮尚
6	篠原健介	KANAGAWA Migraine Meeting	2025.1	アジョビが拓く未来：12 週に 1 回 の利便性と治療効果、精神疾患への新 たな可能性	篠原健介
7	松本博文	第 8 回お茶の水パーキン ソン病フォーラム	2025.2	パーキンソン病における歩行動作・治 療効果の可視化～三次元解析で生ま れた新たなバイオマーカーの活用～	松本博文
8	佐藤和也 篠原健介 内野賢治 松本博文 大熊壮尚	第 693 回内科学会関東地 方会	2025.2	頭部 MRI 検査で巨大腫瘍様の脱髄病 変を認め Tumefactive MS と診断した 症例	佐藤和也
9	篠原健介	神経治療フォーラム	2025.3	パーキンソン病診療におけるオピカ ポン立ち位置～総合病院の脳神経内 科の立ち場から～	篠原健介

目次へ戻る

血液内科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Uemura Y, Yamamoto M, Ishimura M, Kanegane H, Sawada A, Hirakawa A, Imadome K, Yoshimori M, Nagata M, Yamamoto K, Shimizu N, Koike R, Arai A.	Blood Neoplasia	2(1),1-9 ISSN 2950- 3280, doi.org/ 10.1016/ j.bneo. 2024.10053 頁	2025.2	JAK1/2 inhibitor ruxolitinib for the treatment of systemic chronic active Epstein- Barr virus disease: a phase 2 study.	Uemura Y

◇学会

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	伏屋愛加 山本正英 平川晃弘 小池竜司	西尾美和子 森 毅彦 佐々木誠治 新井文子	第 121 回日本内科学会総 会・講演会	2024.4	全身性慢性活動性 EB ウイルス病成人 例の臨床像と予後因子の解明 ～レ ジストリデータを用いた後方視的解 析～	伏屋愛加
2	上村 悠 鈴木 黎 鈴木義則 加藤雅之 佐野文明 新井文子	安井 寛 伏屋愛加 内田三四郎 大島久美 富田直人	第 49 回日本骨髄腫学会 学術集会	2024.6	ダラツムマブ併用療法が有効であつ た IgM κ 型形質細胞白血病	上村 悠
3	上村 悠 下牧瑠那 大橋彩香 宮部斉重	西尾美和子 吉森真由美 伏屋愛加 新井文子	第 86 回日本血液学会学 術集会	2024.10	全身性慢性活動性 EB ウイルス病の診 断と治療効果判定における CXCL10 の意義	上村 悠
4	Uemura Y, Nishio M, Shimomaki R, Yoshimori M, Ohashi A, Fuseya A, Miyabe Y, Arai A.		The 66th ASH Annual Meeting and Exposition	2024.12	The potential of plasma CXCL10 as a biomarker that reflects pathogenesis and prognosis in systemic chronic active EBV disease.	Uemura Y

[目次へ戻る](#)

腫瘍内科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Yamamoto H, Arai H, Oikawa R, Umemoto K, Takeda H, Mizukami T, Kubota Y, Doi A, Horie Y, Ogura T, Izawa N, Moore JA, Sokol ES, Sunakawa Y.	Target Oncol	19(3): 459-471	2024. 5	The Molecular Landscape of Gastric Cancers for Novel Targeted Therapies from Real-World Genomic Profiling.	Yamamoto H

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
2	Takeda H, Yamamoto H, Oikawa R, Umemoto K, Arai H, Mizukami T, Ogawa K, Uchida Y, Nagata Y, Kubota Y, Doi A, Horie Y, Ogura T, Izawa N, Moore JA, Sokol ES, Sunakawa Y.	JCO Precis Oncol	e2300425.	2024. 8	Genomic Profiling of Small Intestine Cancers From a Real-World Data Set Identifies Subgroups With Actionable Alterations.	Takeda H
3	Kobayashi T, Tsuboya A, Ogura T, Shinohara K, Ito Y.	日本臨床腫瘍薬学会雑誌	Vol38, 7-13	2024.10	A Case of Recurrent Gastric Cancer in Which Patient Education by a Pharmacist Helped Recover from Myasthenia Gravis Induced by Nivolumab.	Kobayashi T

[目次へ戻る](#)

緩和ケア内科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	橋口さおり 宮島加耶 森山久美	産科と婦人科	91・11・ 1209-1214	2024.11	【再発・転移をきたした婦人科がんの治療 - 標準治療を超えた挑戦 -】再発・転移をきたした難治性がん患者をチームで支える	橋口さおり

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	森山久美 福田陽子 石井将光 伊藤優子 紙本昭子 中川友佳子 土師日香里 蛇川由紀 橋口さおり	第 29 回日本緩和医療学会学術集会	2024.6	クモ膜下フェノールブロックにて難治性肛門部痛とともに排便困難とADL が改善した大腸癌仙骨転移の一症例	森山久美

[目次へ戻る](#)

神経精神科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Oguchi Y, Miyake N, Ando K.	Neuropsychopharmacology Report	44(2): 417-423	2024.6	Barriers to long-acting injectable atypical antipsychotic use in Japan: Insights from a comparative psychiatrist survey.	Oguchi Y

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	間野 航 村岡 陽 佐々木友理加 三宅誕生	東京精神医学会第 133 回 学術集会	2025.3	フラッシュバック様の症状を呈した 強迫症の 1 例	間野 航
2	村岡 陽 間野 航 佐々木友理加 相原茉莉 森山久美 三宅誕生	東京精神医学会第 133 回 学術集会	2025.3	緩和ケア病棟における精神・心理的 支援の現状	村岡 陽

[目次へ戻る](#)

小児科

◇著書

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	後藤海人	レジデント & ジェネラ リストのためのアレルギー 診療必携ガイド	176 頁	2024.7	アレルギー患者への対応 14. 食物アレルギー⑧牛 乳	後藤海人

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Toshiyuki Iwasaki, Toshihiro Kobayashi, Yusaku Miyamoto, Taichi Imaizumi, Shotaro Kaku, Noriko Udagawa, Hitoshi Yamamoto, Naoki Shimizu.	J Clin Med	13(22)	2024.11	Efficacy and Blood Levels of Lacosamide in Patients with Focal Epilepsy.	Toshiyuki Iwasaki

◇学会

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	岩崎俊之		第 57 回日本てんかん学会学術集会	2024.9	焦点てんかん患者におけるラコサミド内服量と最高／最低血中濃度との相関	岩崎俊之
2	後藤海人 糸永宇慧 柳田紀之 清水直樹	房安直子 高橋亨平 佐藤さくら 海老澤元宏	第 73 回日本アレルギー学会学術大会	2024.10	4 歳までに発症したピーナッツアレルギー児の 11 歳までの自然歴と予後因子の検討	後藤海人
3	Kaito Goto, Naoko Fusayasu, Kyohei Takahashi, Kenichi Nagakura, Takaaki Itonaga, Noriyuki Yanagida, Sakura Sato, Naoki Shimizu, Motohiro Ebisawa.		2025 AAAAI / WAO Joint Congress	2025.2	Clinical course of peanut allergy in Japanese children: A follow-up study until age 12.	Kaito Goto
4	ホセイン ムタサッディク 足利朋子 小林久志 住田龍平 勝田友博 清水直樹	磯野るり 島田和徳 相葉裕幸 岩崎俊之	第 135 回日本小児科学会 神奈川県地方会	2025.2	皮膚生検をせずに BCG 副反応による結核疹と診断した一例	ホセイン ムタサッ ディク

[目次へ戻る](#)

消化器・一般外科

◇学会

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	内藤正規 根岸宏行 臼井創太 三重野浩明 内藤 剛	大島隆一 勝又健太 天野優希 國場幸均 大坪毅人	第 124 回日本外科学会定期学術集会	2024.4	直 腸 癌 切 除 後 に 対 す る Tri-staple circular stapler 使用時における縫合不全危険因子の検討	内藤正規
2	勝又健太 大島隆一 臼井創太 菊地悠輔 國場幸均	内藤正規 根岸宏行 天野優希 三重野浩明 大坪毅人	第 124 回日本外科学会定期学術集会	2024.4	後期高齢者における下部消化管穿孔に対する緊急消化管穿孔に対する緊急手術症例での転機に影響する術前因子の検討	勝又健太
3	大島隆一		第 7 回若浜の会	2024.5	座長：特別講演 / コメンテーター	大島隆一
4	鈴木和臣 泉谷 匠 石井将光 四万村司 栗原 毅 土居正知	増田哲也 片山真史 谷口清章 朝倉武士 吉岡まき 大坪毅人	第 49 回日本外科連合学会学術集会	2024.6	術前診断に難渋した鼠径部脂肪肉腫の 1 切除例	鈴木和臣

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
5	Kosuke Isomura, Sota Usui, Masanori Naito, Yuki Amano, Kenta Katsumata, Hiroyuki Negishi, Ryuichi Oshima, Yukihito Kokuba, Takehito Otsubo.	The International college of Surgeons The 69th Annual Congress of the Japan Section	2024.6	A case of laparoscopic distorsion release for small intestinal axis torsion with chylous ascites.	Kosuke Isomura
6	大島隆一	第 79 回日本消化器外科 学会総会	2024.7	座長：一般演題 212 大腸：側方郭清	大島隆一
7	根岸宏行 内藤正規 天野優希 臼井創太 勝又健太 大島隆一 國場幸均 大坪毅人	第 79 回日本消化器外科 学会総会	2024.7	回腸人工肛門造設を伴う直腸悪性腫 瘍手術後に outlet obstruction をきた した症例の検討	根岸宏行
8	内藤正規 大島隆一 根岸宏行 勝又健太 臼井創太 天野優希 三重野博朗 内藤 剛 國場幸均 大坪毅人	第 79 回日本消化器外科 学会総会	2024.7	縫合不全を回避するための lip margin を意識した double stapling technique (Double stapling technique with consideration of lip margin to avoid anastomotic leakage)	内藤正規
9	片山真史	第 31 回神奈川肝胆膵外 科研究会	2024.10	閉会の辞	片山真史
10	大島隆一 四万村司 臼井創太 天野優希 勝又健太 根岸宏行 内藤正規 朝倉武士 大坪毅人	第 79 回日本大腸肛門病 学会学術集会	2024.11	超高齢者（90 歳以上）の進行大腸癌 に対する腹腔鏡下手術の治療成績	大島隆一
11	根岸宏行 内藤正規 澤田真裕 増田哲之 天野優希 臼井創太 勝又健太 中野 浩 佐々木大祐 福岡麻子 大島隆一 四万村司 牧角良二 大坪毅人	第 79 回日本大腸肛門病 学会学術集会	2024.11	閉塞性大腸癌に対し大腸ステントを 挿入し待機的手術を施行した症例に ついての治療成績と課題	根岸宏行
12	佐々木大祐 牧角良二 西澤 一 浜辺太郎 福岡麻子 内藤正規 四万村司 大坪毅人	第 79 回日本大腸肛門病 学会学術集会	2024.11	当科における肛門管腺癌 9 例の検討	佐々木大祐
13	牧角良二 福岡麻子 浜辺太郎 佐々木大祐 西澤 一 内藤正規 四万村司 大坪毅人	第 79 回日本大腸肛門病 学会学術集会	2024.11	当院での直腸脱に対する術式選択の 妥当性とその治療成績の検討	牧角良二
14	四万村司	第 37 回日本内視鏡外科 学会総会	2024.12	司会：ミニオーラル 25 下部悪性 症例報告 1	四万村司
15	鈴木和臣 谷口清章 大島隆一 四万村司 大坪毅人	第 37 回日本内視鏡外科 学会総会	2024.12	幽門狭窄を伴う CY1P0 進行胃癌に対 し化学療法後ロボット支援下幽門側 胃切除術を施行した 1 例	鈴木和臣

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
16	大島隆一 宮島伸宜	國場幸均 鈴木佳透	第 37 回日本内視鏡外科 学会総会	2024.12	直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術 における当院の導入初期成績とその こだわり	大島隆一
17	四万村司 鈴木和臣 牧角良二	大島隆一 谷口清章 大坪毅人	第 37 回日本内視鏡外科 学会総会	2024.12	市中病院における大腸癌に対するロ ボット支援下手術導入と課題	四万村司
18	相馬未来 泉家 匠 片山真史 谷口清章 朝倉武士 大坪毅人	鈴木和臣 大島隆一 石井将光 四万村司 民上真也	聖マリアンナ医科大学医 学会第 87 回学術集会	2025.2	幽門狭窄を伴う CY1P0 進行胃癌に対 し、化学療法後ロボット支援下幽門 側胃切除術を施行した 1 例	相馬未来
19	鈴木和臣 泉家 匠 片山真史 四万村司 伊藤俊一 大坪毅人	谷口清章 大島隆一 石井将光 朝倉武士 細田 圭	第 97 回日本胃癌学会総 会	2025.3	進行胃癌に対する術前化学療法後の ロボット手術の成績	鈴木和臣

[目次へ戻る](#)

脳神経外科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	浅香真衣子 松本 浩 廣瀬雅宣 小形厚貴 藤重瑤子 平間千絵 アニン祥子 隈元亜依 宮本豊一 長島悟郎 高野知憲 國島広之	環境感染誌	39 (4); 117-125, 2024	2024.1	血液培養陽性症例を対象 とした抗菌薬適正使用支 援チームによる介入内容 および臨床アウトカムの 評価	浅香真衣子
2	小野 元	改訂第6版 救急診療指 針	下 (6): 1434-1435	2024.4	XIV 人生の最終段階に おける医療 ⑤心停止後 臓器提供	小野 元
3	小野 元 加藤庸子	日本臨床腎移植学会雑 誌	2024;12(2): 151-154	2024.8	将来の日本における心肺 停止後臓器提供の在り方 ー教育・臨床倫理を中心 にー	小野 元
4	Ono H, Kaji T, Morishima H, Nagashima G.	CUREUS JOURNAL OF MEDICAL SCIENCE	: DOI: 10.7759/ cureus. 72228.	2024.10	A rare case of shunt malfunction due to the needle guard coming off during ventriculoperitoneal shunt surgery.	Ono H

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	小野 元	第44回日本脳神経外科 コンgres総会	2024.5	頭部外傷の病態生理と急性期治療: アップデートと課題	小野 元
2	小野 元 長島悟郎 梶 友紘 森嶋啓之	第52回日本小児脳神経 外科学会	2024.6	頭髮の引っ張りにより発生した帽状 腱膜下血腫の一例	小野 元
3	長島悟郎	第39回日本環境感染学 会総会	2024.7	パネルディスカッション13 病院機 能の第三者認証制度を感染制御の視 点から考える 病院機能評価審査側 の立場から	長島悟郎
4	宮崎一輝 栗田将旭 森嶋啓之 小野 元 長島悟郎	第154回一般社団法人日 本脳神経外科学会 関東 支部学術集会	2024.9	脳室腹腔シャント不全に対して嚢胞 脳室腹腔シャントが有用であった Dandy-Walker Syndrome の一例	宮崎一輝
5	森嶋啓之 宮崎一輝 栗田将旭 小野 元 長島悟郎 村田英俊	一般社団法人日本脳神経 外科学会 第83回学術集会	2024.10	Persistent primitive hypoglossal artery を伴う内頸動脈狭窄症に対す る CAS の工夫	森嶋啓之
6	平野智之 長島悟郎	第62回全国自治体病院 学会	2024.10 2024.11	院内職員による病院機能評価サーベ ランスの有用性についてー本審査結 果による考察ー	平野智之
7	塚本嵩仁 大木 明 長島悟郎 塚原正祥 黒崎 晃	第62回全国自治体病院 学会	2024.10 2024.11	自治体病院としてのSDGsへの取り 組み	塚本嵩仁

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
8	東 祐樹 田中 拓 蔵光美穂 磯島恭平	富永勇輝 加藤一徳 長島悟郎 塚本嵩仁	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10 2024.11	病院救急救命士が市中病院で貢献で きること―主に安定した状態の患者 の病院間搬送目的に―	東 祐樹
9	松本愛美 奥瀬千晃	加藤一徳 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10 2024.11	緊急診療依頼の分析 ～紹介患者数 増加を目指して～	松本愛美
10	長久保瑞紀 橋本卓也	宮崎秀和 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10 2024.11	患者用パス全件見直しの取り組みに ついて	長久保瑞紀
11	島田 歩 橋本卓也	宮崎秀和 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10 2024.11	病院機能評価カルテレビュー 審査受 審に向けた対策に関する取り組み	島田 歩
12	平田裕吏安 橋本卓也	宮崎秀和 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10 2024.11	DNAR 指示の手順見直しに向けた当 院の現状調査について	平田裕吏安
13	廣富匡志 池田史朗 細田智弘 中島由紀子 國島広之 三崎貴子	淀谷雄亮 丸山 絢 坂本光男 長島悟郎 竹村 弘	第 92 回神奈川県感染症 医学会	2024.11	川崎市における過粘稠性肺炎桿菌 (hvKP) 感染症の発生状況と肝膿瘍の 発症に関わるリスク因子に関する研 究	廣富匡志
14	森嶋啓之 栗田将旭 長島悟郎	宮崎一輝 小野 元 村田英俊	第 40 回日本脳神経血管 内治療学会学術集会	2024.11	Persistent primitive hypoglossal artery を伴う内頸動脈狭窄症に対す るステント留置術のフィルタープロ テクションの工夫	森嶋啓之
15	宮崎一輝 栗田将旭 長島悟郎	小野 元 森嶋啓之	第 12 回手技にこだわる 脳神経外科ビデオカン ファランス	2025.1	開頭クリッピング術への術前と術中 評価の違いについて	宮崎一輝
16	小野 元 宮崎一輝 長島悟郎	栗田将旭 森嶋啓之	第 30 回日本脳神経外科 救急学会	2025.2	硬膜下膿瘍の鑑別に MRI・FLAIR 画像 は有用か？	小野 元
17	内藤 静 長島悟郎	小野 元	第 30 回日本脳神経外科 救急学会	2025.2	A 病院の脳神経外科で求められる特 定看護師の役割と今後の展望	内藤 静
18	小野 元 宮崎一輝 長島悟郎	栗田将旭 森嶋啓之	第 48 回日本脳神経外傷 学会	2025.2	小児頭部外傷による頭がい骨骨折の 特徴と力学的分析	小野 元

[目次へ戻る](#)

整形外科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Satoshi Kishiro, Kenji Uehara, Naoki Minakawa, Mahiro Ono, Takaaki Kudo, Takashi Kotani, Takanori Kumai, Hiroyuki Onuma, Tsutomu Akazawa, Hisateru Niki.	Journal of Orthopaedic Science	30(2): 333-338	2025.3	Subchondral insufficiency fractures of the medial tibial condyle are associated with medial meniscus extrusion: A retrospective observational study.	Satoshi Kishiro

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	小谷貴史 植原健二 木城 智 熊井隆智 土田京太 大沼弘幸 仁木久照	第 97 回日本整形外科学 会学術総会	2024.5	Mechanical alignment 法による Robotic-assisted TKA と conventional TKA での術前後 CPAK 分類変化と正 確性の比較検討	小谷貴史
2	土田京太 植原健二 木城 智 熊井隆智 小谷貴史 大沼弘幸 杉浦善弥 小泉宏隆 仁木久照	第 97 回日本整形外科学 会学術総会	2024.5	Mechanical alignment 法による Robotic-assisted TKA と conventional TKA の臨床成績	土田京太
3	熊井隆智 植原健二 木城 智 小谷貴史 土田京太 大沼弘幸 仁木久照	第 39 回日本整形外科学 会基礎学術集会	2024.10	膝関節加齢性疾患における膝窩筋の 役割の検討	熊井隆智
4	小谷貴史 植原健二 木城 智 大野真弘 熊井隆智 大沼弘幸 仁木久照	第 2 回日本膝関節学会	2024.12	膝窩筋腱周囲に発生した腱滑膜巨細 胞腫に対して腱鞘内視鏡を併用した 1 例	小谷貴史
5	小谷貴史 植原健二 木城 智 大野真弘 熊井隆智 大沼弘幸 仁木久照	第 2 回日本膝関節学会	2024.12	手術支援ロボットを用いた TKA にお けるトラッカーピン刺入による合併 症の解剖学的検討	小谷貴史
6	植原健二 熊井隆智 小谷貴史 土田京太 木城 智 大沼弘幸 仁木久照	第 2 回日本膝関節学会	2024.12	TKA 手術支援ロボット ROSA のラー ニングカーブ	植原健二
7	金子瑛久 大沼弘幸 小泉英樹 岩田英明 木村聡美 仁木久照	関東整形災害外科学会 月 例会 第 716 回整形外科 集談会 東京地方会演題	2025.2	変形性膝関節症を伴う膝蓋骨折に 対して観血的整復固定術と人工膝関 節置換術を一期的に施行した一例	金子瑛久

目次へ戻る

形成外科

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	望月靖史 西田翔平 梶川明義	第 308 回関東形成外科学 会東京地方会	2024.12	高度側弯を伴う高度漏斗胸に対する 胸骨挙上術の一例	望月靖史

[目次へ戻る](#)

泌尿器科

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	栗原 毅 相田紘一朗	第 38 回日本泌尿器内視 鏡・ロボティクス学会 総会	2024.11	当院における軟性尿管鏡故障に関す る因子の検討	栗原 毅
2	栗原 毅 吉岡まき	第 70 回日本泌尿器科学 会神奈川地方会	2025.2	当院におけるディスポーザブル軟性 尿管鏡 WiScope の初期経験	栗原 毅

[目次へ戻る](#)

眼科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	松澤亜紀子 土至田宏	あたらしい眼科	41(4) P417-418	2024.4	コンタクトレンズセミナー 4. コンタクトレンズの湿潤性、洗浄、消毒および涙液との相互作用（後編）	松澤亜紀子
2	土至田宏 松澤亜紀子	あたらしい眼科	41(5) P547-548	2024.5	コンタクトレンズセミナー 5. コンタクトレンズの素材やデザインによる眼の解剖学的・生理学的影響	土至田宏
3	松澤亜紀子 土至田宏	あたらしい眼科	41(6) P683-684	2024.6	コンタクトレンズセミナー 6. コンタクトレンズの光学設計（前編）	松澤亜紀子
4	松澤亜紀子 土至田宏	あたらしい眼科	41(7) P815-816	2024.7	コンタクトレンズセミナー 7. コンタクトレンズの光学設計（後編）	松澤亜紀子
5	土至田宏 松澤亜紀子	あたらしい眼科	41(8) P965-966	2024.8	コンタクトレンズセミナー 8. オルケソラトロジー（1）	土至田宏
6	土至田宏 松澤亜紀子	あたらしい眼科	41(9) P1097-1098	2024.9	コンタクトレンズセミナー 9. オルケソラトロジー（2）	土至田宏
7	土至田宏 松澤亜紀子	あたらしい眼科	41(10) P1221-1222	2024.10	コンタクトレンズセミナー 10. オルケソラトロジー（3）	土至田宏
8	松澤亜紀子 土至田宏	あたらしい眼科	41(11) P1331-1332	2024.11	コンタクトレンズセミナー 11. 強膜レンズ（1）	松澤亜紀子
9	松澤亜紀子 土至田宏	あたらしい眼科	41(12) P1443-1444	2024.12	コンタクトレンズセミナー 12. 強膜レンズ（2）	土至田宏
10	松澤亜紀子	眼科グラフィック	13(6) P679-684	2024.12	老視や近見作業と上手につきあう	
11	Toshida H, Matsuzawa A, Koh S, Hori Y.	Eye & Contact Lens	(12) P522-526	2024.12	History of Lens Care Products in Japan: Insights From Advertisements in the Journal of the Japan Contact Lens Society for 65 Years.	土至田宏

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
12	松澤亜紀子 土至田宏	あたらしい眼科	42(1) P79-80	2025.1	コンタクトレンズセミナー 13. 医療用コンタクトレンズ (1)	松澤亜紀子
13	松澤亜紀子 土至田宏	あたらしい眼科	42(2) P221-222	2025.2	コンタクトレンズセミナー 14. 医療用コンタクトレンズ (2)	松澤亜紀子
14	松澤亜紀子 土至田宏	あたらしい眼科	42(3) P341-342	2025.3	コンタクトレンズセミナー 15. 医療用コンタクトレンズ (3)	松澤亜紀子
15	松澤亜紀子	眼科診療エクレール 7 再診 屈折異常と視力 矯正マニュアル	7号 P196-201	2025.3	屈折矯正法 コンタクト レンズのフィッティング と定期検査 (1) ハードコ ンタクトレンズ	
16	松澤亜紀子	日本コンタクトレンズ 学会誌	67(1) P17-20	2025.3	カラーコンタクトレンズ と角膜	

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	正木雄麻 重城達哉 藤田直輝 有菌生吹 吉村雅弘 梯 滉太 北岡康史	第 16 回神奈川眼科学会	2024.5	当院における外傷性黄斑円孔の自然 閉鎖例と手術加療例の比較検討	正木雄麻
2	松澤亜紀子	第 15 回聖マリアンナ眼 科臨床フォーラム	2024.6	明日から役立つ MGD 診療	
3	洲之内千尋 松澤亜紀子 原 雄将 林 孝彦 山上 聡	第 66 回日本コンタクト レンズ学会	2024.7	急性水腫に対し治療用コンタクトレ ンズを使用した 2 症例	洲之内千尋
4	松澤亜紀子	第 66 回日本コンタクト レンズ学会 (基礎講座 2)	2024.7	あらためて遠近両用ソフトコンタク トレンズ処方を見直そう！シニア世 代に合う遠近両用ソフトコンタクト レンズを知ろう！	
5	正木雄麻 重城達哉 佐藤圭司 関根伶生 北岡康史	第 63 回日本白内障学会 総会 第 5 回水晶体研究会	2024.8	眼内レンズ固定術後逆瞳孔ブロック 発症のリスク因子に関する検討	正木雄麻
6	鉾塚友子 松澤亜紀子 波呂栄子 安部好美 杉山智亜希 海老原紘子 上杉康雄 中川志帆 林 泰博	第 60 回日本眼光学学会	2024.8	円錐角膜と Fuchs 角膜内皮ジストロ フィーを合併した白内障の 1 症例	鉾塚友子
7	松澤亜紀子	第 2 回大宮眼科医会学術 講演会	2024.10	レンズケアの現状～今必要なコンタ クトケアとは？	

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
8	松澤亜紀子	第7回 SENJU Ophthalmic seminar	2024.10	コンタクトレンズの知っているようで知らない話	
9	松澤亜紀子 土至田宏 二宮さゆり 月山純子 東原尚代 重安千花 糸井素啓	第78回日本臨床眼科学会 (インストラクションコース)	2024.11	知っておきたいコンタクトレンズの役に立つお話 その3.	
10	松澤亜紀子	第17回広島臨床眼科セミナー	2024.11	コンタクトレンズ診療のススメ	

◇その他

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	松澤亜紀子	札幌市コンタクトレンズケア勉強会	2024.6	レンズケアで解消！CLトラブル	
2	松澤亜紀子	函館エリアセミナー 函館市コンタクトレンズ勉強会	2024.9	コンタクトレンズ処方とレンズケア	
3	松澤亜紀子	日本コンタクトレンズ協会 9月10日「コンタクトレンズの日」メディアセミナー	2024.9	コンタクトレンズ使用コンプライアンス強化月間	
4	土至田宏 澤 充 金井 淳 佐々木香る 柳井亮二 松澤亜紀子	日本コンタクトレンズ協会 コンタクトレンズ営業所管理者継続的研修会	2024.10	コンタクトレンズの医療情報	
5	松澤亜紀子	大阪コンタクトレンズケアセミナー	2024.12	レンズケアの現状～今必要なレンズケアとは？	

[目次へ戻る](#)

耳鼻咽喉科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	中村 学	Equilibrium Research	83(4): 235-237	2024.8	カンファレンスルーム (CASE27) めまいを主訴 に来院した嚥下性失神	中村 学

[目次へ戻る](#)

放射線科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	塩原拓実 有菌翔子 淵上真希 齋藤祐貴 藤川あつ子 麻生健太郎 宮寄 治	小児科臨床	2024;77(2): 205-207	2024.2	今月の症例 画像診断 右肺動脈欠損症	

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	塩原拓実 藤川あつ子 有菌翔子 淵上真希 齋藤祐貴 三村秀文	第 83 回日本医学放射線 学会総会	2024.4	メッセル憩室とその合併症の画像診 断	
2	有菌翔子 藤川あつ子 松岡 伸 齋藤祐貴 塩原拓実 淵上真希 田沼隆夫 小川泰良 力石耕介 三村秀文	第 83 回日本医学放射線 学会総会	2024.4	ノイズリダクション技術を使用した 単純 X 線写真の画質評価：ファント ム実験による異物検出能	
3	齋藤祐貴 藤川あつ子 塩原拓実 有菌翔子 淵上真希 小林大地 田沼隆夫 三村秀文	第 83 回日本医学放射線 学会総会	2024.4	ノイズ低減を用いたポータブル単純 X 線写真の画質評価	
4	土手 季 和田慎司 宮川久弥恵 塩原拓実 縄田晋太郎 橋本一樹 濱口真吾 酒井寛貴 松本純一 三村秀文	第 53 回日本 IVR 学会総会	2024.5	特発性血気胸による出血性ショック に対して TAE を施行した 1 例	
5	有菌翔子 藤川あつ子 久保木想太 岡村隆徳 齋藤祐貴 淵上真希 塩原拓実 三村秀文	第 60 回日本小児放射線 学会学術集会	2024.6	咽頭後間隙及び扁桃周囲の炎症性病 態に対する超音波検査の経験	
6	塩原拓実 藤川あつ子 有菌翔子 齋藤祐貴 古田繁行 三村秀文	第 60 回日本小児放射線 学会学術集会	2024.6	卵巣捻転を膿瘍形成性虫垂炎と CT で 誤診した 1 例	

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
7	加藤 絢 森本公平 森本 毅	和田慎司 橋本一樹 三村秀文	第 34 回日本救急放射線 研究会	2024.10	重複胆嚢に生じた急性胆嚢炎に対し 経皮的ドレナージを施行した 1 例	

[目次へ戻る](#)

歯科口腔外科

◇学会

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	米田栞奈 松村三妃 市川はるの	藤原久子 宮川萌子 濱田良樹	第 78 回 NPO 法人 日本口腔科学会学術集会	2024.7	大唾液腺摘出の腸内環境への影響	米田栞奈
2	松村三妃 米田栞奈 市川はるの	藤原久子 宮川萌子 濱田良樹	第 78 回 NPO 法人 日本口腔科学会学術集会	2024.7	抗腫瘍薬誘発粘膜障害に対する PARP 阻害剤併用効果の検証	松村三妃
3	市川はるの 平野有美 竹内るみ 平岩はるな 新井 剛	山科由美子 平澤寿美江 浜崎容子 石井宏昭	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10	川崎市立多摩病院における薬剤関連 顎骨壊死予防のための医科歯科連携 の現状について	市川はるの
4	山科由美子 浜崎容子 竹内るみ 石井宏昭	平岩はるな 平野有美 市川はるの 新井 剛	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10	川崎市立多摩病院における周術期等 口腔機能管理の介入効果	山科由美子
5	市川はるの 石井宏昭 新井 剛	石井伸崇 小笠原邦成	第 218 回（公社）日本口 腔外科学会関東支部学術 集会	2024.12	下唇に発生した血管平滑筋腫の 1 例	市川はるの
6	山科由美子 石井宏昭	市川はるの 新井 剛	第 34 回日本有病者歯科 医療学会総会学術大会	2025.3	当院での栄養サポートチーム介入患 者における口腔内状態の調査結果	山科由美子

[目次へ戻る](#)

リハビリテーション科

◇誌上

番号	氏 名		掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	山崎太輝 笠原西介 武市尚也 渡邊紗都 桑村雄偉 鈴木規雄 足利光平 明石嘉浩	根本慎司 渡辺 敏 吉沢和也 赤尾圭吾 水越 慶 長田尚彦 木田圭亮	心臓リハビリテーショ ン学会誌	30 巻 1 号 p57-62	2024.4	高齢心不全患者の下肢筋 力が日常生活活動の困難 感に与える影響	山崎太輝
2	相川 駿 小林侑里	久枝桃子 横山仁志	理学療法一技術と研究	53、p61-64	2025.1	インフルエンザ A 型によ る鑄型気管支炎児におい て徒手肺過膨張法が有 効であった一例	相川 駿
3	八木麻衣子 浅田秀人 露木昭彰	近藤千雅 松本 肇	理学療法一技術と研究	53、p75-81	2025.1	神奈川県理学療法士会に おける管理者育成体制構 築に向けたロードマップ 策定のための基礎調査	八木麻衣子

◇学会

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	山崎太輝 笠原西介 武市尚也 渡邊紗都 桑村雄偉 鈴木規雄 足利光平 明石嘉浩	根本慎司 渡辺 敏 吉沢和也 赤尾圭吾 水越 慶 長田尚彦 木田圭亮	心臓リハビリテーション 学会	2024.7	Association between handgrip strength and prognosis in patients with heart failure complicated by atrial fibrillation.	山崎太輝
2	山崎太輝 笠原西介 武市尚也 渡邊紗都 桑村雄偉 鈴木規雄 足利光平 明石嘉浩	根本慎司 渡辺 敏 吉沢和也 赤尾圭吾 水越 慶 長田尚彦 木田圭亮	日本心不全学会学術集会	2024.10	カヘキシアを有する心不全患者において歩行速度は心不全再入院率に関連する	山崎太輝
3	山崎太輝 笠原西介	根本慎司 明石嘉浩	日本循環器理学療法学会	2024.11	運動負荷設定と疾患管理に重点をおいた非監視型運動療法により心不全再入院を回避できた重症心不全症例	山崎太輝
4	大石浩貴 杉村誠一郎 阿部直人 岡部拓大	鈴木 誠 佐々木祥太郎 時任孝英 山本淳一	第 13 回行動リハビリテーション研究会年次大会	2025.3	効率の良い浴槽またぎ動作様式：関節モーメントによる検討	大石浩貴

[目次へ戻る](#)

病理診断科

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	土居正知	脳腫瘍臨床病理カラー アトラス	各論 45 2024;(5) :123-125	2024.5	Neurofibroma, Perineurioma, Hybrid nerve sheath tumors.	土居正知
2	土居正知	脳腫瘍臨床病理カラー アトラス	各論 46 2024;(5) :126-128	2024.5	Malignant peripheral nerve sheath tumor, Malignant melanotic nerve sheath tumor.	土居正知
3	Enomoto Takeharu, Mikami Shinya, Otsubo Takehito, Tsuda Takashi, Chosokabe Motohiro.	A Case Report. Cureus	2024;16(5) : e60178	2024.5	Ten-Year Follow-Up Aftre Chemotherapy and Conversion Surgery for Human Epidermal Growth Factor Receptor 2-Positive Stage IV Esophagogastric Junction Cancer With a Pathological Complete Response.	Enomoto Takeharu
4	荻野正宗 沖津駿介 宇杉美由紀 早川智絵 相田芳夫	日本臨床細胞学会雑誌	63 巻 3 号 134-139	2024.5	後腹膜に発生した傍神経 節腫の 1 例	荻野正宗
5	Nakamura Hisao, Doi Masatomo, Matsushita Shouichirou, Ode So, Kadoi Takahiro, Tagawa Hiroko, Ucida Masashi, Mimura Hidefumi.	Journal of St. Marianna University	2024;15(1) : 1-8	2024.6	Comparison of thallium-201 uptake and retention indices for the evaluation of glioma Grading.	Nakamura Hisao
6	Chie Hayakawa (Futatsugami), Masahiro Hoshikawa, Johji Imura, Takahiko Ueno, Junki Koike.	Diagnostic Cytopathology	2024;52(9) : 485-498	2024.9	Verifying a novel bile cytology scoring system.	Chie Hayakawa (Futatsugami)
7	土居正知	[基礎講座] 脳外科領域 の細胞診（術中迅速診 断）	Medical Technology 2024;52(10) : 1040-1045	2024.10	検査データと血液像から 疾患を推測する ―白血 球編	土居正知

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
8	Ayaka Shimo, Koichiro Tsugawa, Kaori Sakamaki, Mina Kitajima, Mariko Takishita, Mizuho Tazo, Mari Nakano, Takako Kuroda, Ai Motoyoshi, Makiko Tsuzuki, Toru Nishikawa, Hisanori Kawamoto, Masatomo Doi.	A case report and literature review. Surgical case reports	2024;10(1) : 218-225	2024.10	The rare case of synchronous bilateral breast metastasis from a lung neuroendocrine tumor (small cell lung carcinoma).	Ayaka Shimo

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	中谷健二郎 黒木優一郎 貝原雄貴 得平卓也 吉田良仁 高橋秀明 松本伸行 長宗我部基弘 有泉 泰 立石敬介	日本消化器病学会関東支 部 第 379 回例会	2024.4	腺腫を合併した直腸粘膜脱症候群に 内視鏡切除を施行した一例	中谷健二郎
2	鈴木和臣 増田哲之 泉家 匠 片山真史 石井将光 谷口清章 四万村司 朝倉武士 栗原 毅 吉岡まき 土居正知 大坪毅人	第 49 回日本外科連合学 会学術集会	2024.6	術前診断に難渋した鼠径部脂肪肉腫 の 1 切除例	鈴木和臣
3	早川（二ツ神）智絵 稲山久美子 干川晶弘 井村穰二 荻野正宗 沖津駿介 宇杉美由紀 土居正知 野呂瀬朋子 大池信之	第 65 回日本臨床細胞学 会春期大会	2024.6	胆汁細胞診における良性異型細胞と 悪性細胞の鑑別	早川 （二ツ神） 智絵
4	貞嶋栄司 早川（二ツ神）智絵 中村香織 西崎凌次 平林健一 田尻琢磨 内藤嘉紀	第 65 回日本臨床細胞学 会総会春期大会	2024.6	統計解析からみる、胆汁細胞診にお ける細胞学的重要所見	貞嶋栄司
5	永澤 慧 岩谷胤生 本吉 愛 瀧下茉莉子 垣本紗代子 山内稚佐子 横江隆道 綿貫瑠莉奈 小池淳樹 長宗我部基弘 小島康幸 前田一郎 大西達也 太田智彦 津川浩一郎 鈴木 穰	第 32 回日本乳癌学会学 術総会	2024.7	多細胞間遺伝子ネットワーク解析に よる非浸潤性乳管がんの進展過程の 原理解明に基づいたリスク層別化の 取り組み（～非浸潤性乳管がんの治 療精密化を目指して～）	永澤 慧

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
6	竹内 淳 大原 樹 石井雅人 今井 悠 細沼信示 大熊克彰 戸澤晃子 鈴木 直	長宗我部基弘 劉 環壬 飯田瀬里香 金森 玲 近藤春裕 久慈志保 小池淳樹	第 66 回日本婦人科腫瘍 学会学術講演会	2024.7	当院における子宮体癌 FIGO2023 病 期分類 IA3 期の妥当性に関する検証	竹内 淳
7	北野史也 小山哲平 今井直彦 長宗我部基弘	白井小百合 町田慎治 市川大介 小池淳樹	第 115 回東京腎生検カン ファレンス	2024.9	胸部大動脈瘤術後に発症したびまん 性結節性病変を伴う FSGS の一例	北野史也
8	早川（二ツ神）智絵 稲山久美子 干川晶弘 荻野正宗 土居正知 大池信之	西郷千恵 井村穰二 長宗我部基弘 野呂瀬朋子	第 63 回日本臨床細胞学 会秋期大会	2024.11	肉眼型分類からみた胆管癌の細胞学 的アプローチ	早川 （二ツ神） 智絵
9	荻野正宗 宇杉美由紀 長宗我部基弘	沖津俊介 早川智絵 土居正知	第 63 回日本臨床細胞学 会秋期大会	2024.11	脾臓に発生した血管肉腫の 1 例～未 分化な血管系腫瘍にどこまで迫れる か～	荻野正宗

◇院外での活動

番号	氏 名	著者・誌上発表・学会発表名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	早川（二ツ神）智絵	癌研有明病院付設細胞検 査士養成所講義、標本実 習	2024.9	消化器領域の細胞診	早川 （二ツ神） 智絵

[目次へ戻る](#)

救急災害医療センター

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	野村 悠	月刊地域医学	38(6): 586	2024.6	疾患今昔物語 2ー消化器 編ー エディトリアル	野村 悠
2	田中 拓	月刊地域医学	38(9): 918	2024.9	知っておきたい最近の薬 エディトリアル	田中 拓
3	田中 拓	新版 マイナーエマー ジェンシー いざとう いうとき慌てない レジデントノート増刊	26(11): 2107-2111	2024.10	こんな患者さんが来た ら・・・家族がいらない！？	田中 拓
4	野村 悠	新版 マイナーエマー ジェンシー いざとう いうとき慌てない レジデントノート増刊	26(11): 1893-1901	2024.10	耳・鼻・口あごが外れた 顎関節脱臼	野村 悠

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
5	野村 悠	Hospitalist	2024(1): 176-184	2024.12	特殊な状況での輸血 宗教的理由による輸血拒否 絶対的無輸血か、相対的無輸血か まずは施設の方針を決めておく	野村 悠

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	野村 悠 高松由佳 吉田 徹	第 52 回日本救急医学会 総会・学術集会	2024.10	顎関節脱臼における口腔外整復法の 検証	野村 悠
2	北野夕佳 吉田英樹 津久田純平 榎井良裕	第 52 回日本救急医学会 総会・学術集会	2024.10	教育・リクルート・研究・臨床・マ ネジメント どの分野も同等に respect する心理的安全性	北野夕佳
3	東 祐樹 田中 拓 蔵光美穂 磯島恭平	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10	病院救急救命士が市中病院で貢献で きること	東 祐樹
4	岡田みちよ 松永光太郎	第 19 回医療の質・安全 学会	2024.11	報告書確認対策チームによる偶発的 重要初見未対応の追跡システムの評 価	岡田みちよ
5	東 祐樹 岩崎恵子 塚本嵩仁	第 30 回日本災害医学会 総会	2025.3	災害拠点病院の病院救急救命士が院 内災害教育にもたらす効果	東 祐樹

[目次へ戻る](#)

腎センター

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	大森真由美 樋代理景 福岡嘉恵 石渡希恵 富永直人	第 69 回日本透析医学会・ 学術集会	2024.6	エコーガイド下穿刺トレーニングの 取り組みと課題	大森真由美
2	大森真由美	第 27 回腎不全看護学会・ 学術集会	2024.11	透析管理関連特定行為の実践	大森真由美
3	石渡希恵 菊地初実	令和 6 年看護研究・活動 報告会 川崎市看護協会	2025.2	腎センター災害への取り組み～地域 と支え合う災害時維持透析医療～	石渡希恵

◇院外活動

番号	氏 名	講演名・主催団体名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	吉田美香（演者）	第 12 回北部 PD セミナー (株) ヴァンティブ	2024.9	当院の PD と地域連携の実際	
2	丑丸 秀 大森眞由美 堀田千晴 中村 心 大森春奈	第 2 回腎臓病教室	2024.10	慢性腎臓病について	
3	中野夏織（演者）	第 11 回多摩区腎防災ネット ワーク	2025.2	当院の災害時に向けての取り組み	

[目次へ戻る](#)

内視鏡センター

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	森田小百合	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.11	働きやすい職場環境の醸成に向けた チーム作り～チームアプローチ評価尺 度から見たチームの現状と課題～	森田小百合

[目次へ戻る](#)

臨床検査部

◇院内活動

番号	氏 名	学会・研究会・研修会名 主催団体名	発表年次 (年月)	講演・発表題目・活動内容	ファースト オーサー
1	堀切美恵子 渡邊理絵 天井克生	学校法人聖マリアンナ医 科大学 乳がん検診啓発 団体 主催：Smile Mamma Marianna 安全衛生委員会 共催講習会	2024.11 2024.12	テーマ「乳がんについて」	

◇院外活動

番号	氏 名	学会・研究会・研修会名 主催団体名	発表年次 (年月)	講演・発表題目・活動内容	ファースト オーサー
1	松戸美保	学校法人聖マリアンナ医 科大学 乳がん検診啓発 団体 主催：Smile Mamma Marianna 多摩ファミリーク リニック	2024.9	「集まれ新米ママ」	

[目次へ戻る](#)

画像診断部

◇学会

番号	氏 名	学会名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー	
1	富田 学 武末雅史 渡邊理恵	松永光太郎 堀切美恵子 松戸美保	第 49 回日本超音波検査 学会学術集会	2024.7	SWM と肝線維化指標 Fib-4 index との 相関関係	富田 学
2	竹本琴音 小川優理 大河原伸弘	天井克生 古谷悠子	第 37 回川崎市乳がん検 診画像講習会	2024.7	川崎市乳がん検診における過去画像比 較読影の現状報告	竹本琴音
3	平野智之 長島悟郎	磯島恭平	第 62 回全国自治体学会	2024.10	院内職員による病院機能評価サーベラ ンスの有用性について一本審査結果に よる考察ー	平野智之
4	鈴木美穂 古畑千奈己	野上葉子 島澤淳子	第 62 回全国自治体学会	2024.11	診療放射線技師による造影剤静脈穿刺 への支援～タスクシフト・シェア～	鈴木美穂
5	田島優紀 森嶋啓之	長谷川哲也	第 40 回日本脳神経血管 内治療学会学術集会	2024.11	頸動脈ステント留置術における 3D 作 成の創意工夫	田島優紀
6	吉田篤史		令和 6 年度 第 3 回 放射 線管理講習会（イムス グループ講習会）	2024.12	『サーベイヤー派遣で学んだこと』	吉田篤史
7	吉田篤史		第 55 回放射線技師のた めのセミナー・第 12 回 放射線管理士セミナー コラボセミナー	2025.1	「原子力災害および大規模自然災害時に おける診療放射線技師の役割」	吉田篤史

[目次へ戻る](#)

薬剤部

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	浅香真衣子 松本 浩 廣瀬雅宣 小形厚貴 藤重瑤子 平間千絵 アニン祥子 隈元亜依 宮本豊一 長島悟郎 高野知憲 國島広之	日本環境感染学会誌	2024 年 Vol.39 no.4	2024.4	血液培養陽性症例を対象 とした抗菌薬適正使用支 援チームによる介入内容 および臨床アウトカムの 評価	浅香真衣子
2	土岐真路 武田真央	月刊薬事	2024 年 7 月号 Vol.66 No.9	2024.8	特集 治療効果を維持す るためにどう動く？ 第一選択がないときの次 の一手 心不全治療薬（ループ利 尿薬がない場合）	土岐真路 武田真央
3	武田真央	薬剤師のためのここか らはじめる循環器	2024 年 9 月刊行 第 1 章 P.25	2024.9	脳梗塞の既往がある高血 圧	武田真央
4	Toshihiro Kobayashi, Ayako Tsuboya, Takashi Ogura, Kensuke Shinohara, Yuka Ito.	Journal of Japanese Society of Pharmaceutical Oncology	2024; 38: 7-13	2024.10	A Case of Recurrent Gastric Cancer in Which Patient Education by a Pharmacist Helped Recover from Myasthenia Gravis Induced by Nivolumab.	小林俊博
5	武田真央	月刊薬事	2024 年 12 月号 Vol.66 No.16	2025.2	ジャーナルクラブの広場 FINEARTS-HF 試験	武田真央

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	小形厚貴	第 16 回日本がん薬剤学 会（JSOPP）学術大会	2024.6	薬剤関連性顎骨壊死（MRONJ）に 対する抗菌薬の使用状況の実態調査	小形厚貴
2	武田真央	第 274 回日本循環器学会 関東甲信越地方会	2024.12	循環器病棟で唯一の心不全療養指導 士が薬剤師であったときに出来るこ と	武田真央

◇院外での活動

番号	氏 名	活動先	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	土岐真路 武田真央	川崎市薬剤師会 KAWAYAKU HEART Seminar 2024-2025	2024.7	予防視点で考える脂質異常症管理	武田真央
2	藤重瑤子	2024 年度 第 1 回 KAWASAKI 地域感染制御協 議会薬剤師部会 研修会	2024.9	成人肺炎診療ガイドライン 2024	藤重瑤子
3	土岐真路 武田真央	川崎市薬剤師会 KAWAYAKU HEART Seminar 2024-2025	2024.10	心不全薬薬連携 受けとった退院時サマリの効果的な 活用法	武田真央
4	武田真央	循薬ネット web journal club	2024.10	FINEARTS-HF trial	武田真央
5	土岐真路 武田真央	川崎市薬剤師会 KAWAYAKU HEART Seminar 2024-2025	2025.2	薬剤師と患者で歩む血圧管理目標達 成戦略	武田真央
6	小林俊博	入院患者の安全な医療を 考える会	2025.3	身体拘束を減らすために、薬剤師と 一緒にできること	小林俊博
7	松本 浩	Medical Staff Symposium in Kawasaki	2025.3	当院における骨折予防チームの取り 組み	松本 浩

◇院内での活動

番号	氏 名	活動先	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	小形厚貴	多摩病院職員研修 (新入職看護師)	2024.4	薬剤師の仕事と薬について	小形厚貴
2	神林万里奈 佐々木奈絵 松本 浩	多摩病院職員研修 (5 東、6 東、6 西病棟医師)	2024.4	処方・注射オーダ、投薬時の注意	神林万里奈
3	武田真央	多摩病院職員研修 (腎センター看護師)	2024.4	腎センターにおける薬剤投与	武田真央
4	小形厚貴	多摩病院臨床研修セン ター職員研修 (1 年目研修医)	2024.5	薬剤処方の基礎知識	小形厚貴
5	藤本知代 武田真央 神林万里奈 佐々木奈絵 松本 浩	多摩病院職員研修 (3 東小児、4 東、5 東、6 東、6 西病棟看護師)	2024.5 ～ 10	処方・注射オーダ、投薬時の注意 服薬指導について 注射剤について	加藤蒼生
6	清水麻鈴	多摩病院職員研修 (5 西病棟看護師)	2024.7	Nivolumab+Ipilimumab (悪性中皮腫) CBDCA+PTX+Pembrolizumab 療法	清水麻鈴
7	高田将季	多摩病院職員研修 (血液内科外来看護師)	2024.7	ポマリストについて	高田将季
8	松本 浩	2024 年度第 1 回医療安全 必修研修 (全職員) e-learning 研修	2024.7 ～ 8	手術・検査前中止薬の再開について	松本 浩
9	高田将季	多摩病院職員研修 (4 西病棟看護師)	2024.8	ATO 療法	高田将季

番号	氏 名	活動先	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
10	松本 浩	2024 年度 第 1 回 AST 認定研修 (医師・看護師・コメディカル) e-learning 研修	2024.9	AST 活動について AST 活動内容・アウトカムについて	松本 浩
11	加藤蒼生	身体拘束適正使用推進チーム・DST 主催研修会 (全職員) e-learning 研修	2024.9 ～ 10	身体拘束に関する診療報酬とドラッグロック・スピーチロックについて ドラッグロックについて	加藤蒼生
12	小林俊博	多摩病院職員研修 (ICU 病棟看護師)	2024.10	せん妄対策	小林俊博
13	小林俊博	多摩病院職員研修 (5W 病棟看護師)	2024.10	ロゼバロミン、ラジカット内用懸濁液 使い方について	小林俊博
14	武田真央	多摩病院職員研修 (4 東病棟看護師)	2024.10	心不全治療薬の勉強会	武田真央
15	神林万里奈 中島敦美	第 26 回多摩病院生涯教育研修会 (病院薬剤師、薬局薬剤師)	2024.10	がん化学療法の薬薬連携 川崎市立多摩病院の取り組み 有害事象評価と支持療法について / 連携充実加算	中島敦美
16	藤重瑤子	2024 年度第 1 回川崎市立多摩病院薬剤部 抄読会 (病院薬剤師)	2024.11	「高齢者の入院患者における Polypharmacy 介入」 論文：Medication Optimization Protocol Efficacy for Geriatric Inpatients. JAMA Netw Open. 2024;7 (7) :e2423544. PMID: 39078632	藤重瑤子
17	佐々木奈絵	多摩病院職員研修 (6 東病棟看護師)	2024.12	ヨンデリス説明会	佐々木奈絵
18	小林俊博	多摩病院職員研修 (外来看護師)	2025.1	ケサンラについて知ろう レケンビとの比較を含めて	小林俊博
19	松本 浩	第 27 回多摩病院生涯教育研修会 (病院薬剤師、薬局薬剤師)	2025.2	骨粗鬆症治療における当院の取り組み 当院における骨折予防チームの立ち上げと取り組みについて	松本 浩
20	土師日香里 高田将季 槇田育也	多摩病院職員研修 (3 西、4 西病棟看護師)	2025.2 ～ 3	疼痛コントロールで使用する薬剤について - 基礎編 -	土師日香里
21	武田真央	2024 年度第 2 回川崎市立多摩病院薬剤部 抄読会 (病院薬剤師)	2025.3	「日本の高齢者におけるスタチン使用と認知症リスクの関連性」 論文：Association of Statin Use with Dementia Risk Among Older Adults in Japan :A Nested Case-Control Study Using the LIFE Study. PMID: 38968046	武田真央

クリニカルエンジニア部

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	依田詢平 齋藤充央 富永直人	第 34 回日本臨床工学会	2024.5	呼吸ポートの違いが人工呼吸器トリ ロギー Evo の喚起に与える影響	依田詢平
2	土田善之 矢田哲康 富永直人	第 34 回日本臨床工学会	2024.5	医療機器リモート監視システムとの有 用性～ MD Linkage の導入経験から～	土田善之
3	濱田悠佑 土田善之 富永直人 藤谷茂樹	日本集中治療医学会学術 集会	2024.9	当院での集中治療における臨床工学技 士の関わり方の変貌 ～臓器灌流とボリュームステータス を意識した管理を例に～	濱田悠佑
4	矢田哲康 平山隆浩 大場次郎 富永直人	第 30 回日本災害医学会	2025.3	迫り来る都市直下型地震に備える： 圧挫症候群（クラッシュ症候群）患 者の救命に向けた医療体制の課題	矢田哲康

◇院外での活動

番号	氏 名	学会名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	濱田悠佑	第 34 回日本臨床工学会 (ランチョンセミナー)	2024.5	CKRT における臨床工学技士の役割	濱田悠佑
2	濱田悠佑	第 67 回日本腎臓学会学術 総会（ハンズオンセミナー）	2024.6	CRRT ハンズオンセミナー	濱田悠佑
3	濱田悠佑	日本集中治療医学会 サマーキャンプ inTATESHINA（ハンズオ ンセミナー）	2024.7	CRRT ハンズオンセミナー	濱田悠佑
4	濱田悠佑	体外循環ステップアップ セミナー（Piece for Smile 主催）	2024.9	V-V ECMO 基礎から管理まで	濱田悠佑
5	濱田悠佑 五十嵐義浩 村谷信太郎	ヴァンティブ×ナースの 星 WEB セミナー	2024.9	ICU における持続的血液浄化法ハンズ オンセミナー	濱田悠佑
6	濱田悠佑	第 6 回神奈川補助循環研 究会	2024.11	集中治療でのモニタリング	濱田悠佑

[目次へ戻る](#)

栄養部

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	大嶋佑紀 野々宮明子 高井はるか 大沢 愛 島倉志帆 小木敦菜 北谷彩香 伊藤彩香 清水朋子	第 40 回日本栄養治療学 会学術集会	2025.2	急性期病院における GLIM 基準の導入 および今後の課題について	

[目次へ戻る](#)

医療情報部

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	島田 歩 伊藤 誠 宮崎秀和	第 26 回日本医療マネジ メント学会学術総会	2024.6	IC 時の看護師同席率、意思決定支援 介入率の向上に向けた活動	島田 歩
2	島田 歩 橋本卓也 石川浩二 長久保瑞紀 平田裕吏安 宮崎秀和 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10	病院機能評価カルテレビュー審査受 審に向けた対策に関する取組み	島田 歩
3	平田裕吏安 藤井真樹 橋本卓也 島田 歩 石川浩二 長久保瑞紀 宮崎秀和 長島悟郎	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10	DNAR 指示の手順見直しに向けた当 院の現状調査について	平田裕吏安

[目次へ戻る](#)

医療相談センター

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	川上加奈 安重 泉 岩崎俊之 奥瀬千晃	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10	当院虐待防止委員会の活動報告 虐待予防に焦点をあてて	川上加奈

[目次へ戻る](#)

看護部

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	田中秀典 藤井真樹	継続看護を担う体質強化 外来看護	2024 年 冬号・ Vol.29No.4	2024.11	外来・看護相談における 外来入院一体化クリニカルパスの運用	田中秀典
2	竹内廣美	日本看護研究学会誌	2025 年 47 巻 5 号	2025.1	脳卒中患者の急性期における思い「諦め」と「諦めない」思いに焦点をあてて	竹内廣美
3	上田好子	月間ナースマネジャー	第 27 巻 第 1 号	2025.3	特別企画 勤務表を待たなくても翌月の予定を立てられる！ 曜日固定の休日「定休制」 勤務シフトの導入	上田好子

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	藤井真樹	第 31 回家族看護学会	2024.9	ケアマネジャーを対象にした家族看護事例検討会の効果と課題	藤井真樹
2	小林由紀子 竹内廣美 上村美穂	セル看護研究会	2024.9	「セル看護提供方式導入による成果と課題～患者と看護師が満足する看護を考える～」	小林由紀子
3	竹内廣美	第 51 回脳神経看護学会	2024.9	意識障害患者・家族への透析見合わせに時間を要した事例を振り返る	竹内廣美
4	藤井真樹	第 62 回全国自治体病院学会	2024.10 2024.11	看護自主活動 おせっかいナースの会の活動報告	藤井真樹
5	郡さゆり 藤井真樹			地域とつながるアドバンス・ケア・プランニングについて	郡さゆり
6	上田好子			看護師のワークライフバランス改善への取り組み	上田好子
7	馬場雅樹			泌尿器科における診療看護師（NP）のチーム医療への貢献と効果について	馬場雅樹
8	有福 愛 圓 直美 渋谷直子 対馬里香			シミュレーション動画を活用した産科混合病棟における防災訓練	有福 愛
9	内藤 静 小野 元 長島悟郎			A 病院における診療科での特定看護師の役割 ～脳神経外科で求められる働き方と今後の展望～	内藤 静
10	内藤 静 小野 元 長島悟郎	第 30 回 日本脳神経外科救急学会	2025.2	A 病院における診療科での特定看護師の役割 ～脳神経外科で求められる働き方と今後の展望～	内藤 静

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
11	木村保美 山元慶洋 角田めぐみ 上田好子 高松由佳 野村 悠 田中 拓	川崎市看護協会 令和 6 年 看護研究・活動報告会	2025.2	CCOT（Critical Care Outreach Team） 導入後の成果－ラウンド回数の変化 と予期せぬ急変事例数の比較－	木村保美
12	竹内廣美 藤井真樹	日本臨床倫理学会 第 12 回年次大会	2025.3	専門・認定看護師による意思決定支 援教育の効果と課題	竹内廣美

◇院外の活動

番号	氏 名	学会・研究会・研修会名 主催団体名	発表年次 (年月)	講演・発表題目・活動内容	ファースト オーサー
1	岩崎詩子	日本看護協会	2024.4 ～ 2024.11	日本看護学会学術集会抄録選考委員	
2	杉山奈穂	神奈川ストーマリハビリ テーション研究会	2024.4 ～ 2025.3	世話人	
3	上田好子	日本救急医学会関東地方 会 看護部会	2024.4 ～ 2025.3	施設代表者	
4	藤井真樹	川崎市看護協会自主活動	2024.5 2024.11	おせっかいナースの会 「縁起でもな い話で充実した人生を」 市民交流会	
5	藤井真樹	川崎市看護協会	2024.6	新人看護研修プログラム「看護と倫 理」	
6	杉山奈穂	ダンサックストーマケア	2024.6	「ダンサック ハンズオンセミナー in 天王洲」講師（講義・演習）	
7	杉山奈穂	日本オストミー協会川崎 支部	2024.6	「初心者研修会」講師	
8	杉山奈穂	医療法人社団 桜栄会 介護老人保健施設：横浜 セラトピア	2024.7	「褥瘡予防と皮膚トラブルについて」 講師	
9	藤井真樹	川崎市看護協会	2024.7	訪問看護師養成研修会「在宅療養者 の家族看護」	
10	藤井真樹	福島県看護協会	2024.7	家族の力を引き出す家族看護	
11	上村美穂	神奈川県看護協会	2024.7 2024.8	実地指導者研修Ⅰ講師	
12	杉山奈穂	第 39 回神奈川ストーマ リハビリテーション講習 会	2024.8	講師（講義・演習・運営）	
13	藤井真樹	川崎市看護協会	2024.8	地域連携推進委員会「地域で育む臨 床倫理」	
14	角田めぐみ	医療法人社団 桜栄会 介護老人保健施設：横浜 セラトピア	2024.9 2024.10	窒息への対応と予防	

番号	氏 名	学会・研究会・研修会名 主催団体名	発表年次 (年月)	講演・発表題目・活動内容	ファースト オーサー
15	藤井真樹	日本家族看護学会	2024.9	第 31 回日本家族看護学会学術集会 実行委員	
16	竹内廣美	セル看護研究会	2024.9	シンポジスト	
17	森本順子	医療法人若葉会 柿生記 念病院 医療安全研修	2024.9 2025.2	第 1 回 講義 「インシデント・アクシデント発生時 のカンファレンスの持ち方について」	
18	吉田 香	医療法人社団 桜栄会 介護老人保健施設：横浜 セラトピア	2024.10	認知症に対する正しい理解	
19	森本順子	医療法人若葉会 柿生記 念病院 医療安全研修	2024.10 2025.2	第 2 回 演習 「実際の事例でカンファレンスを展開 しよう」	
20	吉田 香	高津看護専門学校	2024.10 2024.11 2024.12	老年臨床看護Ⅰ 講師	
21	治田悠介	高津看護専門学校	2024.11	老年臨床看護Ⅰ 講師	
22	大森眞由美	学研メディカルサポート	2024.11	看護師の特定行為研修 実践サポート： 「急性血液浄化療法における血液透析 器又は血液透析濾過器の操作及び管 理」 e-learning 講師	
23	吉田 香	川崎市看護協会自主活動	2024.11	おせっかいナースの会 「縁起でもな い話で充実した人生を」 市民交流会	
24	郡さゆり	高津看護専門学校	2024.11	老年臨床看護Ⅰ 講師	
25	大森眞由美	日本腎不全看護学会	2024.11 ～ 2025.3	認定委員会	
26	治田悠介	令和 6 年度麻生区介護予 防事業講演会	2024.12	家庭でできる摂食・嚥下機能維持・ 向上の工夫～認知症の進行を緩やか にするために今できること～	
27	郡さゆり 藤井真樹	多摩区在宅推進協議会	2024.12	「認知症専門医の父が認知症になって ～父・長谷川和夫とかわした言葉」 市民講演会	
28	大森眞由美	昭和大学認定看護師教育 センター 腎不全看護分 野 授業講義	2024.12	「腎不全看護における多職種連携と社 会的支援～チームアプローチ腎不全 看護に必要な職種との連携」 講師	
29	杉山奈穂	神奈川ストーマリハビリ テーション研究会	2025.3	講習会受講者第 1 回フォローアップ セミナー運営	
30	大森眞由美	昭和大学認定看護師教育 センター 腎不全看護分 野 授業講義	2025.3	「透析管理関連特定行為の体制整備と 実践について」 講師	

[目次へ戻る](#)

臨床研修センター

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Tatsuya Masuyama, Joel Branch, Kosuke Ishizuka, Ryuji Uchida, Takuya Otsuki, Kenya Ie, Chiaki Okuse.	THE AMERICAN JOURNAL of MEDICINE	DOI- 10.1016/ j.amjmed. 2024.06. 003 頁	2024.6	Minocycline-Induced Blue Nails.	Tatsuya Masuyama
2	Akitomo Akao, Takuya Otsuki, Kosuke Ishizuka, Masafumi Katayama, Kenya Ie, Chiaki Okuse.	THE AMERICAN JOURNAL of MEDICINE	DOI- 10.1016/ j.amjmed. 2025.03. 017 頁	オンライン 公開 2025.3 誌面公開 2025.9	Adult Intussusception with Inverted Meckel's Diverticulum as the Leading Point.	Akitomo Akao

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	緒方理子 高山 真	第 74 回日本東洋医学会 学術総会	2024.6	Encounter with oriental medicine and its benefits for primary care and community health.	緒方理子
2	中塚彩華 長田洋資 麻生健太郎 島田勝利	第 381 回日本小児科学会 神奈川県地方会	2024.9	両側末梢性肺動脈狭窄に対しリング 付き ePTFE グラフトを用いたパッチ 拡大形成術を行った一例	中塚彩華
3	渡邊裕貴 大林樹真 川口拓哉 古田繁行	第 43 回日本小児内視鏡・ 手術手技研究会	2024.10	食道閉鎖症術後気管軟化症に対して 胸骨正中切開による大動脈吊り上げ 術が奏功した 1 例	渡邊裕貴
4	豊福伸幸 菱田吉明 和田 誠 加納麻弓子 中村祐太 中川朋子 浅井志高 横田健一 柳澤慶香 迫田凌太 牧野利明 曾根正勝	第 34 回臨床内分泌代謝 Update	2024.11	グリチルレチン酸含有湿布を乱用し た低 K 血症の診断に難渋した 1 例	豊福伸幸

[目次へ戻る](#)

総務課

◇学会

番号	氏 名		学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	中村裕子 宮沢 玲	小磯有美枝 中山みどり	第 13 回全国学術集会 (日本医師事務作業補助者 協会)	2024.10	医師事務作業補助者の業務介入によ る医師以外への影響	中村裕子
2	宮沢 玲 小磯有美枝 岡部政人	中村裕子 中山みどり 相澤 亮	第 13 回全国学術集会 (日本医師事務作業補助者 協会)	2024.10	診療科の特性を考慮した医師事務作 業補助者の教育体制の検討	宮沢 玲
3	中山みどり 小磯有美枝 松永光太郎 長島悟郎	中村裕子 宮沢 玲 松澤亜紀子	第 62 回 全国自治体病院 学会	2024.11	医師事務作業補助者によるパス入院 時の持参薬使用指示オーダー代行入力 の取り組み	中山みどり

[目次へ戻る](#)

医事課

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	岩崎好男 佐藤友和	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10	RPA を活用した医事課業務の効率化 と残業時間削減の取り組み	岩崎好男

[目次へ戻る](#)

医療安全管理室

【医療安全】

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	岡田みちよ 田中 拓 松永光太郎 井上ふみ子	第 22 回日本臨床医学リ スクマネジメント学会学 術集会	2024.9	安全にシングルチェックを導入するた めの取り組み	岡田みちよ
2	岡田みちよ 田中 拓 松永光太郎 森本光平	第 19 回医療の質・安全 学会学術集会	2024.11	報告書確認対策チームによる偶発的 重要発見所見未対応の追跡システムの 評価	岡田みちよ

◇院外の活動

番号	氏 名		学会・研究会・研修会名 主催団体名	発表年次 (年月)	講演・発表題目・活動内容	ファースト オーサー
1	田中 拓 浅見妥江 天井克生 柏木静香	岡田みちよ 土田善之 上條靖司	私立医科大学病院協議会 相互ラウンド	2024.12	日本医科大学武蔵小杉病院（訪問） ※医療安全地域連携対策加算 1 含む	

【感染対策】

◇誌上

番号	氏 名	掲載誌名	巻・号・頁	発行年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	浅香真衣子 松本 浩 廣瀬雅宣 小形厚貴 藤重瑤子 平間千絵 アニン祥子 隈元亜依 宮本豊一 長島悟郎 高野知憲 國島広之	環境感染誌	39 (4); 117-125	2024.7	血液培養陽性症例を対象 とした抗菌薬適正使用支 援チームによる介入内容 および臨床アウトカムの 評価	浅香真衣子

◇学会

番号	氏 名	学 会 名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	Iori Motohashi, Kenya Ie, Chiaki Okuse, Yoshiyuki Ohira.	Society of General Internal Medicine 2024 Annual Meeting	2024.5	Esophageal Perforation Due to Tuberculous Mediastinal Lymphadenitis with Initially Suspected Esophageal Malignancy.	Iori Motohashi
2	長島悟郎	第 39 回日本環境感染学 会総会	2024.7	パネルディスカッション 13 病院機 能の第三者認証制度を感染制御の視 点から考える 病院機能評価審査側の立場から	長島悟郎
3	杉本麻衣 長島悟郎 松澤亜紀子 本橋伊織 隈元亜依 アニン祥子	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.10	季節性インフルエンザ流行時期の病 院内感染対策	杉本麻衣
4	アニン祥子 松澤亜紀子 本橋伊織 隈元亜依 杉本麻衣	第 62 回全国自治体病院 学会	2024.11	当院における STI/STD 発生状況把握 の改善と ICT の取り組み	アニン祥子
5	廣富匡志 淀谷雄亮 池田史朗 丸山 絢 細田智弘 坂本光男 中島由紀子 長島悟郎 國島広之 竹村 弘 三崎貴子	第 92 回神奈川県感染症 医学会	2024.11	川崎市における過粘稠性肺炎桿菌 (hvKP) 感染症の発生状況と肝膿瘍の 発症に関わるリスク因子に関する研 究	廣富匡志
6	小野 元 栗田将旭 宮崎一輝 森嶋啓之 長島悟郎	第 30 回日本脳神経外科 救急学会	2025.2	硬膜下膿瘍の鑑別に MRI・FLAIR 画像 は有用か？	小野 元

◇院外の活動

番号	氏 名	協議会・研究会 研修会・セミナー名	発表年次 (年月)	研究題目	ファースト オーサー
1	アニン祥子 杉本麻衣	KAWASAKI 地域感染制御 協議会 看護師部総会	2024.6	幹事	
2	本橋伊織 杉本麻衣 隈元亜依 小形厚貴 山田史恵	令和 6 年度 私立医科大学 協会 感染対策相互ラウンド	2024.12	訪問 相手先：日本医科大学武蔵小杉病院	
3	杉本麻衣	介護老人保健施設 横浜 セラトピア	2025.1	研修 感染対策の基本	
4	アニン祥子	第 32 回 KAWASAKI 地 域 感染制御協議会定例会	2025.2	看護師部会活動報告 開催場所：新百合ヶ丘総合病院	
5	アニン祥子	KAWASAKI 感染制御協議 会	2024~ 2025	同協議会看護師部会代表幹事	

[目次へ戻る](#)

川崎市立多摩病院 年報

第 20 号
(令和 6 年度)
令和 7 年 11 月 30 日発行

編 集 川崎市立多摩病院
指定管理者 学校法人聖マリアンナ医科大学
発 行 事務部総務課
〒 214-8525 川崎市多摩区宿河原 1-30-37
TEL 044 (933) 8111 (代)
制 作 (株) 教育広報社
〒 130-0005 墨田区東駒形 1-14-1
一般財団法人 大蔵財務協会ビル内
TEL 03 (5637) 9926 (代)